ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** （時間割コード：041101） Communicative English Ⅰ L(1) Communicative English Ⅰ Communicative English Ⅰ	**科目区分** 外国語科目	**時間割** 2022年度 前期金4	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 ウィリアムズ　厚子，ジョナサン　ベリー	**関連授業科目** 主題科目領域Ⅰ　経済・社会・文化		
	履修推奨科目 Communicative English II（後期に履修）		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋ 事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指しTOEIC 対策を行います。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC で学習効果を確認する。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なお、健康上の理由以外でTOEIC未受験、またはe-learning の学習達成率が60％未満の場合は単位が認定されませんので注意して下さい。
出席・授業貢献度40％
期末試験20％
TOEIC-IPの結果：20％（未受験の場合は単位を認定しない）
e-learning：20％（学習達成率が60％未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】本授業は、TOEIC対策テキストを使用しての演習を中心に進めていく。また適宜、語彙、文法や発音、リスニングの指導も行う。又、e-learningのサポートを行う。

【授業計画】
第１回：オリエンテーション、英文の基本構造
第２回：テキストUnit１の演習活動
第３回：テキストUnit２の演習活動
第４回：テキストUnit３の演習活動
第５回：テキストUnit４の演習活動
第６回：テキストUnit５の演習活動
第７回：テキストUnit６の演習活動
第８回：中間テスト
第９回：テキストUnit７の演習活動
第１０回：テキストUnit８の演習活動
第１１回：テキストUnit９の演習活動
第１２回：テキストUnit１０の演習活動
第１３回：テキストUnit１１の演習活動
第１４回：テキストUnit１２の演習活動
第１５回：テキストUnit１３の演習活動
第１６回：期末試験

授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
1）e-learning（English Central）
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。

2）TOEIC対策テキスト
　授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

この科目は全回対面授業を行います。なお状況によっては全て、または一部の授業回の授業形態を遠隔へ変更する可能性があります。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト　BEST PRACTICE FOR THE TOEIC L&R TEST　Intermediate
YSHIZUKA Hiroshi　Graham Skeritt　Michael Schauerte
SEIBIDO　ISBN978-4-7919-7253-1
教科書の代金にe-learning 利用料が含まれるので、必ず生協で購入すること。

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041102) Communicative English Ⅰ L(2) Communicative English Ⅰ Communicative English Ⅰ	**科目区分** 外国語科目	**時間割 2022年度** 前期金4	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 ウィリアムズ 厚子，篠原 範子	**関連授業科目** 主題科目領域Ⅰ 経済・社会・文化 **履修推奨科目** Communicative English II（後期に履修）		

学習時間 授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋ 事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指しTOEIC 対策を行います。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC で学習効果を確認する。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なお、健康上の理由以外でTOEIC未受験、またはe-learning の学習達成率が60%未満の場合は単位が認定されませんので注意して下さい。

小テスト 20%・課題 20%・授業での発表等 20%
TOEIC-IPの結果：20%（未受験の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（学習達成率が60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。
e-learningのサポート等
TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2－15回：テキストUnit 1～14の演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2) TOEIC対策テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト BEST PRACTICE FOR THE TOEIC L&R TEST Intermediate
YSHIZUKA Hiroshi Graham Skeritt Michael Schauerte
SEIBIDO ISBN978-4-7919-7253-1
教科書の代金にe-learning 利用料が含まれるので、必ず生協で購入すること。

オフィスアワー 授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 授業科目名 (時間割コード：041103) Communicative English Ⅰ L(3) Communicative English Ⅰ Communicative English Ⅰ	科目区分 外国語科目	時間割 2022年度 前期金4	対象年次 1～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教ｾﾝﾀｰ ＤＰコード：abx	対象学生 全学生 特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応 ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	単位数 2	
担当教員名 ウィリアムズ 厚子，瀬良 和彦	関連授業科目 主題科目領域Ⅰ 経済・社会・文化 履修推奨科目 Communicative English II（後期に履修）		

学習時間 授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋ 事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指しTOEIC 対策を行います。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC で学習効果を確認する。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なお、健康上の理由以外でTOEIC未受験、またはe-learning の学習達成率が60％未満の場合は単位が認定されませんので注意して下さい。
平常点［提出率・課題内容・小テストなど］30％（４回未提出で単位不認定）
期末テスト30％（未受験の場合は単位を認定しない、成績不振による救済措置はしない）
TOEIC-IPの結果：20％（未受験の場合は単位を認定しない）
e-learning：20％（学習達成率が60％未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
毎回の授業の進め方は下記の通りです。
この科目は基本的に遠隔授業を行います。なお状況によっては一部の授業回では対面授業を行います。
e-learningのサポート等
TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2‐15回：テキストUnit 1～14の演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
1）e-learning（English Central）
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2）TOEIC対策テキスト
　授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト　BEST PRACTICE FOR THE TOEIC L&R TEST Intermediate
YSHIZUKA Hiroshi Graham Skeritt Michael Schauerte
SEIBIDO ISBN978-4-7919-7253-1
教科書の代金にe-learning 利用料が含まれるので、必ず生協で購入すること。

オフィスアワー 授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041104) Communicative English Ⅰ L(4) Communicative English Ⅰ Communicative English Ⅰ	**科目区分** 外国語科目	**時間割 2022年度** 前期金4	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 ウィリアムズ 厚子，森川 光与	**関連授業科目** 主題科目領域Ⅰ 経済・社会・文化 **履修推奨科目** Communicative English II（後期に履修）		

学習時間 授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋ 事後学習（20時間）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指しTOEIC 対策を行います。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC で学習効果を確認する。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なお、健康上の理由以外でTOEIC未受験、またはe-learning の学習達成率が60%未満の場合は単位が認定されませんので注意して下さい。
クラスへの出席・積極的参加：20%
小テスト・期末試験：20%
授業での発表等（予習・復習）：20%
TOEIC-IPの結果：20%（未受験の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（学習達成率が60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。
e-learningのサポート等
TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
この科目は全回対面授業を行います。なお状況によっては全てまたは一部の授 業回の授業形態を遠隔へ変更する可能性があります。

【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2‐15回：テキストUnit 1～14の演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2) TOEIC対策テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト BEST PRACTICE FOR THE TOEIC L&R TEST Intermediate
YSHIZUKA Hiroshi Graham Skeritt Michael Schauerte
SEIBIDO ISBN978-4-7919-7253-1

オフィスアワー 授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041105) Communicative English Ⅰ L(5) Communicative English Ⅰ Communicative English Ⅰ	**科目区分** 外国語科目	**時間割 2022年度** 前期金4	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 ウィリアムズ 厚子, ヒル スティーブ	**関連授業科目** 主題科目領域Ⅰ 経済・社会・文化		
	履修推奨科目 Communicative English II (後期に履修)		

学習時間 授業90分×15回＋自学自習 (English Central (20時間) ＋ 準備学習 (20時間) ＋ 事後学習 (20時間))

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指しTOEIC 対策を行います。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC で学習効果を確認する。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なお、健康上の理由以外でTOEIC未受験、またはe-learning の学習達成率が60%未満の場合は単位が認定されませんので注意して下さい。
小テスト・授業での発表等（予習・復習）・期末試験：60%

TOEIC-IPの結果：20%（未受験の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（学習達成率が60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。
e-learningのサポート等
TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2 - 15回：テキストUnit 1～14の演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2) TOEIC対策テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト BEST PRACTICE FOR THE TOEIC L&R TEST Intermediate
YSHIZUKA Hiroshi Graham Skeritt Michael Schauerte
SEIBIDO ISBN978-4-7919-7253-1
教科書の代金にe-learning 利用料が含まれるので、必ず生協で購入すること。

オフィスアワー 授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 授業科目名 (時間割コード：041106) Communicative English Ⅰ L(6) Communicative English Ⅰ Communicative English Ⅰ	科目区分 外国語科目	時間割 2022年度 前期金4	対象年次 1～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教ｾﾝﾀｰ ＤＰコード：abx	対象学生 全学生 特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応 ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	単位数 2	
担当教員名 パーキンス ガレス エドワード	関連授業科目 主題科目領域Ⅰ 経済・社会・文化 履修推奨科目 Communicative English II（後期に履修）		

学習時間 授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋ 事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指しTOEIC 対策を行います。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC で学習効果を確認する。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なお、健康上の理由以外でTOEIC未受験、またはe-learning の学習達成率が60%未満の場合は単位が認定されませんので注意して下さい。
小テスト・授業での発表等（予習・復習）・期末試験：60%
TOEIC-IPの結果：20%（未受験の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（学習達成率が60%未満の場合は単位を認定しない）
授業中の努力（ノートの取り方、授業への参加）：20%
中間試験：20%、期末試験：20%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。
e-learningのサポート等
TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2－15回：テキストUnit 1～14の演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
1）e-learning（English Central）
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2）TOEIC対策テキスト
　授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト　BEST PRACTICE FOR THE TOEIC L&R TEST Intermediate
YSHIZUKA Hiroshi Graham Skeritt Michael Schauerte
SEIBIDO ISBN978-4-7919-7253-1
教科書の代金にe-learning 利用料が含まれるので、必ず生協で購入すること。

オフィスアワー 授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

教員の実務経験との関連 MA in creative writing.

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex2 授業科目名　（時間割コード：041107） Communicative English Ⅰ L(7) Communicative English Ⅰ Communicative English Ⅰ	科目区分 外国語科目	時間割 2022年度 前期金4	対象年次 1～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教ｾﾝﾀｰ ＤＰコード：abx	対象学生 全学生 特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応 ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態　演習	単位数　2	
担当教員名 マクラハン・ジェラディーン	関連授業科目　主題科目領域Ⅰ　経済・社会・文化 履修推奨科目　Communicative English II（後期に履修）		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋ 事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指しTOEIC 対策を行います。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC で学習効果を確認する。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なお、健康上の理由以外でTOEIC未受験、またはe-learning の学習達成率が60%未満の場合は単位が認定されませんので注意して下さい。

小テスト: 40%
クラスへの参加: 20%
TOEIC-IPの結果：20%（未受験の場合は単位を認定しい）
e-learning：20%（学習達成率が60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。
e-learningのサポート等
TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）

【授業計画】
第1回：オリエンテーション: Unit 1 (Restaurants)
第2回 ： Unit 2 (Entertainment); Unit 1 の小テスト
第3回 ： Unit 3 (Business); Unit 2 の小テスト
第4回 ： Unit 4 (The Office); Unit 3 の小テスト
第5回 ： Unit 5 (Telephone); Unit 4 の小テスト
第6回 ： Unit 6 (Letters & E-mails); Unit 5 の小テスト
第7回 ： Unit 7 (Health); Unit 6 の小テスト
第8回 ： Unit 8 (The Bank & The Post Office); Unit 7 の小テスト
第9回: TOEIC 1/2 test
第10回: Unit 9 (New Products); Unit 8 の小テスト
第11回: Unit 10 (Travel); Unit 9 の小テスト
第12回: Unit 11 (Daily Life); Unit 10 の小テスト
第13回: Unit 12 (Job Applications); Unit 11 の小テスト
第14回: Unit 13 (Shopping); Unit 12 の小テスト
第15回: Unit 14 (Education); Unit 13 の小テスト
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト

【自学自習に関するアドバイス】
1）e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。

2) TOEIC対策テキスト
　授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキストBEST PRACTICE FOR THE TOEIC L&R TEST　Intermediate
YSHIZUKA Hiroshi　Graham Skeritt　Michael Schauerte
SEIBIDO　ISBN978-4-7919-7253-1
教科書の代金にe-learning 利用料が含まれるので、必ず生協で購入すること。

オフィスアワー　水曜日　09:00-10:00

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex2 授業科目名　（時間割コード：041108） Communicative English Ⅰ L(8) Communicative English Ⅰ Communicative English Ⅰ	科目区分 外国語科目	時間割 2022年度 前期金4	対象年次 1～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教ｾﾝﾀｰ ＤＰコード：abx	対象学生 全学生 特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応 ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態　演習	単位数　2	
担当教員名 ウィリアムズ　厚子	関連授業科目　主題科目領域Ⅰ　経済・社会・文化 履修推奨科目　Communicative English II（後期に履修）		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋ 事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指しTOEIC 対策を行います。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC で学習効果を確認する。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なお、健康上の理由以外でTOEIC未受験、またはe-learning の学習達成率が60%未満の場合は単位が認定されませんので注意して下さい。
小テスト20%・授業参加（課題・予習・復習）20%・期末試験20%：60%
TOEIC-IPの結果：20%（未受験の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（学習達成率が60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。
e-learningのサポート等
TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）

【授業計画】各週の授業内容についてはMoodle のトピックを確認してください。
第1回　オリエンテーション
第2回　Unit 1
第3回　Unit 2
第4回　Unit 3
第5回　Unit 4　小テスト
第6回　Unit 5
第7回　Unit 6　小テスト
第8回　Unit 7
第9回　Unit 8　小テスト
第10回 Unit 9
第11回 Unit 10　小テスト
第12回 Unit 11
第13回 Unit 12　小テスト
第14回 Unit 13
第15回 Unit 14

授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト

【自学自習に関するアドバイス】
1）e-learning（English Central）
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2）TOEIC対策テキスト

授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

3) 小テストおよび期末試験については授業で事前に周知します。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト　BEST PRACTICE FOR THE TOEIC L&R TEST　Intermediate
YSHIZUKA Hiroshi　Graham Skeritt　Michael Schauerte
SEIBIDO　ISBN978-4-7919-7253-1
教科書の代金にe-learning 利用料が含まれるので、必ず生協で購入すること。

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex2 授業科目名　（時間割コード：041110） Communicative English Ⅰ JE(1) Communicative English Ⅰ Communicative English Ⅰ	科目区分 外国語科目	時間割 2022年度 前期水2	対象年次 1～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教ｾﾝﾀｰ ＤＰコード：abx	対象学生 全学生 特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応 ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態　演習	単位数　2	
担当教員名 ウィリアムズ　厚子，篠原　範子	関連授業科目　主題科目領域Ⅰ　経済・社会・文化 履修推奨科目　Communicative English II（後期に履修）		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋ 事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指しTOEIC 対策を行います。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC で学習効果を確認する。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なお、健康上の理由以外でTOEIC未受験、またはe-learning の学習達成率が60％未満の場合は単位が認定されませんので注意して下さい。

小テスト　20％・課題　20％・授業での発表等　20％

TOEIC-IPの結果：20％（未受験の場合は単位を認定しない）

e-learning：20％（学習達成率が60％未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。

e-learningのサポート等

TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）

【授業計画】

第1回：オリエンテーション

第2－15回：テキストUnit 1～14の演習活動

授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト

【自学自習に関するアドバイス】

1）e-learning（English Central）

インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。

2）TOEIC対策テキスト

　授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト　BEST PRACTICE FOR THE TOEIC L&R TEST　Intermediate
YSHIZUKA Hiroshi　Graham Skeritt　Michael Schauerte
SEIBIDO　ISBN978-4-7919-7253-1

教科書の代金にe-learning 利用料が含まれるので、必ず生協で購入すること。

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041111) Communicative English Ⅰ JE(2) Communicative English Ⅰ Communicative English Ⅰ	**科目区分** 外国語科目	**時間割 2022年度** 前期水2	**対象年次** 1～
	水準 学士:基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 ウィリアムズ 厚子，アダム・ブロッド	**関連授業科目** 主題科目領域Ⅰ 経済・社会・文化		
	履修推奨科目 Communicative English II（後期に履修）		

学習時間 授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋ 事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指しTOEIC 対策を行います。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC で学習効果を確認する。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なお、健康上の理由以外でTOEIC未受験、またはe-learning の学習達成率が60%未満の場合は単位が認定されませんので注意して下さい。
小テスト・授業での発表等（予習・復習）・期末試験：60%

TOEIC-IPの結果：20%（未受験の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（学習達成率が60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。
e-learningのサポート等
TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2‐15回：テキストUnit 1～14の演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2) TOEIC対策テキスト
　授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト　BEST PRACTICE FOR THE TOEIC L&R TEST Intermediate
YSHIZUKA Hiroshi Graham Skeritt Michael Schauerte
SEIBIDO ISBN978-4-7919-7253-1
教科書の代金にe-learning 利用料が含まれるので、必ず生協で購入すること。

オフィスアワー 授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041112) Communicative English Ⅰ JE(3) Communicative English Ⅰ Communicative English Ⅰ	**科目区分** 外国語科目	**時間割 2022年度** 前期水2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 ウィリアムズ 厚子，森川 光与	**関連授業科目** 主題科目領域Ⅰ 経済・社会・文化		
	履修推奨科目 Communicative English II（後期に履修）		

学習時間 授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋ 事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指しTOEIC 対策を行います。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC で学習効果を確認する。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なお、健康上の理由以外でTOEIC未受験、またはe-learning の学習達成率が60%未満の場合は単位が認定されませんので注意して下さい。
クラスへの出席・積極的参加：20%
小テスト・期末試験：20%
授業での発表等（予習・復習）：20%
TOEIC-IPの結果：20%（未受験の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（学習達成率が60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。
e-learningのサポート等
TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
この科目は全回対面授業を行います。なお状況によっては全てまたは一部の授 業回の授業形態を遠隔へ変更する可能性があります。

【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2 - 15回：テキストUnit 1～14の演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2) TOEIC対策テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト BEST PRACTICE FOR THE TOEIC L&R TEST Intermediate
YSHIZUKA Hiroshi Graham Skeritt Michael Schauerte
SEIBIDO ISBN978-4-7919-7253-1

オフィスアワー 授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041113) Communicative English Ⅰ JE(4) Communicative English Ⅰ Communicative English Ⅰ	**科目区分** 外国語科目	**時間割 2022年度** 前期水2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 ウィリアムズ 厚子, ヒル スティーブ	**関連授業科目** 主題科目領域Ⅰ 経済・社会・文化		
	履修推奨科目 Communicative English II (後期に履修)		

学習時間 授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋ 事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指しTOEIC 対策を行います。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC で学習効果を確認する。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なお、健康上の理由以外でTOEIC未受験、またはe-learning の学習達成率が60%未満の場合は単位が認定されませんので注意して下さい。
小テスト・授業での発表等（予習・復習）・期末試験：60%

TOEIC-IPの結果：20%（未受験の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（学習達成率が60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。
e-learningのサポート等
TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2‐15回：テキストUnit 1～14の演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2) TOEIC対策テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト BEST PRACTICE FOR THE TOEIC L&R TEST Intermediate
YSHIZUKA Hiroshi Graham Skeritt Michael Schauerte
SEIBIDO ISBN978-4-7919-7253-1
教科書の代金にe-learning 利用料が含まれるので、必ず生協で購入すること。

オフィスアワー 授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex2 授業科目名　（時間割コード：041114） Communicative English Ⅰ JE(5) Communicative English Ⅰ Communicative English Ⅰ	科目区分 外国語科目	時間割 2022年度 前期水2	対象年次 1～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教ｾﾝﾀｰ ＤＰコード：abx	対象学生 全学生 特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応 ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態　演習	単位数　2	
担当教員名 ウィリアムズ　厚子，竹中　千鶴	関連授業科目　主題科目領域Ⅰ　経済・社会・文化 履修推奨科目　Communicative English II（後期に履修）		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋ 事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指しTOEIC 対策を行います。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC で学習効果を確認する。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なお、健康上の理由以外でTOEIC未受験、またはe-learning の学習達成率が60%未満の場合は単位が認定されませんので注意して下さい。
予習・授業での発表等：15%，復習・小テスト：15%
中間・期末試験：30%
TOEIC-IPの結果：20%（未受験の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（学習達成率が60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。
e-learningのサポート等
TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
この授業は全回対面授業を行います。

【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第15回：テキストUnit 1～14の演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト

【自学自習に関するアドバイス】
1）e-learning（English Central）
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2）TOEIC対策テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト　BEST PRACTICE FOR THE TOEIC L&R TEST　Intermediate
YSHIZUKA Hiroshi　Graham Skeritt　Michael Schauerte
SEIBIDO　ISBN978-4-7919-7253-1
教科書の代金にe-learning 利用料が含まれるので、必ず生協で購入すること。

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 授業科目名 (時間割コード：041115) Communicative English Ⅰ JE(6) Communicative English Ⅰ Communicative English Ⅰ	科目区分 外国語科目	時間割 2022年度 前期水2	対象年次 1～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教ｾﾝﾀｰ ＤＰコード：abx	対象学生 全学生 特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応 ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	単位数 2	
担当教員名 ウィリアムズ 厚子，中島 友愛	関連授業科目 主題科目領域I 経済・社会・文化 履修推奨科目 Communicative English II（後期に履修）		

学習時間 授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋ 事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指しTOEIC 対策を行います。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC で学習効果を確認する。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なお、健康上の理由以外でTOEIC未受験、またはe-learning の学習達成率が60%未満の場合は単位が認定されませんので注意して下さい。

毎回の提出課題：25%
期末試験：25%
授業への熱心なとりくみ：10%
TOEIC-IPの結果：20%（未受験の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（学習達成率が60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。
e-learningのサポート等
TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
※この科目は全回対面授業を行います。
（新型コロナウイルス感染症への大学の対応方針が変更になる場合はこれに準じます。
第1回の授業形態については、直前の感染拡大状況により遠隔授業になることもありえます
ので、開講直前に配信されるドリームキャンパスのメッセージで指示を必ず確認して
ください。）
授業形態にかかわらず第1回授業までに必ず教科書を購入しておいてください。

【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2 - 15回：テキストUnit 1～14の演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト

【自学自習に関するアドバイス】
1）e-learning（English Central）
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2）TOEIC対策テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト BEST PRACTICE FOR THE TOEIC L&R TEST Intermediate
YOSHIZUKA Hiroshi Graham Skerritt Michael Schauerte
SEIBIDO ISBN 978-4-7919-7253-1

教科書の代金にe-learning利用料が含まれるので、必ず生協で購入すること。
オフィスアワー　　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041116) Communicative English Ⅰ JE(7) Communicative English Ⅰ Communicative English Ⅰ	**科目区分** 外国語科目	**時間割 2022年度** 前期水2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 辻 梨花	**関連授業科目** 主題科目領域Ⅰ 経済・社会・文化		
	履修推奨科目 Communicative English II（後期に履修）		

学習時間 授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋ 事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指しTOEIC 対策を行います。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC で学習効果を確認する。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なお、健康上の理由以外でTOEIC未受験、またはe-learning の学習達成率が60%未満の場合は単位が認定されませんので注意して下さい。

小テスト・授業での発表等（予習・復習）・期末試験：60%

TOEIC-IPの結果：20%（未受験の場合は単位を認定しない）

e-learning：20%（学習達成率が60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。

e-learningのサポート等

TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）

【授業計画】

第1回：オリエンテーション

第2‐15回：テキストUnit 1～14の演習活動

授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト

【自学自習に関するアドバイス】

1) e-learning (English Central)

インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。

2) TOEIC対策テキスト

授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト BEST PRACTICE FOR THE TOEIC L&R TEST Intermediate
YSHIZUKA Hiroshi Graham Skeritt Michael Schauerte
SEIBIDO ISBN978-4-7919-7253-1
教科書の代金にe-learning 利用料が含まれるので、必ず生協で購入すること。

オフィスアワー 授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex2 授業科目名　（時間割コード：041117） Communicative English Ⅰ JE(8) Communicative English Ⅰ Communicative English Ⅰ	科目区分 外国語科目	時間割 2022年度 前期水2	対象年次 1～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教ｾﾝﾀｰ ＤＰコード：abx	対象学生 全学生 特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応 ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態　演習	単位数　2	
担当教員名 パーキンス　ガレス　エドワード	関連授業科目　主題科目領域Ⅰ　経済・社会・文化 履修推奨科目　Communicative English II（後期に履修）		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋ 事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指しTOEIC 対策を行います。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC で学習効果を確認する。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なお、健康上の理由以外でTOEIC未受験、またはe-learning の学習達成率が60%未満の場合は単位が認定されませんので注意して下さい。
小テスト・授業での発表等（予習・復習）・期末試験：60%
TOEIC-IPの結果：20%（未受験の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（学習達成率が60%未満の場合は単位を認定しない）
授業中の努力（ノートの取り方、授業への参加）：20%
中間試験：20%　　期末試験：20%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。
e-learningのサポート等
TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2－15回：テキストUnit 1～14の演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
1）e-learning（English Central）
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2）TOEIC対策テキスト
　授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト　BEST PRACTICE FOR THE TOEIC L&R TEST　Intermediate
YSHIZUKA Hiroshi　Graham Skeritt　Michael Schauerte
SEIBIDO　ISBN978-4-7919-7253-1
教科書の代金にe-learning 利用料が含まれるので、必ず生協で購入すること。

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

教員の実務経験との関連　MA in creative writing

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041118) Communicative English Ⅰ JE(9) Communicative English Ⅰ Communicative English Ⅰ	**科目区分** 外国語科目	**時間割 2022年度** 前期水2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 中井　富紀	**関連授業科目** 主題科目領域Ⅰ　経済・社会・文化		
	履修推奨科目 Communicative English II（後期に履修）		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋ 事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指しTOEIC 対策を行います。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC で学習効果を確認する。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なお、健康上の理由以外でTOEIC未受験、またはe-learning の学習達成率が60%未満の場合は単位が認定されませんので注意して下さい。
予習(語いリスト)30%：期末試験：30%
TOEIC-IPの結果：20%（未受験の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（学習達成率が60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
毎回の授業の進め方は下記の通りです。
　*マスク着用、全もしくは一部の窓解放の上、対面で授業を行います。

e-learningのサポート等
TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2‐15回：テキストUnit 1～14の演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2) TOEIC対策テキスト
　授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト　BEST PRACTICE FOR THE TOEIC L&R TEST　Intermediate
YSHIZUKA Hiroshi　Graham Skeritt　Michael Schauerte
SEIBIDO　ISBN978-4-7919-7253-1
教科書の代金にe-learning 利用料が含まれるので、必ず生協で購入すること。

オフィスアワー　月、水、木曜日の３時～４時３０分までの間自由に来てください。場所は北キャンパス教育学部棟３号館４階です。Welcome!

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex2 授業科目名　（時間割コード：041119） Communicative English Ⅰ JE(10) Communicative English Ⅰ Communicative English Ⅰ	科目区分 外国語科目	時間割 2022年度 前期水2	対象年次 1～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教ｾﾝﾀｰ ＤＰコード：abx	対象学生 全学生 特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応 ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態　演習	単位数　2	
担当教員名 ビラ　ダビッド	関連授業科目　主題科目領域Ⅰ　経済・社会・文化 履修推奨科目　Communicative English II（後期に履修）		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋ 事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指しTOEIC 対策を行います。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC で学習効果を確認する。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なお、健康上の理由以外でTOEIC未受験、またはe-learning の学習達成率が60%未満の場合は単位が認定されませんので注意して下さい。

TOEIC-IPの結果：20%（未受験の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（学習達成率が60%未満の場合は単位を認定しない）
Quizzes: 40%
In-class effort and participation: 20%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。
e-learningのサポート等
TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2回：テキストUnit 1
第3－15回：テキストUnit 2～14の演習活動 － 小テスト
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
1）e-learning（English Central）
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2）TOEIC対策テキスト
　授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

この科目は基本的に対面授業で行います。なお状況によっては授業形態を遠隔へ変更する可能性があります。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト　BEST PRACTICE FOR THE TOEIC L&R TEST　Intermediate
YSHIZUKA Hiroshi　Graham Skeritt　Michael Schauerte
SEIBIDO　ISBN978-4-7919-7253-1
教科書の代金にe-learning 利用料が含まれるので、必ず生協で購入すること。

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041120) Communicative English Ⅰ JE(11) Communicative English Ⅰ Communicative English Ⅰ	**科目区分** 外国語科目	**時間割 2022年度** 前期水2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 ウィリー・イアン・デビッド	**関連授業科目** 主題科目領域Ⅰ 経済・社会・文化		
	履修推奨科目 Communicative English II（後期に履修）		

学習時間 授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋ 事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指しTOEIC 対策を行います。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC で学習効果を確認する。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なお、健康上の理由以外でTOEIC未受験、またはe-learning の学習達成率が60%未満の場合は単位が認定されませんので注意して下さい。

Quizzes・宿題等:40%
期末試験：20%
TOEIC-IPの結果：20%（未受験の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（学習達成率が60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。
e-learningのサポート等
TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2－15回：テキストUnit 1～14の演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
1）e-learning（English Central）
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2）TOEIC対策テキスト
　授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト:　BEST PRACTICE FOR THE TOEIC L&R TEST Intermediate, by YOSHIZUKA Hiroshi, Graham Skeritt,& Michael Schauerte. SEIBIDO, ISBN978-4-7919-7253-1
*教科書の代金にe-learning 利用料が含まれるので、必ず生協で購入すること。

オフィスアワー 授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041121) Communicative English Ⅰ JE(12) Communicative English Ⅰ Communicative English Ⅰ	**科目区分** 外国語科目	**時間割** 2022年度 前期水2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 ウィリアムズ 厚子	**関連授業科目** 主題科目領域Ⅰ 経済・社会・文化		
	履修推奨科目 Communicative English II（後期に履修）		

学習時間 授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋ 事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指しTOEIC 対策を行います。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC で学習効果を確認する。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なお、健康上の理由以外でTOEIC未受験、またはe-learning の学習達成率が60%未満の場合は単位が認定されませんので注意して下さい。
小テスト20%・授業参加（課題・予習・復習）20%・期末試験20%：60%
TOEIC-IPの結果：20%（未受験の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（学習達成率が60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。
e-learningのサポート等
TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）

【授業計画】各週の授業内容についてはMoodle のトピックを確認してください。
第1回 オリエンテーション
第2回 Unit 1
第3回 Unit 2
第4回 Unit 3
第5回 Unit 4 小テスト
第6回 Unit 5
第7回 Unit 6 小テスト
第8回 Unit 7
第9回 Unit 8 小テスト
第10回 Unit 9
第11回 Unit 10 小テスト
第12回 Unit 11
第13回 Unit 12 小テスト
第14回 Unit 13
第15回 Unit 14

授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト

【自学自習に関するアドバイス】
1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2) TOEIC対策テキスト

授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。 3) 小テストおよび期末試験については授業で事前に周知します。
教科書・参考書等 TOEIC対策テキスト　BEST PRACTICE FOR THE TOEIC L&R TEST　Intermediate YSHIZUKA Hiroshi　Graham Skeritt　Michael Schauerte SEIBIDO　ISBN978-4-7919-7253-1 教科書の代金にe-learning 利用料が含まれるので、必ず生協で購入すること。
オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041122) Communicative English Ⅰ JE(13) Communicative English Ⅰ Communicative English Ⅰ	**科目区分** 外国語科目	**時間割 2022年度** 前期木2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 ウィリアムズ 厚子，中島 友愛	**関連授業科目** 主題科目領域I 経済・社会・文化		
	履修推奨科目 Communicative English II（後期に履修）		

学習時間 授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋ 事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指しTOEIC 対策を行います。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC で学習効果を確認する。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なお、健康上の理由以外でTOEIC未受験、またはe-learning の学習達成率が60%未満の場合は単位が認定されませんので注意して下さい。

毎回の提出課題：25%
期末試験：25%
授業への熱心なとりくみ：10%
TOEIC-IPの結果：20%（未受験の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（学習達成率が60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。
e-learningのサポート等
TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
※この科目は全回対面授業を行います。
（新型コロナウイルス感染症への大学の対応方針が変更になる場合はこれに準じます。
第1回の授業形態については、直前の感染拡大状況により遠隔授業になることもありえます
ので、開講直前に配信されるドリームキャンパスのメッセージで指示を必ず確認して
ください。）
授業形態にかかわらず第1回授業までに必ず教科書を購入しておいてください。

【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2‐15回：テキストUnit 1～14の演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト

【自学自習に関するアドバイス】
1）e-learning（English Central）
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2）TOEIC対策テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト BEST PRACTICE FOR THE TOEIC L&R TEST Intermediate
YOSHIZUKA Hiroshi Graham Skerritt Michael Schauerte
SEIBIDO ISBN 978-4-7919-7253-1

教科書の代金にe-learning利用料が含まれるので、必ず生協で購入すること。
オフィスアワー　　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041123) Communicative English Ⅰ JE(14) Communicative English Ⅰ Communicative English Ⅰ	**科目区分** 外国語科目	**時間割 2022年度** 前期木2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 ウィリアムズ 厚子，瀬良 和彦	**関連授業科目** 主題科目領域Ⅰ 経済・社会・文化		
	履修推奨科目 Communicative English II（後期に履修）		

学習時間 授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋ 事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指しTOEIC 対策を行います。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC で学習効果を確認する。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なお、健康上の理由以外でTOEIC未受験、またはe-learning の学習達成率が60％未満の場合は単位が認定されませんので注意して下さい。

平常点［提出率・課題内容・小テストなど］30％（４回未提出で単位不認定）

期末テスト30％（未受験の場合は単位を認定しない、成績不振による救済措置はしない）TOEIC-IPの結果：20％（未受験の場合は単位を認定しない） e-learning：20％（学習達成率が60％未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】

毎回の授業の進め方は下記の通りです。

この科目は基本的に遠隔授業を行います。なお状況によっては一部の授業回では対面授業を行います。

e-learningのサポート等

TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）

【授業計画】

第1回：オリエンテーション

第2－15回：テキストUnit 1～14の演習活動

授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト

【自学自習に関するアドバイス】

1）e-learning（English Central）

インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。

2）TOEIC対策テキスト

授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト BEST PRACTICE FOR THE TOEIC L&R TEST Intermediate
YSHIZUKA Hiroshi Graham Skeritt Michael Schauerte
SEIBIDO ISBN978-4-7919-7253-1
教科書の代金にe-learning 利用料が含まれるので、必ず生協で購入すること。

オフィスアワー 授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041124) Communicative English Ⅰ JE(15) Communicative English Ⅰ Communicative English Ⅰ	**科目区分** 外国語科目	**時間割 2022年度** 前期木2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 ウィリアムズ 厚子，竹中 千鶴	**関連授業科目** 主題科目領域Ⅰ 経済・社会・文化		
	履修推奨科目 Communicative English II（後期に履修）		

学習時間 授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋ 事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指しTOEIC 対策を行います。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC で学習効果を確認する。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なお、健康上の理由以外でTOEIC未受験、またはe-learning の学習達成率が60%未満の場合は単位が認定されませんので注意して下さい。
予習・授業中の発表：15%, 復習・小テスト: 15%
中間・期末試験：30% （必須）
TOEIC-IPの結果：20%（未受験の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（学習達成率が60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。
e-learningのサポート等
TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
この授業は全回対面授業を行います。

【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2－15回：テキストUnit 1～14の演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト

【自学自習に関するアドバイス】
1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2) TOEIC対策テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト BEST PRACTICE FOR THE TOEIC L&R TEST Intermediate
YSHIZUKA Hiroshi Graham Skeritt Michael Schauerte
SEIBIDO ISBN978-4-7919-7253-1
教科書の代金にe-learning 利用料が含まれるので、必ず生協で購入すること。

オフィスアワー 授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041125) Communicative English Ⅰ JE(16) Communicative English Ⅰ Communicative English Ⅰ	**科目区分** 外国語科目	**時間割 2022年度** 前期木2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 ウィリアムズ 厚子，鳥越 洋子	**関連授業科目** 主題科目領域Ⅰ 経済・社会・文化		
	履修推奨科目 Communicative English II（後期に履修）		

学習時間 授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋ 事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指しTOEIC 対策を行います。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC で学習効果を確認する。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なお、健康上の理由以外でTOEIC未受験、またはe-learning の学習達成率が60％未満の場合は単位が認定されませんので注意して下さい。
小テスト、授業での発表、課題等（予習・復習）30%・期末試験：30％
TOEIC-IPの結果：20％（未受験の場合は単位を認定しない）
e-learning：20％（学習達成率が60％未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。
e-learningのサポート等
TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
対面授業とオンライン授業を組み合わせて行います。（その都度、お知らせします。）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2‐15回：テキストUnit 1～14の演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
1）e-learning（English Central）
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2）TOEIC対策テキスト
　授業ではテキストを使用します。予習をしてから授業に臨んで下さい。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト　BEST PRACTICE FOR THE TOEIC L&R TEST Intermediate
YSHIZUKA Hiroshi Graham Skeritt Michael Schauerte
SEIBIDO ISBN978-4-7919-7220-3
教科書の代金にe-learning 利用料が含まれるので、必ず生協で購入すること。

オフィスアワー 授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。
対面授業とオンライン授業を組み合わせて行います。（その都度、お知らせします。）

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041126) Communicative English Ⅰ JE(17) Communicative English Ⅰ Communicative English Ⅰ	**科目区分** 外国語科目	**時間割 2022年度** 前期木2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 ウィリアムズ 厚子，柏原 智美	**関連授業科目** 主題科目領域Ⅰ 経済・社会・文化		
	履修推奨科目 Communicative English II（後期に履修）		

学習時間 授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋ 事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指しTOEIC 対策を行います。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC で学習効果を確認する。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なお、健康上の理由以外でTOEIC未受験、またはe-learning の学習達成率が60％未満の場合は単位が認定されませんので注意して下さい。

授業態度及び各活動への取り組み：30％
期末テスト：30％
TOEIC-IPの結果：20％（未受験の場合は単位を認定しない）
e-learning：20％（学習達成率が60％未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。
e-learningのサポート等
TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2－15回：テキストUnit 1～14の演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
1）e-learning（English Central）
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2）TOEIC対策テキスト
　授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト　BEST PRACTICE FOR THE TOEIC L&R TEST Intermediate
YSHIZUKA Hiroshi Graham Skeritt Michael Schauerte
SEIBIDO ISBN978-4-7919-7253-1
教科書の代金にe-learning 利用料が含まれるので、必ず生協で購入すること。

オフィスアワー 授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex2 授業科目名　（時間割コード：041127） Communicative English Ⅰ JE(18) Communicative English Ⅰ Communicative English Ⅰ	科目区分 外国語科目	時間割 2022年度 前期木2	対象年次 1～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教ｾﾝﾀｰ ＤＰコード：abx	対象学生 全学生 特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応 ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態　演習	単位数　2	
担当教員名 ウィリー・イアン・デビッド	関連授業科目　主題科目領域Ⅰ　経済・社会・文化 履修推奨科目　Communicative English II（後期に履修）		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋ 事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指しTOEIC 対策を行います。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC で学習効果を確認する。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なお、健康上の理由以外でTOEIC未受験、またはe-learning の学習達成率が60%未満の場合は単位が認定されませんので注意して下さい。

Quizzes・宿題等：40%
期末試験：20%
TOEIC-IPの結果：20%（未受験の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（学習達成率が60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。
e-learningのサポート等
TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2－15回：テキストUnit 1～14の演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2) TOEIC対策テキスト
　授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト:　BEST PRACTICE FOR THE TOEIC L&R TEST (Intermediate), by YOSHIZUKA Hiroshi, Graham Skeritt, & Michael Schauerte. SEIBIDO, ISBN978-4-7919-7253-1
＊ 教科書の代金にe-learning 利用料が含まれるので、必ず生協で購入すること。

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041129) Communicative English Ⅰ T(1) Communicative English Ⅰ Communicative English Ⅰ	**科目区分** 外国語科目	**時間割 2022年度** 前期月2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 ウィリアムズ 厚子，柏原 智美	**関連授業科目** 主題科目領域Ⅰ 経済・社会・文化		
	履修推奨科目 Communicative English II（後期に履修）		

学習時間 授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋ 事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指しTOEIC 対策を行います。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC で学習効果を確認する。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なお、健康上の理由以外でTOEIC未受験、またはe-learning の学習達成率が60%未満の場合は単位が認定されませんので注意して下さい。

授業態度及び各活動への取り組み：30%
期末テスト：30%
TOEIC-IPの結果：20%（未受験の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（学習達成率が60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。
e-learningのサポート等
TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2－15回：テキストUnit 1～14の演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
1）e-learning（English Central）
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2）TOEIC対策テキスト
　授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト　BEST PRACTICE FOR THE TOEIC L&R TEST Intermediate
YSHIZUKA Hiroshi Graham Skeritt Michael Schauerte
SEIBIDO ISBN978-4-7919-7253-1
教科書の代金にe-learning 利用料が含まれるので、必ず生協で購入すること。

オフィスアワー 授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041130) Communicative English Ⅰ T(2) Communicative English Ⅰ Communicative English Ⅰ	**科目区分** 外国語科目	**時間割 2022年度** 前期月2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 ウィリアムズ 厚子，田口 明美	**関連授業科目** 主題科目領域Ⅰ 経済・社会・文化 **履修推奨科目** Communicative English II（後期に履修）		

学習時間 授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋ 事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指しTOEIC 対策を行います。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC で学習効果を確認する。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なお、健康上の理由以外でTOEIC未受験、またはe-learning の学習達成率が60%未満の場合は単位が認定されませんので注意して下さい。
授業への参加度:10%
小テスト:20%
期末試験:30%
TOEIC-IPの結果：20%（未受験の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（学習達成率が60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。
この科目は基本的に全回対面授業を行います。
e-learningのサポート等
TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
第8回に小テスト、第16回に期末試験を行います。

【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第8回:小テスト&演習活動
第2－15回：テキストUnit1～15の演習活動
第16回:期末試験
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト

【自学自習に関するアドバイス】
1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2) TOEIC対策テキスト
　授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト　BEST PRACTICE FOR THE TOEIC L&R TEST　Intermediate
YSHIZUKA Hiroshi　Graham Skeritt　Michael Schauerte
SEIBIDO　ISBN978-4-7919-7253-1
教科書の代金にe-learning 利用料が含まれるので、必ず生協で購入すること。

オフィスアワー 授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ
第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。
教員の実務経験との関連
全国通訳案内士および司法通訳の実務経験があります。外国文化に対する知識や理解を深めていただきながら、受講生の英語力の向上を目指します。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041131) Communicative English Ⅰ T(3) Communicative English Ⅰ Communicative English Ⅰ	**科目区分** 外国語科目	**時間割 2022年度** 前期月2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 ウィリアムズ 厚子, カリコ ラファエル ケアロハ	**関連授業科目** 主題科目領域Ⅰ 経済・社会・文化		
	履修推奨科目 Communicative English II (後期に履修)		

学習時間 授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋ 事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指しTOEIC 対策を行います。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC で学習効果を確認する。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なお、健康上の理由以外でTOEIC未受験、またはe-learning の学習達成率が60%未満の場合は単位が認定されませんので注意して下さい。
小テスト・授業での発表等（予習・復習）・期末試験：60%

TOEIC-IPの結果：20%（未受験の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（学習達成率が60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。
e-learningのサポート等
TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2‐15回：テキストUnit 1～14の演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2) TOEIC対策テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト BEST PRACTICE FOR THE TOEIC L&R TEST Intermediate
YSHIZUKA Hiroshi Graham Skeritt Michael Schauerte
SEIBIDO ISBN978-4-7919-7253-1
教科書の代金にe-learning 利用料が含まれるので、必ず生協で購入すること。

オフィスアワー 授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041132) Communicative English Ⅰ T(4) Communicative English Ⅰ Communicative English Ⅰ	**科目区分** 外国語科目	**時間割 2022年度** 前期月2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 ウィリアムズ　厚子，ガルシア　フェルナンデス　マリア　グデリア	**関連授業科目** 主題科目領域Ⅰ　経済・社会・文化		
	履修推奨科目 Communicative English II（後期に履修）		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋ 事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指しTOEIC 対策を行います。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC で学習効果を確認する。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なお、健康上の理由以外でTOEIC未受験、またはe-learning の学習達成率が60%未満の場合は単位が認定されませんので注意して下さい。

In-class effort/Assignments: 10%
Midterm exam: 20%
Final Exam: 30%
TOEIC-IPの結果：20%（未受験の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（学習達成率が60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。
e-learningのサポート等
TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2－15回：テキストUnit 1～14の演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2) TOEIC対策テキスト
　授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト　BEST PRACTICE FOR THE TOEIC L&R TEST　Intermediate
YSHIZUKA Hiroshi　Graham Skeritt　Michael Schauerte
SEIBIDO　ISBN978-4-7919-7253-1
教科書の代金にe-learning 利用料が含まれるので、必ず生協で購入すること。

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex2 授業科目名　（時間割コード：041133） Communicative English Ⅰ T(5) Communicative English Ⅰ Communicative English Ⅰ	科目区分 外国語科目	時間割 2022年度 前期月2	対象年次 1～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教ｾﾝﾀｰ ＤＰコード：abx	対象学生 全学生 特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応 ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態　演習	単位数　2	
担当教員名 中住　幸治	関連授業科目　主題科目領域Ⅰ　経済・社会・文化 履修推奨科目　Communicative English II（後期に履修）		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋ 事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指しTOEIC 対策を行います。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC で学習効果を確認する。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なお、健康上の理由以外でTOEIC未受験、またはe-learning の学習達成率が60％未満の場合は単位が認定されませんので注意して下さい。

小テスト・授業での発表等（予習・復習）・期末試験：60％
TOEIC-IPの結果：20％（未受験の場合は単位を認定しない）
e-learning：20％（学習達成率が60％未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。
e-learningのサポート等
TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2－15回：テキストUnit 1～14の演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
1）e-learning（English Central）
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2）TOEIC対策テキスト
　授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト　BEST PRACTICE FOR THE TOEIC L&R TEST　Intermediate
YSHIZUKA Hiroshi　Graham Skeritt　Michael Schauerte
SEIBIDO　ISBN978-4-7919-7253-1
教科書の代金にe-learning 利用料が含まれるので、必ず生協で購入すること。

オフィスアワー　木曜日　12:30~13:30 幸町キャンパス北5号館5階　中住研究室

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。

教員の実務経験との関連

高等学校に勤務経験あり。英語を担当。高等学校での実務経験を基にTOEIC対策を中心とした授業を行います。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041134) Communicative English Ⅰ T(6) Communicative English Ⅰ Communicative English Ⅰ T (6)	**科目区分** 外国語科目	**時間割 2022年度** 前期月2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 永尾　智	**関連授業科目** 主題科目領域Ⅰ　経済・社会・文化		
	履修推奨科目 Communicative English II（後期に履修）		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋ 事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指しTOEIC 対策を行います。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC で学習効果を確認する。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なお、健康上の理由以外でTOEIC未受験、またはe-learning の学習達成率が60%未満の場合は単位が認定されませんので注意して下さい。

・小テスト・授業での発表等（予習・復習）：30%
・中間試験、期末試験：30%
・TOEIC-IPの結果：20%（未受験の場合は単位を認定しない）
・e-learning：20%（学習達成率が60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。
〖この授業は基本的に≪対面授業≫形式で実施します。座席は指定制（初回に指定）です。〗
e-learningのサポート等
TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2－15回：テキストUnit 1～14の演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
1）e-learning（English Central）
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2）TOEIC対策テキスト
　授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト　BEST PRACTICE FOR THE TOEIC L&R TEST　Intermediate
YSHIZUKA Hiroshi　Graham Skeritt　Michael Schauerte
SEIBIDO　ISBN978-4-7919-7253-1
教科書の代金にe-learning 利用料が含まれるので、必ず生協で購入すること。

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex2 授業科目名　（時間割コード：041135） Communicative English Ⅰ T(7) Communicative English Ⅰ Communicative English Ⅰ	科目区分 外国語科目	時間割 2022年度 前期月2	対象年次 1～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教ｾﾝﾀｰ ＤＰコード：abx	対象学生 全学生 特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応 ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態　演習	単位数　2	
担当教員名 杉田　貴瑞	関連授業科目　主題科目領域Ⅰ　経済・社会・文化 履修推奨科目　Communicative English II（後期に履修）		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋ 事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指しTOEIC 対策を行います。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC で学習効果を確認する。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なお、健康上の理由以外でTOEIC未受験、またはe-learning の学習達成率が60%未満の場合は単位が認定されませんので注意して下さい。
小テスト・授業での発表等（予習・復習）・期末試験：60%
TOEIC-IPの結果：20%（未受験の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（学習達成率が60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。
e-learningのサポート等
TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2－15回：テキストUnit 1～14の演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
1）e-learning（English Central）
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2）TOEIC対策テキスト
　授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト　BEST PRACTICE FOR THE TOEIC L&R TEST　Intermediate
YSHIZUKA Hiroshi　Graham Skeritt　Michael Schauerte
SEIBIDO　ISBN978-4-7919-7253-1
教科書の代金にe-learning 利用料が含まれるので、必ず生協で購入すること。

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 授業科目名 (時間割コード：041136) Communicative English Ⅰ T(8) Communicative English Ⅰ Communicative English Ⅰ	科目区分 外国語科目	時間割 2022年度 前期月2	対象年次 1～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教ｾﾝﾀｰ ＤＰコード：abx	対象学生 全学生 特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応 ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	単位数 2	
担当教員名 パーキンス ガレス エドワード	関連授業科目 主題科目領域Ⅰ 経済・社会・文化 履修推奨科目 Communicative English II（後期に履修）		

学習時間 授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋ 事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指しTOEIC 対策を行います。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC で学習効果を確認する。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なお、健康上の理由以外でTOEIC未受験、またはe-learning の学習達成率が60%未満の場合は単位が認定されませんので注意して下さい。

小テスト・授業での発表等（予習・復習）・期末試験：60%
TOEIC-IPの結果：20%（未受験の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（学習達成率が60%未満の場合は単位を認定しない）
授業中の努力（ノートの取り方、授業への参加）：20%
中間試験：20%　期末試験：20%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。
e-learningのサポート等
TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2－15回：テキストUnit 1～14の演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
1）e-learning（English Central）
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2）TOEIC対策テキスト
　授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト　BEST PRACTICE FOR THE TOEIC L&R TEST Intermediate
YSHIZUKA Hiroshi Graham Skeritt Michael Schauerte
SEIBIDO ISBN978-4-7919-7253-1
教科書の代金にe-learning 利用料が含まれるので、必ず生協で購入すること。

オフィスアワー 授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

教員の実務経験との関連 MA in creative writing

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041137) Communicative English Ⅰ T(9) Communicative English Ⅰ Communicative English Ⅰ	**科目区分** 外国語科目	**時間割 2022年度** 前期月2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 ビラ　ダビッド	**関連授業科目** 主題科目領域Ⅰ　経済・社会・文化 **履修推奨科目** Communicative English II（後期に履修）		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋ 事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指しTOEIC 対策を行います。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC で学習効果を確認する。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なお、健康上の理由以外でTOEIC未受験、またはe-learning の学習達成率が60%未満の場合は単位が認定されませんので注意して下さい。

Quizzes: 40%
In-class effort and participation: 20%
TOEIC-IPの結果：20%（未受験の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（学習達成率が60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。
e-learningのサポート等
TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2回：テキストUnit 1
第3－15回：テキストUnit 2～14の演習活動 － 小テスト
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
1）e-learning（English Central）
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2）TOEIC対策テキスト
　授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。
この科目は基本的に対面授業で行ないます。なお状況によっては授業形態を遠隔へ変更する可能性があります。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト　BEST PRACTICE FOR THE TOEIC L&R TEST　Intermediate
YSHIZUKA Hiroshi　Graham Skeritt　Michael Schauerte
SEIBIDO　ISBN978-4-7919-7253-1
教科書の代金にe-learning 利用料が含まれるので、必ず生協で購入すること。

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex2 授業科目名　（時間割コード：041138） Communicative English Ⅰ T(10) Communicative English Ⅰ Communicative English Ⅰ	科目区分 外国語科目	時間割 2022年度 前期月2	対象年次 1～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教ｾﾝﾀｰ ＤＰコード：abx	対象学生 全学生 特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応 ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態　演習	単位数　2	
担当教員名 中井　富紀	関連授業科目　主題科目領域Ⅰ　経済・社会・文化 履修推奨科目　Communicative English II（後期に履修）		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋ 事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指しTOEIC 対策を行います。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC で学習効果を確認する。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なお、健康上の理由以外でTOEIC未受験、またはe-learning の学習達成率が60%未満の場合は単位が認定されませんので注意して下さい。
予習(語いリスト)30%：期末試験：30%
TOEIC-IPの結果：20%（未受験の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（学習達成率が60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。

＊マスク着用、教室の全もしくは一部の窓開放の上、授業を行います。
e-learningのサポート等
TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2‐15回：テキストUnit 1～14の演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
1）e-learning（English Central）
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2）TOEIC対策テキスト
　授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト　BEST PRACTICE FOR THE TOEIC L&R TEST　Intermediate
YSHIZUKA Hiroshi　Graham Skeritt　Michael Schauerte
SEIBIDO　ISBN978-4-7919-7253-1
教科書の代金にe-learning 利用料が含まれるので、必ず生協で購入すること。

オフィスアワー　月、水、木曜日の３時～４時３０分までの間自由に来てください。場所は北キャンパス教育学部棟３号館４階です。Welcome!

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex2 授業科目名　（時間割コード：041139） Communicative English Ⅰ T(11) Communicative English Ⅰ Communicative English Ⅰ	科目区分 外国語科目	時間割 2022年度 前期月2	対象年次 1～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教ｾﾝﾀｰ ＤＰコード：abx	対象学生 全学生 特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応 ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態　演習	単位数　2	
担当教員名 マクラハン・ジェラディーン	関連授業科目　主題科目領域Ⅰ　経済・社会・文化 履修推奨科目　Communicative English II（後期に履修）		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋ 事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指しTOEIC 対策を行います。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC で学習効果を確認する。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なお、健康上の理由以外でTOEIC未受験、またはe-learning の学習達成率が60％未満の場合は単位が認定されませんので注意して下さい。

小テスト － 40%
クラスへの参加 － 20%
TOEIC-IPの結果：20%（未受験の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（学習達成率が60％未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。
e-learningのサポート等
TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）

【授業計画】
授業計画】
第1回：オリエンテーション: Unit 1 (Restaurants)
第2回 ： Unit 2 (Entertainment); Unit 1 の小テスト
第3回 ： Unit 3 (Business); Unit 2 の小テスト
第4回 ： Unit 4 (The Office); Unit 3 の小テスト
第5回 ： Unit 5 (Telephone); Unit 4 の小テスト
第6回 ： Unit 6 (Letters & E-mails); Unit 5 の小テスト
第7回 ： Unit 7 (Health); Unit 6 の小テスト
第8回 ： Unit 8 (The Bank & The Post Office); Unit 7 の小テスト
第9回: TOEIC 1/2 test
第10回: Unit 9 (New Products); Unit 8 の小テスト
第11回: Unit 10 (Travel); Unit 9 の小テスト
第12回: Unit 11 (Daily Life); Unit 10 の小テスト
第13回: Unit 12 (Job Applications); Unit 11 の小テスト
第14回: Unit 13 (Shopping); Unit 12 の小テスト
第15回: Unit 14 (Education); Unit 13 の小テスト
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト

【自学自習に関するアドバイス】
1）e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。

2) TOEIC対策テキスト
　授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキストBEST PRACTICE FOR THE TOEIC L&R TEST　Intermediate
YSHIZUKA Hiroshi　Graham Skeritt　Michael Schauerte
SEIBIDO　ISBN978-4-7919-7253-1
教科書の代金にe-learning 利用料が含まれるので、必ず生協で購入すること。

オフィスアワー　水曜日 09:00-10:00

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 授業科目名 (時間割コード：041155) Communicative English Ⅰ T(12) Communicative English Ⅰ Communicative English Ⅰ	科目区分 外国語科目	時間割 2022年度 前期月2	対象年次 1～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教ｾﾝﾀｰ ＤＰコード：abx	対象学生 全学生 特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応 ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	単位数 2	
担当教員名 ウィリー・イアン・デビッド	関連授業科目 主題科目領域Ⅰ 経済・社会・文化 履修推奨科目 Communicative English II（後期に履修）		

学習時間 授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋ 事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指しTOEIC 対策を行います。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC で学習効果を確認する。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なお、健康上の理由以外でTOEIC未受験、またはe-learning の学習達成率が60％未満の場合は単位が認定されませんので注意して下さい。

Quizzes・宿題等：40%
期末試験：20％
TOEIC-IPの結果：20％（未受験の場合は単位を認定しない）
e-learning：20％（学習達成率が60％未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。
e-learningのサポート等
TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2－15回：テキストUnit 1～14の演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2) TOEIC対策テキスト
　授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト:　BEST PRACTICE FOR THE TOEIC L&R TEST (Intermediate), by YOSHIZUKA Hiroshi, Graham Skeritt, & Michael Schauerte. SEIBIDO, ISBN978-4-7919-7253-1
＊ 教科書の代金にe-learning 利用料が含まれるので、必ず生協で購入すること。

オフィスアワー 授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041156) Communicative English Ⅰ T(13) Communicative English Ⅰ Communicative English Ⅰ	**科目区分** 外国語科目	**時間割** 2022年度 前期月2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 ウィリアムズ　厚子	**関連授業科目** 主題科目領域Ⅰ　経済・社会・文化 **履修推奨科目** Communicative English II（後期に履修）		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋ 事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指しTOEIC 対策を行います。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC で学習効果を確認する。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なお、健康上の理由以外でTOEIC未受験、またはe-learning の学習達成率が60%未満の場合は単位が認定されませんので注意して下さい。
小テスト20%・授業参加（課題・予習・復習）20%・期末試験20%：60%
TOEIC-IPの結果：20%（未受験の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（学習達成率が60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。
e-learningのサポート等
TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）

【授業計画】各週の授業内容についてはMoodle のトピックを確認してください。
第1回　オリエンテーション
第2回　Unit 1
第3回　Unit 2
第4回　Unit 3
第5回　Unit 4　　小テスト
第6回　Unit 5
第7回　Unit 6　　小テスト
第8回　Unit 7
第9回　Unit 8　　小テスト
第10回 Unit 9
第11回 Unit 10　小テスト
第12回 Unit 11
第13回 Unit 12　小テスト
第14回 Unit 13
第15回 Unit 14

授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト

【自学自習に関するアドバイス】
1）e-learning（English Central）
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。

2) TOEIC対策テキスト
　授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

3) 小テストおよび期末試験については授業で事前に周知します。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト　BEST PRACTICE FOR THE TOEIC L&R TEST　Intermediate
YSHIZUKA Hiroshi　Graham Skeritt　Michael Schauerte
SEIBIDO　ISBN978-4-7919-7253-1
教科書の代金にe-learning 利用料が含まれるので、必ず生協で購入すること。

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041140) Communicative English Ⅰ A(1) Communicative English Ⅰ Communicative English Ⅰ	**科目区分** 外国語科目	**時間割 2022年度** 前期木3	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 ウィリアムズ 厚子，鳥越 洋子	**関連授業科目** 主題科目領域Ⅰ 経済・社会・文化 **履修推奨科目** Communicative English II（後期に履修）		

学習時間 授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋ 事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指しTOEIC 対策を行います。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC で学習効果を確認する。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なお、健康上の理由以外でTOEIC未受験、またはe-learning の学習達成率が60％未満の場合は単位が認定されませんので注意して下さい。
小テスト、授業での発表、課題等（予習・復習）30%・期末試験：30％
TOEIC-IPの結果：20％（未受験の場合は単位を認定しない）
e-learning：20％（学習達成率が60％未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。
e-learningのサポート等
TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
対面授業とオンライン授業を組み合わせて行います。（その都度、お知らせします。）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2－15回：テキストUnit 1～14の演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
1）e-learning（English Central）
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2）TOEIC対策テキスト
　授業ではテキストを使用します。予習をしてから授業に臨んで下さい。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト　BEST PRACTICE FOR THE TOEIC L&R TEST Intermediate
YSHIZUKA Hiroshi Graham Skeritt Michael Schauerte
SEIBIDO ISBN978-4-7919-7220-3
教科書の代金にe-learning 利用料が含まれるので、必ず生協で購入すること。

オフィスアワー 授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。
対面授業とオンライン授業を組み合わせて行います。（その都度、お知らせします。）

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 授業科目名 (時間割コード：041141) Communicative English Ⅰ A(2) Communicative English Ⅰ Communicative English Ⅰ	科目区分 外国語科目	時間割 2022年度 前期木3	対象年次 1～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教ｾﾝﾀｰ ＤＰコード：abx	対象学生 全学生 特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応 ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	単位数 2	
担当教員名 ウィリアムズ 厚子，中島 友愛	関連授業科目 主題科目領域I 経済・社会・文化 履修推奨科目 Communicative English II（後期に履修）		

学習時間 授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋ 事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指しTOEIC 対策を行います。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC で学習効果を確認する。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なお、健康上の理由以外でTOEIC未受験、またはe-learning の学習達成率が60%未満の場合は単位が認定されませんので注意して下さい。

毎回の提出課題：25%
期末試験：25%
授業への熱心なとりくみ：10%
TOEIC-IPの結果：20%（未受験の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（学習達成率が60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。
e-learningのサポート等
TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
※この科目は全回対面授業を行います。
（新型コロナウイルス感染症への大学の対応方針が変更になる場合はこれに準じます。
第1回の授業形態については、直前の感染拡大状況により遠隔授業になることもありえます
ので、開講直前に配信されるドリームキャンパスのメッセージで指示を必ず確認して
ください。）
授業形態にかかわらず第1回授業までに必ず教科書を購入しておいてください。

【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2－15回：テキストUnit 1～14の演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト

【自学自習に関するアドバイス】
1）e-learning（English Central）
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2）TOEIC対策テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト BEST PRACTICE FOR THE TOEIC L&R TEST Intermediate
YOSHIZUKA Hiroshi Graham Skerritt Michael Schauerte
SEIBIDO ISBN 978-4-7919-7253-1

教科書の代金にe-learning利用料が含まれるので、必ず生協で購入すること。
オフィスアワー　　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041142) Communicative English Ⅰ A(3) Communicative English Ⅰ Communicative English Ⅰ	**科目区分** 外国語科目	**時間割 2022年度** 前期木3	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 ウィリアムズ 厚子，柏原 智美	**関連授業科目** 主題科目領域Ⅰ 経済・社会・文化 **履修推奨科目** Communicative English II（後期に履修）		

学習時間 授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋ 事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指しTOEIC 対策を行います。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC で学習効果を確認する。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なお、健康上の理由以外でTOEIC未受験、またはe-learning の学習達成率が60％未満の場合は単位が認定されませんので注意して下さい。

授業態度及び各活動への取り組み：30％
期末テスト：30％
TOEIC-IPの結果：20％（未受験の場合は単位を認定しない）
e-learning：20％（学習達成率が60％未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。
e-learningのサポート等
TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2－15回：テキストUnit 1～14の演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
1）e-learning（English Central）
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2）TOEIC対策テキスト
　授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト　BEST PRACTICE FOR THE TOEIC L&R TEST Intermediate
YSHIZUKA Hiroshi Graham Skeritt Michael Schauerte
SEIBIDO ISBN978-4-7919-7253-1
教科書の代金にe-learning 利用料が含まれるので、必ず生協で購入すること。

オフィスアワー 授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041143) Communicative English Ⅰ A(4) Communicative English Ⅰ Communicative English Ⅰ	**科目区分** 外国語科目	**時間割 2022年度** 前期木3	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 ウィリアムズ 厚子，竹中 千鶴	**関連授業科目** 主題科目領域Ⅰ 経済・社会・文化		
	履修推奨科目 Communicative English II（後期に履修）		

学習時間 授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋ 事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指しTOEIC 対策を行います。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC で学習効果を確認する。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なお、健康上の理由以外でTOEIC未受験、またはe-learning の学習達成率が60%未満の場合は単位が認定されませんので注意して下さい。

予習・授業中の発表：15%，復習・小テスト：15%
中間・期末試験：30%(必須)
TOEIC-IPの結果：20%（未受験の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（学習達成率が60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。
e-learningのサポート等
TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
この授業は全回対面授業を行います。

【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2‐15回：テキストUnit 1～14の演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト

【自学自習に関するアドバイス】
1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2) TOEIC対策テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト BEST PRACTICE FOR THE TOEIC L&R TEST Intermediate
YSHIZUKA Hiroshi Graham Skeritt Michael Schauerte
SEIBIDO ISBN978-4-7919-7253-1
教科書の代金にe-learning 利用料が含まれるので、必ず生協で購入すること。

オフィスアワー 授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex2 授業科目名　（時間割コード：041144） Communicative English Ⅰ A(5) Communicative English Ⅰ Communicative English Ⅰ	科目区分 外国語科目	時間割 2022年度 前期木3	対象年次 1～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教ｾﾝﾀｰ ＤＰコード：abx	対象学生 全学生 特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応 ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態　演習	単位数　2	
担当教員名 ウィリアムズ　厚子，瀬良　和彦	関連授業科目　主題科目領域Ⅰ　経済・社会・文化 履修推奨科目　Communicative English II（後期に履修）		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋ 事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指しTOEIC 対策を行います。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC で学習効果を確認する。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なお、健康上の理由以外でTOEIC未受験、またはe-learning の学習達成率が60％未満の場合は単位が認定されませんので注意して下さい。

平常点［提出率・課題内容・小テストなど］30％（４回未提出で単位不認定）

期末テスト30％（未受験の場合は単位を認定しない、成績不振による救済措置はしない）TOEIC-IPの結果：20％（未受験の場合は単位を認定しない）

e-learning：20％（学習達成率が60％未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】

毎回の授業の進め方は下記の通りです。

この科目は基本的に遠隔授業を行います。なお状況によっては一部の授業回では対面授業を行います。

e-learningのサポート等

TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）

【授業計画】

第1回：オリエンテーション

第2－15回：テキストUnit 1～14の演習活動

授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト

【自学自習に関するアドバイス】

1）e-learning（English Central）

インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。

2）TOEIC対策テキスト

　授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト　BEST PRACTICE FOR THE TOEIC L&R TEST　Intermediate
YSHIZUKA Hiroshi　Graham Skeritt　Michael Schauerte
SEIBIDO　ISBN978-4-7919-7253-1
教科書の代金にe-learning 利用料が含まれるので、必ず生協で購入すること。

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex2 授業科目名　（時間割コード：041145） Communicative English Ⅰ A(6) Communicative English Ⅰ Communicative English Ⅰ	科目区分 外国語科目	時間割 2022年度 前期木3	対象年次 1～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教ｾﾝﾀｰ ＤＰコード：abx	対象学生 全学生 特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応 ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態　演習	単位数　2	
担当教員名 マクラハン・ジェラディーン	関連授業科目　主題科目領域Ⅰ　経済・社会・文化 履修推奨科目　Communicative English II（後期に履修）		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋ 事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指しTOEIC 対策を行います。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC で学習効果を確認する。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なお、健康上の理由以外でTOEIC未受験、またはe-learning の学習達成率が60%未満の場合は単位が認定されませんので注意して下さい。

小テスト: 40%
クラスへの参加: 20%
TOEIC-IPの結果：20%（未受験の場合は単位を認定しい）
e-learning：20%（学習達成率が60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。
e-learningのサポート等
TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）

【授業計画】
第1回：オリエンテーション: Unit 1 (Restaurants)
第2回 ：Unit 2 (Entertainment); Unit 1 の小テスト
第3回 ：Unit 3 (Business); Unit 2 の小テスト
第4回 ：Unit 4 (The Office); Unit 3 の小テスト
第5回 ：Unit 5 (Telephone); Unit 4 の小テスト
第6回 ：Unit 6 (Letters & E-mails); Unit 5 の小テスト
第7回 ：Unit 7 (Health); Unit 6 の小テスト
第8回 ：Unit 8 (The Bank & The Post Office); Unit 7 の小テスト
第9回: TOEIC 1/2 test
第10回: Unit 9 (New Products); Unit 8 の小テスト
第11回: Unit 10 (Travel); Unit 9 の小テスト
第12回: Unit 11 (Daily Life); Unit 10 の小テスト
第13回: Unit 12 (Job Applications); Unit 11 の小テスト
第14回: Unit 13 (Shopping); Unit 12 の小テスト
第15回: Unit 14 (Education); Unit 13 の小テスト

【自学自習に関するアドバイス】
1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2) TOEIC対策テキスト
　授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の

具体的な内容については授業ごとに異なります。
教科書・参考書等 TOEIC対策テキスト BEST PRACTICE FOR THE TOEIC L&R TEST Intermediate YSHIZUKA Hiroshi Graham Skeritt Michael Schauerte SEIBIDO ISBN978-4-7919-7253-1 教科書の代金にe-learning 利用料が含まれるので、必ず生協で購入すること。
オフィスアワー 水曜日 09:00-10:00
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex2 授業科目名　（時間割コード：041146） Communicative English Ⅰ A(7) Communicative English Ⅰ Communicative English Ⅰ	科目区分 外国語科目	時間割 2022年度 前期木3	対象年次 1～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教ｾﾝﾀｰ ＤＰコード：abx	対象学生 全学生 特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応 ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態　演習	単位数　2	
担当教員名 長井　克己	関連授業科目　主題科目領域Ⅰ　経済・社会・文化 履修推奨科目　Communicative English II（後期に履修）		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋ 事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指しTOEIC 対策を行います。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC で学習効果を確認する。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なお、健康上の理由以外でTOEIC未受験、またはe-learning の学習達成率が60%未満の場合は単位が認定されませんので注意して下さい。

小テスト・授業での発表等（予習・復習）：20%
中間試験1：20%
中間試験試験2：20%
TOEIC-IPの結果：20%（未受験の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（学習達成率が60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

この科目は基本的に対面授業を行います。
状況によって遠隔授業へ変更する可能性がありますので，教務システムからの連絡に注意してください。

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。
e-learningのサポート
TOEIC対策テキストを使用しての演習（安全な範囲でのコミュニケーション活動）

【授業計画・各週にはe-learningを含む】
Wk　1 (April 14): Introduction to the course and e-learning
Wk　2 (April 21): Unit 1
Wk　3 (April 28): Unit 2
Wk　4 (May 2, Mon): Unit 3, Quiz 1
Wk　5 (May 12): Unit 4
Wk　6 (May 19): Unit 5, Quiz 2
Wk　7 (May 26): Unit 6
Wk　8 (Jun　2): Unit 7, Mid-term exam 1
Wk　9 (Jun　9): Unit 8
Wk 10 (Jun 16): Unit 9
Wk 11 (Jun 23): Unit 10, Quiz 3
Wk 12 (Jun 30): Unit 11
Wk 13 (July 7): Unit 12, Quiz 4
授業外　(July 9, Sat)：TOEIC L&Rテスト（集合時刻や座席等の詳細は6月頃連絡）
Wk 14 (July 14): Unit 13, Mid-term exam 2
Wk 15 (July 21): Unit 14

【自学自習に関するアドバイス】

1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行い，TOEIC対策にも役立てます。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2) TOEIC対策テキスト
対面の授業では教科書を使用します。指示に従って予習と復習を進めてください。試験はこの教科書から出題します。

教科書・参考書等

教科書 BEST PRACTICE FOR THE TOEIC L&R TEST Intermediate
（成美堂）ISBN978-4-7919-72531
教科書代金にe-learning 利用料が含まれた特別版なので、必ず生協で購入すること。

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041148) Communicative English Ⅰ M(1) Communicative English Ⅰ Communicative English Ⅰ	**科目区分** 外国語科目	**時間割 2022年度** 前期木3	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 ビラ　ダビッド	**関連授業科目** 主題科目領域Ⅰ　経済・社会・文化 **履修推奨科目** Communicative English II（後期に履修）		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋ 事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指しTOEIC 対策を行います。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC で学習効果を確認する。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なお、健康上の理由以外でTOEIC未受験、またはe-learning の学習達成率が60%未満の場合は単位が認定されませんので注意して下さい。

Quizzes: 40%
In-class effort and participation: 20%
TOEIC-IPの結果：20%（未受験の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（学習達成率が60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。
e-learningのサポート等
TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2回：テキストUnit 1
第3 - 15回：テキストUnit 2～14の演習活動 - 小テスト
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2) TOEIC対策テキスト
　授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

この科目は基本的に対面授業で行ないます。なお状況によっては授業形態を遠隔へ変更する可能性があります。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト　BEST PRACTICE FOR THE TOEIC L&R TEST　Intermediate
YSHIZUKA Hiroshi　Graham Skeritt　Michael Schauerte
SEIBIDO　ISBN978-4-7919-7253-1
教科書の代金にe-learning 利用料が含まれるので、必ず生協で購入すること。

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041149) Communicative English Ⅰ M(2) Communicative English Ⅰ Communicative English Ⅰ	**科目区分** 外国語科目	**時間割 2022年度** 前期木3	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 パーキンス　ガレス　エドワード	**関連授業科目** 主題科目領域Ⅰ　経済・社会・文化 **履修推奨科目** Communicative English II（後期に履修）		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋ 事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指しTOEIC 対策を行います。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC で学習効果を確認する。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なお、健康上の理由以外でTOEIC未受験、またはe-learning の学習達成率が60%未満の場合は単位が認定されませんので注意して下さい。
小テスト・授業での発表等（予習・復習）・期末試験：60%
TOEIC-IPの結果：20%（未受験の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（学習達成率が60%未満の場合は単位を認定しない）
授業中の努力（ノートの取り方、授業への参加）：20%
中間試験：20%　　期末試験：20%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。
e-learningのサポート等
TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2－15回：テキストUnit 1～14の演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
1）e-learning（English Central）
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2）TOEIC対策テキスト
　授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト　BEST PRACTICE FOR THE TOEIC L&R TEST　Intermediate
YSHIZUKA Hiroshi　Graham Skeritt　Michael Schauerte
SEIBIDO　ISBN978-4-7919-7253-1
教科書の代金にe-learning 利用料が含まれるので、必ず生協で購入すること。

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

教員の実務経験との関連　MA in creative writing

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 授業科目名 (時間割コード：041150) Communicative English Ⅰ M(3) Communicative English Ⅰ Communicative English Ⅰ	科目区分 外国語科目	時間割 2022年度 前期木3	対象年次 1～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教ｾﾝﾀｰ ＤＰコード：abx	対象学生 全学生 特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応 ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	単位数 2	
担当教員名 中井 富紀	関連授業科目 主題科目領域Ⅰ 経済・社会・文化 履修推奨科目 Communicative English II（後期に履修）		

学習時間 授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋ 事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指しTOEIC 対策を行います。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC で学習効果を確認する。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なお、健康上の理由以外でTOEIC未受験、またはe-learning の学習達成率が60%未満の場合は単位が認定されませんので注意して下さい。
予習(語いリスト)30%：期末試験：30%
TOEIC-IPの結果：20%（未受験の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（学習達成率が60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。

＊マスク着用、教室の全もしくは一部の窓開放の上、授業を行います。
e-learningのサポート等
TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2－15回：テキストUnit 1～14の演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2) TOEIC対策テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト BEST PRACTICE FOR THE TOEIC L&R TEST Intermediate
YSHIZUKA Hiroshi Graham Skeritt Michael Schauerte
SEIBIDO ISBN978-4-7919-7253-1
教科書の代金にe-learning 利用料が含まれるので、必ず生協で購入すること。

オフィスアワー 月、水、木曜日の３時～４時３０分までの間自由に来てください。場所は北キャンパス教育学部棟３号館４階です。Welcome!

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex2 授業科目名　（時間割コード：041151） Communicative English Ⅰ M(4) Communicative English Ⅰ Communicative English Ⅰ	科目区分 外国語科目	時間割 2022年度 前期木3	対象年次 1～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教ｾﾝﾀｰ ＤＰコード：abx	対象学生 全学生 特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応 ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態　演習	単位数　2	
担当教員名 ウィリアムズ　厚子，篠原　範子	関連授業科目　主題科目領域Ⅰ　経済・社会・文化 履修推奨科目　Communicative English II（後期に履修）		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋ 事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指しTOEIC 対策を行います。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC で学習効果を確認する。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なお、健康上の理由以外でTOEIC未受験、またはe-learning の学習達成率が60％未満の場合は単位が認定されませんので注意して下さい。

小テスト　20％・課題　20％・授業での発表等　20％
TOEIC-IPの結果：20％（未受験の場合は単位を認定しない）
e-learning：20％（学習達成率が60％未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。
e-learningのサポート等
TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2－15回：テキストUnit 1～14の演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
1）e-learning（English Central）
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2）TOEIC対策テキスト
　授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト　BEST PRACTICE FOR THE TOEIC L&R TEST　Intermediate
YSHIZUKA Hiroshi　Graham Skeritt　Michael Schauerte
SEIBIDO　ISBN978-4-7919-7253-1
教科書の代金にe-learning 利用料が含まれるので、必ず生協で購入すること。

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex2 授業科目名　（時間割コード：041152） Communicative English Ⅰ NP(1) Communicative English Ⅰ Communicative English Ⅰ	科目区分 外国語科目	時間割 2022年度 前期木2	対象年次 1～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教ｾﾝﾀｰ ＤＰコード：abx	対象学生 全学生 特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応 ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態　演習	単位数　2	
担当教員名 ビラ　ダビッド	関連授業科目　主題科目領域Ⅰ　経済・社会・文化 履修推奨科目　Communicative English II（後期に履修）		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋ 事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指しTOEIC 対策を行います。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC で学習効果を確認する。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なお、健康上の理由以外でTOEIC未受験、またはe-learning の学習達成率が60%未満の場合は単位が認定されませんので注意して下さい。

Quizzes: 40%
In-class effort and participation: 20%
TOEIC-IPの結果：20%（未受験の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（学習達成率が60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。
e-learningのサポート等
TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2回：テキストUnit 1
第3－15回：テキストUnit 2～14の演習活動 － 小テスト
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
1）e-learning（English Central）
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2）TOEIC対策テキスト
　授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

この科目は基本的に対面授業で行ないます。なお状況によっては授業形態を遠隔へ変更する可能性があります。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト　BEST PRACTICE FOR THE TOEIC L&R TEST　Intermediate
YSHIZUKA Hiroshi　Graham Skeritt　Michael Schauerte
SEIBIDO　ISBN978-4-7919-7253-1
教科書の代金にe-learning 利用料が含まれるので、必ず生協で購入すること。

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041153) Communicative English Ⅰ NP(2) Communicative English Ⅰ Communicative English Ⅰ	**科目区分** 外国語科目	**時間割 2022年度** 前期木2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 中井　富紀	**関連授業科目** 主題科目領域Ⅰ　経済・社会・文化 **履修推奨科目** Communicative English II（後期に履修）		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋ 事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指しTOEIC 対策を行います。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC で学習効果を確認する。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なお、健康上の理由以外でTOEIC未受験、またはe-learning の学習達成率が60%未満の場合は単位が認定されませんので注意して下さい。
予習(語いリスト)30%：期末試験：30%
TOEIC-IPの結果：20%（未受験の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（学習達成率が60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。

＊マスク着用、教室の全もしくは一部の窓開放の上、授業を行います。
e-learningのサポート等
TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2－15回：テキストUnit 1～14の演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
1）e-learning（English Central）
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2）TOEIC対策テキスト
　授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト　BEST PRACTICE FOR THE TOEIC L&R TEST　Intermediate
YSHIZUKA Hiroshi　Graham Skeritt　Michael Schauerte
SEIBIDO　ISBN978-4-7919-7253-1
教科書の代金にe-learning 利用料が含まれるので、必ず生協で購入すること。

オフィスアワー　月、水、木曜日の３時～４時３０分までの間自由に来てください。場所は北キャンパス教育学部棟３号館４階です。Welcome!

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex2 授業科目名　（時間割コード：041154） Communicative English Ⅰ NP(3) Communicative English Ⅰ Communicative English Ⅰ	科目区分 外国語科目	時間割 2022年度 前期木2	対象年次 1～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教ｾﾝﾀｰ ＤＰコード：abx	対象学生 全学生 特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応 ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態　演習	単位数　2	
担当教員名 ウィリアムズ　厚子，篠原　範子	関連授業科目　主題科目領域Ⅰ　経済・社会・文化 履修推奨科目　Communicative English II（後期に履修）		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋ 事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指しTOEIC 対策を行います。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC で学習効果を確認する。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なお、健康上の理由以外でTOEIC未受験、またはe-learning の学習達成率が60％未満の場合は単位が認定されませんので注意して下さい。

小テスト　20％・課題　20％・授業での発表等　20％

TOEIC-IPの結果：20％（未受験の場合は単位を認定しない）

e-learning：20％（学習達成率が60％未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。

e-learningのサポート等

TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）

【授業計画】

第1回：オリエンテーション

第2－15回：テキストUnit 1～14の演習活動

授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト

【自学自習に関するアドバイス】

1）e-learning（English Central）

インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。

2）TOEIC対策テキスト

授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト　BEST PRACTICE FOR THE TOEIC L&R TEST　Intermediate
YSHIZUKA Hiroshi　Graham Skeritt　Michael Schauerte
SEIBIDO　ISBN978-4-7919-7253-1

教科書の代金にe-learning 利用料が含まれるので、必ず生協で購入すること。

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041157) Communicative English Ⅰ NP(4) Communicative English Ⅰ Communicative English Ⅰ	**科目区分** 外国語科目	**時間割 2022年度** 前期木2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 パーキンス　ガレス　エドワード	**関連授業科目** 主題科目領域Ⅰ　経済・社会・文化 **履修推奨科目** Communicative English II（後期に履修）		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋ 事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディング教材を用い，英語を理解しその内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されます。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指しTOEIC 対策を行います。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験する TOEIC で学習効果を確認する。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なお、健康上の理由以外でTOEIC未受験、またはe-learning の学習達成率が60%未満の場合は単位が認定されませんので注意して下さい。
小テスト・授業での発表等（予習・復習）・期末試験：60%
TOEIC-IPの結果：20%（未受験の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（学習達成率が60%未満の場合は単位を認定しない）
授業中の努力（ノートの取り方、授業への参加）：20%
中間試験：20%　　期末試験：20%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。
e-learningのサポート等
TOEIC対策テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2－15回：テキストUnit 1～14の演習活動
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
1）e-learning（English Central）
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，ビデオ動画に基づきリスニング・ディクテーション・発音・語彙等に関する英語学習を行うことでTOEIC対策にもつながります。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
2）TOEIC対策テキスト
　授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

TOEIC対策テキスト　BEST PRACTICE FOR THE TOEIC L&R TEST　Intermediate
YSHIZUKA Hiroshi　Graham Skeritt　Michael Schauerte
SEIBIDO　ISBN978-4-7919-7253-1
教科書の代金にe-learning 利用料が含まれるので、必ず生協で購入すること。

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

教員の実務経験との関連　MA in Creative Writing

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex2 授業科目名　（時間割コード：041201） Communicative English Ⅱ L(1) Communicative English Ⅱ Communicative English II	科目区分 外国語科目	時間割 2022年度 後期金4	対象年次 1～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教ｾﾝﾀｰ ＤＰコード：abx	対象学生 全学生 特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応 ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態　演習	単位数　2	
担当教員名 パーキンス　ガレス　エドワード	関連授業科目　主題科目領域Ⅰ　経済・社会・文化		
	履修推奨科目　Communicative English III（2年次に履修）		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋ 事後学習（20時間））

授業の概要

A wide range of communication skills is one of the skills that all Kagawa University students are required to acquire. Classes consist of understanding English using four skill-integrated teaching materials such as DVD teaching materials, and expressing one's thoughts based on the understood contents. Outside of class, we aim to improve our basic English skills by using e-learning. All students will take the TOEIC-IP test during the semester.

授業の目的

The purpose of this class is to acquire "basic ability to communicate using English".

到達目標

1. Be able to understand the current state of your English proficiency and set specific learning goals.
2. Reading: You can read and understand plain English directly without relying on the Japanese translation.
3. Listening: Understand the main points of short English sentences spoken at natural speed.
4. TOEIC: You can improve the score of the TOEIC-IP test taken in the previous term.
5. Communication ability:
Can actively try to communicate using English .
1 to 5 correspond to the common education standard "general-purpose skills (wide communication ability) for problem solving" and "knowledge about a wide range of humanities, society, and nature".

成績評価の方法と基準

The items listed below are the criteria for evaluation. Credits will be awarded based on a comprehensive judgment based on the indicated ratio. Please note that if you have not taken the TOEIC test for reasons other than health reasons, if your TOEIC score is less than 300, or if your e-learning learning achievement rate is less than 60%, your credit will not be awarded.
In Class Effort: 20% (assignments, quizzes and activities.)
Midterm exam: 10%
Final exam: 20%)
TOEIC-IP Results: 30% (If you have not taken the test or have less than 300 points, you will not be credited)
e -learning: 20% (credits will not be awarded if the learning achievement rate is less than 60%)

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

The procedure for each class is as follows.

You will work from your textbooks as well as participate in discussions and writing exercises throughout each 90 minute session. Students should be expected to answer comprehension questions and demonstrate that they have understood and can implement the English they have learned.

[Class plan]
Week 1: orientation and introductions
week 2: urban living (so + adjective phrase)
Week 3: infinitives and -ing forms in nature (noun + infinitive/-ing)
week 4: the changing environment, discussion and solutions (passive forms)
week 5: endangered species and detailed explanations (unreal conditionals)
week 6: art and culture (adjective clauses -who/that)
Week 7: midterm exam
week 8: art and culture (reviews and critical analysis)
week 9: pop culture and controversy (discussion of current trends and cultural ideas)
Week 10: active and passive tense: describing a process
week 11: predicting the future (unreal conditionals continued)
week 12: writing workshop -editing

week 13: sports and competition (tag questions and getting information)
week 14: safety and danger (negative questions and conversation flow)
week 15: phobias and solutions (adverbials of time)
week 16: final exam

Outside class (schedule is specified separately): TOEIC-IP test
[Advice on self-study]
(1) e-learning (English Central)
Compliant with textbooks using an internet-connected computer or smartphone We will learn English related to TOEIC measures based on the videos. Learning outcomes are recorded on the server and considered as part of the grade. Please work systematically.
(2) Main texts
Texts are used in class. Please prepare for the lesson according to the instructions of the person in charge of the lesson. The specific content of the preparation will differ from class to class.

90 minutes per week should be used for e-learning and homework.

Classes will be held face-to-face.

Note: Due to the current situation with Covid, we may need to switch to online lessons.

教科書・参考書等

World English, 3rd edition
Authors : Christien Lee; Becky Tarver Chase; Kristin L. Johannsen
ISBN: 9780357130261
2,989YEN

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex2 授業科目名　（時間割コード：041202） Communicative English Ⅱ L(2) Communicative English Ⅱ Communicative English II	科目区分 外国語科目	時間割 2022年度 後期金4	対象年次 1～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教ｾﾝﾀｰ ＤＰコード：abx	対象学生 全学生 特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応 ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態　演習	単位数　2	
担当教員名 ビラ　ダビッド	関連授業科目　主題科目領域Ⅰ　経済・社会・文化 履修推奨科目　Communicative English III（2年次に履修）		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験したTOEIC-IPテストのスコアを向上させることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。
In-class participation and effort: 20%
Midterm Exam: 15%
Final Exam: 15%
TOEIC-IPの結果：30%（未受験又は300点未満の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
毎回の授業の進め方は下記の通りです。
授業開始 - 10(20)分：e-learningのサポート等
10(20)分 - 授業終了：テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）

【授業計画】
Note: the following calendar is tentative and may change depending circumstances.
第1回：Introduction of the course.
第2 - 7回：Every week, one unit of the textbook will be covered. The teacher will indicate in class which unit students should prepare for the following week.
第8回：Midterm test
第9-15回：Every week, one unit of the textbook will be covered. The teacher will indicate in class which unit students should prepare for the following week.

授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
(1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
(2) 主テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

この科目は基本的に対面授業で行ないます。なお状況によっては授業形態を遠隔へ変更する可能性があります。

教科書・参考書等

CBS News Break 5. (Nobuhiro Kumai & Stephen Timson) Seibido. ISBN 978-4791972302.

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ
第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041203) Communicative English Ⅱ L(3) Communicative English Ⅱ Communicative English II	**科目区分** 外国語科目	**時間割 2022年度** 後期金4	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 長井 克己，ヒル スティーブ	**関連授業科目** 主題科目領域Ⅰ 経済・社会・文化 **履修推奨科目** Communicative English III (2年次に履修)		

学習時間 授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋ 事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験した TOEIC-IP テストのスコアを向上させることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なお健康上の理由以外でTOEIC未受験の場合、TOEIC が300点未満の場合、またはe-learning の学習達成率が60％未満の場合は単位が認定されませんので注意して下さい。
小テスト・授業での発表等（予習・復習）・期末試験：50％
TOEIC-IPの結果：30％（未受験、または300点未満の場合は単位を認定しない）
e-learning：20％（学習達成率が60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
授業担当者が毎回の授業の進め方について記述してください。毎回の授業がどのように展開されるのか、または授業でどのような活動を行うのかについて具体的に記述してください。

【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2回：教科書UNIT1を取り組む
第3回：教科書UNIT2を取り組む
第4回：教科書UNIT3を取り組む
第5回：教科書UNIT4を取り組む
第6回：UNIT1-4の復習活動スピーキング活動
第7回：教科書UNIT6を取り組む
第8回：教科書UNIT7を取り組む
第9回：教科書UNIT8を取り組む
第10回：教科書UNIT9を取り組む
第11回：UNIT6-9の復習活動やスピーキング活動
第12回：教科書UNIT11を取り組む
第13回：教科書UNIT12を取り組む
第14回：教科書UNIT13を取り組む
第15回：教科書UNIT14を取り組む
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト

【自学自習に関するアドバイス】
(1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
(2) テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

Our World Today. (Adam Murray & Anderson Passos) 南雲堂 . ISBN 978 4523178903.
オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex2 授業科目名　（時間割コード：041204） Communicative English Ⅱ L(4) Communicative English Ⅱ Communicative English II	科目区分 外国語科目	時間割 2022年度 後期金4	対象年次 1～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教ｾﾝﾀｰ ＤＰコード：abx	対象学生 全学生 特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応 ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態　演習	単位数　2	
担当教員名 長井　克己，ジョナサン　ベリー	関連授業科目　主題科目領域Ⅰ　経済・社会・文化 履修推奨科目　Communicative English III（2年次に履修）		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋ 事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験した TOEIC-IP テストのスコアを向上させることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なお健康上の理由以外でTOEIC未受験の場合、TOEIC が300点未満の場合、またはe-learning の学習達成率が60％未満の場合は単位が認定されませんので注意して下さい。

出席・授業貢献度：３０％
小テスト：１０％
期末試験：１０％
TOEIC-IPの結果：30%（未受験、または300点未満の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（学習達成率が60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
　本授業は、テキスト(Intercultural Awareness)を中心に進めていく。また適宜、文法や発音、リスニングの指導も行う。またインプット仮説の観点から、様々な英語の媒体を紹介し、英語を生活の一部とすることを試みる。加えてFree Voluntary Readingという、英語の書物を読む時間も導入する。

【授業計画】
第1回：オリエンテーション、Unit 1
第2回：Unit 2、英文の基本構造
第3回：Unit 3、Free Voluntary Reading 説明
第4回：Unit 4、Free Voluntary Reading 1回目
第5回：Unit 5（小テスト１回目）、Free Voluntary Reading 2回目
第6回：Unit 6、Free Voluntary Reading 3回目、発音
第7回：Unit 7、Free Voluntary Reading 4回目、リスニング（短縮、連結・同化）
第8回：Unit 8、Free Voluntary Reading 5回目、リスニング（脱落、変形）
第9回：Unit 9、Free Voluntary Reading 6回目、リスニング（弱形）
第10回：Unit 10（小テスト2回目）、Free Voluntary Reading 7回目
第11回：Unit 11、Free Voluntary Reading 8回目
第12回：Unit 12、Free Voluntary Reading 9回目
第13回：Unit 13、Free Voluntary Reading 10回目
第14回：Unit 14、Free Voluntary Reading 11回目
第15回：Unit 15（小テスト3回目）、Free Voluntary Reading 12回目
第16回：期末テスト

授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト

【自学自習に関するアドバイス】
(1)　e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づき

TOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
(2)　　テキスト
　授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

Intercultural Awareness CLIL英語で培う文化問題意識（笹島茂,工藤泰三, 荊紅涛, Larry Joe, Hannah Haruna）三修社（2020）ISBN978-4-384-33494-4 C1082

オフィスアワー　　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex2 授業科目名　（時間割コード：041205） Communicative English Ⅱ L(5) Communicative English Ⅱ Communicative English II	科目区分 外国語科目	時間割 2022年度 後期金4	対象年次 1～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教ｾﾝﾀｰ ＤＰコード：abx	対象学生 全学生 特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応 ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態　演習	単位数　2	
担当教員名 長井　克己，森川　光与	関連授業科目　主題科目領域Ⅰ　経済・社会・文化 履修推奨科目　Communicative English III（2年次に履修）		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋ 事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験した TOEIC-IP テストのスコアを向上させることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なお健康上の理由以外でTOEIC未受験の場合、TOEIC が300点未満の場合、またはe-learning の学習達成率が60％未満の場合は単位が認定されませんので注意して下さい。
クラスへの出席・積極的参加：15％
小テスト・期末試験：15％
授業での発表等（予習・復習）：20％
TOEIC-IPの結果：30％（未受験、または300点未満の場合は単位を認定しない）
e-learning：20％（学習達成率が60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
毎週環境に関するテーマの文章を読み、ボキャブラリーを増やします。その学習内容に基づいて、自らが環境について考え、自分の意見を英語で書くまたは話せることを目標としてクラスを進めます。
【授業計画】
使用する教科書の各ユニットに沿って、環境について英語での知識と語彙を増やします。各ユニットの内容を深く掘り下げた上で、期末試験では環境についての自身の意見を発言できるように学習を進めます。また7～９回目の授業ではTOEIC-IP試験に向けた準備も行います。
第1回：オリエンテーション
第2回：Unit 1 Environmental Issues
第3回：Unit 2: Climate Change
第4回：Unit 3: Energy
第5回：Unit 4: Waste
第6回：Review・小テスト
第7回：Unit 6: Population Growth /TOEIC Practice
第8回：Unit 7: Pollution / TOEIC practice
第9回：Unit 8: Water / TOEIC practice
第10回：Unit 9: Deforestation
第11回：Unit 10: Hydroelectricity
第12回：Review・小テスト
第13回：Reading and Group Study for Unit 11-14
第14回：Preparation and review for Final Exam
第15回：期末試験（前半）
テスト期間：期末試験（後半）
上記の計画は予定であり、状況に合わせて進捗スピードや内容を変更する可能性もあります。

授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】

(1)　　e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
(2)　　テキスト
　授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

Our World Today. (Adam Murray & Anderson Passos) 南雲堂 ISBN 978-4523178903

オフィスアワー　　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex2 授業科目名　（時間割コード：041206） Communicative English Ⅱ L(6) Communicative English Ⅱ Communicative English II	科目区分 外国語科目	時間割 2022年度 後期金4	対象年次 1～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教ｾﾝﾀｰ ＤＰコード：abx	対象学生 全学生 特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応 ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態　演習	単位数　2	
担当教員名 長井　克己，瀬良　和彦	関連授業科目　主題科目領域Ⅰ　経済・社会・文化 履修推奨科目　Communicative English III（2年次に履修）		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋ 事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験した TOEIC-IP テストのスコアを向上させることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なお健康上の理由以外でTOEIC未受験の場合、TOEIC が300点未満の場合、またはe-learning の学習達成率が60％未満の場合は単位が認定されませんので注意して下さい。
平常点［提出率・課題内容・小テストなど］30％（４回未提出で単位不認定）
期末テスト20％（未受験の場合は単位を認定しない）
TOEIC-IPの結果：30％（未受験、または300点未満の場合は単位を認定しない）
e-learning：20％（学習達成率が60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
この科目は基本的に遠隔授業を行います。なお状況によっては一部の授業回では対面授業を行います。
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2回：Introduction to Environmental Issues
第3回：Climate Change
第4回：Energy
第5回：Waste
第6回：Review 1: Units 1-4（小テスト）
第7回：Population Growth
第8回：Pollution
第9回：Water
第10回：Deforestation
第11回：Review 2: Units 6-9（小テスト）
第12回：Hydroelectricity
第13回：Solar Panels
第14回：Wind Turbies
第15回：Nuclear Energy
第16回：Review 3: Units 11-14（期末テスト：予定）
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
(1)　e-learning（English Central）
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
(2)　テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等
Our World Today.(Adam Murray & Anderson Passos).2019.Nan'un-do. ISBN:9784523178903.
オフィスアワー　　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。
履修上の注意・担当教員からのメッセージ
第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041207) Communicative English Ⅱ L(7) Communicative English Ⅱ Communicative English II	**科目区分** 外国語科目	**時間割 2022年度** 後期金4	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 長井　克己，篠原　範子	**関連授業科目** 主題科目領域Ⅰ　経済・社会・文化		
	履修推奨科目 Communicative English III (2年次に履修)		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋ 事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験した TOEIC-IP テストのスコアを向上させることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なお健康上の理由以外でTOEIC未受験の場合、TOEIC が300点未満の場合、またはe-learning の学習達成率が60%未満の場合は単位が認定されませんので注意して下さい。
中間　10%・期末　10%・課題　10%・授業での発表など　20%
TOEIC-IPの結果：30%（未受験、または300点未満の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（学習達成率が60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
　テキストに沿って授業を行います。毎回指示された予習を行っていることを前提に授業を行います。詳細な進め方については第１回のオリエンテーションの時に説明します。
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2回：テキスト Unit 1
第3回：テキスト Unit 2
第4回：テキスト Unit 3
第5回：テキスト Unit 4
第6回：テキスト Unit 5
第7回：Mid-term exam
第8回：TOEIC対策
第9回：TOEIC対策
第10回：テキスト Unit 6
第11回：テキスト Unit 7
第12回：テキスト Unit 8
第13回：テキスト Unit 9
第14回：テキスト Unit 10
第15回：テキスト Unit 11
定期試験は15回に含めません。
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
＊上記の予定は状況に応じて変更する場合があります。

【自学自習に関するアドバイス】
(1)　e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
(2)　テキスト

授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。
教科書・参考書等 English Stream: Pre-intermediate (Takeuchi et al.) 2018. 金星堂　ISBN 978-47467406000
オフィスアワー　　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex2 授業科目名　（時間割コード：041208） Communicative English Ⅱ L(8) Communicative English Ⅱ Communicative English II	科目区分 外国語科目	時間割 2022年度 後期金4	対象年次 1～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教ｾﾝﾀｰ ＤＰコード：abx	対象学生 全学生 特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応 ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態　演習	単位数　2	
担当教員名 辻　梨花	関連授業科目　主題科目領域Ⅰ　経済・社会・文化		
	履修推奨科目　Communicative English III（2年次に履修）		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋ 事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験した TOEIC-IP テストのスコアを向上させることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なお健康上の理由以外でTOEIC未受験の場合、TOEIC が300点未満の場合、またはe-learning の学習達成率が60%未満の場合は単位が認定されませんので注意して下さい。
平常点（ディスカッション・授業参加・課題など）：10%
プレゼンテーション：20%
期末試験：20%
TOEIC-IPの結果：30%（未受験、または300点未満の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（学習達成率が60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
本授業では、指定の教材の内容を中心にUnitごとに授業を進めます。基本的にペアワークやグループワークを活用し、英語でコミュニケーションをとる練習をします。よって、積極的な参加が必要です。

【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2回：Unit 1
第3回：Unit 2
第4回：Unit 3
第5回：Unit 4
第6回：Unit 5
第7回：Unit 6
第8回：Unit 7
第9回：Unit 8
第10回：Unit 9
第11回：Unit 10
第12回：Unit 11
第13回：Unit 12
第14回：Unit 13
第15回：Unit 14

授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト

【自学自習に関するアドバイス】
(1)　e-learning（English Central）
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
(2)　テキスト

授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。
教科書・参考書等 Expanding Horizons. 南雲堂. ISBN 978-4523179061.
オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041210) Communicative English Ⅱ JE(1) Communicative English Ⅱ Communicative English II	**科目区分** 外国語科目	**時間割** 2022年度 後期水2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 長井 克己, ガルシア フェルナンデス マリア グデリア	**関連授業科目** 主題科目領域Ⅰ 経済・社会・文化		
	履修推奨科目 Communicative English III (2年次に履修)		

学習時間 授業90分×15回＋自学自習 (English Central (20時間) ＋ 準備学習 (20時間) ＋ 事後学習 (20時間))

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験した TOEIC-IP テストのスコアを向上させることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なお健康上の理由以外でTOEIC未受験の場合、TOEIC が300点未満の場合、またはe-learning の学習達成率が60％未満の場合は単位が認定されませんので注意して下さい。

In-class effort/Assignments: 10%
Midterm exam: 20%
Final Exam: 20
TOEIC-IPの結果：30%（未受験、または300点未満の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（学習達成率が60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】

授業担当者が毎回の授業の進め方について記述してください。毎回の授業がどのように展開されるのか、または授業でどのような活動を行うのかについて具体的に記述してください。

【授業計画】

-Week 1. Orientation - Unit 1. Language Lessons
-Week 2. Unit 2. U.S. Consumers Waste Food
-Week 3. Unit 3. Keeping eSport Athletes in the Game
-Week 4. Unit 4. Adulting Classes for Millennials
-Week 5. Unit 5. Is Your Bottled Water Safe?
-Week 6. Unit 6. Sleepless in Japan
-Week 7. Unit 7. Alarming New Climate Report
-Week 8. Mid-term exam
-Week 9. Unit 8. Cracking the Dress Code: #Ku Too Movement
-Week 10. Unit 9. Grammar Table Lady Offers Advice
-Week 11. Unit 10. Halloween Treats for Kids with Disabilities
-Week 12. Unit 11. A Tax on Tourism?
-Week 13. Unit 12. Japan Really Loves Kit Kat Bars
-Week 14. Unit 13. Mindfulness: Schools in England Teach Students to Relax
-Week 15. Final exam

授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト

【自学自習に関するアドバイス】

(1) e-learning (English Central)

インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。

(2)　　テキスト 　授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。
教科書・参考書等 CBS NewsBreak 5 by Nobuhiro Kumai & Stephen Timson. Seibido (2021) ISBN: 9784791972302
オフィスアワー　　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041211) Communicative English Ⅱ JE(2) Communicative English Ⅱ Communicative English II	**科目区分** 外国語科目	**時間割 2022年度** 後期水2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 長井 克己，アダム・ブロッド	**関連授業科目** 主題科目領域Ⅰ 経済・社会・文化 **履修推奨科目** Communicative English III (2年次に履修)		

学習時間 授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋ 事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験した TOEIC-IP テストのスコアを向上させることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なお健康上の理由以外でTOEIC未受験の場合、TOEIC が300点未満の場合、またはe-learning の学習達成率が60％未満の場合は単位が認定されませんので注意して下さい。
小テスト・授業での発表等（予習・復習）・期末試験：50％
（この50％をどのように振り分けるかは授業担当者が決定してください。）
TOEIC-IPの結果：30％（未受験、または300点未満の場合は単位を認定しない）
e-learning：20％（学習達成率が60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2回：第1章
第3回：第2章
第4回：第10章
第5回：第4章
第6回：第5章
第7回：第6章
第8回：中間テスト
第9回：第7章
第10回：第8章
第11回：第10章
第12回：第11章
第13回：第12章
第14回：第13章
第15回：第15章

授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
(1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
(2) テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等 CBS NewsBreak 5 by Nobuhiro & Stephen Timson, Seibido (2021). ISBN: 9784791972302

オフィスアワー 授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ
第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex2 授業科目名　（時間割コード：041212） Communicative English Ⅱ JE(3) Communicative English Ⅱ Communicative English II	科目区分 外国語科目	時間割 2022年度 後期水2	対象年次 1～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教ｾﾝﾀｰ ＤＰコード：abx	対象学生 全学生 特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応 ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態　演習	単位数　2	
担当教員名 長井　克己，ヒル　スティーブ	関連授業科目　主題科目領域Ⅰ　経済・社会・文化 履修推奨科目　Communicative English III（2年次に履修）		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋ 事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験した TOEIC-IP テストのスコアを向上させることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なお健康上の理由以外でTOEIC未受験の場合、TOEIC が300点未満の場合、またはe-learning の学習達成率が60％未満の場合は単位が認定されませんので注意して下さい。
小テスト・授業での発表等（予習・復習）・期末試験：50％
TOEIC-IPの結果：30％（未受験、または300点未満の場合は単位を認定しない）
e-learning：20％（学習達成率が60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
　授業担当者が毎回の授業の進め方について記述してください。毎回の授業がどのように展開されるのか、または授業でどのような活動を行うのかについて具体的に記述してください。
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2回：教科書UNIT1を取り組む
第3回：教科書UNIT2を取り組む
第4回：教科書UNIT3を取り組む
第5回：教科書UNIT4を取り組む
第6回：UNIT1-4の復習活動スピーキング活動
第7回：教科書UNIT6を取り組む
第8回：教科書UNIT7を取り組む
第9回：教科書UNIT8を取り組む
第10回：教科書UNIT9を取り組む
第11回：UNIT6-9の復習活動やスピーキング活動
第12回：教科書UNIT11を取り組む
第13回：教科書UNIT12を取り組む
第14回：教科書UNIT13を取り組む
第15回：教科書UNIT14を取り組む
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
(1)　e-learning（English Central）
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
(2)　テキスト
　授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

Our World Today. (Adam Murray & Anderson Passos) 南雲堂 . ISBN 978 4523178903.
オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041213) Communicative English Ⅱ JE(4) Communicative English Ⅱ Communicative English II	**科目区分** 外国語科目	**時間割 2022年度** 後期水2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 ビラ　ダビッド	**関連授業科目** 主題科目領域Ⅰ　経済・社会・文化 **履修推奨科目** Communicative English III (2年次に履修)		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋ 事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験した TOEIC-IP テストのスコアを向上させることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。
In-class participation and effort: 20%
Midterm Exam: 15%
Final Exam: 15%
TOEIC-IPの結果：30%（未受験又は300点未満の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
毎回の授業の進め方は下記の通りです。
授業開始 - 10(20)分：e-learningのサポート等
10(20)分 - 授業終了：テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】
Note: the following calendar is tentative and may change depending circumstances.
第1回：Introduction of the course.
第2 - 7回：Every week, one unit of the textbook will be covered. The teacher will indicate in class which unit students should prepare for the following week.
第8回：Midterm test
第9-15回：Every week, one unit of the textbook will be covered. The teacher will indicate in class which unit students should prepare for the following week.
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
(1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
(2) 主テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。
この科目は基本的に対面授業で行ないます。なお状況によっては授業形態を遠隔へ変更する可能性があります。

教科書・参考書等　CBS News Break 5. (Nobuhiro Kumai & Stephen Timson) Seibido. ISBN 978-4791972302.

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041214) Communicative English Ⅱ JE(5) Communicative English Ⅱ Communicative English II	**科目区分** 外国語科目	**時間割 2022年度** 後期水2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 パーキンス　ガレス　エドワード	**関連授業科目** 主題科目領域Ⅰ　経済・社会・文化		
	履修推奨科目 Communicative English III (2年次に履修)		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習 (English Central (20時間) ＋ 準備学習 (20時間) ＋ 事後学習 (20時間))

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. Be able to understand the current state of your English proficiency and set specific learning goals.
2. Reading: You can read and understand plain English directly without relying on the Japanese translation.
3. Listening: Understand the main points of short English sentences spoken at natural speed.
4. TOEIC: You can improve the score of the TOEIC-IP test taken in the previous term.
5. Communication ability:
Can actively try to communicate using English .
1 to 5 correspond to the common education standard "general-purpose skills (wide communication ability) for problem solving" and "knowledge about a wide range of humanities, society, and nature".

成績評価の方法と基準

The items listed below are the criteria for evaluation. Credits will be awarded based on a comprehensive judgment based on the indicated ratio. Please note that if you have not taken the TOEIC test for reasons other than health reasons, if your TOEIC score is less than 300, or if your e-learning learning achievement rate is less than 60%, your credit will not be awarded.
In Class Effort: 20% (assignments, quizzes and activities.)
Midterm exam: 10%
Final exam: 20%)
TOEIC-IP Results: 30% (If you have not taken the test or have less than 300 points, you will not be credited)
e -learning: 20% (credits will not be awarded if the learning achievement rate is less than 60%)

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

The Procedure For Each Class Is As Follows

Each class will begin with a review of the previous weeks topic as well as feedback on E-learning. Students will work from their textbooks and be expected to participate in discussions as well as demonstrate comprehension.

[Class Plan]
1St: Orientation
Week 1: keeping animals (have to/ mustn't / should / shouldn't + infinitive)
week 2: gap years and travel (gerunds and travel advice)
Week 3: what is wealth? (money and spending)
Week 4: globalization and discussing other cultures (frequency and stereotypes)
week 5: college and school language (past tense and past perfect)
week 6: How paper is made -processes (introduction to passive form)
Week 7: midterm exam
week 8: email and letter writing (formal vs casual writing styles)
week 9: rules for success (second conditional grammar)
week 10: holidays and rest (describing routines)
week 11: hotels and booking (semi-formal English for making reservations and inquiries)
week 12: space, travel and the future (speculative English and future conditionals)
week 13: interviews and reported speech (introduction to using reported speech)
week 14: brevity in writing (editing)
Week 15 preparation for final exam

Week 16: final exam
Outside Class (Schedule Is Specified Separately): TOEIC-IP test
[Advice on self-study]
(1) e-learning (English Central)
Compliant with textbooks using an internet-connected computer or smartphone We will learn English related to TOEIC measures based on the videos. Learning outcomes are recorded on the server and considered as part of the grade. Please work systematically.
(2) Main texts
Texts are used in class. Please prepare for the lesson according to the instructions of the person in charge of the lesson. The specific content of the preparation will differ from class to class.

90 minutes per week should be used for e-learning and homework .

Classes will be held face-to-face.

Note: Due to the current situation with Covid, we may need to switch to online lessons.

教科書・参考書等

English Stream (pre intermediate)
Osamu Takeuchi
ISBN: 978-4-7647-4060-0
1,800YEN

オフィスアワー　Please decide the date and time after consulting with the teacher at the time of class.

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

At the orientation held in the first class, we will explain how to proceed with the class, TOEIC, and e-learning. Please be sure to purchase the designated textbook and attend the first class.

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041215) Communicative English Ⅱ JE(6) Communicative English Ⅱ Communicative English II	**科目区分** 外国語科目	**時間割 2022年度** 後期水2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 長井 克己，森川 光与	**関連授業科目** 主題科目領域Ⅰ 経済・社会・文化		
	履修推奨科目 Communicative English III (2年次に履修)		

学習時間 授業90分×15回＋自学自習 (English Central (20時間) ＋ 準備学習 (20時間) ＋ 事後学習 (20時間))

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験した TOEIC-IP テストのスコアを向上させることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なお健康上の理由以外でTOEIC未受験の場合、TOEIC が300点未満の場合、またはe-learning の学習達成率が60％未満の場合は単位が認定されませんので注意して下さい。
クラスへの出席・積極的参加：15％
小テスト・期末試験：15％
授業での発表等（予習・復習）：20％
TOEIC-IPの結果：30％（未受験、または300点未満の場合は単位を認定しない）
e-learning：20％（学習達成率が60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
毎週環境に関するテーマの文章を読み、ボキャブラリーを増やします。その学習内容に基づいて、自らが環境について考え、自分の意見を英語で書くまたは話せることを目標としてクラスを進めます。
【授業計画】
使用する教科書の各ユニットに沿って、環境について英語での知識と語彙を増やします。各ユニットの内容を深く掘り下げた上で、期末試験では環境についての自身の意見を発言できるように学習を進めます。また7～９回目の授業ではTOEIC-IP試験に向けた準備も行います。
第1回：オリエンテーション
第2回：Unit 1 Environmental Issues
第3回：Unit 2: Climate Change
第4回：Unit 3: Energy
第5回：Unit 4: Waste
第6回：Review・小テスト
第7回：Unit 6: Population Growth /TOEIC Practice
第8回：Unit 7: Pollution / TOEIC practice
第9回：Unit 8: Water / TOEIC practice
第10回：Unit 9: Deforestation
第11回：Unit 10: Hydroelectricity
第12回：Review・小テスト
第13回：Reading and Group Study for Unit 11-14
第14回：Preparation and review for Final Exam
第15回：期末試験（前半）
テスト期間：期末試験（後半）
上記の計画は予定であり、状況に合わせて進捗スピードや内容を変更する可能性もあります。

授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
(1) e-learning (English Central)

インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
(2)　　テキスト
　授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

Our World Today. (Adam Murray & Anderson Passos) 南雲堂 ISBN 978-4523178903

オフィスアワー　　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041216) Communicative English Ⅱ JE(7) Communicative English Ⅱ Communicative English II	**科目区分** 外国語科目	**時間割 2022年度** 後期水2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 長井 克己，中島 友愛	**関連授業科目** 主題科目領域Ⅰ 経済・社会・文化		
	履修推奨科目 Communicative English III (2年次に履修)		

学習時間 授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋ 事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験した TOEIC-IP テストのスコアを向上させることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なお健康上の理由以外でTOEIC未受験の場合、TOEIC が300点未満の場合、またはe-learning の学習達成率が60％未満の場合は単位が認定されませんので注意して下さい。

毎回の提出課題：20%
期末試験：20%
授業への熱心なとりくみ：10%
TOEIC-IPの結果：30%（未受験、または300点未満の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（学習達成率が60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】

・e-learningなどについての伝達(冒頭5分)
・教科書を使用しての演習
・最後の約15分はTOEIC演習、またはスピーキングやライティング等の英語創作活動

※この授業は全回対面授業を行います。
(新型コロナウイルス感染症への大学の対応方針が変更になる場合はこれに準じます。
第1回の授業形態については、直前の感染拡大状況により遠隔授業になることもありえますので、開講直前に配信されるドリームキャンパスのメッセージで指示を必ず確認してください。)
授業形態にかかわらず第1回授業までに必ず教科書を購入しておいてください。

【授業計画】

第1回：オリエンテーション(教科書必携)
　　進め方・課題・成績評価方法等を詳細に解説
第2回：教科書Unit 1 ＋ 最後の15分はTOEIC演習
第3回：教科書Unit 2 ＋ 最後の15分はTOEIC演習
第4回：教科書Unit 3 ＋ 最後の15分はTOEIC演習
第5回：教科書Unit 4 ＋ 最後の15分はTOEIC演習
第6回：教科書Unit 5 ＋ 最後の15分はTOEIC演習
第7回：教科書Unit 6 ＋ 最後の15分はTOEIC演習
第8回：教科書Unit 7 ＋ 最後の15分はTOEIC演習
第9回：TOEIC-IPテスト直前対策学習を配布プリントを用いて90分間行う
第10回：教科書Unit 8 ＋ 最後の15分は英語創作活動
第11回：教科書Unit 9 ＋ 最後の15分は英語創作活動
第12回：教科書Unit 10 ＋ 最後の15分は英語創作活動
第13回：教科書Unnit 11 ＋ 最後の15分は英語創作活動
第14回：教科書Unit 12 ＋ 期末テスト説明 ＋ アンケート

第15回：教科書Unit 13 +　期末テスト説明　+　アンケート
期末テスト

※TOEIC-IPテストの実施日が変更になる場合は、上記の予定が変更になる場合があります。

授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト

【自学自習に関するアドバイス】
(1)　　e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
(2)　　テキスト
　授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

CBS NewsBreak 5 (Nobuhiro Kumai & Stephen Timson) 2021 成美堂.
ISBN 978-4-7919-7230-2

オフィスアワー　　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041217) Communicative English Ⅱ JE(8) Communicative English Ⅱ Communicative English II	**科目区分** 外国語科目	**時間割 2022年度** 後期水2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 長井 克己，竹中 千鶴	**関連授業科目** 主題科目領域Ⅰ 経済・社会・文化 **履修推奨科目** Communicative English III (2年次に履修)		

学習時間 授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋ 事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験した TOEIC-IP テストのスコアを向上させることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なお健康上の理由以外でTOEIC未受験の場合、TOEIC が300点未満の場合、またはe-learning の学習達成率が60％未満の場合は単位が認定されませんので注意して下さい。
予習・授業中の発表; 15%, 復習・課題：15%
中間・期末試験：20％（必須）
TOEIC-IPの結果：30%（未受験、または300点未満の場合は単位を認定しない）
e-learning：20％（学習達成率が60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】

授業では、まず、予習の段階でどの程度素材のNewsを理解できているかをクラス全体で確認します。そして、Dictation活動、シャドウイング活動、さらには、ペアやグループでNewsを素材に会話練習やディスカッションをします。また、課題としてWritingを提出してもらうこともあります。 この授業は全回対面授業を行います。

【授業計画】
第 1回：オリエンテーション
第 2回：Unit 1
第 3回：Unit 2
第 4回：Unit 3
第 5回：Unit 4
第 6回：Unit 5
第 7回：Unit 6
第 8回：中間テスト
第 9回：Unit 7
第10回：Unit 8
第11回：Unit 9
第12回：Unit 10
第13回：Unit 11
第14回：Unit 12
第15回：Unit 13

(授業の進捗状況、その他により日程は変更の可能性があります。)
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト

【自学自習に関するアドバイス】
(1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づき

TOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
(2)　　テキスト
　授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

Nobuhiro Kumai & Stephen Timson.(2021). CBS News Break 5. Seibido.　ISBN 978-4-7919-7230-2

オフィスアワー　　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041218) Communicative English Ⅱ JE(9) Communicative English Ⅱ Communicative English II	**科目区分** 外国語科目	**時間割 2022年度** 後期水2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 中井　富紀	**関連授業科目** 主題科目領域Ⅰ　経済・社会・文化 **履修推奨科目** Communicative English III (2年次に履修)		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習 (English Central (20時間) ＋ 準備学習 (20時間) ＋ 事後学習 (20時間))

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験した TOEIC-IP テストのスコアを向上させることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なお健康上の理由以外でTOEIC未受験の場合、TOEIC が300点未満の場合、またはe-learning の学習達成率が60％未満の場合は単位が認定されませんので注意して下さい。
予習（語いリスト）20%　期末試験：30%
TOEIC-IPの結果：30%（未受験、または300点未満の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（学習達成率が60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
＊マスク着用、教室の全もしくは一部の窓開放の上、対面で授業を実施する。Whole language approachのコンセプトの基に、speakingのみならず、reading、listeningの技能の改善を目指して、多様な演習活動を個人、ペア、グループなどで行う。

【授業計画】
第1回：Course work introduction（コースワーク紹介）
第2回：unit 1 Food for Life
第3回： unit 2 Express Yourself
第4回：unit 3 Cities
第5回：unit 4 The Body
第6回：unit 5 Challenges
第7回 ： unit 6 Transitions
第8回 ： unit 7 Things that Matter
第9回 ： unit 8 Conservation
第10回 ： unit 9 Life now and in the Past
第11回 ： unit 10 Travel
第12回：unit 11 Careers
第13回：unit 12 Celebrations
第14回：Review #1
第15回：Review #2
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト

【自学自習に関するアドバイス】
(1)e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
(2)テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

World English 2 third edition. Kristin L.Johnnsen and Rebecca Tarver Chase. National Geographic Learning. a Cengage Company ISBN 978-0-357-13021-6

オフィスアワー　月、水、木曜日の３時～４時３０分までの間自由に来てください。場所は北キャンパス教育学部棟３号館４階です。Welcome!

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041219) Communicative English Ⅱ JE(10) Communicative English Ⅱ Communicative English II	**科目区分** 外国語科目	**時間割 2022年度** 後期水2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 水野 康一	**関連授業科目** 主題科目領域Ⅰ 経済・社会・文化		
	履修推奨科目 Communicative English III (2年次に履修)		

学習時間 授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋ 事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験したTOEIC-IPテストのスコアを向上させることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なお健康上の理由以外でTOEIC未受験の場合、TOEIC が300点未満の場合、またはe-learning の学習達成率が60%未満の場合は単位が認定されませんので注意して下さい。
小テスト・授業での発表等（予習・復習）・期末試験：50%
TOEIC-IPの結果：30%（未受験、または300点未満の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（学習達成率が60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
基本的に毎回テキストに沿って授業を行う。予習を前提として文法の解説（教員による），問題演習（受講者から1人ずつ指名）を行う。なお，授業の最初と最後に小テストを実施し，予習状況および理解度を確認する。

【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2回：Unit 1 What's your major?
第3回：Unit 2 How do you like your new school?
第4回：Unit 3 Let me introduce a new member to you.
第5回：Unit 4 How was your Golden Week?
第6回：Unit 5 I'm looking for a part-time job.
第7回：Unit 6 What do you call this in Japanese?
第8回：Unit 7 Have you been there?
第9回：Unit 8 Could you tell me how to get there?
第10回：Unit 9 What do you want me to do?
第11回：Unit 10 I'm on a tight budget.
第12回：Unit 11 What do you think of this program?
第13回：Unit 12 I'm reviewing what I studied.
第14回：Unit 13 Final exam week is so stressful!
第15回：Unit 14 Is this your first trip abroad?
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト

【自学自習に関するアドバイス】
(1)e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。

(2)テキスト

授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。
教科書・参考書等 Let's Read Aloud & Learn English: On Campus (Kadoyama & Capper) 成美堂　2019年 2200円＋税
オフィスアワー　　月曜４時限（幸町南２号館３階　水野研究室）
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041220) Communicative English Ⅱ JE(11) Communicative English Ⅱ Communicative English II	**科目区分** 外国語科目	**時間割** 2022年度 後期水2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 長井　克己	**関連授業科目** 主題科目領域Ⅰ　経済・社会・文化		
	履修推奨科目 Communicative English III (2年次に履修)		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習 (English Central (20時間) ＋ 準備学習 (20時間) ＋ 事後学習 (20時間))

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験した TOEIC-IP テストのスコアを向上させることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なお健康上の理由以外でTOEIC未受験の場合、TOEIC が300点未満の場合、またはe-learning の学習達成率が60％未満の場合は単位が認定されませんので注意して下さい。

・毎週の活動:10%（教科書のヘッドホンマーク部分の書き取り3問の小テスト(Quiz)×4回を10/12倍する）
・中間試験1：20%（教科書本文の空所補充20問，online practiceとe-Bookからも一部出題する）
・中間試験2：20%（中間試験1と同じ）
・TOEIC：30%（スコアが300未満の場合は単位を認定しない）
・e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
この科目は基本的に対面授業を行います。
ただし新型コロナウイルスの感染状況により，遠隔授業に変更する可能性があります。緊急連絡は教務システム(Dream Campus)で行いますので，指示に従ってください。

【授業計画】
wk 1 (Oct 5): introduction to the course / mock TOEIC 1
wk 2 (Oct 12): unit 1A People
wk 3 (Oct 19): unit 1B Lessons Learned / mock TOEIC 2
wk 4 (Oct 26): unit 2A Foods We Like / Quiz 1
wk 5 (Nov 2): unit 2B Eating Well / mock TOEIC 3
wk 6 (Nov 9): unit 3A You're in Luck / Quiz 2
wk 7 (Nov 16): unit 3B Unsolved Misteries / mock TOEIC 4
wk 8 (Nov 30): tutorial / mid-term exam 1
wk 9 (Dec 7): unit 4A How We Shop / mock TOEIC 5
授業外 (Dec 10) ：TOEIC L&Rテスト
wk 10 (Dec 14): unit 4B Fashion on Demand
wk 11 (Dec 21): Unit 5A Cgries abd Errabds / Quiz 3
wk 12 (Jan 11): Unit 5B Getting Around
wk 13 (Jan 18): Unit 6A Starting Out / Quiz 4
wk 14 (Jan 25): tutorial / mid-term exam 2
wk 15 (Feb 1): Unit 6B After Graduation
授業外（締切は別途指示）：e-learning

【自学自習に関するアドバイス】
(1)e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づき

TOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。 (2)テキスト 授業では教科書を使用します。指示に従って予習と復習をして下さい。
教科書・参考書等 World Link (4th ed) Combo Split 2A with Online Practice and e-book. Cengage. ISBN 978-0357-503836.
オフィスアワー　　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 第１回目の授業で授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041221) Communicative English Ⅱ JE(12) Communicative English Ⅱ Communicative English II	**科目区分** 外国語科目	**時間割 2022年度** 後期水2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 ウィリアムズ　厚子	**関連授業科目** 主題科目領域Ⅰ　経済・社会・文化		
	履修推奨科目 Communicative English III (2年次に履修)		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習 (English Central (20時間) ＋ 準備学習 (20時間) ＋ 事後学習 (20時間))

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験した TOEIC-IP テストのスコアを向上させることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なお健康上の理由以外でTOEIC未受験の場合、TOEIC が300点未満の場合、またはe-learning の学習達成率が60％未満の場合は単位が認定されませんので注意して下さい。
小テスト: 20%
期末試験：30%
TOEIC-IPの結果：30%（未受験又は300点未満の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（獲得ポイントが60％未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
開始 - 10(20)分：e-learningのサポート等　会話練習
10(20)分 - 授業終了：テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）

【授業計画】各週の授業内容についてはMoodle のトピックを確認してください。
第１回：オリエンテーション　Unit 1 Develop Your Intercultural Awareness
第２回：Unit 2 Understand Intercultural Diversity in Peoples and Places
第３回：Unit 3 Be a Good Consumer
第４回：Unit 4 Learn about Food, Culture and Society
第５回：Unit 5 Have Better Lifestyles in Different Cultures
第６回：Unit 6 Be an Intercultural Traveler / 小テスト(Moodle)
第７回：Unit 7 Cultivate Global Citizenship
第８回：Unit 8 Study the Education System
第９回：Unit 9 Appreciate the Arts
第10回：Unit10 See the Potential of Artificial Intelligence(AI)
第11回：Unit11 Change Your Attitude toward Gender Roles / 小テスト(Moodle)
第12回：Unit12 Live Well in a Cashless Society
第13回：Unit13 Pray for No More Wars and Just Peace
第14回：Unit14 Address Immigration Issues
第15回：Unit15 Engage a Lot More in Globalization
期末試験

授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト

【自学自習に関するアドバイス】
(1)　e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。

(2)　　テキスト 授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。
教科書・参考書等 Intercultural Awareness CLIL 英語で培う文化間意識　笹島茂他　三修社　2020 ISBN978-4-384-33494-4
オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041222) Communicative English Ⅱ JE(13) Communicative English Ⅱ Communicative English II	**科目区分** 外国語科目	**時間割 2022年度** 後期木2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 ビラ ダビッド	**関連授業科目** 主題科目領域Ⅰ 経済・社会・文化		
	履修推奨科目 Communicative English III (2年次に履修)		

学習時間 授業90分×15回＋自学自習 (English Central (20時間) ＋ 準備学習 (20時間) ＋ 事後学習 (20時間))

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験した TOEIC-IP テストのスコアを向上させることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。

In-class participation and effort: 20%
Midterm Exam: 15%
Final Exam: 15%
TOEIC-IPの結果：30% (未受験又は300点未満の場合は単位を認定しない)
e-learning：20% (獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない)

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
毎回の授業の進め方は下記の通りです。
授業開始 - 10(20)分：e-learningのサポート等
10(20)分 - 授業終了：テキストを使用しての演習 (コミュニケーション活動)
【授業計画】
Note: the following calendar is tentative and may change depending circumstances.
第1回：Introduction of the course.
第2 - 7回：Every week, one unit of the textbook will be covered. The teacher will indicate in class which unit students should prepare for the following week.
第8回：Midterm test
第9-15回：Every week, one unit of the textbook will be covered. The teacher will indicate in class which unit students should prepare for the following week.

授業外 (日程は別途指示) ：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
(1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
(2) 主テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

この科目は基本的に対面授業で行ないます。なお状況によっては授業形態を遠隔へ変更する可能性があります。

教科書・参考書等

CBS News Break 5. (Nobuhiro Kumai & Stephen Timson) Seibido. ISBN 978-4791972302.

オフィスアワー 授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ
第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041223) Communicative English Ⅱ JE(14) Communicative English Ⅱ Communicative English II	**科目区分** 外国語科目	**時間割 2022年度** 後期木2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 パーキンス　ガレス　エドワード	**関連授業科目** 主題科目領域Ⅰ　経済・社会・文化		
	履修推奨科目 Communicative English III (2年次に履修)		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習 (English Central (20時間) ＋ 準備学習 (20時間) ＋ 事後学習 (20時間))

授業の概要

A wide range of communication skills is one of the skills that all Kagawa University students are required to acquire. Classes consist of understanding English using four skill-integrated teaching materials such as DVD teaching materials, and expressing one's thoughts based on the understood contents. Outside of class, we aim to improve our basic English skills by using e-learning. All students will take the TOEIC-IP test during the semester.

授業の目的

The purpose of this class is to acquire "basic ability to communicate using English".

到達目標

1. Be able to understand the current state of your English proficiency and set specific learning goals.
2. Reading: You can read and understand plain English directly without relying on the Japanese translation.
3. Listening: Understand the main points of short English sentences spoken at natural speed.
4. TOEIC: You can improve the score of the TOEIC-IP test taken in the previous term.
5. Communication ability:
Can actively try to communicate using English .
1 to 5 correspond to the common education standard "general-purpose skills (wide communication ability) for problem solving" and "knowledge about a wide range of humanities, society, and nature".

成績評価の方法と基準

The items listed below are the criteria for evaluation. Credits will be awarded based on a comprehensive judgment based on the indicated ratio. Please note that if you have not taken the TOEIC test for reasons other than health reasons, if your TOEIC score is less than 300, or if your e-learning learning achievement rate is less than 60%, your credit will not be awarded.
In Class Effort: 20% (assignments, quizzes and activities.)
Midterm exam: 10%
Final exam: 20%)
TOEIC-IP Results: 30% (If you have not taken the test or have less than 300 points, you will not be credited)
e -learning: 20% (credits will not be awarded if the learning achievement rate is less than 60%)

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

The Procedure For Each Class Is As Follows

Each class will begin with a review of the previous weeks topic as well as feedback on E-learning. Students will work from their textbooks and be expected to participate in discussions as well as demonstrate comprehension.

[Class Plan]
1St: Orientation
Week 1: keeping animals (have to/ mustn't / should / shouldn't + infinitive)
week 2: gap years and travel (gerunds and travel advice)
Week 3: what is wealth? (money and spending)
Week 4: globalization and discussing other cultures (frequency and stereotypes)
week 5: college and school language (past tense and past perfect)
week 6: How paper is made -processes (introduction to passive form)
Week 7: midterm exam
week 8: email and letter writing (formal vs casual writing styles)
week 9: rules for success (second conditional grammar)
week 10: holidays and rest (describing routines)
week 11: hotels and booking (semi-formal English for making reservations and inquiries)
week 12: space, travel and the future (speculative English and future conditionals)
week 13: interviews and reported speech (introduction to using reported speech)
week 14: brevity in writing (editing)

Week 15 preparation for final exam
Week 16: final exam
Outside Class (Schedule Is Specified Separately): TOEIC-IP test
[Advice on self-study]
(1) e-learning (English Central)
Compliant with textbooks using an internet-connected computer or smartphone We will learn English related to TOEIC measures based on the videos. Learning outcomes are recorded on the server and considered as part of the grade. Please work systematically.
(2) Main texts
Texts are used in class. Please prepare for the lesson according to the instructions of the person in charge of the lesson. The specific content of the preparation will differ from class to class.

90 minutes per week should be used for e-learning and homework .

Classes will be held face-to-face.

Note: Due to the current situation with Covid, we may need to switch to online lessons.

教科書・参考書等

English Stream (pre intermediate)
Osamu Takeuchi
ISBN: 978-4-7647-4060-0
1,800YEN

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041224) Communicative English Ⅱ JE(15) Communicative English Ⅱ Communicative English II	**科目区分** 外国語科目	**時間割 2022年度** 後期木2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 長井 克己，瀬良 和彦	**関連授業科目** 主題科目領域Ⅰ 経済・社会・文化 **履修推奨科目** Communicative English III（2年次に履修）		

学習時間 授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋ 事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験したTOEIC-IPテストのスコアを向上させることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なお健康上の理由以外でTOEIC未受験の場合、TOEIC が300点未満の場合、またはe-learning の学習達成率が60％未満の場合は単位が認定されませんので注意して下さい。
平常点［提出率・課題内容・小テストなど］30％（４回未提出で単位不認定）
期末テスト20％（未受験の場合は単位を認定しない）
TOEIC-IPの結果：30％（未受験、または300点未満の場合は単位を認定しない）
e-learning：20％（学習達成率が60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
この科目は基本的に遠隔授業を行います。なお状況によっては一部の授業回では対面授業を行います。
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2回：Introduction to Environmental Issues
第3回：Climate Change
第4回：Energy
第5回：Waste
第6回：Review 1: Units 1-4（小テスト）
第7回：Population Growth
第8回：Pollution
第9回：Water
第10回：Deforestation
第11回：Review 2: Units 6-9（小テスト）
第12回：Hydroelectricity
第13回：Solar Panels
第14回：Wind Turbies
第15回：Nuclear Energy
第16回：Review 3: Units 11-14（期末テスト：予定）
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
(1) e-learning（English Central）
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
(2) テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等
Our World Today.(Adam Murray & Anderson Passos).2019.Nan'un-do. ISBN:9784523178903.
オフィスアワー　　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。
履修上の注意・担当教員からのメッセージ
第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041225) Communicative English Ⅱ JE(16) Communicative English Ⅱ Communicative English II	**科目区分** 外国語科目	**時間割 2022年度** 後期木2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 長井 克己，篠原 範子	**関連授業科目** 主題科目領域Ⅰ 経済・社会・文化 **履修推奨科目** Communicative English III（2年次に履修）		

学習時間 授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋ 事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験したTOEIC-IPテストのスコアを向上させることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なお健康上の理由以外でTOEIC未受験の場合、TOEIC が300点未満の場合、またはe-learning の学習達成率が60%未満の場合は単位が認定されませんので注意して下さい。
中間 10%・期末 10%・課題 10%・授業での発表など 20%
TOEIC-IPの結果：30%（未受験、または300点未満の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（学習達成率が60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
テキストに沿って授業を行います。毎回指示された予習を行っていることを前提に授業を行います。詳細な進め方については第１回のオリエンテーションの時に説明します。

【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2回：テキスト Unit 1
第3回：テキスト Unit 2
第4回：テキスト Unit 3
第5回：テキスト Unit 4
第6回：テキスト Unit 5
第7回：Mid-term exam
第8回：TOEIC対策
第9回：TOEIC対策
第10回：テキスト Unit 6
第11回：テキスト Unit 7
第12回：テキスト Unit 8
第13回：テキスト Unit 9
第14回：テキスト Unit 10
第15回：テキスト Unit 11
定期試験は15回に含めません。
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
＊上記の予定は状況に応じて変更する場合があります。

【自学自習に関するアドバイス】
(1) e-learning（English Central）
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。

(2) テキスト

授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。
教科書・参考書等 English Stream: Pre-intermediate (Takeuchi et al.) 2018. 金星堂　ISBN 978-47467406000
オフィスアワー　　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex2 授業科目名　（時間割コード：041226） Communicative English Ⅱ JE(17) Communicative English Ⅱ Communicative English II	科目区分 外国語科目	時間割 2022年度 後期木2	対象年次 1～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教ｾﾝﾀｰ ＤＰコード：abx	対象学生 全学生 特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応 ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態　演習	単位数　2	
担当教員名 長井　克己，竹中　千鶴	関連授業科目　主題科目領域Ⅰ　経済・社会・文化 履修推奨科目　Communicative English III（2年次に履修）		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋ 事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験した TOEIC-IP テストのスコアを向上させることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なお健康上の理由以外でTOEIC未受験の場合、TOEIC が300点未満の場合、またはe-learning の学習達成率が60％未満の場合は単位が認定されませんので注意して下さい。
予習・授業中の発表：15%，復習・課題：15%
中間・期末試験：20％(必須)
TOEIC-IPの結果：30%（未受験、または300点未満の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（学習達成率が60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
　授業では、まず、予習の段階でどの程度素材のNewsを理解できているかをクラス全体で確認します。そして、Dictation活動、シャドウイング活動、さらには、ペアやグループでNewsを素材に会話練習やディスカッションをします。また、課題としてWritingを提出してもらうこともあります。　この授業は全回対面授業を行います。

【授業計画】
第 1回：オリエンテーション
第 2回：Unit　1
第 3回：Unit　2
第 4回：Unit　3
第 5回：Unit　4
第 6回：Unit　5
第 7回：Unit　6
第 8回：中間テスト
第 9回：Unit　7
第10回：Unit　8
第11回：Unit　9
第12回：Unit 10
第13回：Unit 11
第14回：Unit 12
第15回：Unit 13
（授業の進捗状況、その他により日程は変更の可能性があります。）

授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト

【自学自習に関するアドバイス】
(1)e-learning（English Central）

インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
(2)テキスト
　授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

Nobuhiro Kumai & Stephen Timson.(2021). CBS News Break 5. Seibido.　ISBN 978-4-7919-7230-2

オフィスアワー　　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex2 授業科目名　（時間割コード：041227） Communicative English Ⅱ JE(18) Communicative English Ⅱ Communicative English II	科目区分 外国語科目	時間割 2022年度 後期木2	対象年次 1～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教ｾﾝﾀｰ ＤＰコード：abx	対象学生 全学生 特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応 ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態　演習	単位数　2	
担当教員名 ウィリアムズ　厚子	関連授業科目　主題科目領域Ⅰ　経済・社会・文化 履修推奨科目　Communicative English III（2年次に履修）		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋ 事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験した TOEIC-IP テストのスコアを向上させることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なお健康上の理由以外でTOEIC未受験の場合、TOEIC が300点未満の場合、またはe-learning の学習達成率が60％未満の場合は単位が認定されませんので注意して下さい。
小テスト:20%
期末試験：30%
TOEIC-IPの結果：30%（未受験又は300点未満の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（獲得ポイントが60％未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
毎回の授業の進め方は下記の通りです。
開始 - 10(20)分：e-learningのサポート等　会話練習
10(20)分 - 授業終了：テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）

【授業計画】各週の授業内容についてはMoodle のトピックを確認してください。
第１回：オリエンテーション　Unit 1 Develop Your Intercultural Awareness
第２回：Unit 2 Understand Intercultural Diversity in Peoples and Places
第３回：Unit 3 Be a Good Consumer
第４回：Unit 4 Learn about Food, Culture and Society
第５回：Unit 5 Have Better Lifestyles in Different Cultures
第６回：Unit 6 Be an Intercultural Traveler / 小テスト(Moodle)
第７回：Unit 7 Cultivate Global Citizenship
第８回：Unit 8 Study the Education System
第９回：Unit 9 Appreciate the Arts
第10回：Unit10 See the Potential of Artificial Intelligence(AI)
第11回：Unit11 Change Your Attitude toward Gender Roles / 小テスト(Moodle)
第12回：Unit12 Live Well in a Cashless Society
第13回：Unit13 Pray for No More Wars and Just Peace
第14回：Unit14 Address Immigration Issues
第15回：Unit15 Engage a Lot More in Globalization
期末試験

授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト

【自学自習に関するアドバイス】
(1)e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づき

TOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。

(2)テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

Intercultural Awareness CLIL 英語で培う文化間意識　笹島茂他　三修社　2020
ISBN978-4-384-33494-4

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041229) Communicative English Ⅱ T(1) Communicative English Ⅱ Communicative English II	**科目区分** 外国語科目	**時間割 2022年度** 後期月2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 長井 克己, カリコ ラファエル ケアロハ	**関連授業科目** 主題科目領域Ⅰ 経済・社会・文化		
	履修推奨科目 Communicative English III (2年次に履修)		

学習時間 授業90分×15回＋自学自習 (English Central (20時間) ＋ 準備学習 (20時間) ＋ 事後学習 (20時間))

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験した TOEIC-IP テストのスコアを向上させることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なお健康上の理由以外でTOEIC未受験の場合、TOEIC が300点未満の場合、またはe-learning の学習達成率が60%未満の場合は単位が認定されませんので注意して下さい。
小テスト・授業での発表等（予習・復習）・期末試験：50%
TOEIC-IPの結果：30%（未受験、または300点未満の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（学習達成率が60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
　授業担当者が毎回の授業の進め方について記述してください。毎回の授業がどのように展開されるのか、または授業でどのような活動を行うのかについて具体的に記述してください。
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2－15回：1回ずつ内容を記載してください。定期試験は15回に含めません。
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
(1)　e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
(2)　テキスト
　授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

SDGsxDiscussion (Yoshihara, Hayashi, Itoi, Iwamoto, Morrell). 2022. Kinseido. ISBN 978-4-7647-4150-8

オフィスアワー 授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 授業科目名 (時間割コード：041230) Communicative English Ⅱ T(2) Communicative English Ⅱ Communicative English II	科目区分 外国語科目	時間割 2022年度 後期月2	対象年次 1～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教ｾﾝﾀｰ ＤＰコード：abx	対象学生 全学生 特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応 ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	単位数 2	
担当教員名 ビラ ダビッド	関連授業科目 主題科目領域Ⅰ 経済・社会・文化 履修推奨科目 Communicative English III (2年次に履修)		

学習時間 授業90分×15回＋自学自習 (English Central (20時間) ＋ 準備学習 (20時間) ＋ 事後学習 (20時間))

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験した TOEIC-IP テストのスコアを向上させることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。
In-class participation and effort: 20%
Midterm Exam: 15%
Final Exam: 15%
TOEIC-IPの結果：30%（未受験又は300点未満の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
毎回の授業の進め方は下記の通りです。
授業開始 - 10(20)分：e-learningのサポート等
10(20)分 - 授業終了：テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）

【授業計画】
Note: the following calendar is tentative and may change depending circumstances.
第1回：Introduction of the course.
第2 - 7回：Every week, one unit of the textbook will be covered. The teacher will indicate in class which unit students should prepare for the following week.
第8回：Midterm test
第9-15回：Every week, one unit of the textbook will be covered. The teacher will indicate in class which unit students should prepare for the following week.

授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
(1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
(2) 主テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

この科目は基本的に対面授業で行ないます。なお状況によっては授業形態を遠隔へ変更する可能性があります。

教科書・参考書等

Our World Today. (Adam Murray & Anderson Passos) 南雲堂. ISBN 9784523178903.

オフィスアワー 授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ
第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex2 授業科目名　（時間割コード：041231） Communicative English Ⅱ T(3) Communicative English Ⅱ Communicative English II	科目区分 外国語科目	時間割 2022年度 後期月2	対象年次 1～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教ｾﾝﾀｰ ＤＰコード：abx	対象学生 全学生 特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応 ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態　演習	単位数　2	
担当教員名 ウィリー・イアン・デビッド	関連授業科目　主題科目領域Ⅰ　経済・社会・文化 履修推奨科目　Communicative English III（2年次に履修）		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋ 事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験した TOEIC-IP テストのスコアを向上させることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なお健康上の理由以外でTOEIC未受験の場合、TOEIC が300点未満の場合、またはe-learning の学習達成率が60％未満の場合は単位が認定されませんので注意して下さい。
小テスト・宿題等:30%
期末プロジェクト：20％
TOEIC-IPの結果：30%（未受験、または300点未満の場合は単位を認定しない）
e-learning：20％（学習達成率が60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】

The textbook (NewBreak 5) will form the main part of class activities. Each class will begin and end with warm-up speaking exercises to develop students' fluency. English will be the main classroom language. Students will often work in pairs and groups. Before the TOEIC-IP test students will have TOEIC quizzes (on paper or Moodle) every week.

【授業計画】
第1回：オリエンテーション; NewsBreak 5 (NB5) Unit 1
第2回：NB5 Unit 2
第3回: NB5 Unit 3
第4回: NB5 Unit 4
第5回: NB5 Unit 5
第6回: NB5 Unit 6
第7回: NB5 Unit 7
第8回: NB5 Unit 8
第9回: NB5 Unit 9
第10回: TOEIC Practice test
第11回: NB5 Unit 10
第12回: NB5 Unit 11
第13回: NB5 Unit 12
第14回: NB5 Unit 13
第15回: NB5 Unit 14
第16回: 期末プロジェクト

授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
(1)　e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づき

TOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
(2)　　テキスト
　授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

CBS NewsBreak 5, by Nobuhiro Kumai & Stephen Timson.2021. Seibido. ISBN: 978-4791972302

オフィスアワー　　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041232) Communicative English Ⅱ T(4) Communicative English Ⅱ Communicative English II	**科目区分** 外国語科目	**時間割** 2022年度 後期月2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 パーキンス　ガレス　エドワード	**関連授業科目** 主題科目領域Ⅰ　経済・社会・文化		
	履修推奨科目 Communicative English III (2年次に履修)		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習 (English Central (20時間) ＋ 準備学習 (20時間) ＋ 事後学習 (20時間))

授業の概要

A wide range of communication skills is one of the skills that all Kagawa University students are required to acquire. Classes consist of understanding English using four skill-integrated teaching materials such as DVD teaching materials, and expressing one's thoughts based on the understood contents. Outside of class, we aim to improve our basic English skills by using e-learning. All students will take the TOEIC-IP test during the semester.

授業の目的

The purpose of this class is to acquire "basic ability to communicate using English".

到達目標

1. Be able to understand the current state of your English proficiency and set specific learning goals.
2. Reading: You can read and understand plain English directly without relying on the Japanese translation.
3. Listening: Understand the main points of short English sentences spoken at natural speed.
4. TOEIC: You can improve the score of the TOEIC-IP test taken in the previous term.
5. Communication ability:
Can actively try to communicate using English .
1 to 5 correspond to the common education standard "general-purpose skills (wide communication ability) for problem solving" and "knowledge about a wide range of humanities, society, and nature".

成績評価の方法と基準

The items listed below are the criteria for evaluation. Credits will be awarded based on a comprehensive judgment based on the indicated ratio. Please note that if you have not taken the TOEIC test for reasons other than health reasons, if your TOEIC score is less than 300, or if your e-learning learning achievement rate is less than 60%, your credit will not be awarded.
In Class Effort: 20% (assignments, quizzes and activities.)
Midterm exam: 10%
Final exam: 20%)
TOEIC-IP Results: 30% (If you have not taken the test or have less than 300 points, you will not be credited)
e -learning: 20% (credits will not be awarded if the learning achievement rate is less than 60%)

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

The procedure for each class is as follows.

You will work from your textbooks as well as participate in discussions and writing exercises throughout each 90 minute session. Students should be expected to answer comprehension questions and demonstrate that they have understood and can implement the English they have learned.

[Class plan]

Week 1: orientation and introductions
week 2: urban living (so + adjective phrase)
Week 3: infinitives and -ing forms in nature (noun + infinitive/-ing)
week 4: the changing environment, discussion and solutions (passive forms)
week 5: endangered species and detailed explanations (unreal conditionals)
week 6: art and culture (adjective clauses -who/that)
Week 7: midterm exam
week 8: art and culture (reviews and critical analysis)
week 9: pop culture and controversy (discussion of current trends and cultural ideas)
Week 10: active and passive tense: describing a process
week 11: predicting the future (unreal conditionals continued)
week 12: writing workshop -editing
week 13: sports and competition (tag questions and getting information)

week 14: safety and danger (negative questions and conversation flow)
week 15: phobias and solutions (adverbials of time)
week 16: final exam

Outside class (schedule is specified separately): TOEIC-IP test
[Advice on self-study]
(1) e-learning (English Central)
Compliant with textbooks using an internet-connected computer or smartphone We will learn English related to TOEIC measures based on the videos. Learning outcomes are recorded on the server and considered as part of the grade. Please work systematically.
(2) Main texts
Texts are used in class. Please prepare for the lesson according to the instructions of the person in charge of the lesson. The specific content of the preparation will differ from class to class.

90 minutes per week should be used for e-learning and homework.

Classes will be held face-to-face.

Note: Due to the current situation with Covid, we may need to switch to online lessons.

教科書・参考書等

World English, 3rd edition
Authors: Christien Lee; Becky Tarver Chase; Kristin L. Johannsen
ISBN: 9780357130261
2,989YEN

オフィスアワー　Please decide the date and time after consulting with the teacher at the time of class.

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

At the orientation held in the first class, we will explain how to proceed with the class, TOEIC, and e-learning. Please be sure to purchase the designated textbook and attend the first class.

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex2 授業科目名　（時間割コード：041233） Communicative English Ⅱ T(5) Communicative English Ⅱ Communicative English II	科目区分 外国語科目	時間割 2022年度 後期月2	対象年次 1～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教ｾﾝﾀｰ ＤＰコード：abx	対象学生 全学生 特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応 ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態　演習	単位数　2	
担当教員名 長井　克己	関連授業科目　主題科目領域Ⅰ　経済・社会・文化 履修推奨科目　Communicative English III（2年次に履修）		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋ 事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験したTOEIC-IPテストのスコアを向上させることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なお健康上の理由以外でTOEIC未受験の場合、TOEIC が300点未満の場合、またはe-learning の学習達成率が60％未満の場合は単位が認定されませんので注意して下さい。

・毎週の活動:10%（教科書のヘッドホンマーク部分の書き取り3問の小テスト(Quiz)×4回を10/12倍する）
・中間試験1：20%（教科書本文の空所補充20問, online practiceとe-Bookからも一部出題する）
・中間試験2：20%（中間試験1と同じ）
・TOEIC：30%（スコアが300未満の場合は単位を認定しない）
・e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
この科目は基本的に対面授業を行います。
ただし新型コロナウイルスの感染状況により，遠隔授業に変更する可能性があります。緊急連絡は教務システム(Dream Campus)で行いますので，指示に従ってください。

【授業計画】
wk 1 (Oct 3): introduction to the course / mock TOEIC 1
wk 2 (Oct 17): unit 1A People
wk 3 (Oct 24): unit 1B Lessons Learned / mock TOEIC 2
wk 4 (Nov 1!): unit 2A Foods We Like / Quiz 1
wk 5 (Nov 7): unit 2B Eating Well / mock TOEIC 3
wk 6 (Nov 14): unit 3A You're in Luck / Quiz 2
wk 7 (Nov 21): unit 3B Unsolved Misteries / mock TOEIC 4
wk 8 (Nov 28): tutorial / mid-term exam 1
wk 9 (Dec 5): unit 4A How We Shop / mock TOEIC 5
授業外（Dec 10）：TOEIC L&Rテスト
wk 10 (Dec 12): unit 4B Fashion on Demand
wk 11 (Dec 19): Unit 5A Cgries abd Errabds / Quiz 3
wk 12 (Jan 16): Unit 5B Getting Around
wk 13 (Jan 23): Unit 6A Starting Out / Quiz 4
wk 14 (Jan 30): tutorial / mid-term exam 2
wk 15 (Feb 6): Unit 6B After Graduation
授業外（締切は別途指示）：e-learning

【自学自習に関するアドバイス】
(1)e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づき

TOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。 (2)テキスト 授業では教科書を使用します。指示に従って予習と復習をして下さい。
教科書・参考書等 World Link (4th ed) Combo Split 2A with Online Practice and e-book. Cengage. ISBN 978-0357-503836.
オフィスアワー　　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 第１回目の授業で授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex2 授業科目名　（時間割コード：041234） Communicative English Ⅱ T(6) Communicative English Ⅱ Communicative English II	科目区分 外国語科目	時間割 2022年度 後期月2	対象年次 1～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教ｾﾝﾀｰ ＤＰコード：abx	対象学生 全学生 特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応 ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態　演習	単位数　2	
担当教員名 長井　克己，田口　明美	関連授業科目　主題科目領域Ⅰ　経済・社会・文化		
	履修推奨科目　Communicative English III（2年次に履修）		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋ 事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験した TOEIC-IP テストのスコアを向上させることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なお健康上の理由以外でTOEIC未受験の場合、TOEIC が300点未満の場合、またはe-learning の学習達成率が60％未満の場合は単位が認定されませんので注意して下さい。
授業への参加度：10％
小テスト:20％
期末試験:20％
TOEIC-IPの結果：30％（未受験、または300点未満の場合は単位を認定しない）
e-learning：20％（学習達成率が60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
この授業は全回対面授業を行います。
授業は主に演習活動を行います。
第8回に小テスト、第16回に期末試験を行います。

【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2回：Unit1
第3回: Unit2
第4回: Unit3
第5回: Unit4
第6回: Unit5
第7回: Unit6
第8回: 小テスト及びUnit7
第9回: Unit7
第10回: Unit8
第11回: Unit9
第12回: Unit10
第13回: Unit11
第14回: Unit12
第15回: Unit13
第16回: 期末試験
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト

【自学自習に関するアドバイス】
(1)　e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づき

TOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
(2)　　テキスト
　授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

Let's Read Aloud & Learn English: On Campus
(Kadoyama&Capper).2019.成美堂　ISBN 978-4791971824
2200円+税10%

オフィスアワー　　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

教員の実務経験との関連

全国通訳案内士と司法通訳の実務経験があります。外国文化に対する知識や理解を深めていただきながら、受講生の英語力の向上を目指します。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex2 授業科目名　（時間割コード：041235） Communicative English Ⅱ T(7) Communicative English Ⅱ Communicative English II	科目区分 外国語科目	時間割 2022年度 後期月2	対象年次 1～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教ｾﾝﾀｰ ＤＰコード：abx	対象学生 全学生 特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応 ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態　演習	単位数　2	
担当教員名 長井　克己，柏原　智美	関連授業科目　主題科目領域Ⅰ　経済・社会・文化 履修推奨科目　Communicative English III（2年次に履修）		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋ 事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験した TOEIC-IP テストのスコアを向上させることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なお健康上の理由以外でTOEIC未受験の場合、TOEIC が300点未満の場合、またはe-learning の学習達成率が60％未満の場合は単位が認定されませんので注意して下さい。

授業態度及び各活動への取り組み：30％
期末テスト：20％
TOEIC-IPの結果：30％（未受験、または300点未満の場合は単位を認定しない）
e-learning：20％（学習達成率が60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
　本講義は全回対面授業を行います。授業内容としては、テキストに基づいてコミュニケーション活動を主体とした演習をします。

【授業計画】
第 1回： オリエンテーション
第 2回： Unit1 Language Lessons ①
第 3回： Unit1 Language Lessons ②
第 4回： Unit2 U.S. Consumers Waste Food
第 5回： Unit3 Keeping eSports Athletes in the Game
第 6回： Unit4 Adulting Classes for Millennials
第 7回： Unit5 Is Your Bottled Water Safe?
第 8回： 中間テスト
第 9回： Unit6 Sleepless in Japan
第10回： Unit7 Alarming New Climate Report
第11回： Lesson about Christmas!
第12回： Unit8 Cracking the Dress Code:#KuToo Movement
第13回： Unit9 Grammar Table Lady Offers Advice
第14回： Unit10 Halloween Treats for Kids with Disabilities
第15回： Unit11 A Tax on Tourism?
期末テスト
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト

【自学自習に関するアドバイス】
(1)　e-learning（English Central）
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
(2)　テキスト

授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。
教科書・参考書等 CBS News Break 5.(Nobuhiro Kumai & Stephen Timson) Seibido. ISBN 978-4791972302.
オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041236) Communicative English Ⅱ T(8) Communicative English Ⅱ Communicative English II	**科目区分** 外国語科目	**時間割** 2022年度 後期月2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 辻　梨花	**関連授業科目** 主題科目領域Ⅰ　経済・社会・文化		
	履修推奨科目 Communicative English III (2年次に履修)		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋ 事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験した TOEIC-IP テストのスコアを向上させることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なお健康上の理由以外でTOEIC未受験の場合、TOEIC が300点未満の場合、またはe-learning の学習達成率が60%未満の場合は単位が認定されませんので注意して下さい。
平常点（ディスカッション・授業参加・課題など）：10%
プレゼンテーション：20%
期末試験：20%
TOEIC-IPの結果：30%（未受験、または300点未満の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（学習達成率が60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
　本授業では、指定の教材の内容を中心にUnitごとに授業を進めます。基本的にペアワークやグループワークを活用し、英語でコミュニケーションをとる練習をします。よって、積極的な参加が必要です。
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2回：Unit 1
第3回：Unit 2
第4回：Unit 3
第5回：Unit 4
第6回：Unit 5
第7回：Unit 6
第8回：Unit 7
第9回：Unit 8
第10回：Unit 9
第11回：Unit 10
第12回：Unit 11
第13回：Unit 12
第14回：Unit 13
第15回：Unit 14

授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
(1)e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
(2)テキスト

授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。
教科書・参考書等 Expanding Horizons. 南雲堂. ISBN 978-4523179061.
オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041237) Communicative English Ⅱ T(9) Communicative English Ⅱ Communicative English II	**科目区分** 外国語科目	**時間割 2022年度** 後期月2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 中井　富紀	**関連授業科目** 主題科目領域Ⅰ　経済・社会・文化		
	履修推奨科目 Communicative English III (2年次に履修)		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習 (English Central (20時間) ＋ 準備学習 (20時間) ＋ 事後学習 (20時間))

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験した TOEIC-IP テストのスコアを向上させることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なお健康上の理由以外でTOEIC未受験の場合、TOEIC が300点未満の場合、またはe-learning の学習達成率が60％未満の場合は単位が認定されませんので注意して下さい。
予習（語いリスト）20%　期末試験：30%
TOEIC-IPの結果：30%（未受験、または300点未満の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（学習達成率が60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
＊マスク着用、教室の全もしくは一部の窓開放の上、対面で授業を実施する。Whole language approachのコンセプトの基に、speakingのみならず、reading、listeningの技能の改善を目指して、多様な演習活動を個人、ペア、グループなどで行う。

【授業計画】
第1回：Course work introduction（コースワーク紹介）
第2回：unit 1 Food for Life
第3回：unit 2 Express Yourself
第4回：unit 3 Cities
第5回：unit 4 The Body
第6回：unit 5 Challenges
第7回 ： unit 6 Transitions
第8回 ： unit 7 Things that Matter
第9回 ： unit 8 Conservation
第10回 ： unit 9 Life now and in the Past
第11回 ： unit 10 Travel
第12回：unit 11 Careers
第13回：unit 12 Celebrations
第14回：Review #1
第15回：Review #2
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト

【自学自習に関するアドバイス】
(1)e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
(2)テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

World English 2 third edition. Kristin L.Johnnsen and Rebecca Tarver Chase. National Geographic Learning. a Cengage Company ISBN 978-0-357-13021-6

オフィスアワー　月、水、木曜日の３時～４時３０分までの間自由に来てください。場所は北キャンパス教育学部棟３号館４階です。Welcome!

履修上の注意・担当教員からのメッセージ
第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041238) Communicative English Ⅱ T(10) Communicative English Ⅱ Communicative English II	**科目区分** 外国語科目	**時間割 2022年度** 後期月2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 ポール・バテン	**関連授業科目** 主題科目領域Ⅰ 経済・社会・文化		
	履修推奨科目 Communicative English III (2年次に履修)		

学習時間 授業90分×15回＋自学自習 (English Central (20時間) ＋ 準備学習 (20時間) ＋ 事後学習 (20時間))

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験した TOEIC-IP テストのスコアを向上させることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なお健康上の理由以外でTOEIC未受験の場合、TOEIC が300点未満の場合、またはe-learning の学習達成率が60%未満の場合は単位が認定されませんので注意して下さい。

小テスト・授業参加:20%
期末試験：30%
TOEIC-IPの結果：30%（未受験、または300点未満の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（学習達成率が60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
開始－15分　復習・会話練習・ブレイクアウトグループなど
15分－終了　テキストを使用しての演習

【授業計画】
第 1回：Unit 01　What's your major? + オリエンテーション
第 2回：Unit 02　How do you like your new school?
第 3回：Unit 03　Let me introduce a new member to you
第 4回：Unit 04　How was your Golden Week?
第 5回：Unit 05　I'm looking for a part-time job
第 6回：Unit 06　What do you call this in Japanese?
第 7回：Unit 07　Have you been there?
第 8回：Unit 08　Could you tell me how to get there?
第 9回：Unit 09　What do you want me to do?
第10回：Unit 10　I'm on a tight budget
第11回：Unit 11　What do you think of this program?
第12回：Unit 12　I'm reviewing what I studied
第13回：Unit 13　Final exam week is so stressful
第13回：Unit 14　Is this your first trip abroad?
第15回：Unit 15　What would you like to order?

【自学自習に関するアドバイス】
(1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
(2) 授業の準備
授業ではテキストを使用します。前時の指示に従い課題と予習をして授業に臨んで下さい。
(3) 小テストおよび期末試験

事前に授業で周知します。
教科書・参考書等 Let's Read Aloud & Learn English: On Campus. By Teruhiko Kadoyama & Simon Caper. SEIBIDO. ISBN978-4-7919-7182-4
オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。 Friday, 3:00 - 4:00 p. m. Please email me before to confirm time and topic.
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。
教員の実務経験との関連 私にとっての外国語の日本語を３５年以上前から毎日直面しています。２８年前から大学生を教えています。出来るだけ学生にとって実践的なスキルを身につける授業を目さします。中学校、幼稚園、一般会社などの英語教師経験があります。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041239) Communicative English Ⅱ T(11) Communicative English Ⅱ Communicative English II	**科目区分** 外国語科目	**時間割 2022年度** 後期月2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 中住 幸治	**関連授業科目** 主題科目領域Ⅰ 経済・社会・文化		
	履修推奨科目 Communicative English III (2年次に履修)		

学習時間 授業90分×15回＋自学自習 (English Central (20時間) ＋ 準備学習 (20時間) ＋ 事後学習 (20時間))

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験した TOEIC-IP テストのスコアを向上させることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なお健康上の理由以外でTOEIC未受験の場合、TOEIC が300点未満の場合、またはe-learning の学習達成率が60％未満の場合は単位が認定されませんので注意して下さい。

小テスト・課題・授業内活動：25%
期末試験：25%
TOEIC-IPの結果：30%（未受験、または300点未満の場合は単位を認定しない）
e-learning：20％（学習達成率が60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業計画】

第1回：オリエンテーション
第2回：教科書Unit 1・TOEIC演習　第3回：教科書Unit 2・TOEIC演習
第4回：教科書Unit 3・TOEIC演習　第5回：教科書Unit 4・TOEIC演習
第6回：教科書Unit 5・TOEIC演習　第7回：教科書Unit 6・TOEIC演習
第8回：教科書Unit 7・TOEIC演習　第9回：教科書Unit 8
第10回：教科書Unit 9　第11回：教科書Unit 10
第12回：教科書Unit 11　第13回：教科書Unit 12
第14回：教科書Unit 13　第15回：教科書Unit 14
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト

【授業及び学習の方法】

授業前半は教科書内容とTOEIC演習の二本立てで授業を展開し、後半は教科書を用いた英語による演習活動・グループ活動等を行います。

この科目は基本的に対面授業で行います。

【自学自習のためのアドバイス】

(1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。

(2) テキスト
授業ではテキストを使用します。予習・復習の内容について授業時に具体的に指示します。

教科書・参考書等

Charles Browne, 田邉祐司(2020).Expanding Horizons.南雲堂. ISBN 978 4523179061. ¥2,500＋税

オフィスアワー 火曜日 12:30~13:30 幸町キャンパス北5号館5階 中住研究室

履修上の注意・担当教員からのメッセージ
第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。
教員の実務経験との関連
高等学校に勤務経験あり。英語を担当。高等学校での実務経験を基にTOEIC対策を含む総合的な英語の授業を行います。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041255) Communicative English Ⅱ T(12) Communicative English Ⅱ Communicative English II	**科目区分** 外国語科目	**時間割** 2022年度 後期月2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 杉田　貴瑞	**関連授業科目** 主題科目領域Ⅰ　経済・社会・文化		
	履修推奨科目 Communicative English III (2年次に履修)		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋ 事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験した TOEIC-IP テストのスコアを向上させることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なお健康上の理由以外でTOEIC未受験の場合、TOEIC が300点未満の場合、またはe-learning の学習達成率が60%未満の場合は単位が認定されませんので注意して下さい。
期末試験：25%（未受験の場合は単位を認定しない）
小テスト・宿題・授業内活動：25%
TOEIC-IPの結果：30%（未受験、または300点未満の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（学習達成率が60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
　この科目は全回対面授業を行います。授業毎回の授業の進め方は下記の通りです。
授業開始 - 40(50)分：e-learningのサポート等、教科書の担当範囲における予習の確認等
40(50)分 - 授業終了：テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）

【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2回：Unit 1 The Sky Lodge.
第3回：Unit 2 Japanese High School Life.
第4回：Unit 3 Sloth Calendar.
第5回：Unit 4 The Skate Brothers.
第6回：Unit 5 Picnic Snack Ideas.
第7回：Unit 6 Volcano Adventure.
第8回：Unit 7 Crazy Rides.
第9回：Unit 8 The Forrest Guards.
第10回：Unit 9 A Different Kind of Journey.
第11回：Unit 10 Comic Book Writer.
第12回：Unit 11 Sharing Life with 1,000 Cats.
第13回：Unit 12 Living in 1927.
第14回：Unit 13 Our Clothes.
第15回：Unit 14 Future Food, Growing Cities.
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト

【自学自習に関するアドバイス】
(1)　e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。

(2)　　テキスト
　授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

＜準備学習＞各単元ごとに最低限、次の点をクリアーすること（20時間）。
・単元の学習課題を確認し、各問題を分かる範囲で解答する。
・上記の問題解答の際に出てきた未知・曖昧語句を辞書を使用して調べる。
・範囲の英文を一通り発音しておく。

＜事後学習＞各単元ごとに最低限、次の点をクリアーすること（20時間）。
・授業で得た知識と準備学習のギャップを埋める。
・各回の授業課題を提出する。
・TOEIC-IPテストに備えて、前期学習教科書を計画的に復習する。
・期末試験の準備学習を滞りなく行う。

教科書・参考書等

Charles Browne, 田邉祐司 (2019). Expanding Horizons. 南雲堂. ISBN:978-4523179061.

オフィスアワー　　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** （時間割コード：041256） Communicative English Ⅱ T(13) Communicative English Ⅱ Communicative English II T (13)	**科目区分** 外国語科目	**時間割 2022年度** 後期月2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 永尾　智	**関連授業科目** 主題科目領域Ⅰ　経済・社会・文化		
	履修推奨科目 Communicative English III（2年次に履修）		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋ 事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験したTOEIC-IPテストのスコアを向上させることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なお健康上の理由以外でTOEIC未受験の場合、TOEIC が300点未満の場合、またはe-learning の学習達成率が60%未満の場合は単位が認定されませんので注意して下さい。

・小テスト・授業での発表等（予習・復習）：20%
・中間試験、期末試験：30%
・TOEIC-IPの結果：30%（未受験、または300点未満の場合は単位を認定しない）
・e-learning：20%（学習達成率が60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】

この授業は基本的に≪対面授業≫方式で実施します。座席は指定制（初回に指定）です。毎回の授業の進め方は次の通りです。

・授業開始～10分：Listening Quiz
・10分～20分：復習テスト等
・20分～授業終了：テキストを使用しての演習（各Taskに五感を総動員して丁寧に対応することによって基本的英語認識力が高まります。音声発出を大切にしながら、そのような意識でTaskに臨んでください。）

【授業計画】

第1回：オリエンテーション
第2回：UNIT 1: Are You Ready for a Pet? & UNIT 2: Gap Year
第3回：UNIT 3: What Is Wealth?
第4回：UNIT 4: Globalization
第5回：UNIT 5: What I Learned in College
第6回：UNIT 6: How Paper Is Recycled
第7回：UNIT 7: Life Expectancy
第8回：中間試験
第9回：UNIT 8: From "Snail Mail" to PDAs in Barely Thirty Years
第10回：UNIT 9: Rules for Success
第11回：UNIT 10: Paid Leave and Public Holidays
第12回：UNIT 11: A Suitable Hotel
第13回：UNIT 12: Another Earth?
第14回：UNIT 13: An Interview with a New Student Union President
第15回：UNIT 14: Modern Writing: Be Brief!
第16回：期末試験
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト

【自学自習に関するアドバイス】

(1)　e-learning (English Central)

インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されま

す。計画的に取り組んで下さい。
(2)　　テキスト
　授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

【教科書】
English Stream: Pre-intermediate (Takeuchi et al.). 2018. 金星堂. ISBN: 978-4-7647-4060-0

オフィスアワー　　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex2 授業科目名　（時間割コード：041240） Communicative English Ⅱ A(1) Communicative English Ⅱ Communicative English II	科目区分 外国語科目	時間割 2022年度 後期木3	対象年次 1～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教ｾﾝﾀｰ ＤＰコード：abx	対象学生 全学生 特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応 ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態　演習	単位数　2	
担当教員名 ビラ　ダビッド	関連授業科目　主題科目領域Ⅰ　経済・社会・文化		
	履修推奨科目　Communicative English III（2年次に履修）		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋ 事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験したTOEIC-IPテストのスコアを向上させることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なおTOEIC未受験の学生は単位が認定されませんので注意して下さい。

In-class participation and effort: 20%
Midterm Exam: 15%
Final Exam: 15%
TOEIC-IPの結果：30%（未受験又は300点未満の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（獲得ポイントが60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
毎回の授業の進め方は下記の通りです。
授業開始－10(20)分：e-learningのサポート等
10(20)分－授業終了：テキストを使用しての演習（コミュニケーション活動）
【授業計画】

Note: the following calendar is tentative and may change depending circumstances.
第1回：Introduction of the course.
第2－7回：Every week, one unit of the textbook will be covered. The teacher will indicate in class which unit students should prepare for the following week.
第8回：Midterm test
第9-15回：Every week, one unit of the textbook will be covered. The teacher will indicate in class which unit students should prepare for the following week.

授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
(1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
(2) 主テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

この科目は基本的に対面授業で行ないます。なお状況によっては授業形態を遠隔へ変更する可能性があります。

教科書・参考書等

Our World Today. (Adam Murray & Anderson Passos) 南雲堂. ISBN 9784523178903.

オフィスアワー	授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。
履修上の注意・担当教員からのメッセージ	
第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。	

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041241) Communicative English Ⅱ A(2) Communicative English Ⅱ Communicative English II	**科目区分** 外国語科目	**時間割 2022年度** 後期木3	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 長井　克己，鳥越　洋子	**関連授業科目** 主題科目領域Ⅰ　経済・社会・文化 **履修推奨科目** Communicative English III（2年次に履修）		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋ 事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験したTOEIC-IPテストのスコアを向上させることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なお健康上の理由以外でTOEIC未受験の場合、TOEIC が300点未満の場合、またはe-learning の学習達成率が60％未満の場合は単位が認定されませんので注意して下さい。
小テスト、授業での発表、課題等（予習・復習）30%・期末試験：20％
TOEIC-IPの結果：30%（未受験、または300点未満の場合は単位を認定しない）
e-learning：20％（学習達成率が60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。
e-learningのサポート等
テキストを使用しての演習（リスニング、デックテーション、コミュニケーション活動）
対面授業とオンライン授業を組み合わせて行います。（その都度、お知らせします。）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2回：Sky Lodge
第3回：Japanese High School Life
第4回：Sloth Calendar
第5回：The Skate Brothers
第6回：Picnjc　Snack Ideas
第7回：Volcano Adventure
第8回：Crazy Rides
第9回：The Climate Heroes
第10回：A Different Kind of Journey
第11回：Chris,the Comic Book Writer
第12回：Sharing Life with 1000 Cats
第13回：Living in 1927
第14回：Our Clothes
第15回：Food,Growing Cities
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
(1) e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
(2)テキスト
　授業ではテキストを使用します。予習をしてから授業に臨んで下さい。

教科書・参考書等　テキスト　Expanding Horizons　Chares Browne ，田邉裕司

ISBN:９７８４５２３１７９０６１	南雲堂	２７５０円（消費税込み）
オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定する。		
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。 対面授業とオンライン授業を組み合わせて行います。（その都度、お知らせします。）		

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex2 授業科目名　（時間割コード：041242） Communicative English Ⅱ A(3) Communicative English Ⅱ Communicative English II	科目区分 外国語科目	時間割 2022年度 後期木3	対象年次 1～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教ｾﾝﾀｰ ＤＰコード：abx	対象学生 全学生 特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応 ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態　演習	単位数　2	
担当教員名 長井　克己，瀬良　和彦	関連授業科目　主題科目領域Ⅰ　経済・社会・文化 履修推奨科目　Communicative English III（2年次に履修）		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋ 事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験した TOEIC-IP テストのスコアを向上させることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なお健康上の理由以外でTOEIC未受験の場合、TOEIC が300点未満の場合、またはe-learning の学習達成率が60％未満の場合は単位が認定されませんので注意して下さい。
平常点［提出率・課題内容・小テストなど］30％（４回未提出で単位不認定）
期末テスト20％（未受験の場合は単位を認定しない）
TOEIC-IPの結果：30％（未受験、または300点未満の場合は単位を認定しない）
e-learning：20％（学習達成率が60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
この科目は基本的に遠隔授業を行います。なお状況によっては一部の授業回では対面授業を行います。
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2回：Introduction to Environmental Issues
第3回：Climate Change
第4回：Energy
第5回：Waste
第6回：Review 1: Units 1-4（小テスト）
第7回：Population Growth
第8回：Pollution
第9回：Water
第10回：Deforestation
第11回：Review 2: Units 6-9（小テスト）
第12回：Hydroelectricity
第13回：Solar Panels
第14回：Wind Turbies
第15回：Nuclear Energy
第16回：Review 3: Units 11-14（期末テスト：予定）
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
(1)　e-learning（English Central）
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
(2)　テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等
Our World Today.(Adam Murray & Anderson Passos).2019.Nan'un-do. ISBN:9784523178903.
オフィスアワー　　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。
履修上の注意・担当教員からのメッセージ
第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex2 授業科目名　（時間割コード：041243） Communicative English Ⅱ A(4) Communicative English Ⅱ Communicative English II	科目区分 外国語科目	時間割 2022年度 後期木3	対象年次 1～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教ｾﾝﾀｰ ＤＰコード：abx	対象学生 全学生 特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応 ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態　演習	単位数　2	
担当教員名 長井　克己，中島　友愛	関連授業科目　主題科目領域Ⅰ　経済・社会・文化 履修推奨科目　Communicative English III（2年次に履修）		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋ 事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験した TOEIC-IP テストのスコアを向上させることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なお健康上の理由以外でTOEIC未受験の場合、TOEIC が300点未満の場合、またはe-learning の学習達成率が60％未満の場合は単位が認定されませんので注意して下さい。

毎回の提出課題：20%
期末試験：20%
授業への熱心なとりくみ：10%
TOEIC-IPの結果：30%（未受験、または300点未満の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（学習達成率が60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
・e-learningなどについての伝達(冒頭5分)
・教科書を使用しての演習
・最後の約15分はTOEIC演習、またはスピーキングやライティング等の英語創作活動

※この授業は全回対面授業を行います。
（新型コロナウイルス感染症への大学の対応方針が変更になる場合はこれに準じます。第1回の授業形態については、直前の感染拡大状況により遠隔授業になることもありえますので、開講直前に配信されるドリームキャンパスのメッセージで指示を必ず確認してください。）

授業形態にかかわらず第1回授業までに必ず教科書を購入しておいてください。

【授業計画】
第1回：オリエンテーション(教科書必携)
　　進め方・課題・成績評価方法等を詳細に解説
第2回：教科書Unit 1 ＋　最後の15分はTOEIC演習
第3回：教科書Unit 2 ＋　最後の15分はTOEIC演習
第4回：教科書Unit 3 ＋　最後の15分はTOEIC演習
第5回：教科書Unit 4 ＋　最後の15分はTOEIC演習
第6回：教科書Unit 5 ＋　最後の15分はTOEIC演習
第7回：教科書Unit 6 ＋　最後の15分はTOEIC演習
第8回：教科書Unit 7 ＋　最後の15分はTOEIC演習
第9回：TOEIC-IPテスト直前対策学習を配布プリントを用いて90分間行う
第10回：教科書Unit 8 ＋　最後の15分は英語創作活動
第11回：教科書Unit 9 ＋　最後の15分は英語創作活動
第12回：教科書Unit 10 ＋　最後の15分は英語創作活動
第13回：教科書Unnit 11 ＋　最後の15分は英語創作活動

第14回：教科書Unit 12 +　期末テスト説明　+　アンケート
第15回：教科書Unit 13 +　期末テスト説明　+　アンケート
期末テスト

※TOEIC-IPテストの実施日が変更になる場合は、上記の予定が変更になる場合があります。

授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト

【自学自習に関するアドバイス】
(1)　　e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
(2)　　テキスト
　授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

CBS NewsBreak 5 (Nobuhiro Kumai & Stephen Timson) 2021 成美堂.
ISBN 978-4-7919-7230-2

オフィスアワー　　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex2 授業科目名　（時間割コード：041244） Communicative English Ⅱ A(5) Communicative English Ⅱ Communicative English II	科目区分 外国語科目	時間割 2022年度 後期木3	対象年次 1～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教ｾﾝﾀｰ ＤＰコード：abx	対象学生 全学生 特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応 ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態　演習	単位数　2	
担当教員名 長井　克己，篠原　範子	関連授業科目　主題科目領域Ⅰ　経済・社会・文化 履修推奨科目　Communicative English III（2年次に履修）		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋ 事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験したTOEIC-IPテストのスコアを向上させることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なお健康上の理由以外でTOEIC未受験の場合、TOEIC が300点未満の場合、またはe-learning の学習達成率が60%未満の場合は単位が認定されませんので注意して下さい。

中間　10%・期末　10%・課題　10%・授業での発表など　20%

TOEIC-IPの結果：30%（未受験、または300点未満の場合は単位を認定しない）

e-learning：20%（学習達成率が60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】

テキストに沿って授業を行います。毎回指示された予習を行っていることを前提に授業を行います。詳細な進め方については第１回のオリエンテーションの時に説明します。

【授業計画】

第1回：オリエンテーション
第2回：テキスト Unit 1
第3回：テキスト Unit 2
第4回：テキスト Unit 3
第5回：テキスト Unit 4
第6回：テキスト Unit 5
第7回：Mid-term exam
第8回：TOEIC対策
第9回：TOEIC対策
第10回：テキスト Unit 6
第11回：テキスト Unit 7
第12回：テキスト Unit 8
第13回：テキスト Unit 9
第14回：テキスト Unit 10
第15回：テキスト Unit 11

定期試験は15回に含めません。

授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト

＊上記の予定は状況に応じて変更する場合があります。

【自学自習に関するアドバイス】

(1)　e-learning（English Central）

インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。

(2)　　テキスト 　授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。
教科書・参考書等 English Stream: Pre-intermediate (Takeuchi et al.) 2018. 金星堂　ISBN 978-47467406000
オフィスアワー　　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex2 授業科目名　（時間割コード：041245） Communicative English Ⅱ A(6) Communicative English Ⅱ Communicative English II	科目区分 外国語科目	時間割 2022年度 後期木3	対象年次 1～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教ｾﾝﾀｰ ＤＰコード：abx	対象学生 全学生 特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応 ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態　演習	単位数　2	
担当教員名 長井　克己，竹中　千鶴	関連授業科目　主題科目領域Ⅰ　経済・社会・文化 履修推奨科目　Communicative English III（2年次に履修）		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋ 事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験した TOEIC-IP テストのスコアを向上させることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なお健康上の理由以外でTOEIC未受験の場合、TOEIC が300点未満の場合、またはe-learning の学習達成率が60％未満の場合は単位が認定されませんので注意して下さい。
予習・授業中の発表：15%,　復習・課題：15%
中間・期末試験：20％　（必須）
TOEIC-IPの結果：30%（未受験、または300点未満の場合は単位を認定しない）
e-learning：20％（学習達成率が60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
　授業では、まず、予習の段階でどの程度素材のNewsを理解できているかをクラス全体で確認します。そして、Dictation活動、シャドウイング活動、さらには、ペアやグループでNewsを素材に会話練習やディスカッションをします。また、課題としてWritingを提出してもらうこともあります。　この授業は全回対面授業を行います。

【授業計画】
第 1回：オリエンテーション
第 2回：Unit　1
第 3回：Unit　2
第 4回：Unit　3
第 5回：Unit　4
第 6回：Unit　5
第 7回：Unit　6
第 8回：中間テスト
第 9回：Unit　7
第10回：Unit　8
第11回：Unit　9
第12回：Unit 10
第13回：Unit 11
第14回：Unit 12
第15回：Unit 13
（授業の進捗状況、その他により日程は変更の可能性があります。）

授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト

【自学自習に関するアドバイス】
(1)　　e-learning（English Central）

インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
(2)　　テキスト
　授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

Nobuhiro Kumai & Stephen Timson.(2021). CBS News Break 5. Seibido.　ISBN 978-4-7919-7230-2

オフィスアワー　　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041246) Communicative English Ⅱ A(7) Communicative English Ⅱ Communicative English II	**科目区分** 外国語科目	**時間割** 2022年度 後期木3	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 長井　克己，柏原　智美	**関連授業科目** 主題科目領域Ⅰ　経済・社会・文化		
	履修推奨科目 Communicative English III（2年次に履修）		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋ 事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験した TOEIC-IP テストのスコアを向上させることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なお健康上の理由以外でTOEIC未受験の場合、TOEIC が300点未満の場合、またはe-learning の学習達成率が60％未満の場合は単位が認定されませんので注意して下さい。

授業態度及び各活動への取り組み：30％
期末テスト：20％
TOEIC-IPの結果：30％（未受験、または300点未満の場合は単位を認定しない）
e-learning：20％（学習達成率が60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
　本講義は全回対面授業を行います。授業内容としては、テキストに基づいてコミュニケーション活動を主体とした演習をします。

【授業計画】
第 1回： オリエンテーション
第 2回： Unit1 Language Lessons ①
第 3回： Unit1 Language Lessons ②
第 4回： Unit2 U.S. Consumers Waste Food
第 5回： Unit3 Keeping eSports Athletes in the Game
第 6回： Unit4 Adulting Classes for Millennials
第 7回： Unit5 Is Your Bottled Water Safe?
第 8回： 中間テスト
第 9回： Unit6 Sleepless in Japan
第10回： Unit7 Alarming New Climate Report
第11回： Lesson about Christmas!
第12回： Unit8 Cracking the Dress Code:#KuToo Movement
第13回： Unit9 Grammar Table Lady Offers Advice
第14回： Unit10 Halloween Treats for Kids with Disabilities
第15回： Unit11 A Tax on Tourism?
期末テスト
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト

【自学自習に関するアドバイス】
(1)　e-learning（English Central）
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。

(2)　　テキスト 　授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。
教科書・参考書等 CBS News Break 5. (Nobuhiro Kumai & Stephen Timson) Seibido. ISBN 978-4791972302.
オフィスアワー　　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041248) Communicative English Ⅱ M(1) Communicative English Ⅱ Communicative English II	**科目区分** 外国語科目	**時間割 2022年度** 後期木3	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 パーキンス　ガレス　エドワード	**関連授業科目** 主題科目領域Ⅰ　経済・社会・文化		
	履修推奨科目 Communicative English III (2年次に履修)		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習 (English Central (20時間) ＋ 準備学習 (20時間) ＋ 事後学習 (20時間))

授業の概要

A wide range of communication skills is one of the skills that all Kagawa University students are required to acquire. Classes consist of understanding English using four skill-integrated teaching materials such as DVD teaching materials, and expressing one's thoughts based on the understood contents. Outside of class, we aim to improve our basic English skills by using e-learning. All students will take the TOEIC-IP test during the semester.

授業の目的

The purpose of this class is to acquire "basic ability to communicate using English".

到達目標

1. Be able to understand the current state of your English proficiency and set specific learning goals.
2. Reading: You can read and understand plain English directly without relying on the Japanese translation.
3. Listening: Understand the main points of short English sentences spoken at natural speed.
4. TOEIC: You can improve the score of the TOEIC-IP test taken in the previous term.
5. Communication ability:
Can actively try to communicate using English .
1 to 5 correspond to the common education standard "general-purpose skills (wide communication ability) for problem solving" and "knowledge about a wide range of humanities, society, and nature".

成績評価の方法と基準

The items listed below are the criteria for evaluation. Credits will be awarded based on a comprehensive judgment based on the indicated ratio. Please note that if you have not taken the TOEIC test for reasons other than health reasons, if your TOEIC score is less than 300, or if your e-learning learning achievement rate is less than 60%, your credit will not be awarded.
In Class Effort: 20% (assignments, quizzes and activities.)
Midterm exam: 10%
Final exam: 20%)
TOEIC-IP Results: 30% (If you have not taken the test or have less than 300 points, you will not be credited)
e -learning: 20% (credits will not be awarded if the learning achievement rate is less than 60%)

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

The procedure for each class is as follows.

You will work from your textbooks as well as participate in discussions and writing exercises throughout each 90 minute session. Students should be expected to answer comprehension questions and demonstrate that they have understood and can implement the English they have learned.

[Class plan]

Week 1: orientation and introductions
week 2: urban living (so + adjective phrase)
Week 3: infinitives and -ing forms in nature (noun + infinitive/-ing)
week 4: the changing environment, discussion and solutions (passive forms)
week 5: endangered species and detailed explanations (unreal conditionals)
week 6: art and culture (adjective clauses -who/that)
Week 7: midterm exam
week 8: art and culture (reviews and critical analysis)
week 9: pop culture and controversy (discussion of current trends and cultural ideas)
Week 10: active and passive tense: describing a process
week 11: predicting the future (unreal conditionals continued)
week 12: writing workshop -editing
week 13: sports and competition (tag questions and getting information)
week 14: safety and danger (negative questions and conversation flow)

week 15: phobias and solutions (adverbials of time)
week 16: final exam

Outside class (schedule is specified separately): TOEIC-IP test
[Advice on self-study]
(1) e-learning (English Central)
Compliant with textbooks using an internet-connected computer or smartphone We will learn English related to TOEIC measures based on the videos. Learning outcomes are recorded on the server and considered as part of the grade. Please work systematically.
(2) Main texts
Texts are used in class. Please prepare for the lesson according to the instructions of the person in charge of the lesson. The specific content of the preparation will differ from class to class.

90 minutes per week should be used for e-learning and homework.

Classes will be held face-to-face.

Note: Due to the current situation with Covid, we may need to switch to online lessons.

教科書・参考書等

World English, 3rd edition
Authors: Christien Lee; Becky Tarver Chase; Kristin L. Johannsen
ISBN: 9780357130261
2,989YEN

オフィスアワー　Please decide the date and time after consulting with the teacher at the time of class.

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

At the orientation held in the first class, we will explain how to proceed with the class, TOEIC, and e-learning. Please be sure to purchase the designated textbook and attend the first class.

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041249) Communicative English Ⅱ M(2) Communicative English Ⅱ Communicative English II	**科目区分** 外国語科目	**時間割 2022年度** 後期木3	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 中井　富紀	**関連授業科目** 主題科目領域Ⅰ　経済・社会・文化		
	履修推奨科目 Communicative English III (2年次に履修)		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習 (English Central (20時間) ＋ 準備学習 (20時間) ＋ 事後学習 (20時間))

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験した TOEIC-IP テストのスコアを向上させることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なお健康上の理由以外でTOEIC未受験の場合、TOEIC が300点未満の場合、またはe-learning の学習達成率が60％未満の場合は単位が認定されませんので注意して下さい。
予習（語いリスト）20%　期末試験：30%
TOEIC-IPの結果：30%（未受験、または300点未満の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（学習達成率が60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
＊マスク着用、教室の全もしくは一部の窓開放の上、対面で授業を実施する。
タイトルのごとく、Content and Language Integrated Learning（内容と言語を統合した学習法）に沿うように、パラグラフリーディング、エッセイ要約、音読、ディスカッションなどの多様な演習活動を個人、ペア、グループなどで行う。
【授業計画】
第1回：Course work introduction（コースワーク紹介）
第2回：unit 1　Sports and injuries
第3回：unit 2　Blood circulation
第4回：unit 3　Muscles and movement
第5回：unit 4　Genetically modified (GM) food
第6回：unit 5　The brain: language and sleep
第7回 ： unit 6　Animals and humans
第8回 ： unit 7　Agriculture and human health
第9回 ： unit 8　Health and fitness
第10回 ： unit 9　Food and nutrition
第11回 ： unit 10　Drugs and human body
第12回：unit 11　Human immunity
第13回：unit 12　Humans and their environments
第14回：unit 13　Food issues and human health
第15回：unit 14　Genetics

授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
(1)　e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
(2)　テキスト
授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の

具体的な内容については授業ごとに異なります。
教科書・参考書等 CLIL Human Biology.(Sasajima et al.) 2016.Sanshusha.ISBN 978-6384334609
オフィスアワー　　月、水、木曜日の３時～４時３０分までの間自由に来てください。場所は北キャンパス教育学部棟３号館４階です。Welcome!
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex2 授業科目名　（時間割コード：041250） Communicative English Ⅱ M(3) Communicative English Ⅱ Communicative English II	科目区分 外国語科目	時間割 2022年度 後期木3	対象年次 1～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教ｾﾝﾀｰ ＤＰコード：abx	対象学生 全学生 特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応 ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態　演習	単位数　2	
担当教員名 水野　康一	関連授業科目　主題科目領域Ⅰ　経済・社会・文化 履修推奨科目　Communicative English III（2年次に履修）		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋ 事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験した TOEIC-IP テストのスコアを向上させることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なお健康上の理由以外でTOEIC未受験の場合、TOEIC が300点未満の場合、またはe-learning の学習達成率が60％未満の場合は単位が認定されませんので注意して下さい。
小テスト・授業での発表等（予習・復習）・期末試験：50％

TOEIC-IPの結果：30％（未受験、または300点未満の場合は単位を認定しない）
e-learning：20％（学習達成率が60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
　基本的に毎回テキストに沿って授業を行う。予習を前提として問題演習（受講者から1人ずつ指名）を行う。なお，授業の最初と最後に小テストを実施し，予習状況および理解度を確認する。

【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2回：Unit 1 Introduction to Environmental Issues
第3回：Unit 2 Climate Change
第4回：Unit 3 Energy
第5回：Unit 4 Waste
第6回：Unit 5 Review 1
第7回：Unit 6 Population Growth
第8回：Unit 7 Pollution
第9回：Unit 8 Water
第10回：Unit 9 Deforestation
第11回：Unit 10 Review 2
第12回：Unit 11 Hydroelectricity
第13回：Unit 12 Solar Panels
第14回：Unit 13 Wind Turbines
第15回：Unit 14 Nuclear Energy

授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト

【自学自習に関するアドバイス】
(1)　e-learning（English Central）
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。

(2)　　テキスト 　授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。
教科書・参考書等 Our World Today (Adam Murray & Anderson Passos) 南雲堂, 2019年, 1900円＋税
オフィスアワー　　月曜４時限（幸町南２号館３階　水野研究室）
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041252) Communicative English Ⅱ NP(1) Communicative English Ⅱ Communicative English II	**科目区分** 外国語科目	**時間割** 2022年度 後期木2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 中井　富紀	**関連授業科目** 主題科目領域Ⅰ　経済・社会・文化		
	履修推奨科目 Communicative English III (2年次に履修)		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋ 事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験したTOEIC-IPテストのスコアを向上させることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なお健康上の理由以外でTOEIC未受験の場合、TOEIC が300点未満の場合、またはe-learning の学習達成率が60%未満の場合は単位が認定されませんので注意して下さい。
予習（語いリスト）20%　期末試験：30%
TOEIC-IPの結果：30%（未受験、または300点未満の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（学習達成率が60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
＊マスク着用、教室の全もしくは一部の窓開放の上、対面で授業を実施する。
タイトルのごとく、Content and Language Integrated Learning（内容と言語を統合した学習法）に沿うように、パラグラフリーディング、エッセイ要約、音読、ディスカッションなどの多様な演習活動を個人、ペア、グループなどで行う。

【授業計画】
第1回：Course work introduction（コースワーク紹介）
第2回：unit 1　Sports and injuries
第3回：unit 2　Blood circulation
第4回：unit 3　Muscles and movement
第5回：unit 4　Genetically modified (GM) food
第6回：unit 5　The brain: language and sleep
第7回 ： unit 6　Animals and humans
第8回 ： unit 7　Agriculture and human health
第9回 ： unit 8　Health and fitness
第10回 ： unit 9　Food and nutrition
第11回 ： unit 10　Drugs and human body
第12回：unit 11　Human immunity
第13回：unit 12　Humans and their environments
第14回：unit 13　Food issues and human health
第15回：unit 14　Genetics

授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト

【自学自習に関するアドバイス】
(1)　e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。

(2)　　テキスト 　授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。
教科書・参考書等 CLIL Human Biology.(Sasajima et al.) 2016.Sanshusha.ISBN 978-6384334609
オフィスアワー　　月、水、木曜日の３時～４時３０分までの間自由に来てください。場所は北キャンパス教育学部棟３号館４階です。Welcome!
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041253) Communicative English Ⅱ NP(2) Communicative English Ⅱ Communicative English II	**科目区分** 外国語科目	**時間割 2022年度** 後期木2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 長井　克己，中島　友愛	**関連授業科目** 主題科目領域Ⅰ　経済・社会・文化		
	履修推奨科目 Communicative English III（2年次に履修）		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋ 事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験したTOEIC-IPテストのスコアを向上させることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なお健康上の理由以外でTOEIC未受験の場合、TOEIC が300点未満の場合、またはe-learning の学習達成率が60％未満の場合は単位が認定されませんので注意して下さい。

毎回の提出課題：20%
期末試験：20%
授業への熱心なとりくみ：10%
TOEIC-IPの結果：30%（未受験、または300点未満の場合は単位を認定しない）
e-learning：20%（学習達成率が60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
・e-learningなどについての伝達(冒頭5分)
・教科書を使用しての演習
・最後の約15分はTOEIC演習、またはスピーキングやライティング等の英語創作活動

※この授業は全回対面授業を行います。
(新型コロナウイルス感染症への大学の対応方針が変更になる場合はこれに準じます。
第1回の授業形態については、直前の感染拡大状況により遠隔授業になることもありえますので、開講直前に配信されるドリームキャンパスのメッセージで指示を必ず確認してください。)

授業形態にかかわらず第1回授業までに必ず教科書を購入しておいてください。

【授業計画】
第1回：オリエンテーション(教科書必携)
　　進め方・課題・成績評価方法等を詳細に解説
第2回：教科書Unit 1 ＋　最後の15分はTOEIC演習
第3回：教科書Unit 2 ＋　最後の15分はTOEIC演習
第4回：教科書Unit 3 ＋　最後の15分はTOEIC演習
第5回：教科書Unit 4 ＋　最後の15分はTOEIC演習
第6回：教科書Unit 5 ＋　最後の15分はTOEIC演習
第7回：教科書Unit 6 ＋　最後の15分はTOEIC演習
第8回：教科書Unit 7 ＋　最後の15分はTOEIC演習
第9回：TOEIC-IPテスト直前対策学習を配布プリントを用いて90分間行う
第10回：教科書Unit 8 ＋　最後の15分は英語創作活動
第11回：教科書Unit 9 ＋　最後の15分は英語創作活動
第12回：教科書Unit 10 ＋　最後の15分は英語創作活動
第13回：教科書Unnit 11 ＋　最後の15分は英語創作活動
第14回：教科書Unit 12 ＋　期末テスト説明　＋　アンケート

第15回：教科書Unit 13 +　期末テスト説明　+　アンケート
期末テスト

※TOEIC-IPテストの実施日が変更になる場合は、上記の予定が変更になる場合があります。

授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト

【自学自習に関するアドバイス】
(1)　　e-learning (English Central)
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
(2)　　テキスト
　授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。

教科書・参考書等

CBS NewsBreak 5 (Nobuhiro Kumai & Stephen Timson) 2021 成美堂.
ISBN 978-4-7919-7230-2

オフィスアワー　　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex2 授業科目名　（時間割コード：041254） Communicative English Ⅱ NP(3) Communicative English Ⅱ Communicative English II	科目区分 外国語科目	時間割 2022年度 後期木2	対象年次 1～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教ｾﾝﾀｰ ＤＰコード：abx	対象学生 全学生 特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応 ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態　演習	単位数　2	
担当教員名 長井　克己，柏原　智美	関連授業科目　主題科目領域Ⅰ　経済・社会・文化 履修推奨科目　Communicative English III（2年次に履修）		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋ 事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験した TOEIC-IP テストのスコアを向上させることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なお健康上の理由以外でTOEIC未受験の場合、TOEIC が300点未満の場合、またはe-learning の学習達成率が60％未満の場合は単位が認定されませんので注意して下さい。

授業態度及び各活動への取り組み：30％
期末テスト：20％
TOEIC-IPの結果：30％（未受験、または300点未満の場合は単位を認定しない）
e-learning：20％（学習達成率が60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
　本講義は全回対面授業を行います。授業内容としては、テキストに基づいてコミュニケーション活動を主体とした演習をします。

【授業計画】
第 1回： オリエンテーション
第 2回： Unit1 Language Lessons ①
第 3回： Unit1 Language Lessons ②
第 4回： Unit2 U.S. Consumers Waste Food
第 5回： Unit3 Keeping eSports Athletes in the Game
第 6回： Unit4 Adulting Classes for Millennials
第 7回： Unit5 Is Your Bottled Water Safe?
第 8回： 中間テスト
第 9回： Unit6 Sleepless in Japan
第10回： Unit7 Alarming New Climate Report
第11回： Lesson about Christmas!
第12回： Unit8 Cracking the Dress Code:#KuToo Movement
第13回： Unit9 Grammar Table Lady Offers Advice
第14回： Unit10 Halloween Treats for Kids with Disabilities
第15回： Unit11 A Tax on Tourism?
期末テスト
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト

【自学自習に関するアドバイス】
(1)　e-learning（English Central）
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。

(2)　　テキスト 　授業ではテキストを使用します。授業担当者の指示に従って予習をしてから授業に臨んで下さい。予習の具体的な内容については授業ごとに異なります。
教科書・参考書等 CBS News Break 5. (Nobuhiro Kumai & Stephen Timson) Seibido. ISBN 978-4791972302.
オフィスアワー　　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex2 授業科目名　（時間割コード：041257） Communicative English Ⅱ NP(4) Communicative English Ⅱ Communicative English II	科目区分 外国語科目	時間割 2022年度 後期木2	対象年次 1～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教ｾﾝﾀｰ ＤＰコード：abx	対象学生 全学生 特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応 ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態　演習	単位数　2	
担当教員名 長井　克己，鳥越　洋子	関連授業科目　主題科目領域Ⅰ　経済・社会・文化 履修推奨科目　Communicative English III（2年次に履修）		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（English Central（20時間）＋ 準備学習（20時間）＋ 事後学習（20時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はDVD教材など4技能統合型教材を用いて英語を理解し、理解した内容に基づいて自分の考えを述べる部分から構成されています。授業外では、e-learningを用いて英語の基礎力の向上を目指します。全受講生は、学期中にTOEIC-IPテストを受験します。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：前期に受験した TOEIC-IP テストのスコアを向上させることができる。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

1～5 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。示された比率を目安として総合的に判断して単位認定を行います。なお健康上の理由以外でTOEIC未受験の場合、TOEIC が300点未満の場合、またはe-learning の学習達成率が60％未満の場合は単位が認定されませんので注意して下さい。
小テスト、授業での発表、課題等（予習・復習）30%・期末試験：20％
TOEIC-IPの結果：30%（未受験、または300点未満の場合は単位を認定しない）
e-learning：20％（学習達成率が60%未満の場合は単位を認定しない）

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】毎回の授業の進め方は下記の通りです。
e-learningのサポート等
テキストを使用しての演習（リスニング、デックテーション、コミュニケーション活動）
対面授業とオンライン授業を組み合わせて行います。（その都度、お知らせします。）
【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2回：Sky Lodge
第3回：Japanese High School Life
第4回：Sloth Calendar
第5回：The Skate Brothers
第6回：Picnjc　Snack Ideas
第7回：Volcano Adventure
第8回：Crazy Rides
第9回：The Climate Heroes
第10回：A Different Kind of Journey
第11回：Chris,the Comic Book Writer
第12回：Sharing Life with 1000 Cats
第13回：Living in 1927
第14回：Our Clothes
第15回：Food,Growing Cities
授業外（日程は別途指示）：TOEIC-IPテスト
【自学自習に関するアドバイス】
(1) e-learning（English Central）
インターネット接続のパソコンもしくはスマートフォンを用いて，教科書に準拠したビデオ動画に基づきTOEIC対策にも関連する英語学習を行います。学習成果はサーバー上に記録され成績の一部として考慮されます。計画的に取り組んで下さい。
(2)テキスト
　授業ではテキストを使用します。予習をしてから授業に臨んで下さい。

教科書・参考書等
テキスト　Expanding Horizons Chares　Browne　，田邉裕司 ISBN:９７８４５２３１７９０６１　南雲堂　２７５０円（消費税込み）
オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定する。
履修上の注意・担当教員からのメッセージ
第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC、e-learningについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。 対面授業とオンライン授業を組み合わせて行います。（その都度、お知らせします。）

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** （時間割コード：041258） Communicative English Ⅱ Z(1) Communicative English Ⅱ Communicative English II Z (2) 林町（工学部）キャンパス	**科目区分** 外国語科目	**時間割** 2022年度 前期月5	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 水野 康一	**関連授業科目** 主題科目領域Ⅰ 経済・社会・文化		
	履修推奨科目 Communicative English III（卒業要件となっている場合）		

学習時間 授業90分×15回＋授業外学習（予習・復習）

授業の概要

■この授業には受講制限が設けられています■
1年後期のTOEIC-IPテストの結果が300点未満の者（ただしTOEICを受験していない学生，1年前期または過去にTOEICで400点以上を取得した学生は受講できません。後期に開講される通常のCommunicative English IIを再履修すること）。幸町または林町キャンパスで開講されるいずれかのクラスを選択し，各自で履修登録してください。

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディングの演習を通して，英語能力の向上を目指します。
全受講生は、学期の終わりにTOEIC Bridgeテストを受験します（受験料は学生負担）。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行う（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」に対応）ための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：TOEIC Bridge テスト（新形式）で 54 点（TOEIC300 点相当）以上のスコアを取る。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。なおTOEIC Bridge未受験の学生は単位が認定されません。
TOEIC Bridgeスコア（授業内外の学習活動により加点）：100%
標準を超える授業外学習（少なくとも週3時間以上）および授業内活動については，授業一回当たり1点を期末のTOEIC Bridgeのスコアに加算し（逆に欠席は1回あたり3点減），合計54点以上を合格（C評価以上）とする。TOEIC Bridge未受験の場合は単位を認定しない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
基本的に毎回テキストに沿って授業を行う。予習を前提として文法の解説（教員による），問題演習（受講者から1人ずつ指名）を行う。なお，授業の最初と最後に小テストを実施し，予習状況および理解度を確認する。

【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2回：Unit 1 The Weather
第3回：Unit 2 Meetings & Messages
第4回：Unit 3 Health
第5回：Unit 4 Advertising & Sales
第6回：Unit 5 Investment & Office Supplies
第7回：Unit 6 Telephone Messages
第8回：Unit 7 Jobs & Promotions
第9回：Unit 8 Flights and Traveling
第10回：Unit 9 Housing
第11回：Unit 10 New Products & Electrical Appliances
第12回：Unit 11 Media
第13回：Unit 12 Ordering & Shipping
第14回：Unit 13 Customer Services
第15回：Unit 14 The Environment
授業外（日程は別途指示）：TOEIC Bridgeテスト

【自学自習に関するアドバイス】
毎回配布のプリントおよび教科書付属のCDを活用し，しっかり予習をしてから授業に臨んで下さい。

教科書・参考書等
TOEIC Bridge Lounge（TOEIC Bridgeで学ぶ役立つ英語）Terry O'Brienほか著　南雲堂　1800円＋税
オフィスアワー　　月曜４時限（幸町南２号館３階　水野研究室）
履修上の注意・担当教員からのメッセージ
第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC Bridgeテストについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻３回で欠席１となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041259) Communicative English Ⅱ Z(2) Communicative English Ⅱ Communicative English II Z (2) 林町（工学部）キャンパス	**科目区分** 外国語科目	**時間割** 2022年度 前期金5	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 水野　康一	**関連授業科目** 主題科目領域Ⅰ　経済・社会・文化		
	履修推奨科目 Communicative English III（卒業要件となっている場合）		

学習時間　授業90分×15回＋授業外学習（予習・復習）

授業の概要

■この授業には受講制限が設けられています■
1年後期のTOEIC-IPテストの結果が300点未満の者（ただしTOEICを受験していない学生，1年前期または過去にTOEICで400点以上を取得した学生は受講できません。後期に開講される通常のCommunicative English IIを再履修すること）。幸町または林町キャンパスで開講されるいずれかのクラスを選択し，各自で履修登録してください。

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。授業はリスニングとリーディングの演習を通して，英語能力の向上を目指します。
全受講生は、学期の終わりにTOEIC Bridgeテストを受験します（受験料は学生負担）。

授業の目的

この授業は、「英語を用いてコミュニケーションを行う（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」に対応）ための基礎的な能力」を身につけることを目的とします。

到達目標

1. 自分の英語力の現状を把握し、具体的な学習目標を立てることができる。
2. リーディング：日本語訳に頼らず平易な英語を直読直解することができる。
3. リスニング：自然な速度で話される短い英文の要点を理解することができる。
4. TOEIC：TOEIC Bridge テスト（新形式）で 54 点（TOEIC300 点相当）以上のスコアを取る。
5. コミュニケーション能力：英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ろうとすることができる。

成績評価の方法と基準

以下に挙げた項目が評価の基準となります。なおTOEIC Bridge未受験の学生は単位が認定されません。
TOEIC Bridgeスコア（授業内外の学習活動により加点）：100%
標準を超える授業外学習（少なくとも週3時間以上）および授業内活動については，授業一回当たり1点を期末のTOEIC Bridgeのスコアに加算し（逆に欠席は1回あたり3点減），合計54点以上を合格（C評価以上）とする。TOEIC Bridge未受験の場合は単位を認定しない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
　基本的に毎回テキストに沿って授業を行う。予習を前提として文法の解説（教員による），問題演習（受講者から1人ずつ指名）を行う。なお，授業の最初と最後に小テストを実施し，予習状況および理解度を確認する。

【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2回：Unit 1 The Weather
第3回：Unit 2 Meetings & Messages
第4回：Unit 3 Health
第5回：Unit 4 Advertising & Sales
第6回：Unit 5 Investment & Office Supplies
第7回：Unit 6 Telephone Messages
第8回：Unit 7 Jobs & Promotions
第9回：Unit 8 Flights and Traveling
第10回：Unit 9 Housing
第11回：Unit 10 New Products & Electrical Appliances
第12回：Unit 11 Media
第13回：Unit 12 Ordering & Shipping
第14回：Unit 13 Customer Services
第15回：Unit 14 The Environment
　授業外（日程は別途指示）：TOEIC Bridgeテスト

【自学自習に関するアドバイス】
　毎回配布のプリントおよび教科書付属のCDを活用し，しっかり予習をしてから授業に臨んで下さい。

教科書・参考書等
TOEIC Bridge Lounge（TOEIC Bridgeで学ぶ役立つ英語）Terry O'Brienほか著　南雲堂　1800円＋税
オフィスアワー　　月曜４時限（幸町南２号館３階　水野研究室）
履修上の注意・担当教員からのメッセージ
第１回目の授業で行われるオリエンテーションで、授業の進め方、TOEIC Bridgeテストについて説明を行います。必ず指定された教科書を購入の上、第1回目の授業に出席して下さい。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻３回で欠席１となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** （時間割コード：041301） Communicative English Ⅲ LJ(1) Communicative English Ⅲ Communicative English III	**科目区分** 外国語科目	**時間割** 2022年度 前期水1	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 ポール・バテン	**関連授業科目** 主題科目領域Ⅰ 経済・社会・文化 **履修推奨科目** Academic English I/II		

学習時間 授業90分×15回＋授業外学習（予習・復習・発表準備）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は、英語コミュニケーション能力の中で特にスピーキング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのスピーキング能力を向上させることを目的とします。

到達目標

1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。
2. 自分の言いたいことをうまく伝えることができない時でも、ジェスチャー、パラフレーズ（言い換え）などのコミュニケーション方略を用いて、コミュニケーションを継続することができる。
3. プレゼンテーションソフトを用いて５分間程度の発表を行うことができる。

1～3 は、共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」に対応。

成績評価の方法と基準

quizzes：20%, in-class effort：30%, mid-term presentation：20%, final presentation：30%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】この授業は、教科書を通して、学生の英語コミュニケーション能力を磨くことが目的です。ペアワーク、グループワークという活動がこの授業の中心です。クラスメートと先生と、テーマを決めて、内容を準備して、少しずつ練習して、よりいい英語での発表をできるようになるのが教員の期待です。お互いに応援し、助け合い、評価し、自信をもって英語で話す・発表することが目標です。毎回、練習して、少しずつ英語の発表が上達する。

【授業計画】
第１回：事前に教科書を購入し、内容を確認してから授業に臨むこと。
第２回～第13回：self-introductions, introducing someone, demonstration presentation, layout speech, book and movie review speech, show and tell.
第14・15回：プレゼンテーションを行う。具体的な指示は第５週目の授業で行う。計画的に準備しておくこと。

【授業外学習に関するアドバイス】
授業でいい発表できるように、授業へ来る前にテーマ・内容について調べる事が大事です。

教科書・参考書等

Speaking of Speech, Premimum Edition. Charles LeBeau. Cengage.

http://cengagejapan.com/elt/PresentationPronunciation/page/?no=1603270172pm03k

オフィスアワー 事前にメールで連絡してください。Friday, 3:00 - 4:00 p. m.

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。

教員の実務経験との関連

私にとっての外国語の日本語を３０年以上前から毎日直面しています。２７年前から大学生を教えています。出来るだけ学生にとって実践的なスキルを身につける授業を目さします。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041302) Communicative English Ⅲ LJ(2) Communicative English Ⅲ Communicative English Ⅲ (LJ2)	**科目区分** 外国語科目	**時間割 2022年度** 前期水1	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 マクラハン・ジェラディーン, ニコラス ダニエル フライ	**関連授業科目** 主題科目 領域Ⅰ 経済・社会・文化		
	履修推奨科目 Academic English Ⅰ/Ⅱ		

学習時間 Class meetings and preparation time per week 15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, homework) (approximately 90 min. per week)

授業の概要

Course Outline
One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills. This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).

授業の目的

General Objectives
This course focuses on the development of students oral communication skills. The primary objective is for students to improve their English speaking skills by the end of the 15-week semester.

到達目標

By the end of the semester, students should become enabled to:
1. Actively engage in English communication.
2. Overcome situations in which they have difficulty expressing themselves in English using compensatory strategies (e.g., gesturing, paraphrasing).
3. Speak about personal topics in English; Deliver 3-5 minute multi-media presentations in English.

The above criteria are in line with General Education standards at Kagawa University.
(To develop basic problem-solving skills) (To broaden one's knowledge of the humanities, society, and the environment)

成績評価の方法と基準

Evaluation Criteria
Students will be evaluated on the following:
In-class effort: 10% Mid-term presentation: 30% Final presentation: 60%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

[Course Method]
In-class activities will center on tasks in the textbook. Students will practice presentation skills with partners, in groups, and before the class, as well as prepare for mid-term and final presentations.
English will be the primary medium of communication in class.
[Course Schedule]
Week 1: Students should purchase their textbook before the first class and look over the content; Present Yourself.
Week 2-6: Textbook study and speech practice
Week 7-8: Mid-term presentations
Week 9-12: Textbook study and speech practice
Week 13-14: Final presentations workshop.
Week 15-16: Final presentations.
[Suggestions for self-study]
Week 1-5: Students should complete assigned homework and prepare for mid-term presentations.
Week 6-7: Students should be prepared to deliver mid-term presentations.
Week 8-13: Students should complete assigned homework and prepare for final presentations.
Week 15-16: Students should deliver final presentations and write self-assessments.

教科書・参考書等

Present Yourself Level 1 Student's Book: Experiences. (Gershon, S.) 2015.CUP. ISBN 978-1107435636

オフィスアワー Office Hours: Students should contact the instructor to arrange meetings.

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し、内容を確認した上で第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041303) Communicative English Ⅲ LJ(3) Communicative English Ⅲ Communicative English III	**科目区分** 外国語科目	**時間割** 2022年度 前期水1	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 マクラハン・ジェラディーン, ジョナサン ベリー	**関連授業科目** 主題科目 領域Ⅰ 経済・社会・文化		
	履修推奨科目 Academic English I/II		

学習時間 15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, homework) (approximately 90 min. per week)

授業の概要

One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills. This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).

授業の目的

This course focuses on the development of students' oral communication skills. The primary objective is for students to improve their English speaking skills by the end of the 15-week semester.

到達目標

By the end of the semester, students should become enabled to:
1. Actively engage in English communication.
2. Overcome situations in which they have difficulty expressing themselves in English using compensatory strategies (e.g., gesturing, paraphrasing).
3. Deliver 3 to 5-minute multi-media presentations in English.

The above criteria are in line with General Education standards at Kagawa University.
(To develop basic problem-solving skills) (To broaden one's knowledge of the humanities, society, and the environment)

成績評価の方法と基準

Students will be evaluated on the following:
Participation: 20%
Mid-term presentation: 20%
Final presentation: 30%
Assignments: 30%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

[Course Method]
Classwork will focus on activities in the textbook, and aspects of the speech act (including the verbal message, non-verbal message, and rhetorical message) will be introduced as the semester progresses. Students will be given many opportunities to practice these skills. English will be the primary medium of communication in class.

[Course Schedule]
Week 1: Orientation. Explanation of the course, student introductions, basic presentation skills discussion. Students should purchase their textbook before the first class and look over the content.
Weeks 2-6 and 11-14. In each lesson, students will look at and prepare for different presentation topics.
Week 2:Learn how to brainstorm and plan a presentation.
Week 3:Learn how to make notecards.
Week 4:Learn and practice gestures and body languages essentials.
Week 5:Learn how to project one's voice and speak clearly.
Week 6:How to use visual aids (PowerPoint skills)
Weeks 7-8: Mid-term presentations
Week 9:Learn how to stress keywords naturally.
Week 10:Learn how to connect ideas and thoughts with a natural flow.
Week 11:The enthusiastic speaker - watch videos about model presenters.
Week 12:Learn how to deal with audience questions.
Week 13:How to give feedback on presentations.
Week 14:Review of presentation skills.
Weeks 15-16: Final presentations.

[Suggestions for self-study]
Week 1: Students should buy the textbook before the first class and look over the content. Being

familiar with presentation software like PowerPoint would be advantageous. Week 2-6: Students should complete assigned homework and be prepared to deliver speeches before the class. Week 7: Midterm-presentations Week 8-14: Students should complete assigned homework and be prepared to deliver speeches before the class. Week 15-16: Final presentations この科目は全回対面授業を行います。なお状況によっては全て、または一部の授業回の授業形態を遠隔へ変更する可能性があります。
教科書・参考書等 Present Yourself 2 (Viewpoints), (S.Gershon) Cambridge University Press
オフィスアワー Please contact the instructor to arrange a meeting. Of course, this can be arranged on Zoom too.
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 授業科目名 (時間割コード：041304) Communicative English Ⅲ LJ(4) Communicative English Ⅲ Communicative English III	科目区分 外国語科目	時間割 2022年度 前期水1	対象年次 2～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教ｾﾝﾀｰ ＤＰコード：abx	対象学生 全学生 特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応 ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	単位数 1	
担当教員名 ビラ ダビッド	関連授業科目 主題科目領域Ⅰ 経済・社会・文化 履修推奨科目 Academic English I/II		

学習時間 15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, homework) (approximately 90 min. per week)

授業の概要

One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills. This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).

授業の目的

This course focuses on the development of students' oral communication skills. The primary objective is for students to improve their English speaking skills by the end of the 15-week semester.

到達目標

By the end of the semester, students should become enabled to:
1. Actively engage in English communication.
2. Overcome situations in which they have difficulty expressing themselves in English using compensatory strategies (e.g., gesturing, paraphrasing).
3. Speak about personal topics in English; Deliver 5+ -minute multi-media presentations in English.

The above criteria are in line with General Education standards at Kagawa University.
(To develop basic problem-solving skills) (To broaden one's knowledge of the humanities, society, and the environment)

成績評価の方法と基準

- Assignments: 25%
- In-class effort: 25%
- Mid-term presentation: 20%
- Final presentation: 30%

(A score of 0% in any of those categories will result in automatically failing the class.)

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

[Course Method]
Class work will center on activities in the textbook, and aspects of the speech act (including the verbal message, non-verbal message, and rhetorical message) will be introduced as the semester unfolds . Students will be given many opportunities to practice these skills. English will be the primary medium of communication in class.

[Course Schedule]
Please note that this schedule is tentative and subject to change.
Week 1: Students should purchase their textbook before the first class and look over the content; Introductions
Week 2-6: Speech practice utilizing textbook and supplementary materials. This first part of the semester will focus on Units 6, 7 and 8 of the textbook.
Week 7-8: Mid-term presentations.
Week 9-13: Speech practice utilizing textbook and supplementary materials. This second part of the semester will focus on Units 1-5 of the textbook.
Week 14: Final presentation workshop.
Week 15-16: Final presentations.

[Suggestions for self-study]
Week 1: Students should buy the textbook before the first class and look over the content.
Week 2-14: Students should complete assigned homework and be prepared to deliver speeches before the class.
Week 3-6: Students should also prepare for mid-term presentations.
Week 10-14: Students should also prepare for final presentations.
Week 15-16: Students should deliver final presentations.
Important notice: Due to the Covid19 situation, classes may be held face-to-face or online (with

Zoom and Moodle) depending on the evolution of the pandemic.
教科書・参考書等 Speaking Of Speech (premium edition) Charles LeBeau, NATIONAL GEOGRAPHIC: ISBN978-4-86312-385-4
オフィスアワー　Students should contact the instructor to arrange meetings.
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041305) Communicative English Ⅲ LJ(5) Communicative English Ⅲ Communicative English Ⅲ	**科目区分** 外国語科目	**時間割 2022年度** 前期水1	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 パーキンス　ガレス　エドワード	**関連授業科目** 主題科目領域Ⅰ　経済・社会・文化		
	履修推奨科目 Academic English Ⅰ/Ⅱ		

学習時間 15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, homework) (approximately 90 min. per week)

授業の概要

One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills. This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).

授業の目的

This course focuses on the development of students' oral communication skills. The primary objective is for students to improve their English speaking skills by the end of the 15-week semester.

到達目標

By the end of the semester, students should become enabled to:
1. Actively engage in English communication.
2. Overcome situations in which they have difficulty expressing themselves in English using compensatory strategies (e.g., gesturing, paraphrasing).
3. Students will be able to deliver a 5 minute presentation in English, learning appropriate language, body language and cultural differences.

The above criteria are in line with General Education standards at Kagawa University.
(To develop basic problem-solving skills) (To broaden one's knowledge of the humanities, society, and the environment)

成績評価の方法と基準

The course will be graded on the following criteria:

Midterm presentation: 20%
Final presentation: 30%
In class Effort :20%
Home Work: 20%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

(Course Method)
Class work will center on activities from the textbook, but there will also be a great deal of language from outside the text used, as well as grammar exercises. Body language, pronunciation and the coherent linking of ideas will be practiced.

(Course Schedule)
Week 1: Self introductions.
Week 2: Vacations and travel.
week 3: Culture and habits.
week 4: Explaining ideas.
week 5: Sharing an opinion.
week 6: Discussing current events.
week 7: Midterm presentations.
week 8: Body language and non verbal communication.
week 9: Common presentation language.
Week 10: Storytelling in a presentation.
week 11: Explaining a process.
Week 12: Explaining how to do something in steps.
week 13: Final presentation workshop.
Week 14: Review
Week 15: Final Presentations.

(self study)
Students should keep notes in every lesson and review them at home. They should use language studied during class to help complete their homework. Students should also watch TIF videos on

youtube, mirroring language and body language. 90 minutes of homework will be set each week. The tasks will be set to prepare for the following lesson and to review the previous lesson. Tasks will include keeping a journal, writing mini presentations and writing reports on topics of interest.

Classes will be held face-to-face, on campus. We may need to switch to online lessons if the situation with COVID worsens.

教科書・参考書等

Present Yourself 2: Viewpoints, by Steven Gershon Publisher: Cambridge University Press (second edition) (3025 Yen) ISBN: 978-1-107-43578-0

オフィスアワー　Students should contact the instructor to arrange meetings.

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

Please purchase the textbook in advance, check the contents (preamble part of the textbook and the first chapter), and then attend the first class.

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041306) Communicative English Ⅲ LJ(6) Communicative English Ⅲ Communicative English Ⅲ	**科目区分** 外国語科目	**時間割** 2022年度 前期水1	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 マクラハン・ジェラディーン, ヒルスティーブ	**関連授業科目** 主題科目領域Ⅰ 経済・社会・文化		
	履修推奨科目 Academic English Ⅰ/Ⅱ		

学習時間 15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, homework) (approximately 90 min. per week)

授業の概要

One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills. This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).

授業の目的

This course focuses on the development of students' oral communication skills. The primary objective is for students to improve their English speaking skills by the end of the 15-week semester.

到達目標

By the end of the semester, students should become enabled to:
1. Actively engage in English communication.
2. Overcome situations in which they have difficulty expressing themselves in English using compensatory strategies (e.g., gesturing, paraphrasing).
3.Speak about personal topics in English; Deliver 3-5 minute speeches in English; Deliver 5+ -minute multi-media presentations in English.

The above criteria are in line with General Education standards at Kagawa University.
(To develop basic problem-solving skills) (To broaden one's knowledge of the humanities, society, and the environment)

成績評価の方法と基準

Students will be evaluated on the following:
Quizzes: 20%　In-class effort: 30%　Mid-term presentation: 20%　Final presentation: 30%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

[Course Method]
Class work will center on activities in the textbook, and aspects of the speech act (including the verbal message, non-verbal message, and rhetorical message) will be introduced as the semester unfolds . Students will be given many opportunities to practice these skills. English will be the primary medium of communication in class.
[Course Schedule]
Week1: Students should purchase their textbook before the first class and look over the content;Introductions

[Suggestions for self-study]
Week 1: Students should buy the textbook before the first class and look over the content.
Week 2-10: Students should complete assigned homework and be prepared to deliver speeches before the class.
Week 11-13: Students should prepare for final presentations.
Week 14-15: Students should deliver final presentations and write self-assessments.

教科書・参考書等

Present Yourself 1, Second Edition (experiences.) Steven Gershon: isbn978-1107435636

オフィスアワー Students should contact the instructor to arrange meetings.

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し、内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041307) Communicative English Ⅲ LJ(7) Communicative English Ⅲ Communicative English Ⅲ	**科目区分** 外国語科目	**時間割** 2022年度 前期水1	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 マクラハン・ジェラディーン，アダム・ブロッド	**関連授業科目** 主題科目領域Ⅰ 経済・社会・文化		
	履修推奨科目 Academic English Ⅰ/Ⅱ		

学習時間 15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, homework) (approximately 90 min. per week)

授業の概要

One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills. This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).

授業の目的

This course focuses on the development of students' oral communication skills. The primary objective is for students to improve their English speaking skills by the end of the 15-week semester.

到達目標

By the end of the semester, students should become enabled to:
1. Actively engage in English communication.
2. Overcome situations in which they have difficulty expressing themselves in English using compensatory strategies (e.g., gesturing, paraphrasing).
3. Speak about personal topics in English; Deliver 3-5 minute speeches in English; Deliver 5+ -minute multi-media presentations in English.

The above criteria are in line with General Education standards at Kagawa University.
(To develop basic problem-solving skills) (To broaden one's knowledge of the humanities, society, and the environment)

成績評価の方法と基準

Students will be evaluated on the following:
Quizzes: 20% In-class effort: 30% Mid-term presentation: 20% Final presentation: 30%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

[Course Method]
Class work will center on activities in the textbook, and aspects of the speech act (including the verbal message, non-verbal message, and rhetorical message) will be introduced as the semester unfolds . Students will be given many opportunities to practice these skills. English will be the primary medium of communication in class.

[Course Schedule]]
Week 1: Students should purchase their textbook before the first class and look over the content;Introductions
Week 2: Unit 1: Posture and Eye Contact.
Week 3: Unit 2: Gestures
Week 4: Unit 3: Using your voice
Week 5: Unit 4 Visuals, pictures, graphs, objects, etc
Week 6: Unit 5 Explaining what we see
Week 7: Unit 6 Telling a story
Week 8: Unit 7 Presenting Information
Week 9: Unit 8, Finishing up, Conclusions
Week 10: Mid term presentations
Week 11: Deciding a topic for a final presentation
Week 12: Researching final presentation
Week 13: Organizing final presentation
Week 14: Finalizing final presentation
Week 15: Final Presentations
Week 16: Final Presentations

[Suggestions for self-study]
Week 1: Students should buy the textbook before the first class and look over the content.
Week 2-10: Students should complete assigned homework and be prepared to deliver speeches before the class.

Week 11-13: Students should prepare for final presentations. Week 14-15: Students should deliver final presentations and write self-assessments. Week 1: Students should buy the textbook before the first class and look over the content. Week 2-10: Students should complete assigned homework and be prepared to deliver speeches before the class. Week 11-13: Students should prepare for final presentations. Week 14-15: Students should deliver final presentations and write self-assessments.
教科書・参考書等 Speaking of Speech: Premium Edition. LeBeau Charles. National Geographic Learning. ISBN: 9784863123854
オフィスアワー　Students should contact the instructor to arrange meetings.
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 事前に教科書を購入し、内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041308) Communicative English Ⅲ LJ(8) Communicative English Ⅲ Communicative English Ⅲ	**科目区分** 外国語科目	**時間割** 2022年度 前期水1	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 マクラハン・ジェラディーン， 竹中千鶴	**関連授業科目** 主題科目領域Ⅰ 経済・社会・文化		
	履修推奨科目 Academic English I/II		

学習時間 授業90分×15回＋自学自習（準備学習（15時間）＋事後学習（15時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は、英語コミュニケーション能力の中で特にスピーキング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのスピーキング能力を向上させることを目的とします。

到達目標

1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。
2. 自分の言いたいことをうまく伝えることができない時でも、ジェスチャー、パラフレーズ（言い換え）などのコミュニケーション方略を用いて、コミュニケーションを継続することができる。
3. 身近なことについて即興で会話を続けることができる。
4. 英語で３分間程度のスピーチを行うことができる。

1～4 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

平常点（音読・ミニスピーチ：30%、筆記課題：20%）
Presentation（原稿提出も含む）（2回）：50%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
リスニングとリーディングでインプットした英語表現を、音読やリテリングなどのアクティビティを通して定着させて、その後自己表現へとレベルアップしていきます。個人練習もありますが、ペアやグループでの活動を多く取り入れます。この科目は全回対面授業を行います。

【授業計画】
第１回：オリエンテーション
第２回：Unit１
第３回：Unit２
第４回：Unit３
第５回：Unit４
第６回：Unit５
第７回：Unit６
第８回：Presentation（I）
第９回：Unit７
第10回：Unit８
第11回：Unit９
第12回：Unit10
第13回：Unit11
第14回：Unit12, 13
第15回：Unit14, 15
第16回(テスト期間）：Presentation（II）
授業の進捗状況により、日程は変更する可能性があります。

【授業外学習に関するアドバイス】
第1回：事前に教科書を購入し、内容を確認してから授業に臨むこと。
第2回～第15回：教員の指示に従い、十分に予習をした上で授業に臨むこと。

音読テスト、筆記課題、ミニスピーチ、プレゼンテーションについての具体的な指示は第1回めの授業、及び必要と思われる時点で行います。自宅での十分な練習とプレゼンテーションについては計画的に準備することが必要です。

教科書・参考書等 M.Usukura, Y.Suzuki, & C. Belton. (2022). Speaking Steps. Kinseido. ISBN 978-4-7647-4151-5
オフィスアワー　　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041309) Communicative English Ⅲ LJ(9) Communicative English Ⅲ Communicative English Ⅲ	**科目区分** 外国語科目	**時間割 2022年度** 前期水1	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 杉田　貴瑞	**関連授業科目** 主題科目領域Ⅰ　経済・社会・文化		
	履修推奨科目 Academic English I/II		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（準備学習（45時間）＋事後学習（15時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は、英語コミュニケーション能力の中で特にスピーキング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのスピーキング能力を向上させることを目的とします。

到達目標

1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。
2. 自分の言いたいことをうまく伝えることができない時でも、ジェスチャー、パラフレーズ（言い換え）などのコミュニケーション方略を用いて、コミュニケーションを継続することができる。
3. 英語で３分間程度のスピーチを行うことができる.

1～3 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

Quiz：20%　In-class effort：30%　Midterm presentation：20%　Final presentation：30%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
この科目は全回対面授業を行います。
テキストに従って授業を展開します。基本的に演習活動→presentationという流れです。毎回の授業では、ペアやグループでの演習活動を行ってもらいます。積極的に参加してください。中間・期末の2回のpresentationも必ず行ってください。

【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2回～第7回：演習活動(Unit 1~9)
第8回：Midterm Presentation
第9回～第14回：演習活動(Unit 10-15)
第15回：Preparation for the Final Presentation
期末試験：The Final Presentation

【授業外学習に関するアドバイス】
第1回：事前に教科書を購入し、内容を確認してから授業に臨むこと。
第2回～第15回：教員の指示に従い、十分に予習をした上で授業に臨むこと。
第7回・期末試験日：プレゼンテーションを行う。具体的な指示は授業内で行います。入念な準備をしたうえで臨んでください。

＜準備学習＞
・教科書を進める授業回の前には、該当箇所を音読しておいてください。また、音読の過程で発音・語句の意味が分からない場合は、辞書で調べてください。
・Midterm PresentationとFinal Presentationの前には念入りに時間をとって原稿を準備して、事前練習も行ってください。

＜事後学習＞
・授業で習得したpresentationのポイントを必ず再度確認して、準備学習の原稿準備にいかしてください。

教科書・参考書等

English Presentations Today: Language Skills for International Presentations. (Christopher, P.) 2018. 南雲堂. ISBN 978-4523178644

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041310) Communicative English Ⅲ LJ(10) Communicative English Ⅲ Communicative English Ⅲ	**科目区分** 外国語科目	**時間割** 2022年度 前期水1	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 中住　幸治	**関連授業科目** 主題科目領域Ⅰ　経済・社会・文化		
	履修推奨科目 Academic English I/II		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（準備学習（15時間）＋事後学習（15時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は、英語コミュニケーション能力の中で特にスピーキング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのスピーキング能力を向上させることを目的とします。

到達目標

1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。
2. 自分の言いたいことをうまく伝えることができない時でも、ジェスチャー、パラフレーズ（言い換え）などのコミュニケーション方略を用いて、コミュニケーションを継続することができる。
3. 「英語で３分間程度のスピーチを行うことができる」、「プレゼンテーションソフトを用いて５分間程度の発表を行うことができる」、「身近なことについて英語で伝えることができる」などからクラスごとに設定する。

1～3 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

Quiz：20%　In-class effort：20%　Presentations：60%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業計画】
第1・2・3回：Unit 1（演習活動・presentation）
第4・5・6回：Unit 2（演習活動・presentation）
第7・8・9回：Unit 4（演習活動・presentation）
第10・11・12回：Unit 5（演習活動・presentation）
第13・14・15回：Unit 8（演習活動・presentation）

【授業及び学習の方法】
テキストに従って授業を展開します。基本的にbrainstorming, planning & writing, presentation skills, presentation/reviewingという流れで、個人あるいはグループで計5回のpresentationを行ってもらいます。
この科目は基本的に対面授業で行います。

【授業外学習に関するアドバイス】
Presentation: 原稿準備やリハーサルは入念に行っておいてください。

教科書・参考書等

Bartelen, H. & Kostiuk, M. (2019). Ready to Present, National Geographic Learning, ISBN: 978-4-86-312351-9

オフィスアワー　木曜日　12:30~13:30 幸町キャンパス北5号館5階　中住研究室

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。

教員の実務経験との関連

高等学校に勤務経験あり。英語を担当。高等学校での実務経験を基に英語プレゼンテーションについて演習を行います。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** （時間割コード：041311） Communicative English Ⅲ LJ(11) Communicative English Ⅲ Communicative English Ⅲ LJ (11)	**科目区分** 外国語科目	**時間割** 2022年度 前期水1	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 永尾　智	**関連授業科目** 主題科目領域Ⅰ　経済・社会・文化		
	履修推奨科目 Academic English I/II		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（準備学習（15時間）＋事後学習（15時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は、英語コミュニケーション能力の中で特にスピーキング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのスピーキング能力を向上させることを目的とします。

到達目標

1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。
2. 自分の言いたいことをうまく伝えることができない時でも、ジェスチャー、パラフレーズ（言い換え）などのコミュニケーション方略を用いて、コミュニケーションを継続することができる。
3. 身近なことについて英語で伝えることができる。
4. ５分程度の英語放送を要点を把握しながら聞くことができる。

1～3 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

Quiz & In-class efforts：40%　Midterm Test：20%　Final Test：40%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
この授業は基本的に≪対面授業≫形式で実施します。座席は指定制（初回に指定）です。毎回、初めの10分ほどは【Listening Quiz】（5分程度の英語放送を聞き、内容把握のQ&A）を行います。授業本編は、テキストの各種タスクを進めながら、英語圏文化、英語そのものの背景等に思いを拡げながら基本的英語認識力の養成に意識的に取り組むことによって基礎的能力の向上を目指してもらいます。

【授業計画】
第1回：オリエンテーション。テキスト第1回の初めの3分の1ほどを扱う。
第2回～第7回：テキストを授業１～２回で１Unit進みます。ユニット終了後は次の授業回で復習テストを課します。
第8回：中間試験
第9回～第15回：テキストを授業１～２回で１Unit進みます。ユニット終了後は次の授業回で復習テストを課します。
第16回：期末試験

【授業外学習に関するアドバイス】
第1回：事前に教科書を購入し、内容を確認してから授業に臨むこと。（教科書を買わずに授業に出席してはなりません。コピー等の利用は著作権法違反になることは勿論、各自の学習向上にマイナスとなりますし、学習意欲を疑われます。必ず購入してください。）
第1回～第15回：教員の指示に従い、十分に予習をした上で授業に臨むこと。
・最初の２～３回の授業で学習方法に慣れてもらう必要があるので、これらの回での欠席はよくありません。
・外国語力とは、最後の最後は語彙力です。外国語学習者にふさわしい辞書活用学習を心掛けてください。Oxford Advanced LearnersDictinoary等に付属のDVDをPCに落として随時活用しましょう。
・NHK語学講座、English Express, English Journal、英字新聞等、英語学習手段をどれか一つ追加して、英語学習全体時間を拡げてみましょう。

教科書・参考書等

【教科書】
『In Focus: Student's Book 2』, by Charles Browne, Brent Culligan & Joseph Phillips, Cambridge UP, 2014, ISBN: 978-1-107-69701-0

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041312) Communicative English Ⅲ LJ(12) Communicative English Ⅲ Communicative English Ⅲ	**科目区分** 外国語科目	**時間割 2022年度** 前期水1	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 中井　富紀	**関連授業科目** 主題科目領域Ⅰ　経済・社会・文化		
	履修推奨科目 Academic English I/II		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（準備学習（15時間）＋事後学習（15時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は、英語コミュニケーション能力の中で特にスピーキング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのスピーキング能力を向上させることを目的とします。

到達目標

1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。
2. 自分の言いたいことをうまく伝えることができない時でも、ジェスチャー、パラフレーズ（言い換え）などのコミュニケーション方略を用いて、コミュニケーションを継続することができる。
3. 本授業のテーマである自然な速度における対話の中に生じる音の現象の基本的な知識を織り込んで、通じる英語の音声を目指し、アクトアウトプレゼンテーションができる。

1～3 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

In-class act out presentation (8回) 80%と最終試験 (Final communication performance) 20%で最終評価をする。各dialogごとに設定したゴールの到達度、声の大きさと明瞭さ、流暢度、感情表現などの項目から、B・A＋・A・A-のいずれかで判定する。これらを点数化したものから遅刻、欠席を減点し、皆勤の場合は加点をしたものが最終評価点となる。ペアワークであるが個別で評価する。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
＊マスク着用、教室の全もしくは一部の窓開放の上、授業を実施する。
テキストの各ダイアログに設定されたゴールをクリアすべく、覚えたダイアログのアクトアウトプレゼンテーションを行う。
【授業計画】
第1回：Course work introduction（コースワーク紹介）ハンドアウト配布、ペア決定など。
第2回：コミュニケーション活動－getting to know each other など。
第3回：dialog 1　Nice to meet you
第4回：dialog 2　What year are you in at pine tree?
第5回：dialog 3　Practice makes perfect
第6回：dialog 4　First bus ride
第7回：dialog 5　Greenwood
第8回 ： dialog 6　Talk about sport
第9回 ： dialog 7　This is the campus
第10回 ： dialog 8　At the university cafeteria
第11回 ： dialog 9　Two pieces of apple pie a la mode
第12回 ： dialog 10　I can’t stand cold weather
第13回：dialog 11 #1　Getting a part-time job
第14回：dialog 11 #2　Getting a part-time job
第15回：Review tasks for dialogs 1-11
【授業外学習に関するアドバイス】
ただ暗唱するだけでなく、コミュニケーションを意識して、大きな声で声読できるようにする。
さらに、それを習慣的なホームラーニングとして定着させることが必要である。

教科書・参考書等

Sounds Great!. Fuki Nakai. Matsuyama Univ. Seikyo. ISBN N/A

オフィスアワー　月、水、木曜日の３時～４時３０分までの間自由に来てください。場所は北キャンパス教育学部棟３号館４階です。Welcome!

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041313) Communicative English Ⅲ ED(1) Communicative English Ⅲ Communicative English Ⅲ	**科目区分** 外国語科目	**時間割** 2022年度 前期金5	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 マクラハン・ジェラディーン, ヒルスティーブ	**関連授業科目** 主題科目領域Ⅰ 経済・社会・文化		
	履修推奨科目 Academic English Ⅰ/Ⅱ		

学習時間 15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, homework) (approximately 90 min. per week)

授業の概要

One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills. This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).

授業の目的

This course focuses on the development of students' oral communication skills. The primary objective is for students to improve their English speaking skills by the end of the 15-week semester.

到達目標

By the end of the semester, students should become enabled to:
1. Actively engage in English communication.
2. Overcome situations in which they have difficulty expressing themselves in English using compensatory strategies (e.g., gesturing, paraphrasing).
3. Speak about personal topics in English; Deliver 3-5 minute speeches in English; Deliver 5+ -minute multi-media presentations in English.

The above criteria are in line with General Education standards at Kagawa University.
(To develop basic problem-solving skills) (To broaden one's knowledge of the humanities, society, and the environment)

成績評価の方法と基準

Students will be evaluated on the following:
Quizzes: 20% In-class effort: 30% Mid-term presentation: 20% Final presentation: 30%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

[Course Method]
Class work will center on activities in the textbook, and aspects of the speech act (including the verbal message, non-verbal message, and rhetorical message) will be introduced as the semester unfolds . Students will be given many opportunities to practice these skills. English will be the primary medium of communication in class.
[Course Schedule]
Week1: Students should purchase their textbook before the first class and look over the content;Introductions
[Fill in plan for remaining weeks]
[Suggestions for self-study]
Week 1: Students should buy the textbook before the first class and look over the content.
Week 2-10: Students should complete assigned homework and be prepared to deliver speeches before the class.
Week 11-13: Students should prepare for final presentations.
Week 14-15: Students should deliver final presentations and write self-assessments.

教科書・参考書等

Present Yourself 2: Second Edition (viewpoints) Steven Gershon, CAMBRIDGE: ISBN978-1-107-43578-0

オフィスアワー Students should contact the instructor to arrange meetings.

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し、内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex1 授業科目名　（時間割コード：041314） Communicative English Ⅲ ED(2) Communicative English Ⅲ Communicative English III	科目区分 外国語科目	時間割 2022年度 前期金5	対象年次 2～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教ｾﾝﾀｰ ＤＰコード：abx	対象学生 全学生 特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応 ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態　演習	単位数　1	
担当教員名 マクラハン・ジェラディーン，ジョナサン　ベリー	関連授業科目　主題科目　領域Ⅰ　経済・社会・文化		
	履修推奨科目　Academic English　I/II		

学習時間　15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, homework) (approximately 90 min. per week)

授業の概要

One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills. This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).

授業の目的

This course focuses on the development of students' oral communication skills. The primary objective is for students to improve their English speaking skills by the end of the 15-week semester.

到達目標

By the end of the semester, students should become enabled to:
1. Actively engage in English communication.
2. Overcome situations in which they have difficulty expressing themselves in English using compensatory strategies (e.g., gesturing, paraphrasing).
3. Deliver 3 to 5-minute multi-media presentations in English.

The above criteria are in line with General Education standards at Kagawa University.
(To develop basic problem-solving skills) (To broaden one's knowledge of the humanities, society, and the environment)

成績評価の方法と基準

Students will be evaluated on the following:
Participation: 20%
Mid-term presentation: 20%
Final presentation: 30%
Assignments: 30%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

[Course Method]
Classwork will focus on activities in the textbook, and aspects of the speech act (including the verbal message, non-verbal message, and rhetorical message) will be introduced as the semester progresses. Students will be given many opportunities to practice these skills. English will be the primary medium of communication in class.

[Course Schedule]
Week 1: Orientation. Explanation of the course, student introductions, basic presentation skills discussion. Students should purchase their textbook before the first class and look over the content.
Weeks 2-6 and 11-14. In each lesson, students will look at and prepare for different presentation topics.
Week 2:Learn how to brainstorm and plan a presentation.
Week 3:Learn how to make notecards.
Week 4:Learn and practice gestures and body languages essentials.
Week 5:Learn how to project one's voice and speak clearly.
Week 6:How to use visual aids (PowerPoint skills)
Weeks 7-8: Mid-term presentations
Week 9:Learn how to stress keywords naturally.
Week 10:Learn how to connect ideas and thoughts with a natural flow.
Week 11:The enthusiastic speaker - watch videos about model presenters.
Week 12:Learn how to deal with audience questions.
Week 13:How to give feedback on presentations.
Week 14:Review of presentation skills.
Weeks 15-16: Final presentations.

[Suggestions for self-study]
Week 1: Students should buy the textbook before the first class and look over the content. Being

familiar and competent with presentation software like PowerPoint will be advantageous. Week 2-6: Students should complete assigned homework and be prepared to deliver speeches before the class. Week 7: Midterm-presentations Week 8-14: Students should complete assigned homework and be prepared to deliver speeches before the class. Week 15-16: Final presentations この科目は全回対面授業を行います。なお状況によっては全て、または一部の授業回の授業形態を遠隔へ変更する可能性があります。
教科書・参考書等 Present Yourself 2 (Viewpoints), (S.Gershon) Cambridge University Press
オフィスアワー Please contact the instructor to arrange a meeting. Meetings can of course be arranged on Zoom too.
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041315) Communicative English Ⅲ ED(3) Communicative English Ⅲ Communicative English Ⅲ	**科目区分** 外国語科目	**時間割** 2022年度 前期金5	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 マクラハン・ジェラディーン，アダム・ブロッド	**関連授業科目** 主題科目領域Ⅰ 経済・社会・文化		
	履修推奨科目 Academic English Ⅰ/Ⅱ		

学習時間 15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, homework) (approximately 90 min. per week)

授業の概要

One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills. This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).

授業の目的

This course focuses on the development of students' oral communication skills. The primary objective is for students to improve their English speaking skills by the end of the 15-week semester.

到達目標

By the end of the semester, students should become enabled to:
1. Actively engage in English communication.
2. Overcome situations in which they have difficulty expressing themselves in English using compensatory strategies (e.g., gesturing, paraphrasing).
3. Speak about personal topics in English; Deliver 3-5 minute speeches in English; Deliver 5+ -minute multi-media presentations in English.

The above criteria are in line with General Education standards at Kagawa University.
(To develop basic problem-solving skills) (To broaden one's knowledge of the humanities, society, and the environment)

成績評価の方法と基準

Students will be evaluated on the following:
Quizzes: 20% In-class effort: 30% Mid-term presentation: 20% Final presentation: 30%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

[Course Method]
Class work will center on activities in the textbook, and aspects of the speech act (including the verbal message, non-verbal message, and rhetorical message) will be introduced as the semester unfolds . Students will be given many opportunities to practice these skills. English will be the primary medium of communication in class.

[Course Schedule]]
Week 1: Students should purchase their textbook before the first class and look over the content;Introductions
Week 2: Unit 1: Posture and Eye Contact.
Week 3: Unit 2: Gestures
Week 4: Unit 3: Using your voice
Week 5: Unit 4 Visuals, pictures, graphs, objects, etc
Week 6: Unit 5 Explaining what we see
Week 7: Unit 6 Telling a story
Week 8: Unit 7 Presenting Information
Week 9: Unit 8, Finishing up, Conclusions
Week 10: Mid term presentations
Week 11: Deciding a topic for a final presentation
Week 12: Researching final presentation
Week 13: Organizing final presentation
Week 14: Finalizing final presentation
Week 15: Final Presentations
Week 16: Final Presentations

[Suggestions for self-study]
Week 1: Students should buy the textbook before the first class and look over the content.
Week 2-10: Students should complete assigned homework and be prepared to deliver speeches before the class.

Week 11-13: Students should prepare for final presentations. Week 14-15: Students should deliver final presentations and write self-assessments. Week 1: Students should buy the textbook before the first class and look over the content. Week 2-10: Students should complete assigned homework and be prepared to deliver speeches before the class. Week 11-13: Students should prepare for final presentations. Week 14-15: Students should deliver final presentations and write self-assessments.
教科書・参考書等 Speaking of Speech: Premium Edition. LeBeau Charles. National Geographic Learning. ISBN: 9784863123854
オフィスアワー　Students should contact the instructor to arrange meetings.
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 事前に教科書を購入し、内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 授業科目名 (時間割コード：041316) Communicative English Ⅲ ED(4) Communicative English Ⅲ Communicative English Ⅲ	科目区分 外国語科目	時間割 2022年度 前期金5	対象年次 2～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教ｾﾝﾀｰ ＤＰコード：abx	対象学生 全学生 特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応 ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	単位数 1	
担当教員名 パーキンス ガレス エドワード	関連授業科目 主題科目領域Ⅰ 経済・社会・文化 履修推奨科目 Academic English Ⅰ/Ⅱ		

学習時間 15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, homework) (approximately 90 min. per week)

授業の概要

One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills. This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).

授業の目的

This course focuses on the development of students' oral communication skills. The primary objective is for students to improve their English speaking skills by the end of the 15-week semester.

到達目標

By the end of the semester, students should become enabled to:
1. Actively engage in English communication.
2. Overcome situations in which they have difficulty expressing themselves in English using compensatory strategies (e.g., gesturing, paraphrasing).
3. Students will be able to deliver a 5 minute presentation in English, learning appropriate language, body language and cultural differences.

The above criteria are in line with General Education standards at Kagawa University.
(To develop basic problem-solving skills) (To broaden one's knowledge of the humanities, society, and the environment)

成績評価の方法と基準

The course will be graded on the following criteria:

Midterm presentation: 20%
Final presentation: 30%
In class Effort :20%
Home Work: 20%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

(Course Method)
Class work will center on activities from the textbook, but there will also be a great deal of language from outside the text used, as well as grammar exercises. Body language, pronunciation and the coherent linking of ideas will be practiced.

(Course Schedule)
Week 1: Self introductions.
Week 2: Vacations and travel.
week 3: Culture and habits.
week 4: Explaining ideas.
week 5: Sharing an opinion.
week 6: Discussing current events.
week 7: Midterm presentations.
week 8: Body language and non verbal communication.
week 9: Common presentation language.
Week 10: Storytelling in a presentation.
week 11: Explaining a process.
Week 12: Explaining how to do something in steps.
week 13: Final presentation workshop.
Week 14: Review
Week 15: Final Presentations.

(self study)
Students should keep notes in every lesson and review them at home. They should use language studied during class to help complete their homework. Students should also watch TIF videos on

youtube, mirroring language and body language. 90 minutes of homework will be set each week. The tasks will be set to prepare for the following lesson and to review the previous lesson. Tasks will include keeping a journal, writing mini presentations and writing reports on topics of interest.

Classes will be held face-to-face, on campus. We may need to switch to online lessons if the situation with COVID worsens.

教科書・参考書等

Present Yourself 2: Viewpoints, by Steven Gershon Publisher: Cambridge University Press (second edition) (3025 Yen) ISBN: 978-1-107-43578-0

オフィスアワー　Students should contact the instructor to arrange meetings.

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

Please purchase the textbook in advance, check the contents (preamble part of the textbook and the first chapter), and then attend the first class.

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041317) Communicative English Ⅲ ED(5) Communicative English Ⅲ Communicative English Ⅲ	**科目区分** 外国語科目	**時間割 2022年度** 前期金5	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 ウィリアムズ　厚子	**関連授業科目** 主題科目領域Ⅰ　経済・社会・文化 **履修推奨科目** Academic English I/II		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（準備学習（15時間）＋事後学習（15時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は、英語コミュニケーション能力の中で特にスピーキング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのスピーキング能力を向上させることを目的とします。

到達目標

1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。
2. 自分の言いたいことをうまく伝えることができない時でも、ジェスチャー、パラフレーズ（言い換え）などのコミュニケーション方略を用いて、コミュニケーションを継続することができる。
3. 英語を用いて 10 分程度のプレゼンテーションをすることができる。

1～3 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

小テスト：20%　課題・授業参加：30%　Midterm presentation：20%　Final presentation：30%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
開始－15分　クイズ　会話練習
15分－終了　テキストを使用しての演習

【授業計画】各週の授業内容についてはMoodle のトピックを確認してください。
第 1回：オリエンテーション　Unit 1 Enjoy Your Presentation in English
第 2回：Unit 2 Talking about Yourself
第 3回：Unit 3 Express Yourself
第 4回：Unit 4 Talking about Hobbies and Interests
第 5回：Unit 5 Talking about Your University
第 6回：Unit 6 Your Future Plans
第 7回：Unit 7 Expressing Appreciation
第 8回： Midterm Presentation
第 9回：Unit 9 Expressing Your Opinion
第10回：Unit10 Giving a Presentation about Japan
第11回：Unit11 Old Japanese sayings
第12回：Unit12 Describing Things Japanese
第13回：Unit13 Current Issues in Japanese Society
第14回：Unit14 Current Issues in International Relations
第15回： Final Presentation

【授業外学習に関するアドバイス】
第1回：事前に教科書を購入し、内容を確認してから授業に臨むこと。
第2回以降：前時の指示に従い、課題と予習をした上で授業に臨むこと。
第8回と第15回のPresesntation については、事前に授業で周知する。

教科書・参考書等

This Is My Presentation!（Nobuyuki Honna他）2019 桐原書店　ISBN978-4-342-55012-6

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード　B2ENG-axxG-1N-Ex1 授業科目名　（時間割コード：041318） Communicative English Ⅲ ED(6) Communicative English Ⅲ Communicative English Ⅲ	科目区分 外国語科目	時間割 2022年度 前期金5	対象年次 2～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教ｾﾝﾀｰ ＤＰコード：axx	対象学生 全学生 特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応 ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態　演習	単位数　1	
担当教員名 ウィリー・イアン・デビッド	関連授業科目　主題科目領域Ⅰ　経済・社会・文化 履修推奨科目　Academic English Ⅰ/Ⅱ		

学習時間　Class meetings and preparation time per week　15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, homework) (approximately 90 min. per week)

授業の概要

One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills. This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).

授業の目的

This course focuses on the development of students' oral communication skills. The primary objective is for students to become more confident and competent English speakers by the end of the 15-week semester. Students' overall English skills (in listening, reading, writing, and speaking) should also improve.

到達目標

By the end of the semester, students will become enabled to:
1. Voice their own opinions and offer information in pairs, groups, and in class discussion;
2. Describe pictures, videos and other material using simple English and gestures;
3. Deliver 5-7 minute presentations about personal and social topics in English, using PowerPoint

The above criteria are in line with General Education standards at Kagawa University.
(To develop basic problem-solving skills) (To broaden one's knowledge of the humanities, society, and the environment)

成績評価の方法と基準

Participation (in-class effort)：20%
Homework (Moodle) & mini-presentations: 40%
Midterm presentation：20%
Final presentation：20%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【Class method】
Activities in the textbook (Present Yourself 2) will be the main part of the class. Students will practice speaking and presentation skills such as eye contact and voice projection. They will also learn how to organize an effective presentation and prepare effective PowerPoint presentations. Students will often deliver short speeches in groups and in front of the class. Short drills to develop speaking fluency will be done at the beginning and end of every class. Only English will be used in the classroom. All students will use the Moodle page for this class for written homework and to receive information about the class.

【Class schedule】
Week 1: Introduction to course, instructor, and students; Speaking warm-up
Week 2: Begin Present Yourself 2 (PY2): Unit 1
Week 3: PY2 Unit 1
Week 4: PY2 Unit 2
Week 5: PY2 Unit 2
Week 6: PY2 Unit 3
Week 7: Mid-term presentations 1
Week 8: Mid-term presentations 2; PY2 Unit 3
Week 9: PY2 Unit 4
Week 10: PY2 Unit 4
Week 11: PY2 Unit 5
Week 12: PY2 Unit 5
Week 13: PY2 Wrap-up
Week 14: Final presentations 1
Week 15: Final presentations 2

【Suggestions for self-study】
Week 1-5: Students should complete homework and practice short speeches.
Week 6-8: Students should prepare for the mid-term presentation.
Week 9-12: Students should complete homework and practice short speeches.
Week 13-15: Students should prepare for the final presentation.

* Classes will be held in the regular classroom. Depending on the situation, classes may shift online.

教科書・参考書等

Gershon, S. (2015). Present Yourself 2 (2nd Edition). Cambridge University Press. ISBN 978-1107435780

オフィスアワー　Information about office hours and arranging meetings with the instructor will be provided on the first day of class.

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041319) Communicative English Ⅲ ED(7) Communicative English Ⅲ Communicative English Ⅲ	**科目区分** 外国語科目	**時間割 2022年度** 前期金5	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 マクラハン・ジェラディーン， 篠原範子	**関連授業科目** 主題科目 領域Ⅰ 経済・社会・文化		
	履修推奨科目 Academic English I/II		

学習時間 授業90分×15回＋授業外学習（予習・復習・発表準備）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は、英語コミュニケーション能力の中で特にスピーキング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのスピーキング能力を向上させることを目的とします。

到達目標

1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。
2. 自分の言いたいことをうまく伝えることができない時でも、ジェスチャー、パラフレーズ（言い換え）などのコミュニケーション方略を用いて、コミュニケーションを継続することができる。
3. 英語で３分間程度のスピーチを行うことができる

1～3 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

Assignment：20%　In-class effort：30%　Midterm presentation：20%　Final presentation：30%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
テキストに従って授業を進めます。

【授業計画】
第1回：オリエンテーション。事前に教科書を購入し、内容を確認してから授業に臨むこと。
第2回：テキスト Unit 1
第3回：テキスト Unit 2
第4回：テキスト Unit 3
第5回：テキスト Unit 4
第6回：テキスト Unit 5
第7回：テキスト Unit 6
第8回：Mid-term Speech
第9回：テキスト Unit 7 & 8
第10回：テキスト Unit 9
第11回：テキスト Unit 10 & 11
第12回：テキスト Unit 12 & 13
第13回：テキスト Unit 14 & 15
第14回：予備日
第15回：Final Speech

＊上記の予定は状況に応じて変更する場合があります。
詳細については、第1回目に説明します。
この科目は全回対面授業を行います。なお状況によっては全てまたは一部の授業回の授業形態を遠隔へ変更する可能性があります。

【授業外学習に関するアドバイス】
授業での積極的な参加、また与えられた課題は必ずやってくることを前提とします。

教科書・参考書等

English Presentation Today: Language Skills for International Presentation (Christopher, P.) 2018. 南雲堂. ISBN 978-4523178644

オフィスアワー 必要があれば授業時間に。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041320) Communicative English Ⅲ ED(8) Communicative English Ⅲ Communicative English Ⅲ	**科目区分** 外国語科目	**時間割 2022年度** 前期金5	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 マクラハン・ジェラディーン, ジュリアン・セイント	**関連授業科目** 主題科目領域Ⅰ 経済・社会・文化		
	履修推奨科目 Academic English I/II		

学習時間 Class meetings and preparation time per week 15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, homework) (approximately 90 min. per week)

授業の概要

One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills. This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).

授業の目的

This course focuses on the development of students' oral communication skills. The primary objective is for students to improve their English speaking skills by the end of the 15-week semester.

到達目標

By the end of the semester, students should become enabled to:
1. Actively engage in English communication.
2. Overcome situations in which they have difficulty expressing themselves in English using compensatory strategies (e.g., gesturing, paraphrasing).
3. Speak about personal topics in English; Deliver 3-5 minute speeches in English; Deliver 5+ -minute Power Point presentations in English.
The above criteria are in line with General Education standards at Kagawa University.
(To develop basic problem-solving skills) (To broaden one's knowledge of the humanities, society, and the environment)

成績評価の方法と基準

Quizzes: 20% In-class effort: 15% Homework: 15% Mid-term presentation: 20% Final presentation: 30%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

[Course Method]
Class work will focus on activities in the textbook, and aspects of the speech act (including the verbal message,non-verbal message, and rhetorical message) will be introduced during the semester . Students will be given many opportunities to practice these skills. English will be the main language for communication in class.

[Course Schedule]
Week1: Introductions: Students should be prepared to speak in front of the class.
Weeks 2-7: Textbook Classwork, Speech Preparation Practice (Personal Topic)
Week8: Midterm Speech Presentations (Personal Topic)
Weeks 9-13: Textbook Classwork, Speech Preparation Practice (Academic Topic)
Week14: Final Presentations (Academic Topic) Week 1
Week15: Final Presentations (Academic Topic) Week 2

[Suggestions for self-study]
Week 1: Students should buy the textbook before the first class and look over the content.
Week 2-7: Students should complete assigned homework and be prepared to deliver speeches before the class.
Week 8: Students should prepare for Midterm Presentations.
Week 9-13: Students should complete assigned homework and be prepared to deliver speeches before the class
Week 14-15: Students should deliver Final Presentations and be prepared to ask questions about presentations.

教科書・参考書等

Title: Present Yourself Level 1 Student's Book: Experiences Second Edition (Steven Gershon)
Publisher: Cambridge University Press; 2nd edition (December 30, 2014) ISBN-13: 978-1107435636

オフィスアワー Students should contact the instructor to arrange meetings.

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

This class will be generally be conducted in a face-to-face manner. Depending on the situation, classes may be shifted to online lessons.

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** （時間割コード：041321） Communicative English Ⅲ ED(9) Communicative English Ⅲ Communicative English Ⅲ	**科目区分** 外国語科目	**時間割** 2022年度 前期金5	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 マクラハン・ジェラディーン， 瀬良和彦	**関連授業科目** 主題科目領域Ⅰ 経済・社会・文化		
	履修推奨科目 Academic English I/II		

学習時間 授業90分×15回＋自学自習（準備学習（15時間）＋事後学習（15時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は、英語コミュニケーション能力の中で特にスピーキング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのスピーキング能力を向上させることを目的とします。

到達目標

1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。
2. 自分の言いたいことをうまく伝えることができない時でも、ジェスチャー、パラフレーズ（言い換え）などのコミュニケーション方略を用いて、コミュニケーションを継続することができる。
3. 身近なことについて英語で伝えることができる

1～3 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

授業への参加度［提出率・課題内容など］（４回未提出は単位不認定）、小テスト（予定）、期末試験の結果などに基づいて、総合的に評価をする。平常点（提出率、課題内容、小テストほか）６０％、期末テスト４０％（未受験の場合は単位を認定しない）。ただし、授業の進度などにより、若干の変動がある。尚、成績不振による救済措置等は行わない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【【授業の方法】

この科目は基本的に遠隔授業を行います。なお状況によっては一部の授業回の授業形態を対面へ変更する可能性があります。受講生は、毎回①教科書の課題、②教科書の中での不明な点などの質問、③英語能力向上に関する課題を期限までに提出していただきます。教科書は、予習などに基づき、各回１章ずつ進む予定です。ただし、受講生の能力や授業の状況により、変更することもあります。また、適宜補助プリントを使用することもあります。

【授業計画】

第１回：オリエンテーション
第２回～第１５回：演習活動、小テスト
第１６回：期末テスト

【自学自習に関するアドバイス】

事前に教科書を購入し、内容を確認してから授業に臨むこと。
教員の指示に従い、十分に予習をした上で授業に臨むこと。
教科書のトレーニング・マニュアルを参照すること。
（基礎トレーニング）
１、２週目の毎日のメニュー。
①テキストを見ないでＣＤを聴く×２回
②テキストを見ながらＣＤを聴く×１回
③テキストを黙読して意味を理解する×２回
④ＣＤを聴きながら、１文ずつ音読する×１回
⑤ＣＤに合わせてテキストを音読する×１回
⑥仕上げの音読をする×２回
（応用トレーニング）
３～５週目の毎日のメニュー
①テキストを見ないでＣＤを聴く×１回
②テキストを見ながらＣＤを聴く×１回
③テキストを黙読して意味を理解する×１回
④ＣＤに合わせてテキストを音読する×１回
⑤テキストを筆写する×１セット
⑥仕上げの音読をする×２回

教科書・参考書等 國弘正雄、千田潤一監修『英会話・ぜったい音読・続入門編』講談社インターナショナル、2004年、ISBN9784770025241
オフィスアワー　　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041322) Communicative English Ⅲ ED(10) Communicative English Ⅲ Communicative English Ⅲ	**科目区分** 外国語科目	**時間割** 2022年度 前期金5	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 マクラハン・ジェラディーン， 森川光与	**関連授業科目** 主題科目領域Ⅰ 経済・社会・文化		
	履修推奨科目 Academic English I/II		

学習時間 授業90分×15回＋自学自習（準備学習（15時間）＋事後学習（15時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は、英語コミュニケーション能力の中で特にスピーキング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのスピーキング能力を向上させることを目的とします。

到達目標

1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる
2. 自分の言いたいことをうまく伝えることができない時でも、ジェスチャー、パラフレーズ（言い換え）などのコミュニケーション方略を用いて、コミュニケーションを継続することができる
3. 英語で３分間程度のスピーチを行うことができる
4. 身近なことについて英語で伝えることができる

1~4 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応しています。

成績評価の方法と基準

Quiz/Homework：30%　In-class effort/attendance：25％　Midterm Paper Exam/Presentation：20%
Final Paper Exam/Presentation：25%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
本講座では、社会で必要となるコミュニケーションスキルを磨くことを目指して、スピーキングを主としたアクティビティを実施します。

この科目は全回対面授業を行います。なお状況によっては全てまたは一部の授業回の授業形態を遠隔へ変更する可能性があります。

【授業計画】
指定のテキストに沿って以下の順に英語で行うスピーチの練習を行います。スピーチに関する語彙、文章構成、プレセンテーション方法なども学習します。人前で英語で話す機会をできるだけたくさん経験するための授業構成です。

第1回：オリエンテーション
第2回：Unit1-3　プレゼンテーションの基本知識
第3回：Unit 4-5　列挙型プレゼンテーション（以下全てプレゼンテーション）
第4回：Unit 6　分裂型
第5回：Unit 7　プロセス型
第6回：Unit 8　調査型
第7回：Mini Presentation　（中間試験のプレゼンテーション）
第8回：Review/Feedback
第9回：Unit 10　説明型
第10回：Unit 11　問題解決型
第11回：Unit 12-13　原因・結果型、比較対照型
第12回：Review
第13回：Composing your final presentation　スピーチの作成
第14回：Review and preparation for final　期末に向けてのレビュー及び準備
第15回：Final Exam（前半）
期末試験週：Final Exam（後半）

上記の計画は状況や進捗度により変更の可能性があります。

【授業外学習に関するアドバイス】
毎日20分は英語に触れるのを目標として、授業外学習に取り組んでください。

事前学習として、宿題として提出した内容を実施してください。また日々英語に触れる工夫を授業の中で紹介していきます。
教科書・参考書等 動画で学ぶ英語プレゼンテーション ―覚えておきたい8つのモデル― Winning Presentations（Morita, A et al）2018 成美堂　ISBN：9784791934249
オフィスアワー　　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041323) Communicative English Ⅲ ED(11) Communicative English Ⅲ Communicative English Ⅲ	**科目区分** 外国語科目	**時間割 2022年度** 前期金5	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 辻　梨花	**関連授業科目** 主題科目領域Ⅰ　経済・社会・文化 **履修推奨科目** Academic English I/II		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（準備学習（15時間）＋事後学習（15時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は、英語コミュニケーション能力の中で特にスピーキング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのスピーキング能力を向上させることを目的とします。

到達目標

1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。
2. 自分の言いたいことをうまく伝えることができない時でも、ジェスチャー、パラフレーズ（言い換え）などのコミュニケーション方略を用いて、コミュニケーションを継続することができる。
3. 英語を用いて自分の関心のあることや意見を簡単に述べることができる。

1～3 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

Assignments：20%
Discussion and Class Participation：30%
Presentation ：50%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
本授業では、指定の教材の内容を中心にUnitごとに授業を進めます。教科書で使われるNational Geographicの映像を使い、リスニングとスピーキングのスキルを伸ばします。映像を通して英語で語られる世界の事象などにも焦点を置きながら、基本的にペアワークやグループワークを活用し、英語で他者とディスカッションをする練習をします。よって、積極的な参加が必要です。

【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2回：Unit 1: Adventure Activities
第3回：Unit 2: Fun Festivals
第4回：Unit 3: Sounds Good!
第5回：Unit 4: The Big Screen
第6回：Unit 5: Now and Then
第7回：Unit 6: Out of the City
第8回：Unit 7: Traveling Around
第9回：Unit 8: Ecotourism
第10回：Unit 9: Markets
第11回：Unit 10: Trash
第12回：Unit 11: Disappearing Species
第13回：Unit 12: Green Living
第14回：Unit 13: Living Abroad
第15回：Presentation

【授業外学習に関するアドバイス】
　本授業では教科書のNational Geographicの映像を使い、英語とそこから伝えられる世界の事象などにも焦点を置きながらディスカッションをします。よって普段から英語のメディア（ニュース・音楽・ドラマ・映画）などに触れることをお勧めします。

教科書・参考書等

Global Connections: Communicative English with National Geographic Video, Sarah Moikawa / Luke Harrington NATIONAL GEOGRAPHIC: ISBN978-1-305-58442-6

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

第一回目の授業で大まかなクラスの方針や流れを説明するので、必ず参加するようにしてください。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041342) Communicative English Ⅲ ED(12) Communicative English Ⅲ Communicative English III	**科目区分** 外国語科目	**時間割** 2022年度 前期金5	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 長井　克己	**関連授業科目** 主題科目領域Ⅰ　経済・社会・文化		
	履修推奨科目 Academic English I/II		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（準備学習（15時間）＋事後学習（15時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は、英語コミュニケーション能力の中で特にスピーキング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのスピーキング能力を向上させることを目的とします。

到達目標

1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。
2. 自分の言いたいことをうまく伝えることができない時でも、ジェスチャー、パラフレーズ（言い換え）などのコミュニケーション方略を用いて、コミュニケーションを継続することができる。
3. 英語で簡単なスピーチを行うことができる

1～3 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

中間と期末の２回，教科書のUnitから１つテーマを選び，２分間スピーチをする。

第１回目の授業で配布する Rubric（原稿棒読みをしない，声が小さくない，聞きとりやすい，結論が明快，の４項目を５段階で２０点満点）を30/20倍して30点で採点。２回のスピーチ６０点＋毎週の活動と提出課題40点により，総合的に評価する。

新型コロナの感染状況によって，スピーチを録音したファイルや原稿提出で代替する可能性がある。その場合，教務システムの指示に従うこと。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
「ひと」「場所」「もの」などのテーマについて，テキストを使用した（安全な範囲での）コミュニケーション活動を行い，英語を話すことに慣れていきます。

【授業計画】
この科目は基本的に対面授業を行います。
ただし新型コロナウイルスの感染状況により，遠隔授業に変更する可能性があります。緊急連絡は教務システム(Dream Campus)で行いますので，指示に従ってください。

wk 1 (April 8): introduction to the course / Getting Ready
wk 2 (April 15): Good friend 1
wk 3 (April 22): Good friend 2
wk 4 (May 6): Favorite place 1
wk 5 (May 13): Favorite place 2
wk 6 (May 20): Prized possession 1
wk 7 (May 27): Prized possession 2
wk 8 (June 3): Speech 1
wk 9 (June 10): Memorable experience 1
wk 10 (June 17): Memorable experience 2
wk 11 (June 24): I'll show you how 1
wk 12 (July 1): I'll show you how 2
wk 13 (July 8): Screen magic 1
wk 14 (July 15): Screen magic 2
wk 15 (July 22): Speech 2

【授業外学習に関するアドバイス】
教室で大きな声は出せないので，自宅での練習が必須です。

下記教科書ウェブサイトで音声ファイルをダウンロードし，ビデオを視聴し，
(1) ビデオを何度も見て概要を理解し
(2) 聞き取れない箇所をスクリプトで確認し，辞書で調べ
(3) 自分のスピーチに使えそうな表現や語句をメモし，覚える
作業を行い，2回の英語スピーチに備えてください。

教科書・参考書等

Present Yourself Level 1 Student's Book Experiences 2nd Edition,
ISBN 9781107435636. Cambridge U.P.

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

手洗いや消毒，常時換気（窓開放）と安全な距離の確保等の感染防止対策を行った上で、対面授業を実施します。マスクを着用し，1回目の授業で指定した場所に着席してください。大声や飲食は厳禁です。体調管理に気を遣い，咳や発熱等の症状が少しでもあれば，躊躇なく連絡して欠席（特別な理由による公欠）してください。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex1 授業科目名　（時間割コード：041324） Communicative English Ⅲ T(1) Communicative English Ⅲ Communicative English Ⅲ	科目区分 外国語科目	時間割 2022年度 前期金4	対象年次 2～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教ｾﾝﾀｰ ＤＰコード：abx	対象学生 全学生 特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応 ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態　演習	単位数　1	
担当教員名 マクラハン・ジェラディーン，ガルシア　フェルナンデス　マリア　グデリア	関連授業科目　主題科目領域Ⅰ　経済・社会・文化		
	履修推奨科目　Academic English Ⅰ/Ⅱ		

学習時間　15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, homework) (approximately 90 min. per week)

授業の概要

One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills. This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).

授業の目的

This course focuses on the development of students' oral communication skills. The primary objective is for students to improve their English speaking skills by the end of the 15-week semester.

到達目標

By the end of the semester, students should become enabled to:
1. Actively engage in English communication.
2. Overcome situations in which they have difficulty expressing themselves in English using compensatory strategies (e.g., gesturing, paraphrasing).
3. Speak about personal topics in English; Deliver 3-5 minute speeches in English; Deliver 5+ -minute multi-media presentations in English.

The above criteria are in line with General Education standards at Kagawa University.
(To develop basic problem-solving skills) (To broaden one's knowledge of the humanities, society, and the environment)

成績評価の方法と基準

Students will be evaluated on the following:
In-class effort/Homework: 30%
Midterm presentation: 30%
Final presentation: 40%
(If you get a mark of 0% in any of those categories, you will fail the subject)

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

[Course Method]
Class work will center on activities in the textbook, and aspects of the speech act (including the verbal message, non-verbal message, and rhetorical message) will be introduced as the semester unfolds. Students will be given many opportunities to practice these skills. English will be the primary medium of communication in class.

[Course Schedule]
Week 1: Students should buy the textbook before the first class and look over the content. Introductions.
Week 2-6: Speech practice using the textbook and additional materials. Complete assigned homework.
Week 7-8: Mid-term presentations.
Week 9-13: Speech practice using the textbook and additional materials. Complete assigned homework.
Week 14: Students should prepare for final presentations.
Week 15-16: Final presentations.

[Suggestions for self-study]
Week 1: Students should buy the textbook before the first class and look over the content.
Week 2-6: Students should complete assigned homework and be prepared to deliver speeches before the class.
Week 7-8: Midterm-presentations.
Week 9-14: Students should complete assigned homework and be prepared to deliver speeches before the class.
Week 15-16: Students should deliver final presentations.

教科書・参考書等
Communication Strategies Level 4. Student Book, by Jun Liu, Kathryn Harper. Sengeji Learning. 2011. ISBN: 978-9814232678
オフィスアワー　Students should contact the instructor to arrange meetings.
履修上の注意・担当教員からのメッセージ
事前に教科書を購入し、内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041325) Communicative English Ⅲ T(2) Communicative English Ⅲ Communicative English Ⅲ	**科目区分** 外国語科目	**時間割** 2022年度 前期金4	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 マクラハン・ジェラディーン, ブロックスホーム・ジェームズ・ダグラス	**関連授業科目** 主題科目 領域Ⅰ 経済・社会・文化		
	履修推奨科目 Academic English Ⅰ/Ⅱ		

学習時間 Face to face classes (subject to change).
Class time per week: 15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, homework) (approximately 90 min. per week)

授業の概要

One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills. This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).

授業の目的

This course focuses on the development of students' oral communication skills. The primary objective is for students to improve their English speaking skills by the end of the 15-week semester.

到達目標

By the end of the semester, students should become enabled to:
1. Actively engage in English communication.
2. Overcome situations in which they have difficulty expressing themselves in English using compensatory strategies (e.g., gesturing, paraphrasing).
3. Speak about personal topics in English; Deliver 3-5 minute speeches in English

The above criteria are in line with General Education standards at Kagawa University.
(To develop basic problem-solving skills) (To broaden one's knowledge of the humanities, society, and the environment)

成績評価の方法と基準

Students will be evaluated on the following:
Homework assignments/class effort: 50% / Mid-term exam/assignment: 20% / Final exam/assignment: 30%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

Course Method:
Classwork will center on activities in the textbook and other supplementary materials using a flipped classroom method. Students must complete textbook activities as homework before class and then bring material to class to practice and make improvements with peers and your teacher during class time. Students will be given many opportunities to practice important communication skills as the semester unfolds. English will be the primary medium of communication in class.

Students should buy the textbook before the first class and pre-read the content before week 1.

Course schedule:
Week 1: Introduction to the course. Begin the course content.
Week 2: Unit 1 -Speech practice utilizing the textbook and supplementary materials.
Week 3: Unit 1- Speech practice utilizing the textbook and supplementary materials.
Week 4: Unit 2- Speech practice utilizing the textbook and supplementary materials.
Week 5: Unit 2- Speech practice utilizing the textbook and supplementary materials.
Week 6: Unit 3- Speech practice utilizing the textbook and supplementary materials.
Week: 7: Unit 3- Speech practice utilizing the textbook and supplementary materials.
Week 8: Mid-term presentations. (20%) completed in class time only
Week 9: Unit 4- Speech practice utilizing the textbook and supplementary materials.
Week 10: Unit 4- Speech practice utilizing the textbook and supplementary materials.
Week 11: Unit 5- Speech practice utilizing the textbook and supplementary materials.
Week 12: Unit 5- Speech practice utilizing the textbook and supplementary materials.
Week 13: Unit 6- Speech practice utilizing the textbook and supplementary materials.
Week 14: Unit 6- Speech practice utilizing the textbook and supplementary materials.
Week 15: Final presentation preparation and review.
・(Final presentation to be completed in exam week) (30%)

Suggestions for self-study:
Students should buy the textbook before the first class and look over the content.

Read English books and magazines Practice English with friends/ family Listen to English songs and think about the meaning Keep a journal in English Try to learn and remember new English words -make original sentences or stories Find words with similar meanings / make connections between words Do extra homework practice e.g. try summarizing a news article, short book, or online video Prepare/ pre-read textbook lesson content before the lesson Review the previous lesson before the next class
教科書・参考書等 Present yourself 1. 2nd edition. Cambridge. (2015) ISBN 978-1-107-43563-6
オフィスアワー　Students should contact the instructor to arrange meetings via email (james.broxholme@kagawa-u.ac.jp) or during class time
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex1 授業科目名　（時間割コード：041326） Communicative English Ⅲ T(3) Communicative English Ⅲ Communicative English Ⅲ	科目区分 外国語科目	時間割 2022年度 前期金4	対象年次 2～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教ｾﾝﾀｰ ＤＰコード：abx	対象学生 全学生 特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応 ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態　演習	単位数　1	
担当教員名 マクラハン・ジェラディーン，アーノルド・デビット	関連授業科目　主題科目　領域Ⅰ　経済・社会・文化		
	履修推奨科目　Academic English Ⅰ/Ⅱ		

学習時間　Class meetings and preparation time per week　15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, homework) (approximately 90 min. per week)

授業の概要

One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills. This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).

授業の目的

This course focuses on the development of students' oral communication skills. The primary objective is for students to improve their English speaking skills by the end of the 15-week semester.

到達目標

By the end of the semester, students should become enabled to:
1. Actively engage in English communication.
2. Overcome situations in which they have difficulty expressing themselves in English using compensatory strategies (e.g., gesturing, paraphrasing).
3. Speak about personal topics in English; deliver 3-minute speeches in English; deliver 5-minute multi-media presentations in English.

The above criteria are in line with General Education standards at Kagawa University.
(To develop basic problem-solving skills) (To broaden one's knowledge of the humanities, society, and the environment)

成績評価の方法と基準

Students will be evaluated on:
In-class participation and other assignments 30%
Midterm presentation 30%
Final presentation 40%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

この科目は全回対面授業を行います。

【Course Method】
Class work will center on activites in the textbook, and aspects of the speech act will be introduced as the semester unfolds (including the verbal message, non-verbal message and rhetorical message). Students will be given many opportunities in class to practice these skills. As a rule, Japanese will not be allowed in class.
Week 1: Introduction to the course
Weeks 2-6: Textbook work and specific presenation skills
Week 7: Mid-term presentation
Weeks 8-14: Textbook work and specific presenation skills
Weeks 15-16: Final presentations

【Suggestions for self-study】
Instructors should write specific advice to assist students' out-of-class study during the semester. An example is provided below.
Week 1: Students should purchase their textbooks before the first class and look over the content.
Week 2-6: Students should complete assigned homework from the textbook and prepare for mini presentations.
Week 8-14 : Students should complete assigned homework from the textbook and prepare for mini presentations.
Week 15-16: Students should deliver final presentations and write self-assessments.

教科書・参考書等

教科書：英語のスピーチとプレゼンの技術 Your First Speech and Presentation. 南雲堂 (2011) ISBN-

13: 978-4-523-17662-6
オフィスアワー　Students should contact the instructor to arrange meetings.
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻を３回すると欠席１回となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 授業科目名 (時間割コード：041327) Communicative English Ⅲ T(4) Communicative English Ⅲ Communicative English III	科目区分 外国語科目	時間割 2022年度 前期金4	対象年次 2～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教ｾﾝﾀｰ ＤＰコード：abx	対象学生 全学生 特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応 ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	単位数 1	
担当教員名 ビラ ダビッド	関連授業科目 主題科目領域Ⅰ 経済・社会・文化 履修推奨科目 Academic English I/II		

学習時間 15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, homework) (approximately 90 min. per week)

授業の概要

One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills. This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).

授業の目的

This course focuses on the development of students' oral communication skills. The primary objective is for students to improve their English speaking skills by the end of the 15-week semester.

到達目標

By the end of the semester, students should become enabled to:
1. Actively engage in English communication.
2. Overcome situations in which they have difficulty expressing themselves in English using compensatory strategies (e.g., gesturing, paraphrasing).
3. Speak about personal topics in English; Deliver short multi-media speeches in English.

The above criteria are in line with General Education standards at Kagawa University.
(To develop basic problem-solving skills) (To broaden one's knowledge of the humanities, society, and the environment)

成績評価の方法と基準

- Assignments: 25%
- In-class effort: 25%
- Mid-term presentation: 20%
- Final presentation: 30%

(A score of 0% in any of those categories will result in automatically failing the class.)

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

[Course Method]
Class work will center on activities in the textbook, and aspects of the speech act (including the verbal message, non-verbal message, and rhetorical message) will be introduced as the semester unfolds . Students will be given many opportunities to practice these skills. English will be the primary medium of communication in class.

[Course Schedule]
Please note that this schedule is tentative and subject to change.
Week 1: Students should purchase their textbook before the first class and look over the content; Introductions
Week 2-6: Speech practice utilizing textbook and supplementary materials. This first part of the semester will focus on Units 6, 7 and 8 of the textbook.
Week 7-8: Mid-term presentations.
Week 9-13: Speech practice utilizing textbook and supplementary materials. This second part of the semester will focus on Units 1-5 of the textbook.
Week 14: Final presentation workshop.
Week 15-16: Final presentations.

[Suggestions for self-study]
Week 1: Students should buy the textbook before the first class and look over the content.
Week 2-14: Students should complete assigned homework and be prepared to deliver speeches before the class.
Week 3-6: Students should also prepare for mid-term presentations.
Week 10-14: Students should also prepare for final presentations.
Week 15-16: Students should deliver final presentations.

Important notice: Due to the Covid19 situation, classes may be held face-to-face or online (with

Zoom and Moodle) depending on the evolution of the pandemic.
教科書・参考書等 Speaking Of Speech (premium edition) Charles LeBeau, NATIONAL GEOGRAPHIC: ISBN978-4-86312-385-4
オフィスアワー　Students should contact the instructor to arrange meetings.
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041328) Communicative English Ⅲ T(5) Communicative English Ⅲ Communicative English Ⅲ	**科目区分** 外国語科目	**時間割 2022年度** 前期金4	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 中井　富紀	**関連授業科目** 主題科目領域Ⅰ　経済・社会・文化		
	履修推奨科目 Academic English I/II		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（準備学習（15時間）＋事後学習（15時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は、英語コミュニケーション能力の中で特にスピーキング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのスピーキング能力を向上させることを目的とします。

到達目標

1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。
2. 自分の言いたいことをうまく伝えることができない時でも、ジェスチャー、パラフレーズ（言い換え）などの　　コミュニケーション方略を用いて、コミュニケーションを継続することができる。
3. 本授業のテーマである自然な速度における対話の中に生じる音の現象の基本的な知識を織り込んで、通じる英語の音声を目指し、アクトアウトプレゼンテーションができる。

1～3 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

In-class act out presentation（8回）80%と最終試験（Final communication performance）20%で最終評価をする。各dialogごとに設定したゴールの到達度、声の大きさと明瞭さ、流暢度、感情表現などの項目から、B・A＋・A・A-のいずれかで判定する。これらを点数化したものから遅刻、欠席を減点し、皆勤の場合は加点をしたものが最終評価点となる。ペアワークであるが個別で評価する。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
＊マスク着用、教室の全もしくは一部の窓開放の上、授業を実施する。
テキストの各ダイアログに設定されたゴールをクリアすべく、覚えたダイアログのアクトアウトプレゼンテーションを行う。

【授業計画】
第1回：Course work introduction（コースワーク紹介）ハンドアウト配布、ペア決定など。
第2回：コミュニケーション活動－getting to know each other など。
第3回：dialog 1　Nice to meet you
第4回：dialog 2　What year are you in at pine tree?
第5回：dialog 3　Practice makes perfect
第6回：dialog 4　First bus ride
第7回：dialog 5　Greenwood
第8回 ： dialog 6　Talk about sport
第9回 ： dialog 7　This is the campus
第10回 ： dialog 8　At the university cafeteria
第11回 ： dialog 9　Two pieces of apple pie a la mode
第12回 ： dialog 10　I can’t stand cold weather
第13回：dialog 11 #1　Getting a part-time job
第14回：dialog 11 #2　Getting a part-time job
第15回：Review tasks for dialogs 1-11

【授業外学習に関するアドバイス】
ただ暗唱するだけでなく、コミュニケーションを意識して、大きな声で声読できるようにする。
さらに、それを習慣的なホームラーニングとして定着させることが必要である。

教科書・参考書等

Sounds Great!. Fuki Nakai. Matsuyama Univ. Seikyo. ISBN N/A

オフィスアワー　月、水、木曜日の３時～４時３０分までの間自由に来てください。場所は北キャンパス教育学部棟３号館４階です。Welcome!

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041329) Communicative English Ⅲ T(6) Communicative English Ⅲ Communicative English Ⅲ	**科目区分** 外国語科目	**時間割** 2022年度 前期金4	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 マクラハン・ジェラディーン, 田口明美	**関連授業科目** 主題科目領域Ⅰ 経済・社会・文化		
	履修推奨科目 Academic English I/II		

学習時間 授業90分×15回＋自学自習（準備学習（15時間）＋事後学習（15時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は、英語コミュニケーション能力の中で特にスピーキング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのスピーキング能力を向上させることを目的とします。

到達目標

1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。
2. 自分の言いたいことをうまく伝えることができない時でも、ジェスチャー、パラフレーズ（言い換え）などのコミュニケーション方略を用いて、コミュニケーションを継続することができる。
3. 英語で３分間程度のスピーチを行うことができる。

1～3 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

授業への参加度:20%
小テスト2回:40%
スピーチ2回:40%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
この科目は全回対面授業を行います。
授業はテキストに沿って進めます。
第7回と第14回に小テストを行います。
第8回と第15回にスピーチをしていただきます。

【授業計画】
第1回:オリエンテーション
第2回~第6回:テキストの演習
第7回:小テスト&テキストの演習
第8回:中間スピーチ
第9回~第13回:テキストの演習
第14回:小テスト&テキストの演習
第15回:期末スピーチ

【授業外学習に関するアドバイス】
第1回：事前に教科書を購入し、内容を確認してから授業に臨んでください。
第2回～第7回：小テストおよびスピーチに備えてください。
具体的な指示は授業またはネットワークを通して行います。
第9回~第14回：小テストおよびスピーチに備えてください。
具体的な指示は授業またはネットワークを通して行います。

教科書・参考書等

Time to Start Learn from Your Errors!.(Chihara Higuchi, Noriko Murata).南雲堂.2020. ISBN 978-4-523-17897-2 C0082
1900円+税

オフィスアワー 授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。

教員の実務経験との関連

全国通訳案内士と司法通訳の実務経験を基に、受講生のスピーキング能力の向上を目指します。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 授業科目名 (時間割コード：041330) Communicative English Ⅲ T(7) Communicative English Ⅲ Communicative English Ⅲ	科目区分 外国語科目	時間割 2022年度 前期金5	対象年次 2～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教ｾﾝﾀｰ ＤＰコード：abx	対象学生 全学生 特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応 ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	単位数 1	
担当教員名 マクラハン・ジェラディーン, ガルシア フェルナンデス マリア グデリア	関連授業科目 主題科目領域Ⅰ 経済・社会・文化		
	履修推奨科目 Academic English Ⅰ/Ⅱ		

学習時間 15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, homework) (approximately 90 min. per week)

授業の概要

One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills. This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).

授業の目的

This course focuses on the development of students' oral communication skills. The primary objective is for students to improve their English speaking skills by the end of the 15-week semester.

到達目標

By the end of the semester, students should become enabled to:
1. Actively engage in English communication.
2. Overcome situations in which they have difficulty expressing themselves in English using compensatory strategies (e.g., gesturing, paraphrasing).
3. Speak about personal topics in English; Deliver 3-5 minute speeches in English; Deliver 5+ -minute multi-media presentations in English.

The above criteria are in line with General Education standards at Kagawa University.
(To develop basic problem-solving skills) (To broaden one's knowledge of the humanities, society, and the environment)

成績評価の方法と基準

Students will be evaluated on the following:
In-class effort/Homework: 30%
Midterm presentation: 30%
Final presentation: 40%
(If you get a mark of 0% in any of those categories, you will fail the subject)

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

[Course Method]
Class work will center on activities in the textbook, and aspects of the speech act (including the verbal message, non-verbal message, and rhetorical message) will be introduced as the semester unfolds. Students will be given many opportunities to practice these skills. English will be the primary medium of communication in class.

[Course Schedule]
Week 1: Students should buy the textbook before the first class and look over the content. Introductions.
Week 2-6: Speech practice using the textbook and additional materials. Complete assigned homework.
Week 7-8: Mid-term presentations.
Week 9-13: Speech practice using the textbook and additional materials. Complete assigned homework.
Week 14: Students should prepare for final presentations.
Week 15-16: Final presentations.

[Suggestions for self-study]
Week 1: Students should buy the textbook before the first class and look over the content.
Week 2-6: Students should complete assigned homework and be prepared to deliver speeches before the class.
Week 7-8: Midterm-presentations.
Week 9-14: Students should complete assigned homework and be prepared to deliver speeches before the class.
Week 15-16: Students should deliver final presentations.

教科書・参考書等
Communication Strategies Level 4. Student Book, by Jun Liu, Kathryn Harper. Sengeji Learning. 2011. ISBN: 978-9814232678
オフィスアワー　Students should contact the instructor to arrange meetings.
履修上の注意・担当教員からのメッセージ
事前に教科書を購入し、内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041331) Communicative English Ⅲ T(8) Communicative English Ⅲ Communicative English Ⅲ	**科目区分** 外国語科目	**時間割** 2022年度 前期金5	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 マクラハン・ジェラディーン, ブロックスホーム・ジェームズ・ダグラス	**関連授業科目** 主題科目 領域Ⅰ 経済・社会・文化		
	履修推奨科目 Academic English Ⅰ/Ⅱ		

学習時間 Face to face classes (subject to change).
Class time per week: 15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, homework) (approximately 90 min. per week)

授業の概要

One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills. This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).

授業の目的

This course focuses on the development of students' oral communication skills. The primary objective is for students to improve their English speaking skills by the end of the 15-week semester.

到達目標

By the end of the semester, students should become enabled to:
1. Actively engage in English communication.
2. Overcome situations in which they have difficulty expressing themselves in English using compensatory strategies (e.g., gesturing, paraphrasing).
3. Speak about personal topics in English; Deliver 3-5 minute speeches in English

The above criteria are in line with General Education standards at Kagawa University.
(To develop basic problem-solving skills) (To broaden one's knowledge of the humanities, society, and the environment)

成績評価の方法と基準

Students will be evaluated on the following:
Homework assignments/class effort: 50% / Mid-term exam/assignment: 20% / Final exam/assignment: 30%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

Course Method:
Classwork will center on activities in the textbook and other supplementary materials using a flipped classroom method. Students must complete textbook activities as homework before class and then bring material to class to practice and make improvements with peers and your teacher during class time. Students will be given many opportunities to practice important communication skills as the semester unfolds. English will be the primary medium of communication in class.

Students should buy the textbook before the first class and pre-read the content before week 1.

Course schedule:
Week 1: Introduction to the course. Begin the course content.
Week 2: Unit 1 -Speech practice utilizing the textbook and supplementary materials.
Week 3: Unit 1- Speech practice utilizing the textbook and supplementary materials.
Week 4: Unit 2- Speech practice utilizing the textbook and supplementary materials.
Week 5: Unit 2- Speech practice utilizing the textbook and supplementary materials.
Week 6: Unit 3- Speech practice utilizing the textbook and supplementary materials.
Week: 7: Unit 3- Speech practice utilizing the textbook and supplementary materials.
Week 8: Mid-term presentations. (20%) completed in class time only
Week 9: Unit 4- Speech practice utilizing the textbook and supplementary materials.
Week 10: Unit 4- Speech practice utilizing the textbook and supplementary materials.
Week 11: Unit 5- Speech practice utilizing the textbook and supplementary materials.
Week 12: Unit 5- Speech practice utilizing the textbook and supplementary materials.
Week 13: Unit 6- Speech practice utilizing the textbook and supplementary materials.
Week 14: Unit 6- Speech practice utilizing the textbook and supplementary materials.
Week 15: Final presentation preparation and review.
・(Final presentation to be completed in exam week) (30%)

Suggestions for self-study:
Students should buy the textbook before the first class and look over the content.

Read English books and magazines Practice English with friends/ family Listen to English songs and think about the meaning Keep a journal in English Try to learn and remember new English words -make original sentences or stories Find words with similar meanings / make connections between words Do extra homework practice e.g. try summarizing a news article, short book, or online video Prepare/ pre-read textbook lesson content before the lesson Review the previous lesson before the next class
教科書・参考書等 Present yourself 1. 2nd edition. Cambridge. (2015) ISBN 978-1-107-43563-6
オフィスアワー　Students should contact the instructor to arrange meetings via email (james.broxholme@kagawa-u.ac.jp) or during class time
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex1 授業科目名　（時間割コード：041332） Communicative English Ⅲ T(9) Communicative English Ⅲ Communicative English Ⅲ	科目区分 外国語科目	時間割 2022年度 前期金5	対象年次 2～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教ｾﾝﾀｰ ＤＰコード：abx	対象学生 全学生 特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応 ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態　演習	単位数　1	
担当教員名 マクラハン・ジェラディーン，アーノルド・デビット	関連授業科目　主題科目　領域Ⅰ　経済・社会・文化		
	履修推奨科目　Academic English Ⅰ/Ⅱ		

学習時間　Class meetings and preparation time per week　15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, homework) (approximately 90 min. per week)

授業の概要

One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills. This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).

授業の目的

This course focuses on the development of students' oral communication skills. The primary objective is for students to improve their English speaking skills by the end of the 15-week semester.

到達目標

By the end of the semester, students should become enabled to:
1. Actively engage in English communication.
2. Overcome situations in which they have difficulty expressing themselves in English using compensatory strategies (e.g., gesturing, paraphrasing).
3. Speak about personal topics in English; deliver 3-minute speeches in English; deliver 5-minute multi-media presentations in English.

The above criteria are in line with General Education standards at Kagawa University.
(To develop basic problem-solving skills) (To broaden one's knowledge of the humanities, society, and the environment)

成績評価の方法と基準

Students will be evaluated on:
In-class participation and other assignments 30%
Midterm presentation 30%
Final presentation 40%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

この科目は全回対面授業を行います。

【Course Method】
Class work will center on activites in the textbook, and aspects of the speech act will be introduced as the semester unfolds (including the verbal message, non-verbal message and rhetorical message). Students will be given many opportunities in class to practice these skills. As a rule, Japanese will not be allowed in class.
Week 1: Introduction to the course
Weeks 2-6: Textbook work and specific presenation skills
Week 7: Mid-term presentation
Weeks 8-14: Textbook work and specific presenation skills
Weeks 15-16: Final presentations

【Suggestions for self-study】
Instructors should write specific advice to assist students' out-of-class study during the semester. An example is provided below.
Week 1: Students should purchase their textbooks before the first class and look over the content.
Week 2-6: Students should complete assigned homework from the textbook and prepare for mini presentations.
Week 8-14 : Students should complete assigned homework from the textbook and prepare for mini presentations.
Week 15-16: Students should deliver final presentations and write self-assessments.

教科書・参考書等

教科書：英語のスピーチとプレゼンの技術 Your First Speech and Presentation. 南雲堂 (2011) ISBN-

13: 978-4-523-17662-6
オフィスアワー　Students should contact the instructor to arrange meetings.
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻を３回すると欠席１回となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex1 授業科目名　（時間割コード：041333） Communicative English Ⅲ T(10) Communicative English Ⅲ Communicative English Ⅲ	科目区分 外国語科目	時間割 2022年度 前期金5	対象年次 2～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教ｾﾝﾀｰ ＤＰコード：abx	対象学生 全学生 特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応 ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態　演習	単位数　1	
担当教員名 中井　富紀	関連授業科目　主題科目領域Ⅰ　経済・社会・文化 履修推奨科目　Academic English　I/II		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（準備学習（15時間）＋事後学習（15時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は、英語コミュニケーション能力の中で特にスピーキング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのスピーキング能力を向上させることを目的とします。

到達目標

1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。
2. 自分の言いたいことをうまく伝えることができない時でも、ジェスチャー、パラフレーズ（言い換え）などのコミュニケーション方略を用いて、コミュニケーションを継続することができる。
3. 本授業のテーマである自然な速度における対話の中に生じる音の現象の基本的な知識を織り込んで、通じる英語の音声を目指し、アクトアウトプレゼンテーションができる。

1～3 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

In-class act out presentation（8回）80%と最終試験（Final communication performance）20%で最終評価をする。各dialogごとに設定したゴールの到達度、声の大きさと明瞭さ、流暢度、感情表現などの項目から、B・A＋・A・A-のいずれかで判定する。これらを点数化したものから遅刻、欠席を減点し、皆勤の場合は加点をしたものが最終評価点となる。ペアワークであるが個別で評価する。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
＊マスク着用、教室の全もしくは一部の窓開放の上、授業を実施する。
テキストの各ダイアログに設定されたゴールをクリアすべく、覚えたダイアログのアクトアウトプレゼンテーションを行う。

【授業計画】
第1回：Course work introduction（コースワーク紹介）ハンドアウト配布、ペア決定など。
第2回：コミュニケーション活動－getting to know each other など。
第3回：dialog 1　Nice to meet you
第4回：dialog 2　What year are you in at pine tree?
第5回：dialog 3　Practice makes perfect
第6回：dialog 4　First bus ride
第7回：dialog 5　Greenwood
第8回 ： dialog 6　Talk about sport
第9回 ： dialog 7　This is the campus
第10回 ： dialog 8　At the university cafeteria
第11回 ： dialog 9　Two pieces of apple pie a la mode
第12回 ： dialog 10　I can’t stand cold weather
第13回：dialog 11 #1　Getting a part-time job
第14回：dialog 11 #2　Getting a part-time job
第15回：Review tasks for dialogs 1-11

【授業外学習に関するアドバイス】
ただ暗唱するだけでなく、コミュニケーションを意識して、大きな声で声読できるようにする。
さらに、それを習慣的なホームラーニングとして定着させることが必要である。

教科書・参考書等

Sounds Great!. Fuki Nakai. Matsuyama Univ. Seikyo. ISBN N/A

オフィスアワー　月、水、木曜日の３時～４時３０分までの間自由に来てください。場所は北キャンパス教育学部棟３号館４階です。Welcome!

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 授業科目名 (時間割コード：041334) Communicative English Ⅲ T(11) Communicative English Ⅲ Communicative English III	科目区分 外国語科目	時間割 2022年度 前期金5	対象年次 2～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教ｾﾝﾀｰ ＤＰコード：abx	対象学生 全学生 特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応 ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	単位数 1	
担当教員名 ビラ ダビッド	関連授業科目 主題科目領域Ⅰ 経済・社会・文化 履修推奨科目 Academic English I/II		

学習時間 15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, homework) (approximately 90 min. per week)

授業の概要

One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills. This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).

授業の目的

This course focuses on the development of students' oral communication skills. The primary objective is for students to improve their English speaking skills by the end of the 15-week semester.

到達目標

By the end of the semester, students should become enabled to:
1. Actively engage in English communication.
2. Overcome situations in which they have difficulty expressing themselves in English using compensatory strategies (e.g., gesturing, paraphrasing).
3. Speak about personal topics in English; Deliver short multi-media speeches in English.

The above criteria are in line with General Education standards at Kagawa University.
(To develop basic problem-solving skills) (To broaden one's knowledge of the humanities, society, and the environment)

成績評価の方法と基準

- Assignments: 25%
- In-class effort: 25%
- Mid-term presentation: 20%
- Final presentation: 30%

(A score of 0% in any of those categories will result in automatically failing the class.)

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

[Course Method]
Class work will center on activities in the textbook, and aspects of the speech act (including the verbal message, non-verbal message, and rhetorical message) will be introduced as the semester unfolds . Students will be given many opportunities to practice these skills. English will be the primary medium of communication in class.

[Course Schedule]
Please note that this schedule is tentative and subject to change.
Week 1: Students should purchase their textbook before the first class and look over the content; Introductions
Week 2-6: Speech practice utilizing textbook and supplementary materials. This first part of the semester will focus on Units 6, 7 and 8 of the textbook.
Week 7-8: Mid-term presentations.
Week 9-13: Speech practice utilizing textbook and supplementary materials. This second part of the semester will focus on Units 1-5 of the textbook.
Week 14: Final presentation workshop.
Week 15-16: Final presentations.

[Suggestions for self-study]
Week 1: Students should buy the textbook before the first class and look over the content.
Week 2-14: Students should complete assigned homework and be prepared to deliver speeches before the class.
Week 3-6: Students should also prepare for mid-term presentations.
Week 10-14: Students should also prepare for final presentations.
Week 15-16: Students should deliver final presentations.

Important notice: Due to the Covid19 situation, classes may be held face-to-face or online (with

Zoom and Moodle) depending on the evolution of the pandemic.
教科書・参考書等 Speaking Of Speech (premium edition) Charles LeBeau, NATIONAL GEOGRAPHIC: ISBN978-4-86312-385-4
オフィスアワー　Students should contact the instructor to arrange meetings.
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041335) Communicative English Ⅲ T(12) Communicative English Ⅲ Communicative English Ⅲ	**科目区分** 外国語科目	**時間割** 2022年度 前期金5	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 マクラハン・ジェラディーン, 田口明美	**関連授業科目** 主題科目領域Ⅰ 経済・社会・文化		
	履修推奨科目 Academic English I/II		

学習時間 授業90分×15回＋自学自習（準備学習（15時間）＋事後学習（15時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は、英語コミュニケーション能力の中で特にスピーキング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのスピーキング能力を向上させることを目的とします。

到達目標

1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。
2. 自分の言いたいことをうまく伝えることができない時でも、ジェスチャー、パラフレーズ（言い換え）などのコミュニケーション方略を用いて、コミュニケーションを継続することができる。
3. 英語で３分間程度のスピーチを行うことができる

1～3 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

授業への参加度:20%
小テスト2回:40%
スピーチ2回:40%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
この科目は全回対面授業を行います。
授業はテキストに沿って進めます。
第7回と第14回に小テストを行います。
第8回と第15回にスピーチをしていただきます。

【授業計画】
第1回:オリエンテーション
第2回~第6回:テキストの演習
第7回:小テスト&テキストの演習
第8回:中間スピーチ
第9回~第13回:テキストの演習
第14回:小テスト&テキストの演習
第15回:期末スピーチ

【授業外学習に関するアドバイス】
第1回：事前に教科書を購入し、内容を確認してから授業に臨んでください。
第2回～第7回：小テストおよびスピーチに備えてください。
具体的な指示は授業またはネットワークを通して行います。
第9回~14回：小テストおよびスピーチに備えてください。
具体的な指示は授業またはネットワークを通して行います。

教科書・参考書等

Time to Start Learn from Your Errors!
(Chihara Higuchi,Noriko Murata). 南雲堂.2020.
ISBN 978-4-523-17897-2 C0082
1900円+税

オフィスアワー 授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。

教員の実務経験との関連

全国通訳案内士と司法通訳の実務経験を基に、受講生のスピーキング能力の向上を目指します。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041336) Communicative English Ⅲ A(1) Communicative English Ⅲ Communicative English Ⅲ (A1)	**科目区分** 外国語科目	**時間割 2022年度** 前期木3	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 マクラハン・ジェラディーン, ニコラス ダニエル フライ	**関連授業科目** 主題科目 領域Ⅰ 経済・社会・文化		
	履修推奨科目 Academic English Ⅰ/Ⅱ		

学習時間 Class meetings and preparation time per week 15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, homework) (approximately 90 min. per week)

授業の概要

Course Outline
One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills. This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).

授業の目的

General Objectives
This course focuses on the development of student's oral communication skills. The primary objective is for students to improve their English speaking skills by the end of the 15-week semester.

到達目標

By the end of the semester, students should become enabled to:
1. Actively engage in English communication.
2. Overcome situations in which they have difficulty expressing themselves in English using compensatory strategies (e.g., gesturing, paraphrasing).
3. Speak about personal topics in English; Deliver 3-5 minute multi-media presentations in English.

The above criteria are in line with General Education standards at Kagawa University.
(To develop basic problem-solving skills) (To broaden one's knowledge of the humanities, society, and the environment)

成績評価の方法と基準

Students will be evaluated on the following:
In-class effort: 10% Mid-term presentation: 30% Final presentation: 60%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

[Course Method]
In-class activities will center on tasks in the textbook. Students will practice presentation skills with partners, in groups, and before the class, as well as prepare for mid-term and final presentations.
English will be the primary medium of communication in class.
[Course Schedule]
Week 1: Students should purchase their textbook before the first class and look over the content; Present Yourself.
Week 2-6: Textbook study and speech practice
Week 7-8: Mid-term presentations
Week 9-12: Textbook study and speech practice
Week 13-14: Final presentations workshop.
Week 15-16: Final presentations.
[Suggestions for self-study]
Week 1-5: Students should complete assigned homework and prepare for mid-term presentations.
Week 6-7: Students should be prepared to deliver mid-term presentations.
Week 8-13: Students should complete assigned homework and prepare for final presentations.
Week 15-16: Students should deliver final presentations and write self-assessments.

教科書・参考書等

Present Yourself Level 1 Student's Book: Experiences. (Gershon, S.) 2015.CUP.
ISBN 978-1107435636

オフィスアワー Students should contact the instructor to arrange meetings.

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し、内容を確認した上で第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041337) Communicative English Ⅲ A(2) Communicative English Ⅲ Communicative English Ⅲ (A2)	**科目区分** 外国語科目	**時間割 2022年度** 前期木4	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 マクラハン・ジェラディーン, ニコラス ダニエル フライ	**関連授業科目** 主題科目 領域Ⅰ 経済・社会・文化		
	履修推奨科目 Academic English Ⅰ/Ⅱ		

学習時間 Class meetings and preparation time per week 15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, homework) (approximately 90 min. per week)

授業の概要

Course Outline
One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills. This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).

授業の目的

General Objectives
This course focuses on the development of student's oral communication skills. The primary objective is for students to improve their English speaking skills by the end of the 15-week semester.

到達目標

By the end of the semester, students should become enabled to:
1. Actively engage in English communication.
2. Overcome situations in which they have difficulty expressing themselves in English using compensatory strategies (e.g., gesturing, paraphrasing).
3. Speak about personal topics in English; Deliver 3-5 minute multi-media presentations in English.

The above criteria are in line with General Education standards at Kagawa University.
(To develop basic problem-solving skills) (To broaden one's knowledge of the humanities, society, and the environment)

成績評価の方法と基準

Students will be evaluated on the following:
In-class effort: 10% Mid-term presentation: 30% Final presentation: 60%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

[Course Method]
In-class activities will center on tasks in the textbook. Students will practice presentation skills with partners, in groups, and before the class, as well as prepare for mid-term and final presentations.
English will be the primary medium of communication in class.
[Course Schedule]
Week 1: Students should purchase their textbook before the first class and look over the content; Present Yourself.
Week 2-6: Textbook study and speech practice
Week 7-8: Mid-term presentations
Week 9-12: Textbook study and speech practice
Week 13-14: Final presentations workshop.
Week 15-16: Final presentations.
[Suggestions for self-study]
Week 1-5: Students should complete assigned homework and prepare for mid-term presentations.
Week 6-7: Students should be prepared to deliver mid-term presentations.
Week 8-13: Students should complete assigned homework and prepare for final presentations.
Week 15-16: Students should deliver final presentations and write self-assessments.

教科書・参考書等

Present Yourself Level 1 Student's Book: Experiences. (Gershon, S.) 2015.CUP.
ISBN 978-1107435636

オフィスアワー Students should contact the instructor to arrange meetings.

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し、内容を確認した上で第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041338) Communicative English Ⅲ A(3) Communicative English Ⅲ Communicative English Ⅲ	**科目区分** 外国語科目	**時間割 2022年度** 前期木3	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 マクラハン・ジェラディーン, カリコラファエル ケアロハ	**関連授業科目** 主題科目領域Ⅰ 経済・社会・文化		
	履修推奨科目 Academic English Ⅰ/Ⅱ		

学習時間 15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, homework) (approximately 90 min. per week)

授業の概要

One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills. This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).

授業の目的

This course focuses on the development of students' oral communication skills. The primary objective is for students to improve their English speaking skills by the end of the 15-week semester.

到達目標

By the end of the semester, students should become enabled to:
1. Actively engage in English communication.
2. Overcome situations in which they have difficulty expressing themselves in English using compensatory strategies (e.g., gesturing, paraphrasing).
3. Speak about personal topics in English; Deliver 3-5 minute speeches in English; Deliver 5+ -minute multi-media presentations in English.
The above criteria are in line with General Education standards at Kagawa University.
(To develop basic problem-solving skills) (To broaden one's knowledge of the humanities, society, and the environment)

成績評価の方法と基準

Students will be evaluated on the following: Assignments and quizzes: 20%
In-class effort: 30% Mid-term presentation: 20% Final presentation: 30%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

[Course Method]
Class work will center on activities in the textbook, and aspects of the speech act (including the verbal message, non-verbal message, and rhetorical message) will be introduced as the semester unfolds . Students will be given many opportunities to practice these skills. English will be the primary medium of communication in class.
[Course Schedule]
Week 1: Introduction to course. (Students should purchase their textbook before the first class and look over the content.)
Week 2 ~ 6: Speech practice utilizing textbook and supplementary materials.
Week 7 ~ 8: Mid-term presentations.
Week 9 ~ 13: Speech practice utilizing textbook and supplementary materials.
Week 14: Final presentation workshop
Week 15 ~ 16: Final presentations.

[Suggestions for self-study]
Week 1: Students should buy the textbook before the first class and look over the content.
Week 2-6: Students should complete assigned homework and prepare to deliver short speeches before the class.
Week 9-13: Students should complete assigned homework from the textbook and prepare to deliver mini presentations before the class.
Week 14-16: Students should prepare for and deliver final presentations and write self-assessments.

教科書・参考書等

English Presentations Today: Language Skills for International Presentations. (Christopher, P.) 2018. 南雲堂. ISBN 978-4523178644

オフィスアワー Students should contact the instructor to arrange meetings.

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し、内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041339) Communicative English Ⅲ A(4) Communicative English Ⅲ Communicative English Ⅲ	**科目区分** 外国語科目	**時間割 2022年度** 前期木4	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 マクラハン・ジェラディーン, カリコラファエル ケアロハ	**関連授業科目** 主題科目領域Ⅰ 経済・社会・文化		
	履修推奨科目 Academic English Ⅰ/Ⅱ		

学習時間 15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, homework) (approximately 90 min. per week)

授業の概要

One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills. This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).

授業の目的

This course focuses on the development of students' oral communication skills. The primary objective is for students to improve their English speaking skills by the end of the 15-week semester.

到達目標

By the end of the semester, students should become enabled to:
1. Actively engage in English communication.
2. Overcome situations in which they have difficulty expressing themselves in English using compensatory strategies (e.g., gesturing, paraphrasing).
3. Speak about personal topics in English; Deliver 3-5 minute speeches in English; Deliver 5+ -minute multi-media presentations in English.
The above criteria are in line with General Education standards at Kagawa University.
(To develop basic problem-solving skills) (To broaden one's knowledge of the humanities, society, and the environment)

成績評価の方法と基準

Students will be evaluated on the following: Assignments and quizzes: 20%
In-class effort: 30% Mid-term presentation: 20% Final presentation: 30%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

[Course Method]
Class work will center on activities in the textbook, and aspects of the speech act (including the verbal message, non-verbal message, and rhetorical message) will be introduced as the semester unfolds . Students will be given many opportunities to practice these skills. English will be the primary medium of communication in class.
[Course Schedule]
Week 1: Introduction to course. (Students should purchase their textbook before the first class and look over the content.)
Week 2 ~ 6: Speech practice utilizing textbook and supplementary materials.
Week 7 ~ 8: Mid-term presentations.
Week 9 ~ 13: Speech practice utilizing textbook and supplementary materials.
Week 14: Final presentation workshop
Week 15 ~ 16: Final presentations.

[Suggestions for self-study]
Week 1: Students should buy the textbook before the first class and look over the content.
Week 2-6: Students should complete assigned homework and prepare to deliver short speeches before the class.
Week 9-13: Students should complete assigned homework from the textbook and prepare to deliver mini presentations before the class.
Week 14-16: Students should prepare for and deliver final presentations and write self-assessments.

教科書・参考書等

English Presentations Today: Language Skills for International Presentations. (Christopher, P.) 2018. 南雲堂. ISBN 978-4523178644

オフィスアワー Students should contact the instructor to arrange meetings.

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し、内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041340) Communicative English Ⅲ A(5) Communicative English Ⅲ Communicative English Ⅲ	**科目区分** 外国語科目	**時間割 2022年度** 前期木3	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 マクラハン・ジェラディーン， 吉川友子	**関連授業科目** 主題科目領域Ⅰ 経済・社会・文化		
	履修推奨科目 Academic English I/II		

学習時間 授業90分×15回＋自学自習（準備学習（15時間）＋事後学習（15時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は、英語コミュニケーション能力の中で特にスピーキング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのスピーキング能力を向上させることを目的とします。

到達目標

1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。
2. 自分の言いたいことをうまく伝えることができない時でも、ジェスチャー、パラフレーズ（言い換え）などのコミュニケーション方略を用いて、コミュニケーションを継続することができる。
3. 身近なことについて英語で２分間程度のまとまった内容を伝えることができる。

1～3 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

Quiz：20%　In-class effort：20%　Midterm presentation：30%　Final presentation：30%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
この科目は全回対面授業を行います。テキストに沿って、アイコンタクトやジェスチャーなどの非言語ツールを重視しつつ具体的な表現練習を重ね､英語によるプレゼンテーションのしかたを学習します。基本的に授業１回で１ユニット進めます。

【授業計画】
第１回：Introduction
第２回～第７回：演習活動（Unit １～６）
中間評価のための課題提出（プレゼンテーション）
第８回～第１５回：演習活動（Unit７～１４）
期末評価のための課題提出（プレゼンテーション）

【授業外学習に関するアドバイス】
具体的な内容については、毎回の授業で指示する。課題提出や小テストも評価に含まれることに注意し､計画的に準備しておくこと。
第１回：事前に教科書を購入し、内容を確認してから授業に臨むこと。
第1～7回：プレゼンテーションの枠組みとボディランゲージの重要性を理解し､英語のプレゼンテーションで使われる表現を身につける（14時間）また､中間評価のための課題に向けて準備を進める。（2時間）
第8回～第15回：さらなるプレゼンテーションの技法を習得しつつ､論理的展開方法について理解を深め､英語のプレゼンテーションで使われる表現を身につける（16時間）また､教科書の各課のモデルを参考にしながら期末評価のための課題に向けて準備を進める。（4時間）

教科書・参考書等

英語プレゼンテーション教材開発研究チーム（2020） College Presentation: Bridge to Better Communication 『プレゼンテーションを観て学ぶ　英語コミュニケーション』金星堂
2,500円＋税 ISBN: 978-4-7647-4099-0

オフィスアワー 授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041341) Communicative English Ⅲ A(6) Communicative English Ⅲ Communicative English Ⅲ	**科目区分** 外国語科目	**時間割 2022年度** 前期木4	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 マクラハン・ジェラディーン， 吉川友子	**関連授業科目** 主題科目領域Ⅰ 経済・社会・文化		
	履修推奨科目 Academic English I/II		

学習時間 授業90分×15回＋自学自習（準備学習（15時間）＋事後学習（15時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は、英語コミュニケーション能力の中で特にスピーキング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのスピーキング能力を向上させることを目的とします。

到達目標

1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。
2. 自分の言いたいことをうまく伝えることができない時でも、ジェスチャー、パラフレーズ（言い換え）などのコミュニケーション方略を用いて、コミュニケーションを継続することができる。
3. 身近なことについて英語で２分間程度のまとまった内容を伝えることができる。

1～3 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

Quiz：20%　In-class effort：20%　Midterm presentation：30%　Final presentation：30%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
この科目は全回対面授業を行います。テキストに沿って、アイコンタクトやジェスチャーなどの非言語ツールを重視しつつ具体的な表現練習を重ね､英語によるプレゼンテーションのしかたを学習します。基本的に授業１回で１ユニット進めます。

【授業計画】
第１回：Introduction
第２回～第７回：演習活動（Unit １～６）
中間評価のための課題提出（プレゼンテーション）
第８回～第１５回：演習活動（Unit７～１４）
期末評価のための課題提出（プレゼンテーション）

【授業外学習に関するアドバイス】
具体的な内容については、毎回の授業で指示する。課題提出や小テストも評価に含まれることに注意し､計画的に準備しておくこと。
第１回：事前に教科書を購入し、内容を確認してから授業に臨むこと。
第1～7回：プレゼンテーションの枠組みとボディランゲージの重要性を理解し､英語のプレゼンテーションで使われる表現を身につける（14時間）また､中間評価のための課題に向けて準備を進める。（2時間）
第8回～第15回：さらなるプレゼンテーションの技法を習得しつつ､論理的展開方法について理解を深め､英語のプレゼンテーションで使われる表現を身につける（16時間）また､教科書の各課のモデルを参考にしながら期末評価のための課題に向けて準備を進める。（4時間）

教科書・参考書等

英語プレゼンテーション教材開発研究チーム（2020） College Presentation: Bridge to Better Communication 『プレゼンテーションを観て学ぶ　英語コミュニケーション』金星堂
2,500円＋税 ISBN: 978-4-7647-4099-0

オフィスアワー 授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041344) Communicative English Ⅲ M(1) Communicative English Ⅲ Communicative English Ⅲ	**科目区分** 外国語科目	**時間割** 2022年度 前期金1	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 マクラハン・ジェラディーン	**関連授業科目** 主題科目 領域Ⅰ 経済・社会・文化		
	履修推奨科目 Academic English I/II		

学習時間 15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, homework) (approximately 90 min. per week)

授業の概要

One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills. This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).

授業の目的

This course focuses on the development of students' oral communication skills. The primary objective is for students to improve their English speaking skills by the end of the 15-week semester.

到達目標

By the end of the semester, students should become enabled to:
1. Actively engage in English communication.
2. Overcome situations in which they have difficulty expressing themselves in English using compensatory strategies (e.g., gesturing, paraphrasing).
3. Deliver 3-5-minute multi-media presentations in English.

The above criteria are in line with General Education standards at Kagawa University.
(To develop basic problem-solving skills) (To broaden one's knowledge of the humanities, society, and the environment)

成績評価の方法と基準

Students will be evaluated on the following:
Mid-term speech - 20%,
Final presentation - 30%,
Moodle Forum discussion - 30%,
Participation and attendance - 20%
Materials submitted after the due date and time will be penalised.

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

[Course Method]
Classwork will center on activities in the textbook, and aspects of the speech act (including the verbal message, non-verbal message, and rhetorical message) will be introduced as the semester unfolds. Students will be given many opportunities to practice these skills. In addition to homework and assignments from the course textbook, students will be expected to participate each week in an online discussion forum. English will be the primary medium of communication in class.
This course will be mostly taught face-to-face but some classes may be taught online. Depending on the situation with the current pandemic, all classes may be changed to face-to-face or online. Both mid-term and final presentations will be online if the university guidelines regarding the use of face masks in class continues.

[Course Schedule]
Week 1 Orientation: Coursework from Your First Speech and Presentation(YFSP) - Unit 1: Moodle Discussion 1
Week 2 YFSP 2: Moodle Discussion 2
Week 3 YFSP 3: Moodle Discussion 3
Week 4 YFSP 4: Moodle Discussion 4
Week 5 YFSP 5: Moodle Discussion 5
Week 6 YFSP 6: Moodle Discussion 6
Week 7 Midterm presentations
Week 8 YFSP 7: Moodle Discussion 7
Week 9 YFSP 8: Moodle Discussion 8
Week 10 YFSP 10: Moodle Discussion 9
Week 11 YFSP 11: Moodle Discussion 10; Final presentation topics assigned

Week 12 YFSP 15: Final presentation outline due
Week 13 YFSP 18: Final presentation workshop
Week 15 Final presentations
Week 16 Final presentations

[Suggestions for self-study]
Week 1: Students should buy the textbook before the first class and look over the content.
Weeks 2-6: Students should complete assigned homework and be prepared to deliver speeches before the class. Students will be expected to write around 200 words per week for a Moodle discussion. The topic will be given in class.
Week 7: Midterm-presentations
Weeks 8-13: Students should complete assigned homework and be prepared to deliver speeches before the class. Students will be expected to write around 250 words per week for a Moodle discussion.
Weeks 14-15: Final presentations

教科書・参考書等

英語のスピーチとプレゼンの技術 Your First Speech and Presentation by Kobayashi, T. & Clankie, S.M. 南雲堂 (2011) ISBN-13: 978-4-523-17662-6

オフィスアワー Office hours: Wednesday: 9 am-10 am (Saiwai-cho campus only) or contact the instructor to arrange meetings.

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード B2ENG-axxG-1N-Ex1 授業科目名 (時間割コード：041345) Communicative English Ⅲ M(2) Communicative English Ⅲ Communicative English Ⅲ	科目区分 外国語科目	時間割 2022年度 前期金1	対象年次 2～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教ｾﾝﾀｰ ＤＰコード：axx	対象学生 全学生 特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応 ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	単位数 1	
担当教員名 ウィリー・イアン・デビッド	関連授業科目 主題科目領域Ⅰ 経済・社会・文化		
	履修推奨科目 Academic English Ⅰ/Ⅱ		

学習時間 Class meetings and preparation time per week 15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, homework) (approximately 90 min. per week)

授業の概要

One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills. This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).

授業の目的

This course focuses on the development of students' oral communication skills. The primary objective is for students to become more confident and competent English speakers by the end of the 15-week semester. Students' overall English skills (in listening, reading, writing, and speaking) should also improve.

到達目標

By the end of the semester, students will become enabled to:
1. Voice their own opinions and offer information in pairs, groups, and in class discussion;
2. Describe pictures, videos and other material using simple English and gestures;
3. Deliver 5-7 minute presentations about personal and social topics in English, using PowerPoint

The above criteria are in line with General Education standards at Kagawa University.
(To develop basic problem-solving skills) (To broaden one's knowledge of the humanities, society, and the environment)

成績評価の方法と基準

Participation (in-class effort)：20%
Homework (Moodle) & mini-presentations: 40%
Midterm presentation：20%
Final presentation：20%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【Class method】
Activities in the textbook (Present Yourself 2) will be the main part of the class. Students will practice speaking and presentation skills such as eye contact and voice projection. They will also learn how to organize an effective presentation and prepare effective PowerPoint presentations. Students will often deliver short speeches in groups and in front of the class. Short drills to develop speaking fluency will be done at the beginning and end of every class. Only English will be used in the classroom. All students will use the Moodle page for this class for written homework and to receive information about the class.

【Class schedule】
Week 1: Introduction to course, instructor, and students; Speaking warm-up
Week 2: Begin Present Yourself 2 (PY2): Unit 1
Week 3: PY2 Unit 1
Week 4: PY2 Unit 2
Week 5: PY2 Unit 2
Week 6: PY2 Unit 3
Week 7: Mid-term presentations 1
Week 8: Mid-term presentations 2; PY2 Unit 3
Week 9: PY2 Unit 4
Week 10: PY2 Unit 4
Week 11: PY2 Unit 5
Week 12: PY2 Unit 5
Week 13: PY2 Wrap-up
Week 14: Final presentations 1
Week 15: Final presentations 2

【Suggestions for self-study】
Week 1-5: Students should complete homework and practice short speeches.

Week 6-8: Students should prepare for the mid-term presentation. Week 9-12: Students should complete homework and practice short speeches. Week 13-15: Students should prepare for the final presentation. * Classes will be held in the regular classroom. Depending on the situation, classes may shift online.
教科書・参考書等 Gershon, S. (2015). Present Yourself 2 (2nd Edition). Cambridge University Press. ISBN 978-1107435780
オフィスアワー　Information about office hours and arranging meetings with the instructor will be provided on the first day of class.
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041346) Communicative English Ⅲ M(3) Communicative English Ⅲ Communicative English Ⅲ	**科目区分** 外国語科目	**時間割 2022年度** 前期金1	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 ウィリアムズ　厚子	**関連授業科目** 主題科目領域Ⅰ　経済・社会・文化 **履修推奨科目** Academic English I/II		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（準備学習（15時間）＋事後学習（15時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は、英語コミュニケーション能力の中で特にスピーキング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのスピーキング能力を向上させることを目的とします。

到達目標

1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。
2. 自分の言いたいことをうまく伝えることができない時でも、ジェスチャー、パラフレーズ（言い換え）などのコミュニケーション方略を用いて、コミュニケーションを継続することができる。
3. 英語を用いて 10 分程度のプレゼンテーションをすることができる。

1～3 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

小テスト：20%　課題・授業参加：30%　Midterm presentation：20%　Final presentation：30%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
開始-15分　クイズ　会話練習
15分-終了　テキストを使用しての演習

【授業計画】各週の授業内容についてはMoodle のトピックを確認してください。
第 1回：オリエンテーション　Unit 1 My Club Activities / Slide 1 & 2
第 2回：Unit 2　How Committed Are You to Learning English? / Slide 3 & 4
第 3回：Unit 3 What Do You Want to Do with Your Life? / Slide 5 & 6
第 4回：Unit 4 My Part-time Job / Slide 7 & 8
第 5回：Unit 5 How Do You Keep Fit? / Slide 9 & 10
第 6回：Unit 6 Should Alcohol Abuse Be Tolerated? / Slide 11 & 12
第 7回：Unit 7 Smoking Should Be Banned in All Public Places / Slide 13 & 14
第 8回： Midterm Presentation
第 9回：Unit 9 Pet Owners Should Be Responsible for Their Pets - Until the End / Slid 15 & 16
第10回：Unit10 Domestic Violence Should Not Be Tolerated / Slide 17 & 18
第11回：Unit11 How Can We Prevent Suicides? / Slide 19 & 20
第12回：Unit12 Colleges Should Offer Driving Lessons
第13回：Unit13 Schools Should Not Force Students to Do Volunteer Work
第14回：Unit14 Should the Age of Adulthood Be Lowered in Japan?
第15回： Final Presentation

【授業外学習に関するアドバイス】
第1回：事前に教科書を購入し、内容を確認してから授業に臨むこと。
第2回以降：前時の指示に従い、課題と予習をして臨むこと。
第8回と第15回のPresentationについては事前に授業で周知する。

教科書・参考書等

Your First Speech and Presentation 英語スピーチとプレゼンの技術　(Kobayashi Toshihiko　Shawn M. Clankie)　NAN'UN-DO 2017 ISBN978-4-523-17662-6

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041347) Communicative English Ⅲ M(4) Communicative English Ⅲ Communicative English III	**科目区分** 外国語科目	**時間割** 2022年度 前期金1	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 長井　克己	**関連授業科目** 主題科目領域Ⅰ　経済・社会・文化		
	履修推奨科目 Academic English I/II		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（準備学習（15時間）＋事後学習（15時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は、英語コミュニケーション能力の中で特にスピーキング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのスピーキング能力を向上させることを目的とします。

到達目標

1. 英語で３分間，話し続けることができる。
2. 医療に関するテーマについて，自分の意見を英語で伝え，質問に答えることができる。

(共通教育スタンダード「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応)

成績評価の方法と基準

(1) 3-minute speech on newspaper articles(20%)
(2) Speech handout and Q&A (20%)
(3) Exam 1 (30%) and Exam 2 (30%)

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
この科目は基本的に対面授業を行います。
ただし新型コロナウイルスの感染状況により，遠隔授業に変更する可能性があります。緊急連絡は教務システム(Dream Campus)で行いますので，指示に従ってください。

(1) Speech in 3 minutes on newspaper articles
新聞記事のスピーチ用ハンドアウト(「学籍番号.pdf」)を，メールの添付として前日までに提出すること。担当者は第１週に決定，ハンドアウトはA4，１ページ，見本を第１週に配付。念のため当日原稿を持参すること。
(2) Q&Aとコメント作成
毎週スピーチとハンドアウトへのコメントを提出し，出席確認とします。
(3) 教科書を用いた Shadowing / Role-play 演習

【授業計画】
wk 1 (April 8): newsの切り抜きを読む，教科書 part 1
wk 2 (April 15): ch 1-2, news 1
wk 3 (April 22): ch 3-4, news 2
wk 4 (May 6): ch 5-6, news 3
wk 5 (May 13): ch 7-8, news 4
wk 6 (May 20): ch 9-10, news 5
wk 7 (May 27): ch 11, news 6
wk 8 (June 3): tutorial / mid-term exam 1
wk 9 (June 10): ch 12-13, news 7
wk 10 (June 17): ch 14-15, news 8
wk 11 (June 24): ch 16-17, news 9
wk 12 (July 1): ch 18-19, news 10
wk 13 (July 8): ch 20-21, news 11
wk 14 (July 15): ch 22-23, news 12
wk 15 (July 22): tutorial / mid-term exam 2

【授業外学習に関するアドバイス】
教科書 Part 1 は易しすぎるので授業では扱いませんが，未知の語句は抜き出して覚えること。
Part 2 部分はCDを繰り返し聞き，同時に発音し，耳と口で語彙を増やすこと。

教科書・参考書等

正しく診断するための 医師の診療英会話．ナツメ社．978-4816358142.
スピーチの題材となるニュースは，１回目に新聞記事を配付。

オフィスアワー	授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。
履修上の注意・担当教員からのメッセージ	
手洗いや消毒，常時換気（窓開放）と安全な距離の確保等の感染防止対策を行った上で、対面授業を実施します。マスクを着用し，1回目の授業で指定した場所に着席してください。大声や飲食は厳禁です。体調管理に気を遣い，咳や発熱等の症状が少しでもあれば，躊躇なく連絡して欠席（特別な理由による公欠）してください。	

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041348) Communicative English Ⅲ NP(1) Communicative English Ⅲ Communicative English III	**科目区分** 外国語科目	**時間割** 2022年度 前期金2	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 ビラ　ダビッド	**関連授業科目** 主題科目領域Ⅰ　経済・社会・文化		
	履修推奨科目 Academic English I/II		

学習時間 15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, homework) (approximately 90 min. per week)

授業の概要

One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills. This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).

授業の目的

This course focuses on the development of students' oral communication skills. The primary objective is for students to improve their English speaking skills by the end of the 15-week semester.

到達目標

By the end of the semester, students should become enabled to:
1. Actively engage in English communication.
2. Overcome situations in which they have difficulty expressing themselves in English using compensatory strategies (e.g., gesturing, paraphrasing).
3. Speak about personal topics in English; Deliver 5 minutes-long multi-media presentations in English.

The above criteria are in line with General Education standards at Kagawa University.
(To develop basic problem-solving skills) (To broaden one's knowledge of the humanities, society, and the environment)

成績評価の方法と基準

- Assignments: 25%
- In-class effort: 25%
- Mid-term presentation: 20%
- Final presentation: 30%

(A score of 0% in any of those categories will result in automatically failing the class.)

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

[Course Method]
Class work will center on activities in the textbook, and aspects of the speech act (including the verbal message, non-verbal message, and rhetorical message) will be introduced as the semester unfolds . Students will be given many opportunities to practice these skills. English will be the primary medium of communication in class.

[Course Schedule]
Please note that this schedule is tentative and subject to change.
Week 1: Students should purchase their textbook before the first class and look over the content; Introductions
Week 2-6: Speech practice utilizing textbook and supplementary materials. This first part of the semester will focus on Units 6, 7 and 8 of the textbook.
Week 7-8: Mid-term presentations.
Week 9-13: Speech practice utilizing textbook and supplementary materials. This second part of the semester will focus on Units 1-5 of the textbook.
Week 14: Final presentation workshop.
Week 15-16: Final presentations.

[Suggestions for self-study]
Week 1: Students should buy the textbook before the first class and look over the content.
Week 2-14: Students should complete assigned homework and be prepared to deliver speeches before the class.
Week 3-6: Students should also prepare for mid-term presentations.
Week 10-14: Students should also prepare for final presentations.
Week 15-16: Students should deliver final presentations.

Important notice: Due to the Covid19 situation, classes may be held face-to-face or online (with Zoom and Moodle) depending on the evolution of the pandemic.
教科書・参考書等 Speaking Of Speech (premium edition) Charles LeBeau, NATIONAL GEOGRAPHIC: ISBN978-4-86312-385-4
オフィスアワー　Students should contact the instructor to arrange meetings.
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041349) Communicative English Ⅲ NP(2) Communicative English Ⅲ Communicative English Ⅲ	**科目区分** 外国語科目	**時間割** 2022年度 前期金2	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 パーキンス　ガレス　エドワード	**関連授業科目** 主題科目領域Ⅰ　経済・社会・文化		
	履修推奨科目 Academic English Ⅰ/Ⅱ		

学習時間 15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, homework) (approximately 90 min. per week)

授業の概要

One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills. This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).

授業の目的

This course focuses on the development of students' oral communication skills. The primary objective is for students to improve their English speaking skills by the end of the 15-week semester.

到達目標

By the end of the semester, students should become enabled to:
1. Actively engage in English communication.
2. Overcome situations in which they have difficulty expressing themselves in English using compensatory strategies (e.g., gesturing, paraphrasing).
3. Students will be able to deliver a 5 minute presentation in English, learning appropriate language, body language and cultural differences.

The above criteria are in line with General Education standards at Kagawa University.
(To develop basic problem-solving skills) (To broaden one's knowledge of the humanities, society, and the environment)

成績評価の方法と基準

The course will be graded on the following criteria:
Midterm presentation: 20%
Final presentation: 30%
In class Effort :20%
Home Work: 20%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

(Course Method)
Class work will center on activities from the textbook, but there will also be a great deal of language from outside the text used, as well as grammar exercises. Body language, pronunciation and the coherent linking of ideas will be practiced.

(Course Schedule)
Week 1: Self introductions.
Week 2: Vacations and travel.
week 3: Culture and habits.
week 4: Explaining ideas.
week 5: Sharing an opinion.
week 6: Discussing current events.
week 7: Midterm presentations.
week 8: Body language and non verbal communication.
week 9: Common presentation language.
Week 10: Storytelling in a presentation.
week 11: Explaining a process.
Week 12: Explaining how to do something in steps.
week 13: Final presentation workshop.
Week 14: Review
Week 15: Final Presentations.

(self study)
Students should keep notes in every lesson and review them at home. They should use language studied during class to help complete their homework. Students should also watch TIF videos on youtube, mirroring language and body language. 90 minutes of homework will be set each week. The tasks will be set to prepare for the following lesson and to review the previous lesson. Tasks

will include keeping a journal, writing mini presentations and writing reports on topics of interest. Classes will be held face-to-face, on campus. We may need to switch to online lessons if the situation with COVID worsens.
教科書・参考書等 Present Yourself 2: Viewpoints, by Steven Gershon Publisher: Cambridge University Press (second edition) (3025 Yen) ISBN: 978-1-107-43578-0
オフィスアワー　Students should contact the instructor to arrange meetings.
履修上の注意・担当教員からのメッセージ Please purchase the textbook in advance, check the contents (preamble part of the textbook and the first chapter), and then attend the first class.

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041350) Communicative English Ⅲ NP(3) Communicative English Ⅲ Communicative English Ⅲ	**科目区分** 外国語科目	**時間割 2022年度** 前期金2	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 中井　富紀	**関連授業科目** 主題科目領域Ⅰ　経済・社会・文化		
	履修推奨科目 Academic English I/II		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（準備学習（15時間）＋事後学習（15時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は、英語コミュニケーション能力の中で特にスピーキング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのスピーキング能力を向上させることを目的とします。

到達目標

1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。
2. 自分の言いたいことをうまく伝えることができない時でも、ジェスチャー、パラフレーズ（言い換え）などのコミュニケーション方略を用いて、コミュニケーションを継続することができる。
3. 本授業のテーマである自然な速度における対話の中に生じる音の現象の基本的な知識を織り込んで、通じる英語の音声を目指し、アクトアウトプレゼンテーションができる。

1～3 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

In-class act out presentation（8回）80%と最終試験（Final communication performance）20%で最終評価をする。各dialogごとに設定したゴールの到達度、声の大きさと明瞭さ、流暢度、感情表現などの項目から、B・A＋・A・A-のいずれかで判定する。これらを点数化したものから遅刻、欠席を減点し、皆勤の場合は加点をしたものが最終評価点となる。ペアワークであるが個別で評価する。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
＊マスク着用、教室の全もしくは一部の窓開放の上、授業を実施する。
テキストの各ダイアログに設定されたゴールをクリアすべく、覚えたダイアログのアクトアウトプレゼンテーションを行う。

【授業計画】
第1回：Course work introduction（コースワーク紹介）ハンドアウト配布、ペア決定など。
第2回：コミュニケーション活動－getting to know each other など。
第3回：dialog 1　Nice to meet you
第4回：dialog 2　What year are you in at pine tree?
第5回：dialog 3　Practice makes perfect
第6回：dialog 4　First bus ride
第7回：dialog 5　Greenwood
第8回 ： dialog 6　Talk about sport
第9回 ： dialog 7　This is the campus
第10回 ： dialog 8　At the university cafeteria
第11回 ： dialog 9　Two pieces of apple pie a la mode
第12回 ： dialog 10　I can’t stand cold weather
第13回：dialog 11 #1　Getting a part-time job
第14回：dialog 11 #2　Getting a part-time job
第15回：Review tasks for dialogs 1-11

【授業外学習に関するアドバイス】
ただ暗唱するだけでなく、コミュニケーションを意識して、大きな声で声読できるようにする。
さらに、それを習慣的なホームラーニングとして定着させることが必要である。

教科書・参考書等

Sounds Great!. Fuki Nakai. Matsuyama Univ. Seikyo. ISBN N/A

オフィスアワー　月、水、木曜日の３時～４時３０分までの間自由に来てください。場所は北キャンパス教育学部棟３号館４階です。Welcome!

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041351) Communicative English Ⅲ NP(4) Communicative English Ⅲ Communicative English Ⅲ	**科目区分** 外国語科目	**時間割 2022年度** 前期金2	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 マクラハン・ジェラディーン， 吉川友子	**関連授業科目** 主題科目領域Ⅰ 経済・社会・文化		
	履修推奨科目 Academic English I/II		

学習時間 授業90分×15回＋自学自習（準備学習（15時間）＋事後学習（15時間））

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は、英語コミュニケーション能力の中で特にスピーキング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのスピーキング能力を向上させることを目的とします。

到達目標

1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。
2. 自分の言いたいことをうまく伝えることができない時でも、ジェスチャー、パラフレーズ（言い換え）などのコミュニケーション方略を用いて、コミュニケーションを継続することができる。
3. 身近なことについて英語で２分間程度のまとまった内容を伝えることができる。

1～3 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

Quiz：20%　In-class effort：20%　Midterm presentation：30%　Final presentation：30%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
この科目は全回対面授業を行います。テキストに沿って、アイコンタクトやジェスチャーなどの非言語ツールを重視しつつ具体的な表現練習を重ね､英語によるプレゼンテーションのしかたを学習します。授業２回で１ユニット進む程度の進度で課によって変則的に進めます。

【授業計画】
第１回：オリエンテーション､演習活動（Unit 1）
第２回～第７回：演習活動（Unit １～４）
中間評価のための課題提出（プレゼンテーション）
第８回～第１５回：演習活動（Unit ５～８）
期末評価のための課題提出（プレゼンテーション）

【授業外学習に関するアドバイス】
具体的な内容については、毎回の授業で指示する。課題提出や小テストも評価に含まれることに注意し､計画的に準備しておくこと。
第１回：事前に教科書を購入し、内容を確認してから授業に臨むこと。
第1～7回：プレゼンテーションの枠組みとボディランゲージの重要性を理解し､英語のプレゼンテーションで使われる表現を身につける（14時間）また､中間評価のための課題に向けて準備を進める。（2時間）
第8回～第15回：プレゼンテーションの論理的展開方法について理解を深め､教科書の各課のモデルを参考にしながら､実際にプレゼンテーション原稿を構成する（16時間）また､期末評価のための課題に向けて準備を進める。（4時間）

教科書・参考書等

Charles LeBeau (2021) Speaking of Speech, Premium Edition: Basic Presentation Skills for Beginners. National Geographic Learning / Cengage Learning K.K.
2,800円＋税
ISBN: 978-4-86312-385-4

オフィスアワー 授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041401) Communicative English Ⅳ LJ(1) Communicative English Ⅳ Communicative English Ⅳ (LJ1)	**科目区分** 外国語科目	**時間割** 2022年度 後期水1	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 ウィリー・イアン・デビッド, ニコラス ダニエル フライ	**関連授業科目** 主題科目領域Ⅰ 経済・社会・文化		
	履修推奨科目 Academic English Ⅰ/Ⅱ		

学習時間 Class meetings and preparation time per week: 15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, homework) (approximately 90 min. per week)

授業の概要

Course Outline
One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills. This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).

授業の目的

Course Objectives
This course focuses on the development of students' written communication skills. The primary objective is for students to improve their English writing skills by the end of the 15-week semester.

到達目標

By the end of the semester, students should become enabled to:
1. Actively engage in English communication.
2. Use dictionaries and other resources to produce accurate and comprehensible English sentences.
3.Write English essays of approximately 300 words; Summarize reading or listening passages in simple English; Write approximately 100 -word journal entries each week.

The above criteria are in line with General Education standards at Kagawa University.
(To develop basic problem-solving skills) (To broaden one's knowledge of the humanities, society, and the environment)

成績評価の方法と基準

Students will be evaluated on the following:
In-class effort: 10% Mid-term essay: 30% Final essay: 60%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

[Course Method]
Each class will center on a writing task in the textbook (e.g., business letters, responses to invitations, etc.) Writing will be done in class and assigned as homework. Completed writing assignments will be used for group activities and other communicative tasks. The class will be conducted exclusively in English in order to develop student's overall English skills.

[Course Schedule]
Week1: Students should purchase their textbook before the first class and look over the content; Introductions
Week 2-7: Writing from Within 1 writing task.
Week 8: Mid-term test
Week 9-15: Writing from Within 1 writing tasks
Week 16: Final test
[Suggestions for self-study]
Week 1-14: Complete homework from the textbook and other writing assignments.

教科書・参考書等

教科書・参考書等 Textbook/Materials
Writing from Within 2 2nd Edition (Kelly, C. & Gargadliano, A.) ISBN: 978-0-521-18834-0

オフィスアワー Students should consult the instructor to arrange meetings.

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex1 授業科目名　（時間割コード：041402） Communicative English Ⅳ LJ(2) Communicative English Ⅳ Communicative English Ⅳ	科目区分 外国語科目	時間割 2022年度 後期水1	対象年次 2～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教ｾﾝﾀｰ ＤＰコード：abx	対象学生 全学生 特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応 ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態　演習	単位数　1	
担当教員名 ウィリー・イアン・デビッド，ジョナサン　ベリー	関連授業科目　主題科目領域Ⅰ　経済・社会・文化		
	履修推奨科目　Academic English I/II		

学習時間　15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, homework) (approximately 90 min. per week)

授業の概要

One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills. This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).

授業の目的

This course focuses on the development of students' written communication skills. The primary objective is for students to improve their English writing skills by the end of the 15-week semester.

到達目標

By the end of the semester, students should become enabled to:
1. Actively engage in English communication.
2. Use dictionaries and other resources to produce accurate and comprehensible English sentences.
3. Summarize reading or listening passages in simple English; Write approximately one-two 100-word journal entries each week.

The above criteria are in line with General Education standards at Kagawa University.
(To develop basic problem-solving skills) (To broaden one's knowledge of the humanities, society, and the environment)

成績評価の方法と基準

Students will be evaluated on the following:
Participation: 10%
Mid-term test: 20%
Final test: 30%
Assignments: 40%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

[Course Method]
Classwork will center on activities in the textbook, and various writing tasks will be introduced as the semester progresses. Grammar and syntax will be focussed on. English will be the primary medium of communication in class.

[Course Schedule]
Week1: Orientation. Explanation of the course, student introductions, and basics of writing. Students should purchase their textbook before the first class and look over the content
Week 2: Learn and practice how to write about human relationships.
Week 3: Learn and practice how to write about personalities and human qualities (part 1).
Week 4: Learn and practice how to write about personalities and human qualities (part 2).
Week 5: Learn and practice descriptive writing for places.
Week 6: Learn and practice how to write about communities/one's hometown.
Week 7: Learn and practice how to write about the attractive qualities of tourist spots.
Week 8: Mid-term test
Week 9: Learn and practice how to write about societal changes (part 1).
Week 10: Learn and practice how to write about societal changes (part 2).
Week 11: Learn and practice how to write about the future (part 1).
Week 12: Learn and practice how to write about the future (part 2).
Week 13: Learn and practice how to write about historical figures.
Week 14: Practical applications of writing.
Week 15: Review of writing techniques covered in the course.
Week 16: Final test

[Self-study]
Students will keep a notebook for the course. They will use this to write a weekly journal and add vocabulary/phrases essential for improving their writing.

この科目は全回対面授業を行います。なお状況によっては全て、または一部の授業回の授業形態を遠隔へ変更する可能性があります。
教科書・参考書等 TRIO Writing Level 2 with Online Practice (Alice Savage & Colin Ward) Oxford University Press
オフィスアワー　Students should consult the instructor to arrange meetings. Meetings can be arranged on Zoom too.
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041403) Communicative English Ⅳ LJ(3) Communicative English Ⅳ Communicative English Ⅳ	**科目区分** 外国語科目	**時間割 2022年度** 後期水1	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 ウィリー・イアン・デビッド，アダム・ブロッド	**関連授業科目** 主題科目領域Ⅰ 経済・社会・文化		
	履修推奨科目 Academic English Ⅰ/Ⅱ		

学習時間 15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, homework) (approximately 90 min. per week)

授業の概要

One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills. This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).

授業の目的

This course focuses on the development of students' written communication skills. The primary objective is for students to improve their English writing skills by the end of the 15-week semester.

到達目標

By the end of the semester, students should become enabled to:
1. Actively engage in English communication.
2. Use dictionaries and other resources to produce accurate and comprehensible English sentences.
3. Write English essays of approximately 300 words; Summarize reading or listening passages in simple English; Write approximately 100 word journal entries each week.

The above criteria are in line with General Education standards at Kagawa University.
(To develop basic problem-solving skills) (To broaden one's knowledge of the humanities, society, and the environment)

成績評価の方法と基準

Students will be evaluated on the following:
Writing: 40%　In-class effort: 20%　Mid-term in class essay: 20%　Final portfolio: 20%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

[Course Method]
Class work will center on activities in the textbook, and various writing tasks will be introduced as the semester unfolds. English will be the primary medium of communication in class.

[Course Schedule]
Week1: Students should purchase their textbook before the first class and look over the content.
Week 2: Unit 1 YOUR CLASS PROFILE
Week 3: Unit 3 YOUR CLASS PROFILE
Week 4: Unit 4 EXPLAIN HOW TO WRITE REPORTS IN COLLEGE
Week 5: Unit 4 EXPLAIN HOW TO WRITE REPORTS IN COLLEGE
Week 6: YOUR (BEST, LONGEST, WORST, ECT) DAY EVER
Week 7: YOUR (BEST, LONGEST, WORST, ECT) DAY EVER
Week 8: Mid term
Week 9: Unit 2 YOUR IDEAS OF THE PERFECT FAMILY
Week 10: Unit 6 YOUR IDEAS OF THE PERFECT FAMILY
Week 11: Unit 7 THE MOST BEAUTIFUL PLACE ON EARTH
Week 12: Unit 7 THE MOST BEAUTIFUL PLACE ON EARTH
Week 13: Unit 8 YOUR IDEAS ON TRADITIONAL JAPANESE CULTURE
Week 14: Unit 9 YOUR IDEAS ON TRADITIONAL JAPANESE CULTURE
Week 15: Work on Final Portfolio
Week 16: Final portfolio due

Introductions: Students should be prepared to introduce themselves in English.
Week 1: Students should buy the textbook before the first class and look over the content.
Week 2-7: Students should complete writing assignments, and prepare for the midterm writing test.
Week 8: In class writing midterm.
Week 9-15: Students should complete writing assignments, and revise write for the final portfolio.
Week: 16 Complete final portfolio.

[Suggestions for self-study]
Week 1: Students should buy the textbook before the first class and look over the content.
Week 2-10: Students should complete assigned homework and be prepared to discuss their writing in class.
Week 11-13: Students should edit their writing the for final portfolio.
Week 14-15: Students should complete final portfolio.

教科書・参考書等

Ready to Write 1, Blanchard, Karen and Christine Root. Pearson. 9780134400655

オフィスアワー　Students should consult the instructor to arrange meetings.

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 授業科目名 (時間割コード：041404) Communicative English Ⅳ LJ(4) Communicative English Ⅳ Communicative English Ⅳ	科目区分 外国語科目	時間割 2022年度 後期水1	対象年次 2～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教ｾﾝﾀｰ ＤＰコード：abx	対象学生 全学生 特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応 ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	単位数 1	
担当教員名 ウィリー・イアン・デビッド，ヒル スティーブ	関連授業科目 主題科目領域Ⅰ 経済・社会・文化		
	履修推奨科目 Academic English Ⅰ/Ⅱ		

学習時間 15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, homework) (approximately 90 min. per week)

授業の概要

One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills. This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).

授業の目的

This course focuses on the development of students' written communication skills. The primary objective is for students to improve their English writing skills by the end of the 15-week semester.

到達目標

By the end of the semester, students should become enabled to:
1. Actively engage in English communication.
2. Use dictionaries and other resources to produce accurate and comprehensible English sentences.
3. Write English essays of approximately [number] words; Summarize reading or listening passages in simple English; Write approximately [number]-word journal entries each week.

The above criteria are in line with General Education standards at Kagawa University.
(To develop basic problem-solving skills) (To broaden one's knowledge of the humanities, society, and the environment)

成績評価の方法と基準

Students will be evaluated on the following:
In-class effort: 30%　Homework writing tasks: 40%　Final Test: 30%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

[Course Method]
Class work will center on activities in the textbook, and various writing tasks will be introduced as the semester unfolds. English will be the primary medium of communication in class.

[Course Schedule]
Week 1: Students should purchase their textbook before the first class and look over the content + Tackle unit 1 of the textbook and complete the writing task for homework.
Week 2: Tackle unit 2 of the textbook and complete the writing task for homework.
Week 3: Tackle unit 3 of the textbook and complete the writing task for homework.
Week 4: Group work activity based on one of the themes from units 1-3.
Week 5: Tackle unit 4 of the textbook and complete the writing task for homework.
Week 6: Tackle unit 5 of the textbook and complete the writing task for homework.
Week 7: Tackle unit 6 of the textbook and complete the writing task for homework.
Week 8: Group work activity based on one of the themes from units 4-6.
Week 9: Tackle unit 7 of the textbook and complete the writing task for homework.
Week 10:Tackle unit 8 of the textbook and complete the writing task for homework.
Week 11:Tackle unit 9 of the textbook and complete the writing task for homework.
Week 12:Group work activity based on one of the themes from units 7-9.
Week 13: Tackle unit 10 of the textbook and complete the writing task for homework.
Week 14: Tackle unit 12 of the textbook and complete the writing task for homework.
Week 15: How to write an anecdote

[Suggestions for self-study]
Students should read as many authentic materials as possible which are related to the themes of the textbooks, e.g. book and movie reviews, internet blogs, etc.

教科書・参考書等

Writing from Within 1 2nd Edition. (Kelly, C. & Gargadliano, A.)2011. CUP. ISBN 978-0521188272.

オフィスアワー Students should consult the instructor to arrange meetings.

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041405) Communicative English Ⅳ LJ(5) Communicative English Ⅳ Communicative English Ⅳ	**科目区分** 外国語科目	**時間割** 2022年度 後期水1	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 ポール・バテン	**関連授業科目** 主題科目領域Ⅰ 経済・社会・文化		
	履修推奨科目 Academic English Ⅰ / II		

学習時間 授業90分×15回＋授業外学習（予習・復習・課題）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は英語コミュニケーション能力の中で特にライティング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのライティング能力を向上させることを目的とします。

到達目標

1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。
2. 辞書等のツールを用いて適切さと正確さに配慮しながら英文を書くことができる。
3. 英語で 300 語程度のエッセイを書くことができる。

1～3 は、共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」に対応。

成績評価の方法と基準

Quizzes：20%　In-class effort：30%　assignments：50%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

This class will focus on writing but with an emphasis on pair and group work on tasks in the class. By checking together to produce a written text, students will be encouraged and will learn better. The tasks in the text cover a variety of topics and introduce students to a good range of writing skills in English.

1. Course intro
2. Who am I?
3. An important place
4. An ideal partner
5. My favourite photo
6. My seal
7. Party time
8. Mid-term check, review, questions.
9. Thank-you note
10. Friendship
11. Superhero powers
12. Advertisements
13. Lessons learned
14. Emails
15. Final review, check

【授業外学習に関するアドバイス】
第1回：事前に教科書を購入し、内容を確認してから授業に臨むこと。
第1～第15回：教員の指示に従い、十分に予習をした上で授業に臨むこと。

教科書・参考書等

Writing from Within 1, Second Edition by Kelly, C. & Gargagliano, A. Cambridge University Press (2011) - ISBN: 978-0-521-18827-2

オフィスアワー 授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。

教員の実務経験との関連

私にとっての外国語の日本語は、３０年以上前から毎日直面しています。２７年前から大学生を教えています。出来るだけ学生にとって実践的なスキルを身につける授業を目さします。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041406) Communicative English Ⅳ LJ(6) Communicative English Ⅳ Communicative English Ⅳ	**科目区分** 外国語科目	**時間割 2022年度** 後期水1	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 ビラ　ダビッド	**関連授業科目** 主題科目領域Ⅰ　経済・社会・文化		
	履修推奨科目 Academic English Ⅰ/Ⅱ		

学習時間 15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, homework) (approximately 90 min. per week)

授業の概要

One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills. This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).

授業の目的

This course focuses on the development of students' written communication skills. The primary objective is for students to improve their English writing skills by the end of the 15-week semester.

到達目標

By the end of the semester, students should become enabled to:
1. Actively engage in English communication.
2. Use dictionaries and other resources to produce accurate and comprehensible English sentences.
3. Write English short essays essays of approximately 300 words; Summarize reading or listening passages in simple English.

The above criteria are in line with General Education standards at Kagawa University.
(To develop basic problem-solving skills) (To broaden one's knowledge of the humanities, society, and the environment)

成績評価の方法と基準

Students will be evaluated on the following criteria:
- Participation and in-class effort: 30%
- Written Assignments and homework: 70%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

[Course Method]
Class work will center on activities in the textbook, and various writing tasks will be introduced as the semester unfolds. English will be the primary medium of communication in class.

[Course Schedule]

Week 1: Introduction of the class. Students should purchase their textbook before the first class and look over the content.
Week 2-15: Tentatively, about one unit of the textbook will be covered each week. Please note that some units in the textbook (usually the "fluency" units) may take less than a week to complete. Some other units (the "accuracy" units) may take more time and may be covered over two weeks.
Written assignments will be done weekly in class and as homework.

[Suggestions for self-study]
Week 1: Students should buy the textbook before the first class and look over the content.
Week 2-15: Students should complete assigned homework and writing assignments.

Important notice: Due to the Covid19 situation, classes may be held face-to-face or online (with Zoom and Moodle) depending on the evolution of the pandemic.

教科書・参考書等

Writing for Fluency and Accuracy. Boon, Andy. Cengage. 978-4-86312-306-9

オフィスアワー Students should consult the instructor to arrange meetings.

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041407) Communicative English Ⅳ LJ(7) Communicative English Ⅳ Communicative English Ⅳ	**科目区分** 外国語科目	**時間割** 2022年度 後期水1	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 パーキンス　ガレス　エドワード	**関連授業科目** 主題科目領域Ⅰ　経済・社会・文化		
	履修推奨科目 Academic English Ⅰ/Ⅱ		

学習時間 15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, homework) (approximately 90 min. per week)

授業の概要

One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills. This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).

授業の目的

This course focuses on the development of students' written communication skills. The primary objective is for students to improve their English writing skills by the end of the 15-week semester.

到達目標

By the end of the semester, students should become enabled to:
1. Actively engage in English communication.
2. Use dictionaries and other resources to produce accurate and comprehensible English sentences.
3. Students will develop a much stronger understanding of grammar and writing techniques. They will be better able to express themselves in written English, as well as develop skills useful for work and travel.

The above criteria are in line with General Education standards at Kagawa University.
(To develop basic problem-solving skills) (To broaden one's knowledge of the humanities, society, and the environment)

成績評価の方法と基準

Students will be graded as follows:
Midterm report: 20%
Final report: 30%
Homework: 20%
In Class Effort: 30%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

(Course method)
Though the text book will be used in most lessons, the students will be doing a lot of writing based on prompts and activities. There will be a strong focus on explaining, and getting students comfortable with, different types of grammar. One of the main goals of the class to have the students engage with English on a personal level to express themselves.

Week 1: Introduction to course and text.
week 2: Writing about self.
week 3: Reviews and critical analysis.
Week 4: Narrative in writing/relative pronouns.
week 5: Complaining in English.
week 6: Midterm presentation workshop.
week 7: Hand in midterm presentations. Writing invitations.
Week 8: Formality and manners in writing.
week 9: Abbreviations and appropriate use.
week 10: Travel writing.
Week 11: Explaining a process (cooking, making something.)
week 12: Historical writing (passive grammar.)
Week 13: Writing about a place (passive grammar continued.)
week 14: Final report workshop.
week 15: Hand in final reports. Review language learned over the semester.

(Self study)
Take notes in every class. Use the language you learned in class to complete your homework. Read articles on breakingnewsenglish.com and/or any online newspaper that interests you. reading is very important if your aim is to improve at writing. 90 minutes of homework will be set each

week. The tasks will be set to prepare for the following lesson and to review the previous lesson. Tasks will include keeping a journal, writing mini presentations and writing reports on topics of interest.

Classes will be held face-to-face, on campus. We may need to switch to online lessons if the situation with COVID worsens.

教科書・参考書等

Inside Writing 1: The Academic Word List in Context
Arline Burgmeier / Rachel Lange
Oxford University Press
ISBN: 978-0194601160

オフィスアワー　Students should consult the instructor to arrange meetings.

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

Please purchase the textbook in advance, check the contents (preamble part of the textbook and the first chapter), and then attend the first class.

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** （時間割コード：041408） Communicative English Ⅳ LJ(8) Communicative English Ⅳ Communicative English Ⅳ	**科目区分** 外国語科目	**時間割** 2022年度 後期水1	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 中井　富紀	**関連授業科目** 主題科目領域Ⅰ　経済・社会・文化		
	履修推奨科目 Academic English Ⅰ / II		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（準備学習15時間＋事後学習15時間）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は英語コミュニケーション能力の中で特にライティング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのライティング能力を向上させることを目的とします。

到達目標

1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。
2. 辞書等のツールを用いて適切さと正確さに配慮しながら英文を書くことができる。
3. 英語で 450 語程度のエッセイを既習のエッセイライティングスキルを駆使して論理的に書くことができる。

1～3 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

（予習）語いリスト30%　中間パラグラフまたはエッセイ：30%　　最終エッセイ：40%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
＊マスク着用、教室の全もしくは一部の窓開放の上、対面で授業を実施する。
毎回、エッセイライティングのスキルを学習し、定着のための演習活動を行う。
演習活動とは、実際にセンテンスレベル、パラグラフレベル、エッセイレベルで書くことを体験する。
効果的なエッセイライティングの理論と実践で展開する。

【授業計画】
第1回：Course work introduction（コースワーク紹介）
第2回：Overviewーエッセイの構造、論理展開、テキスト全体像説明など。
第3回：unit 1　Starting from Scratch
第4回：unit 2　Home is Where Your Heart is
第5回：unit 3　You Only Live Once
第6回：unit 4　TheApple of Your eye
第7回：unit 5　Actions Speak Louder than Words
第8回 ： unit 6　Once in a Blue Moon
第9回 ： unit 7　Saved by the Bell
第10回 ： unit 8　“X” Marks the Spot
第11回 ： unit 9　Format & Structure Review
第12回 ： unit 10　Variety is the Spice of life
第13回：unit 11, 12　It’s All Greek to Me, Everything but the Kitchen Sink
第14回：unit 13, 14　Haste Makes Waste, Style Review
第15回：unit 15　Bigger is Better

【授業外学習に関するアドバイス】
第1回：事前にテキストを購入し、内容を確認してから授業に臨むこと。
第3～第15回：予習として、該当のunitの語いを調べて語いリストを作成しておくこと。語いは必ず電子辞書、ネットなどを利用して、音声とともに確認しておくこと。

教科書・参考書等

Writing Design. Mark D. Stafford. Kinseido. ISBN 978-4-7647-3987-1

オフィスアワー　月、水、木曜日の３時～４時３０分までの間自由に来てください。場所は北キャンパス教育学部棟３号館４階です。Welcome!

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041409) Communicative English Ⅳ LJ(9) Communicative English Ⅳ Communicative English Ⅳ	**科目区分** 外国語科目	**時間割 2022年度** 後期水1	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 ウィリー・イアン・デビッド，竹中　千鶴	**関連授業科目** 主題科目領域Ⅰ　経済・社会・文化		
	履修推奨科目 Academic English Ⅰ / II		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（準備学習15時間＋事後学習15時間）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は英語コミュニケーション能力の中で特にライティング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのライティング能力を向上させることを目的とします。

到達目標

1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。
2. 辞書等のツールを用いて適切さと正確さに配慮しながら英文を書くことができる
3. 英語で 50 語程度のジャーナルを流暢に書ける。
4. さまざまなタイプの英文のパラグラフ構造を理解し、Topic に応じたパラグラフタイプで２００語～２５０語程度の文章を書けるようになる。

1～4 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

授業参加・ジャーナル提出（毎週）：30%
長文課題提出(５回)：50%
期末テスト：20%　(未受験の場合は単位を認定しません。)

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
授業は次のような活動をする。
１．Warm-upとして、与えられたトピックについて、ペアやグループで即興のSpeanking,Writing活動をする。
２．テキストに沿ってパラグラフ構成パターンを学ぶ。
３．仲間や教師からのアドバイスをもとに文章を仕上げる。
４．課題提出はMoodle上への入力を基本とするが、授業中に手書きで提出してもらう課題もある
この科目は全回対面授業を行います。

【授業計画】
第 1回・・・・Orientation
第 2回・・・・Chapter 1
第 3回・・・・Chapter 2
第 4回・・・・Review
第 5回・・・・Chpater 3,(8)
第 6回・・・・Review
第 7回・・・・Chapter 4
第 8回・・・・Review
第 9回・・・・Chapter 5
第10回・・・・Chapter 6
第11回・・・・Review
第12回・・・・Chapter 7
第13回・・・・Chapter 9
第14回・・・・Review
第15回・・・・Chapter 10
Test week

授業はクラスの様子を見ながら柔軟に進めていく予定ですので、日程は変更の可能性があります。課題の詳細は第１回目のオリエンテーション,また必要と思われた時点で説明します。

【自学自習のためのアドバイス】
事前に教科書を購入し、内容を確認してから授業に臨むこと。
第２～第15回：教員の指示に従い、十分に予習をした上で授業に臨むこと。

その他：授業準備、提出物についての指示に従い、計画的に準備すること。
教科書・参考書等 M. Kawasaki et al. (2019). Real Writing -From structured paragraph to complete essay. NAN'UN-DO ISBN 978-4-523-17886-6
オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041410) Communicative English Ⅳ LJ(10) Communicative English Ⅳ Communicative English Ⅳ	**科目区分** 外国語科目	**時間割** 2022年度 後期水1	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 杉田　貴瑞	**関連授業科目** 主題科目領域Ⅰ　経済・社会・文化 **履修推奨科目** Academic English Ⅰ / II		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（準備学習15時間＋事後学習15時間）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は英語コミュニケーション能力の中で特にライティング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのライティング能力を向上させることを目的とします。

到達目標

1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。
2. 辞書等のツールを用いて適切さと正確さに配慮しながら英文を書くことができる。
3. 英語で 300 語程度のエッセイを書くことができる。

1～3 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

Quiz：20%　In-class effort：30%　Midterm paper：20%　Final paper：30%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
この科目は全回対面授業を行います。基本的にテキストに沿って授業を進めます。英文エッセイを書く事前準備、構成、草稿作り、推敲の順に学び、実際に一つのエッセイを書いてもらいます。

【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2回～第7回：演習活動・エッセイ作成（Unit 1～4）
第8回：Midterm Paper
第9回～第15回：演習活動・エッセイ作成（Unit 5～8）

【授業外学習に関するアドバイス】
第1回：事前に教科書を購入し、内容を確認してから授業に臨むこと。
第2～第15回：教員の指示に従い、十分に予習をした上で授業に臨むこと。
その他：英語で書いたエッセイを8回目と15回目に提出してもらう予定である。8回目のエッセイをさらに発展させて、第15回目のエッセイにつなげる。タイトル等の指示は授業内で行う。計画的に準備しておくこと。

＜準備学習＞
・教科書を進める授業回の前は、該当範囲を音読して、不明な語句などは辞書で調べる。また、指定された範囲の問題を解いておくこと。
・Midterm Paper、Final Paperの提出に際しては、原稿の準備を計画的にすること。

＜事後学習＞
・毎回の授業で示されたWritingのポイントをしっかりと再確認して、逐次進めているMidterm Paper、Final Paperの準備に役立てる。
・事前に準備した際に不明だった語句、ポイントについてはいっそう注意して再確認する。

教科書・参考書等

Writing from Within 1 2nd Edition. (Kelly, C. & Gargadliano, A.)2011. CUP. ISBN 978-0521188272.

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041411) Communicative English Ⅳ LJ(11) Communicative English Ⅳ Communicative English Ⅳ	**科目区分** 外国語科目	**時間割** 2022年度 後期水1	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 中住　幸治	**関連授業科目** 主題科目領域Ⅰ　経済・社会・文化		
	履修推奨科目 Academic English Ⅰ / II		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（準備学習15時間＋事後学習15時間）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は英語コミュニケーション能力の中で特にライティング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのライティング能力を向上させることを目的とします。

到達目標

1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。
2. 辞書等のツールを用いて適切さと正確さに配慮しながら英文を書くことができる。
3. 「英語で 300 語程度のエッセイを書くことができる」、「読解や聴解によって理解した内容を平易な英語で要約することができる」、「英語で毎日 200 語程度のジャーナルを書くことができる」などからクラスごとに設定する。

1～3 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

Quiz：15% In-class effort/homework：25% Essays：60%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業計画】
第1・2週：Unit 1（演習活動・エッセイ作成）
第3・4・5週:Unit 2/3（演習活動・エッセイ作成),
第6・7・8週：Unit 4/5（演習活動・エッセイ作成),
第9・10・11週：Unit 6/7（演習活動・エッセイ作成),
第12・13週：Unit 8（演習活動・エッセイ作成）
第14・15週：Unit 9（演習活動・エッセイ作成),

【授業の方法】基本的にテキストに沿って授業を行います。
brainstorming→organization→drafting→editing→feedback、という流れでエッセイを書いてもらいます。
　この科目は基本的に対面授業で行います。

【授業外学習に関するアドバイス】
授業担当者の指示に従い、十分に予習をした上で授業に臨んで下さい。また課題の提出期限も厳守して下さい。エッセイのタイトル等の指示は授業内で行います。

教科書・参考書等

Kelly, C. & Gargagliano, A. (2011). Writing from Within 1 Second Edition. Cambridge University Press. ISBN: 9780521188272

オフィスアワー　火曜日 12:30~13:30 幸町キャンパス北5号館5階 中住研究室

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。

教員の実務経験との関連

高等学校に勤務経験あり。英語を担当。高等学校での実務経験を基に英語ライティングについて演習を行います。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041412) Communicative English Ⅳ LJ(12) Communicative English Ⅳ Communicative English Ⅳ LJ (12)	**科目区分** 外国語科目	**時間割 2022年度** 後期水1	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 永尾　智	**関連授業科目** 主題科目領域Ⅰ　経済・社会・文化		
	履修推奨科目 Academic English Ⅰ / II		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（準備学習15時間＋事後学習15時間）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は英語コミュニケーション能力の中で特にライティング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのライティング能力を向上させることを目的とします。

到達目標

1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。
2. 辞書等のツールを用いて適切さと正確さに配慮しながら英文を書くことができる。
3. 「英語で 300 語程度のエッセイを書くことができる」（中間試験と期末試験に出題する。）
4. 5 分程度の英語放送を要点を把握しながら聞くことができる。

1～3 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準　Quiz & In-class efforts：40%　Midterm Test：20%　Final Test：40%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】

この授業は基本的に《対面授業》形式で実施します。座席は指定制（初回に指定）です。毎回、初めの10分ほどは【Listening Quiz】（5分程度の英語放送を聞き、内容把握のQ&A）を行います。その後、前時にユニット終了していれば５～10分程度でUnit Quizを行います。授業本編は、授業１～２回で１ユニット進みます。Unit QuizにはWritten Assignmentがありますが、Quizでは扱わず、中間試験と期末試験でこのうち１～３題を解答してもらいます。Written Assignmentの問題はテキスト本文の応用作文（200語～500語程度）です。各本文テキストを書き手の気持ちで捉えながら理解・運用する必要があります。また、そういう気持ちで取り組めば自然とWriting力の養成に挑むことにもなります。テキストには各種Taskがふんだんに配置されています。これらは基礎的な英文を「書くこと」を重視した問いかけになっています。問いかけに対して面倒くさがらずにきちんと書き出して書記力を五感で体得しながら、基本的英語認識力の養成に意識的に取り組むことによって基礎的能力の向上を目指してもらいます。

【授業計画】

第1回：オリエンテーション、
第2回～第7回：Unit 1～Unit 5
第8回：中間試験
第9回～第15回：Unit 6～Unit 10
第16回：期末試験

【授業外学習に関するアドバイス】

・第1回授業には事前に教科書を購入し、内容を確認してから授業に臨むこと。（教科書を買わずに授業に出席してはなりません。コピー等の利用は著作権法違反になるばかりでなく、各自の学習力向上にマイナスとなりますし、何より学習者自身の学習意欲を疑われます。必ず購入してください。）
・第1～第15回：教員の指示に従い、十分に予習をした上で授業に臨むこと。
・上述のように、英語エッセイを中間試験と期末試験で解答してもらいます。各試験の50%の配点となります。核問題(Written Assignment)は本文に倣った英文を書くことを求める問題です。本文を学習する際に、自分が書き手であるという気持ちで取り組むことがAssignmentの準備となり、攻略のカギになります。
・最初の２～３回の授業で学習方法に慣れてもらう必要があるので、これらの回での欠席はよくありません。
・外国語力とは、最後の最後は語彙力です。外国語学習者にふさわしい辞書活用学習を心がけてください。Oxford Advanced Learners Dictionary等に付属のDVDをPCに落として随時活用しましょう。
・NHK語学講座、English Express、英字新聞等、英語学習手段をどれか一つ追加して、英語学習全体時間を広げてみましょう。

教科書・参考書等

【教科書】

『Inside Writing: Student Book INTRO』, by Walton Burns, Oxford UP, 2014, ISBN: 978-0-19-460106-1

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041413) Communicative English Ⅳ ED(1) Communicative English Ⅳ Communicative English IV	**科目区分** 外国語科目	**時間割** 2022年度 後期金5	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 ウィリー・イアン・デビッド, ジョナサン ベリー	**関連授業科目** 主題科目領域Ⅰ 経済・社会・文化		
	履修推奨科目 Academic English I/II		

学習時間 15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, homework) (approximately 90 min. per week)

授業の概要

One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills. This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).

授業の目的

This course focuses on the development of students' written communication skills. The primary objective is for students to improve their English writing skills by the end of the 15-week semester.

到達目標

By the end of the semester, students should become enabled to:
1. Actively engage in English communication.
2. Use dictionaries and other resources to produce accurate and comprehensible English sentences.
3. Summarize reading or listening passages in simple English; Write approximately [number]-word journal entries each week.

The above criteria are in line with General Education standards at Kagawa University.
(To develop basic problem-solving skills) (To broaden one's knowledge of the humanities, society, and the environment)

成績評価の方法と基準

Students will be evaluated on the following:
Participation: 10%
Mid-term test: 20%
Final test: 30%
Assignments: 40%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

[Course Method]
Classwork will center on activities in the textbook, and various writing tasks will be introduced as the semester progresses. English will be the primary medium of communication in class.

[Course Schedule]
Week1: Orientation. Explanation of the course, student introductions, and basics of writing. Students should purchase their textbook before the first class and look over the content
Week 2: Learn and practice how to write about business and customer relations.
Week 3: Learn and practice how to write about business and customer relations.
Week 4: Learn and practice how to write about products and the market.
Week 5: Learn and practice how to write about products and the market.
Week 6: Learn and practice how to write about the natural world.
Week 7: Learn and practice how to write about societal changes/technology.
Week 8: Mid-term test
Week 9: Learn and practice how to write about societal changes/technology.
Week 10: Learn and practice how to write about energy use.
Week 11: Learn and practice how to write about energy use.
Week 12: Learn and practice how to write about influential people.
Week 13: Learn and practice how to write about news topics.
Week 14: Further applications of writing.
Week 15: Review of writing techniques covered in the course.
Week 16: Final test

[Self-study]
Students will keep a notebook for the course. They will use this to write a weekly journal and add vocabulary/phrases essential for improving their writing.

この科目は全回対面授業を行います。なお状況によっては全て、または一部の授業回の授業形態を遠隔へ変

更する可能性があります。
教科書・参考書等 TRIO Writing Level 3 with Online Practice (Alice Savage & Colin Ward) Oxford University Press
オフィスアワー　Students should consult the instructor to arrange meetings.
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041414) Communicative English Ⅳ ED(2) Communicative English Ⅳ Communicative English Ⅳ	**科目区分** 外国語科目	**時間割 2022年度** 後期金5	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 ウィリー・イアン・デビッド，アダム・ブロッド	**関連授業科目** 主題科目領域Ⅰ 経済・社会・文化		
	履修推奨科目 Academic English Ⅰ/Ⅱ		

学習時間 15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, homework) (approximately 90 min. per week)

授業の概要

One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills. This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).

授業の目的

This course focuses on the development of students' written communication skills. The primary objective is for students to improve their English writing skills by the end of the 15-week semester.

到達目標

By the end of the semester, students should become enabled to:
1. Actively engage in English communication.
2. Use dictionaries and other resources to produce accurate and comprehensible English sentences.
3. Write English essays of approximately 300 words; Summarize reading or listening passages in simple English; Write approximately 100-word journal entries each week.

The above criteria are in line with General Education standards at Kagawa University.
(To develop basic problem-solving skills) (To broaden one's knowledge of the humanities, society, and the environment)

成績評価の方法と基準

Students will be evaluated on the following:
Writing: 40%　In-class effort: 20%　Mid-term in class essay: 20%　Final portfolio: 20%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

[Course Method]
Class work will center on activities in the textbook, and various writing tasks will be introduced as the semester unfolds. English will be the primary medium of communication in class.

[Course Schedule]
Week1: Students should purchase their textbook before the first class and look over the content.
Week 2: Unit 1 YOUR CLASS PROFILE
Week 3: Unit 3 YOUR CLASS PROFILE
Week 4: Unit 4 EXPLAIN HOW TO WRITE REPORTS IN COLLEGE
Week 5: Unit 4 EXPLAIN HOW TO WRITE REPORTS IN COLLEGE
Week 6: YOUR (BEST, LONGEST, WORST, ECT) DAY EVER
Week 7: YOUR (BEST, LONGEST, WORST, ECT) DAY EVER
Week 8: Mid term
Week 9: Unit 2 YOUR IDEAS OF THE PERFECT FAMILY
Week 10: Unit 6 YOUR IDEAS OF THE PERFECT FAMILY
Week 11: Unit 7 THE MOST BEAUTIFUL PLACE ON EARTH
Week 12: Unit 7 THE MOST BEAUTIFUL PLACE ON EARTH
Week 13: Unit 8 YOUR IDEAS ON TRADITIONAL JAPANESE CULTURE
Week 14: Unit 9 YOUR IDEAS ON TRADITIONAL JAPANESE CULTURE
Week 15: Work on Final Portfolio
Week 16: Final portfolio due

Introductions: Students should be prepared to introduce themselves in English.
Week 1: Students should buy the textbook before the first class and look over the content.
Week 2-7: Students should complete writing assignments, and prepare for the midterm writing test.
Week 8: In class writing midterm.
Week 9-15: Students should complete writing assignments, and revise write for the final portfolio.
Week: 16 Complete final portfolio.

[Suggestions for self-study]
Week 1: Students should buy the textbook before the first class and look over the content.
Week 2-10: Students should complete assigned homework and be prepared to discuss their writing in class.
Week 11-13: Students should edit their writing the for final portfolio.
Week 14-15: Students should complete final portfolio.

教科書・参考書等

Ready to Write 1, Blanchard, Karen and Christine Root. Pearson. 9780134400655

オフィスアワー　Students should consult the instructor to arrange meetings.

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041415) Communicative English Ⅳ ED(3) Communicative English Ⅳ Communicative English Ⅳ	**科目区分** 外国語科目	**時間割 2022年度** 後期金5	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 ウィリー・イアン・デビッド, ヒル スティーブ	**関連授業科目** 主題科目領域Ⅰ 経済・社会・文化		
	履修推奨科目 Academic English Ⅰ/Ⅱ		

学習時間 15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, homework) (approximately 90 min. per week)

授業の概要

One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills. This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).

授業の目的

This course focuses on the development of students' written communication skills. The primary objective is for students to improve their English writing skills by the end of the 15-week semester.

到達目標

By the end of the semester, students should become enabled to:
1. Actively engage in English communication.
2. Use dictionaries and other resources to produce accurate and comprehensible English sentences.
3. [Depending on ability level of students: Instructor should select appropriate goal/goals] Write English essays of approximately [number] words; Summarize reading or listening passages in simple English; Write approximately [number]-word journal entries each week.

The above criteria are in line with General Education standards at Kagawa University.
(To develop basic problem-solving skills) (To broaden one's knowledge of the humanities, society, and the environment)

成績評価の方法と基準

Students will be evaluated on the following:
In-class effort: 30% Homework writing tasks: 40% Final Test: 30%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

[Course Method]
Class work will center on activities in the textbook, and various writing tasks will be introduced as the semester unfolds. English will be the primary medium of communication in class.

[Course Schedule]
Week 1: Students should purchase their textbook before the first class and look over the content + Tackle unit 1 of the textbook and complete the writing task for homework.
Week 2: Tackle unit 2 of the textbook and complete the writing task for homework.
Week 3: Tackle unit 3 of the textbook and complete the writing task for homework.
Week 4: Group work activity based on one of the themes from units 1-3.
Week 5: Tackle unit 4 of the textbook and complete the writing task for homework.
Week 6: Tackle unit 5 of the textbook and complete the writing task for homework.
Week 7: Tackle unit 6 of the textbook and complete the writing task for homework.
Week 8: Group work activity based on one of the themes from units 4-6.
Week 9: Tackle unit 7 of the textbook and complete the writing task for homework.
Week 10:Tackle unit 8 of the textbook and complete the writing task for homework.
Week 11:Tackle unit 9 of the textbook and complete the writing task for homework.
Week 12:Group work activity based on one of the themes from units 7-9.
Week 13: Tackle unit 10 of the textbook and complete the writing task for homework.
Week 14: Tackle unit 12 of the textbook and complete the writing task for homework.
Week 15: How to write an anecdote

[Suggestions for self-study]
Students should read as many authentic materials as possible which are related to the themes of the textbooks, e.g. book and movie reviews, internet blogs, etc.

教科書・参考書等

Writing from Within 2 2nd Edition (Kelly, C. & Gargadliano, A.) ISBN: 978-0-521-18834-0

オフィスアワー Students should consult the instructor to arrange meetings.

履修上の注意・担当教員からのメッセージ
事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041416) Communicative English Ⅳ ED(4) Communicative English Ⅳ Communicative English Ⅳ	**科目区分** 外国語科目	**時間割** 2022年度 後期金5	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 ビラ　ダビッド	**関連授業科目** 主題科目領域Ⅰ　経済・社会・文化		
	履修推奨科目 Academic English Ⅰ/Ⅱ		

学習時間　15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, homework) (approximately 90 min. per week)

授業の概要

One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills. This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).

授業の目的

This course focuses on the development of students' written communication skills. The primary objective is for students to improve their English writing skills by the end of the 15-week semester.

到達目標

By the end of the semester, students should become enabled to:
1. Actively engage in English communication.
2. Use dictionaries and other resources to produce accurate and comprehensible English sentences.
3. Write short English essays of approximately 300 words; Summarize reading or listening passages in simple English.

The above criteria are in line with General Education standards at Kagawa University.
(To develop basic problem-solving skills) (To broaden one's knowledge of the humanities, society, and the environment)

成績評価の方法と基準

Students will be evaluated on the following criteria:
- Participation and in-class effort: 30%
- Written Assignments and homework: 70%
(A score of 0% in any of those categories will result in automatically failing the class.)

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

[Course Method]
Class work will center on activities in the textbook, and various writing tasks will be introduced as the semester unfolds. English will be the primary medium of communication in class.

[Course Schedule]

Week 1: Introduction of the class. Students should purchase their textbook before the first class and look over the content.
Week 2-15: Tentatively, about one unit of the textbook will be covered each week. Please note that some units in the textbook (usually the "fluency" units) may take less than a week to complete. Some other units (the "accuracy" units) may take more time and may be covered over two weeks.
Written assignments will be done weekly in class and as homework.

[Suggestions for self-study]
Week 1: Students should buy the textbook before the first class and look over the content.
Week 2-15: Students should complete assigned homework and writing assignments.

Important notice: Due to the Covid19 situation, classes may be held face-to-face or online (with Zoom and Moodle) depending on the evolution of the pandemic.

教科書・参考書等

Writing for Fluency and Accuracy. Boon, Andy. Cengage. 978-4-86312-306-9

オフィスアワー　Students should consult the instructor to arrange meetings.

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041417) Communicative English Ⅳ ED(5) Communicative English Ⅳ Communicative English Ⅳ	**科目区分** 外国語科目	**時間割** 2022年度 後期金5	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 パーキンス　ガレス　エドワード	**関連授業科目** 主題科目領域Ⅰ　経済・社会・文化		
	履修推奨科目 Academic English Ⅰ/Ⅱ		

学習時間 15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, homework) (approximately 90 min. per week)

授業の概要

One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills. This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).

授業の目的

This course focuses on the development of students' written communication skills. The primary objective is for students to improve their English writing skills by the end of the 15-week semester.

到達目標

By the end of the semester, students should become enabled to:
1. Actively engage in English communication.
2. Use dictionaries and other resources to produce accurate and comprehensible English sentences.
3. Students will develop a much stronger understanding of grammar and writing techniques. They will be better able to express themselves in written English, as well as develop skills useful for work and travel.

The above criteria are in line with General Education standards at Kagawa University.
(To develop basic problem-solving skills) (To broaden one's knowledge of the humanities, society, and the environment)

成績評価の方法と基準

Students will be graded as follows:
Midterm report: 20%
Final report: 30%
Homework: 20%
In Class Effort: 30%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

(Course method)
Though the text book will be used in most lessons, the students will be doing a lot of writing based on prompts and activities. There will be a strong focus on explaining, and getting students comfortable with, different types of grammar. One of the main goals of the class to have the students engage with English on a personal level to express themselves.

Week 1: Introduction to course and text.
week 2: Writing about self.
week 3: Reviews and critical analysis.
Week 4: Narrative in writing/relative pronouns.
week 5: Complaining in English.
week 6: Midterm presentation workshop.
week 7: Hand in midterm presentations. Writing invitations.
Week 8: Formality and manners in writing.
week 9: Abbreviations and appropriate use.
week 10: Travel writing.
Week 11: Explaining a process (cooking, making something.)
week 12: Historical writing (passive grammar.)
Week 13: Writing about a place (passive grammar continued.)
week 14: Final report workshop.
week 15: Hand in final reports. Review language learned over the semester.

(Self study)
Take notes in every class. Use the language you learned in class to complete your homework. Read articles on breakingnewsenglish.com and/or any online newspaper that interests you. reading is very important if your aim is to improve at writing. 90 minutes of homework will be set each

week. The tasks will be set to prepare for the following lesson and to review the previous lesson. Tasks will include keeping a journal, writing mini presentations and writing reports on topics of interest.

Classes will be held face-to-face, on campus. We may need to switch to online lessons if the situation with COVID worsens.

教科書・参考書等

Inside Writing 1: The Academic Word List in Context
Arline Burgmeier / Rachel Lange
Oxford University Press
ISBN: 978-0194601160

オフィスアワー　Students should consult the instructor to arrange meetings.

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

Please purchase the textbook in advance, check the contents (preamble part of the textbook and the first chapter), and then attend the first class.

ナンバリングコード B2ENG-axxG-1N-Lg1 授業科目名 (時間割コード：041418) Communicative English Ⅳ ED(6) Communicative English Ⅳ Extensive Reading	科目区分 外国語科目	時間割 2022年度 後期金5	対象年次 2～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教ｾﾝﾀｰ ＤＰコード：axx	対象学生 全学生 特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応 ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 講義 グループワーク	単位数 1	
担当教員名 マクラハン・ジェラディーン	関連授業科目 主題科目 領域Ⅰ 経済・社会・文化 履修推奨科目 Academic English Ⅰ/Ⅱ		

学習時間 Class meetings and preparation time per week 15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, etc.) Students should spend at least 2 hours per week on out-of-class preparation. Writing skills practice will mainly be assigned as homework.

授業の概要

This course aims to improve students' reading skills. There will be a focus on developing various reading strategies and encouraging students to enjoy reading in English. This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their general education English classes (Communicative English I-III).

授業の目的

授業の目的 General Objectives
The aim of this course is to develop the students' reading fluency and positive attitudes to reading. Students will read a range of graded readers at a level suitable with the purpose of increasing their fluency in the areas of vocabulary recognition and reading comprehension skills. This course will equip students with effective reading strategies which will make reading a positive and encouraging experience. Students will also develop their written skills by summarizing and paraphrasing what they have read.

到達目標

On completion of this course, students should be able to:
1. read with greater fluency and confidence
2. share information from books with others, e.g. summarise and paraphrase stories (orally and written)
3. write and talk about personal reactions to and opinions about books
4. complete quizzes to demonstrate comprehension
5. write well-developed paragraphs

The above criteria are in line with General Education standards at Kagawa University.
(To develop basic problem-solving skills) (To broaden one's knowledge of the humanities, society, and the environment

成績評価の方法と基準

Students will be evaluated on:
Class participation: 20%
Written assignments: 40%
Word Count: 40%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

[Course Method]
Classwork will center on activities designed to develop students' reading skills. In this course, students will select graded readers that appeal to them and spend time doing sustained silent reading (SSR). Students will complete short quizzes online to get word count credit. Students will practice reading exercises e.g. Timed Repeated Reading (TRR) to increase reading skills and fluency. Students will also engage in pair and group work where they will share their reflections on what they have read, and what they have learned for each book. By the end of the course, students will have read a minimum of 120,000 words, written summaries, and engaged in other written activities. As a rule, Japanese will not be allowed in class. This class will be mainly taught face-to-face (in a regular classroom) however, depending on the situation with the current pandemic, this may be changed to online.

[Course Schedule]
Week 1: Students will need to bring a computer/tablet or smartphone to class to take a reading placement test. They will log into their XReading account and choose their first book. Reading assignment 1 - 8,000 words
Week 2: SSR; Introduction to TRR; completion of first quiz; Reading assignment 2 - 8,000 words
Week 3: SSR; TRR; Discussion #1; Reading assignment 3 - 8,000 words
Week 4: SSR; TRR; Reading assignment 4 - 8,000 words; Introduction to paraphrasing

Week 5: SSR; TRR; Discussion #2; Reading assignment 5 - 8,000 words
Week 6: SSR; TRR; Reading assignment 6 - 8,000 words
Week 7: Mid-tern review: Discussion #3; Reading assignment 7 - 8,000 words
Week 8: Mid-term book report due. Students will make a presentation describing their favourite book to date; Reading assignment 8 - 8,000 words
Week 9: SSR; TRR; Summarizing 2; Discussion #4; Reading assignment 9 - 8,000 words
Week 10: SSR; TRR; Personal reflections and making recommendations 1; Reading assignment 10 - 8,000 words
Week 11: SSR; TRR; Personal reflections and making recommendations 2; Discussion #5 Reading assignment 11 - 8,000 words
Week 12: SSR; TRR; Writing an alternative ending; Reading assignment 12 - 8,000 words
Week 13: SSR; TRR: Discussion #6; Reading assignment 13 - 8,000 words
Week 14: Book portfolio due; Final presentation workshop; Reading assignment 14 - 8,000 words
Week 15 -16: Final book report presentations: Reading assignment 15 - 8,000 words

Weeks 1-13:
1. Students are expected to engage in extensive reading using Xreading. Students should read about 8,000 words per week. By the end of the course, students must have read a minimum of 120,000 words.
2. Students must be prepared to discuss what they have read with their partner/group.
3. Students should complete assigned homework.
Weeks 15-16: Students should prepare to deliver final presentations and complete their final reading assignments.

教科書・参考書等

You will be able to buy access cards/codes from the bookshop. More information will be posted on Moodle about this. Online graded readers: https://xreading.com/login/index.php

オフィスアワー Wednesday: 09:00-10:00 (Saiwai-cho campus only) or contact the instructor to make an appointment.

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

Students must bring a computer, tablet or smartphone to class to take a reading placement test and to log into the XReading account.

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041419) Communicative English Ⅳ ED(7) Communicative English Ⅳ Communicative English Ⅳ	**科目区分** 外国語科目	**時間割 2022年度** 後期金5	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 ウィリー・イアン・デビッド，篠原　範子	**関連授業科目** 主題科目領域Ⅰ　経済・社会・文化		
	履修推奨科目 Academic English Ⅰ / II		

学習時間　授業90分×15回＋授業外学習（予習・復習・課題）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は英語コミュニケーション能力の中で特にライティング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのライティング能力を向上させることを目的とします。

到達目標

1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。
2. 辞書等のツールを用いて適切さと正確さに配慮しながら英文を書くことができる。
3. 英語で毎日 200 語程度のジャーナルを書くことができる。

1～3 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

- Attendance and in-class effort: 30%
- Journals: 30%
- Written Assignments: 40%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
テキストに従って行います。

【授業計画】
第1回：オリエンテーション。事前に教科書を購入し、内容を確認してから授業に臨むこと。
第2回：テキスト Unit 1
第3回：テキスト Unit 2
第4回：テキスト Unit 3
第5回：テキスト Unit 4
第6回：テキスト Unit 5
第7回：テキスト Unit 6
第8回：予備日
第9回：テキスト Unit 7
第10回：テキスト Unit 8
第11回：テキスト Unit 9
第12回：テキスト Unit 10
第13回：テキスト Unit 11
第14回：テキスト Unit 12
第15回：予備日

＊上記の予定は状況に応じて変更する場合があります。詳細については、第1回目に説明します。
この科目は全回対面授業を行います。なお状況によっては全てまたは一部の授業回の授業形態を遠隔へ変更する可能性があります。

【授業外学習に関するアドバイス】
授業中に使用するノートを一冊用意してください（ルーズリーフ不可）。

教科書・参考書等

Writing from Within 2, 2nd Edition. (Kelly, C. & Gargagliano, A.)2011. CUP.
ISBN: 978-0-521-18834-0

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041420) Communicative English Ⅳ ED(8) Communicative English Ⅳ Communicative English Ⅳ	**科目区分** 外国語科目	**時間割 2022年度** 後期金5	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 ウィリー・イアン・デビッド，森川　光与	**関連授業科目** 主題科目領域Ⅰ　経済・社会・文化		
	履修推奨科目 Academic English Ⅰ / II		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（準備学習15時間＋事後学習15時間）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は英語コミュニケーション能力の中で特にライティング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのライティング能力を向上させることを目的とします。

到達目標

1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。
2. 辞書等のツールを用いて適切さと正確さに配慮しながら英文を書くことができる。
3. 読解や聴解によって理解した内容を自分の言葉で要約することができる。
4. 限られた時間の中で、英語で200語程度の文章を辞書を使わずに書くことができる

1~4は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応しています。

成績評価の方法と基準

Homework：30%　In-class effort/attendance：25％　Writing assignments 20%　Final Paper / Presentation：25%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】社会人として求められる英語のライティング力を磨くため、様々なシチュエーションのライティングを練習します。

この科目は全回対面授業を行います。なお状況によっては全てまたは一部の授業回の授業形態を遠隔へ変更する可能性があります。

【授業計画】
様々なライティングスタイルを学び、クラスメートと互いに切磋琢磨しながらさらに良い自分だけのライティングスタイルを確立していきます。
第1回：オリエンテーション
第2回：Unit 1 Write about yourself. 自分について自由に書く
第3回：Unit 1 前週に書いたものをピアレビュー
第4回：Unit 3 Write about an ideal partner ポイントの列挙。理由の書き方を学ぶ
第5回：Unit 3 前週に書いたものをピアレビュー
第6回：Unit 4 My favorite photo バックグランド情報を書く。結論の書き方を学ぶ
第7回：Unit 4 前週に書いたものをピアレビュー
第8回：ここまでのレビュー
第9回：Unit 7 Thank you noteの書き方を実践で学ぶ
第10回：Unit 9 Friendship サポートセンテンスの書き方を学ぶ
第11回：Unit 9 前週に書いたものをピアレビュー
第12回：Unit 10 Superhero 例文の追加の仕方を学ぶ
第13回：Unit 10 前週に書いたものをピアレビュー
第14回：Unit 12 Lessons learned 説明の仕方を学ぶ
第15回：ここまでのレビューと期末に向けての準備

期末も含めて3回のライティング課題があります。詳細および日程はクラスでお伝えします。
期末試験期間：ライティング課題のうちの最終回3回目を実施。

教員の指示に従い、十分に予習をした上で授業に臨むこと。
その他：英語で書いたエッセイを数回提出してもらう予定です。タイトル等の指示は授業内で行います。
【授業外学習に関するアドバイス】
毎日20分は英語に触れるのを目標として、授業外学習に取り組んでください。ライティングの基礎力にはリーディングが不可欠です。英語の読み物に触れることを意識しましょう。また日々英語に触れるためのヒントを授業内でご紹介します。

教科書・参考書等
Writing from Within LEVEL 1 2nd Edition. (Kelly, C & Gargadliano, A) 2011. CUP. ISBN 978-0-521188272.
オフィスアワー　　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。
履修上の注意・担当教員からのメッセージ
事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041421) Communicative English Ⅳ ED(9) Communicative English Ⅳ Communicative English Ⅳ	**科目区分** 外国語科目	**時間割 2022年度** 後期金5	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 ウィリー・イアン・デビッド, ジュリアン・セイント	**関連授業科目** 主題科目領域Ⅰ 経済・社会・文化		
	履修推奨科目 Academic English Ⅰ / II		

学習時間 Class meetings and preparation time per week: 15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, homework) (approximately 90 min. per week)

授業の概要

One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills. This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).

授業の目的

This course focuses on the development of students' written communication skills. The primary objective is for students to improve their English writing skills by the end of the 15-week semester.

到達目標

By the end of the semester, students should become enabled to:
1. Actively engage in English communication.
2. Use dictionaries and other resources to produce accurate and comprehensible English sentences.
3. Write English essays of 150-200 words; Summarize reading or listening passages in simple English; Write 100-150-word journal entries each week.

The above criteria are in line with General Education standards at Kagawa University.
(To develop basic problem-solving skills) (To broaden one's knowledge of the humanities, society, and the environment)

成績評価の方法と基準

Students will be evaluated on the following:
Quizzes: 20% In-class effort: 15% Homework: 15%
Mid-term Writing Assignment: 20% Final Writing Assignment: 30%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

Course Method]
Class work will center on activities in the textbook, and various writing tasks will be introduced during the semester. English will be the main language for communication in class.

[Course Schedule]
Week1: Introductions, Writing Assessment Check
Weeks 2 - 7: Textbook Classwork, Paragraph Writing Practice, Essay Writing Practice
Week8: Midterm Writing Assignment due
Weeks 9 - 14: Textbook Classwork, Writing Cohesion Practice (Paragraph Flow), Essay Development Practice
Week15: Final Writing Assignment Due

[Suggestions for self-study]
Week 1: Students should buy the textbook before the first class and look over the content.
Weeks 2 - 15: Students should complete assigned homework and writing assignments.

* Essays will be collected during weeks 8 and 15. Topics and directions will be provided in class.

教科書・参考書等

Title: Writing for Fluency and Accuracy: Student Book (Andy Boon)
Publisher: センゲージ・ラーニング (January 1, 2017)
ISBN-13: 978-4863123069

オフィスアワー Students should consult the instructor to arrange meetings.

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041422) Communicative English Ⅳ ED(10) Communicative English Ⅳ Communicative English Ⅳ	**科目区分** 外国語科目	**時間割** 2022年度 後期金5	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 ウィリー・イアン・デビッド，瀬良　和彦	**関連授業科目** 主題科目領域Ⅰ　経済・社会・文化		
	履修推奨科目 Academic English Ⅰ / II		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（準備学習15時間＋事後学習15時間）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は英語コミュニケーション能力の中で特にライティング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのライティング能力を向上させることを目的とします。

到達目標

1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。
2. 辞書等のツールを用いて適切さと正確さに配慮しながら英文を書くことができる。
3. モデルとして提示されたセンテンスの意味と文構造を理解することができる。

1～3 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

授業への参加度［提出率・課題内容など］（４回未提出は単位不認定）、小テスト、期末試験の結果などに基づいて、総合的に評価をする。平常点（提出率、課題内容、小テストほか）６０％、期末テスト４０％（未受験の場合は単位を認定しない）。ただし、授業の進度などにより、若干の変動がある。尚、成績不振による救済措置等は行わない。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
　この科目は基本的に遠隔授業を行います。なお状況によっては一部の授業回の授業形態を対面へ変更する可能性があります。

【授業計画】
　第１回：オリエンテーション
　第２回～第１５回：演習活動、小テスト（適宜）
　第１６回：期末テスト

【自学自習に関するアドバイス】
　事前に教科書を購入し、内容を確認してから授業に臨むこと。
　教員の指示に従い、十分に予習をした上で授業に臨むこと。
　適宜小テストを行うので、復習しておくこと。
　小テストの範囲は、前週までの章からです。
　小テストを行う際には前週に通知します。

教科書・参考書等

長坂昇 他.(2013).『Keystone -Grammar-based English Writing-　基本英文から現代英語表現へ』成美堂.ISBN:9784791912926

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041423) Communicative English Ⅳ ED(11) Communicative English Ⅳ Communicative English Ⅳ	**科目区分** 外国語科目	**時間割** 2022年度 後期金5	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 辻　梨花	**関連授業科目** 主題科目領域Ⅰ　経済・社会・文化		
	履修推奨科目 Academic English Ⅰ / II		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（準備学習15時間＋事後学習15時間）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は英語コミュニケーション能力の中で特にライティング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのライティング能力を向上させることを目的とします。

到達目標

1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。
2. 辞書等のツールを用いて適切さと正確さに配慮しながら英文を書くことができる。
3. 英語を使ってフォーマルなメールや 200 字程度の文章を書くことができる。

1～3 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

Assignments ： 50 %　Class Participation：50%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
本授業では、指定の教科書に沿って授業を進める。Emailやshort essaysなど様々な場面で必要になるライティングの練習をする。授業内での練習に加え、演習課題も出す。
【授業計画】
第１回：オリエンテーション
第2～第15回：Unit 1-12 ＆ Reviews

【授業外学習に関するアドバイス】
第1回：事前に教科書を購入し、内容を確認してから授業に臨むこと。
授業で習った内容をもとに演習課題を出すので、授業中でわからないことがあれば積極的に聞いてください。

教科書・参考書等

Effective Writing for Global Communication (Aksumichi, Davis, Takita) Eihosha ISBN: 9784269320123

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex1 授業科目名　（時間割コード：041442） Communicative English Ⅳ ED(12) Communicative English Ⅳ Communicative English Ⅳ	科目区分 外国語科目	時間割 2022年度 後期金5	対象年次 2～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教ｾﾝﾀｰ ＤＰコード：abx	対象学生 全学生 特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応 ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態　演習	単位数　1	
担当教員名 水野　康一	関連授業科目　主題科目領域Ⅰ　経済・社会・文化 履修推奨科目　Academic English　Ⅰ / II		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（準備学習15時間＋事後学習15時間）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は英語コミュニケーション能力の中で特にライティング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのライティング能力を向上させることを目的とします。

到達目標

1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。
2. 辞書等のツールを用いて適切さと正確さに配慮しながら英文を書くことができる。
3. 「英語で 300 語程度のエッセイを書くことができる」、「読解や聴解によって理解した内容を平易な英語で要約することができる」、「英語で毎日 200 語程度のジャーナルを書くことができる」などからクラスごとに設定する。

1～3 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

授業内評価，中間，期末試験のほか，学期中2回の作文課題により評価します。
In-class effort：30%　Assignment：20%　Midterm paper：20%　Final paper：20%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
教科書を用いて，ビジネス通信文（e-Mail）の書き方を学習します。合わせて英作文に必要な基本的文法の復習をします。

【授業計画】
第1回：オリエンテーション
第2回：Unit 1 Introducing yourself
第3回：Unit 2 Arranging meetings
第4回：Unit 3 Discussing travel plans
第5回：Unit 4 Recommending
第6回：Unit 5 Inviting
第7回：Review１・作文課題１
第8回：中間テスト
第9回：Unit 6 Making inquiries
第10回：Unit 7 Placing orders
第12回：Unit 8 Responding to orders
第13回：Unit 9 Making payment
第14回：Unit 10 Complaints
第15回：Review２・作文課題２

【授業外学習に関するアドバイス】
第1回：事前に教科書を購入し、内容を確認してから授業に臨むこと。
第1～第15回：教員の指示に従い、十分に予習をした上で授業に臨むこと。
その他：英語で書いたエッセイを8回目と15回目に提出してもらう予定である。タイトル等の指示は授業内で行う。計画的に準備しておくこと。

教科書・参考書等

Writing for the Real World 2.(R. Barnard & A. Meehan) OUP. ISBN 978-0194538176

オフィスアワー　月曜４時限（幸町南２号館３階　水野研究室）

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041424) Communicative English Ⅳ T(1) Communicative English Ⅳ Communicative English Ⅳ	**科目区分** 外国語科目	**時間割** 2022年度 後期金4	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 ウィリー・イアン・デビッド, アーノルド・デビット	**関連授業科目** 主題科目領域Ⅰ 経済・社会・文化		
	履修推奨科目 Academic English Ⅰ/Ⅱ		

学習時間 Class meetings and preparation time per week: 15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, homework) (approximately 90 min. per week)

授業の概要

Course Outline
One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills. This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).

授業の目的

Course Objectives
This course focuses on the development of students' written communication skills. The primary objective is for students to improve their English writing skills by the end of the 15-week semester.

到達目標

By the end of the semester, students should become enabled to:
1. Actively engage in English communication.
2. Use dictionaries and other resources to produce accurate and comprehensible English sentences.
3. Fill in official forms in English.

The above criteria are in line with General Education standards at Kagawa University.
(To develop basic problem-solving skills) (To broaden one's knowledge of the humanities, society, and the environment)

成績評価の方法と基準

Course Evaluation
Students will be evaluated on the following:
Completion of bi-weekly homework assignments 60%
Participation 40%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

この科目は全回対面授業を行います。

【Course Methodology】
Class work will center on activities in the textbook and various writing tasks will be introduced as the semester unfolds. Writing will be done online. Students will gain experience typing in English. As a rule Japanese will not be allowed in class.

【Class schedule】
Week 1: Introduction to the course and textbook work
Week 2 - Week 15: Textbook work

Suggestions for self-study
Week 1: Students should purchase their textbooks before the first class and look over the content.

教科書・参考書等

教科書：Writing from Within 1 by Curtis Kelly & Arlen Gargagliono. CUP. 2011. ISBN: 978-0-521-188272

オフィスアワー Office Hours: Students should contact the instructor at the email address below.

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041425) Communicative English Ⅳ T(2) Communicative English Ⅳ Communicative English Ⅳ	**科目区分** 外国語科目	**時間割** 2022年度 後期金4	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 ウィリー・イアン・デビッド, ガルシア フェルナンデス マリア グデリア	**関連授業科目** 主題科目領域Ⅰ 経済・社会・文化		
	履修推奨科目 Academic English Ⅰ/Ⅱ		

学習時間 15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, homework) (approximately 90 min. per week)

授業の概要

One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills. This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).

授業の目的

This course focuses on the development of students' written communication skills. The primary objective is for students to improve their English writing skills by the end of the 15-week semester.

到達目標

By the end of the semester, students should become enabled to:
1. Actively engage in English communication.
2. Use dictionaries and other resources to produce accurate and comprehensible English sentences.
3. Write English essays of approximately 300 words; Summarize reading or listening passages in simple English; Write approximately 200-word journal entries each week.

The above criteria are in line with General Education standards at Kagawa University.
(To develop basic problem-solving skills) (To broaden one's knowledge of the humanities, society, and the environment)

成績評価の方法と基準

Students will be evaluated on the following:
Assignments/journal: 30%
In-class effort: 20%
Mid-term exam: 20%
Final exam: 30%
(If you get a mark of 0% in any of those categories, you will fail the subject)

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

[Course Method]
Classwork will center on activities in the textbook, and various writing tasks will be introduced as the semester unfolds. English will be the primary medium of communication in class.

[Course Schedule]
Students should buy the textbook and notebook (A4) before the first class and look over the content.
- -Week 1. Orientation - Unit 1. Narrative Paragraphs: Introductions
- -Week 2. Unit 2. Narrative Paragraphs: Memories
- -Week 3. Unit 3. Descriptive Paragraphs: Friends
- -Week 4. Unit 4. Descriptive Paragraphs: Places
- -Week 5. Unit 5. Compare and Contrast Paragraphs: Pets
- -Week 6. Unit 6. Compare and Contrast Paragraphs: Schools
- -Week 7. Unit 7. Cause and Effect Paragraphs: Habits
- -Week 8. Mid-term exam
- -Week 9. Unit 8. Cause and Effect Paragraphs: Relationships
- -Week 10. Unit 9. Summary Paragraphs: Routines
- -Week 11. Unit 10. Summary Paragraphs: Jobs
- -Week 12. Unit 11. Opinion Paragraphs: Issues
- -Week 13. Unit 12. Opinion Paragraphs: Smartphones
- -Week 14. Unit 13. Review Tasks for Units 7-12.
- -Week 15. Final exam

[Suggestions for self-study]
Week 1: Students should buy the textbook before the first class and look over the content.
Week 2-15: Students should complete assigned homework and writing assignments.

教科書・参考書等
BOOM, Andy. 2017. Writing for Fluency and Accuracy. Student Book. Cengage Learning. ISBN: 978-4-86312-306-9. * You will need a notebook A4 for the writing activities.
オフィスアワー　Students should consult the instructor to arrange meetings.
履修上の注意・担当教員からのメッセージ
事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041426) Communicative English Ⅳ T(3) Communicative English Ⅳ Communicative English Ⅳ	**科目区分** 外国語科目	**時間割** 2022年度 後期金4	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 ウィリー・イアン・デビッド, ブロックスホーム・ジェームズ・ダグラス	**関連授業科目** 主題科目領域Ⅰ 経済・社会・文化		
	履修推奨科目 Academic English Ⅰ/Ⅱ		

学習時間 Face to face classes (subject to change).
Class time per week: 15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, homework) (approximately 90 min. per week)

授業の概要

One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills. This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).

授業の目的

This course focuses on the development of students' written communication skills. The primary objective is for students to improve their English writing skills by the end of the 15-week semester.

到達目標

By the end of the semester, students should become enabled to:
1. Actively engage in English written communication.
2. Use dictionaries and other resources to produce accurate and comprehensible English sentences.
3. Write English compositions/essays about a wide range of topics

The above criteria are in line with General Education standards at Kagawa University.
(To develop basic problem-solving skills) (To broaden one's knowledge of the humanities, society, and the environment)

成績評価の方法と基準

Students will be evaluated on the following:
Homework assignments/class effort:50% / Mid-term exam/assignment: 20% / Final exam/assignment: 30%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

Course Method:
Classwork will center on activities in the textbook and other supplementary materials using a flipped classroom method. Students must complete textbook activities as homework before class and then bring material to class to practice and make improvements with peers and your teacher during class time. Students will be given many opportunities to practice important communication skills as the semester unfolds. English will be the primary medium of communication in class.
Students should buy the textbook before the first class and pre-read the content before week 1.

Course schedule:
Week 1: Introduction to the course. Begin the course content.
Week 2: Unit 1- Writing practice utilizing the textbook and supplementary materials.
Week 3: Unit 2- Writing practice utilizing the textbook and supplementary materials.
Week 4: Unit 3- Writing practice utilizing the textbook and supplementary materials.
Week 5: Unit 4- Writing practice utilizing the textbook and supplementary materials.
Week 6: Unit 5- Writing practice utilizing the textbook and supplementary materials.
Week: 7: Unit 6- Writing practice utilizing the textbook and supplementary materials.
Week 8: Mid-term exam (20%) completed in class time only
Week 9: Unit 7- Writing practice utilizing the textbook and supplementary materials.
Week 10: Unit 8- Writing practice utilizing the textbook and supplementary materials.
Week 11: Unit 9- Writing practice utilizing the textbook and supplementary materials.
Week 12: Unit 10- Writing practice utilizing the textbook and supplementary materials.
Week 13: Unit 11- Writing practice utilizing the textbook and supplementary materials.
Week 14: Unit 12- Writing practice utilizing the textbook and supplementary materials.
Week 15: Final exam preparation and review.
・(Final exam to be completed in exam week) (30%)

Suggestions for self-study:
Students should buy the textbook before the first class and look over the content.
Read English books and magazines
Practice English with friends/ family

Listen to English songs and think about the meaning Keep a journal in English Try to learn and remember new English words -make original sentences or stories Find words with similar meanings / make connections between words Do extra homework practice e.g. try summarizing a news article, short book, or online video Prepare/ pre-read textbook lesson content before the lesson Review the previous lesson before the next class
教科書・参考書等 Writing from Within 1, Second Edition by Kelly, C. & Gargagliano, A. Cambridge University Press (2011) - ISBN: 978-0-521-18827-2
オフィスアワー　Students should consult the instructor to arrange meetings via email (james.broxholme@kagawa-u.ac.jp) or during class time
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041427) Communicative English Ⅳ T(4) Communicative English Ⅳ Communicative English Ⅳ	**科目区分** 外国語科目	**時間割 2022年度** 後期金4	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 ウィリアムズ　厚子	**関連授業科目** 主題科目領域Ⅰ　経済・社会・文化 **履修推奨科目** Academic English Ⅰ / II		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（準備学習15時間＋事後学習15時間）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は英語コミュニケーション能力の中で特にライティング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのライティング能力を向上させることを目的とします。

到達目標

1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。
2. 辞書等のツールを用いて適切さと正確さに配慮しながら英文を書くことができる。
3. 英語で 300 語程度のエッセイを書くことができる。

1～3 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

小テスト：20%　課題・授業参加：30%　Mideterm paper：20%　Final paper：30%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
開始－15分　クイズ　会話練習
15分ー終了　テキストを使用しての演習

【授業計画】各週の授業内容についてはMoodle のトピックを確認してください。
第 1回：オリエンテーション　Unit 1 My Hometown
第 2回：Unit 2 Hobbies
第 3回：Unit 3 Shopping
第 4回：Unit 4 Nature Quiz / 小テスト
第 5回：Unit 5 Dream House
第 6回：Unit 6 Food
第 7回：Unit 7 First Date / 小テスト
第 8回：Mideterm Paper
第 9回：Unit 9 Career
第10回：Unit10 Parties
第11回：Unit11 Rules and Regulations / 小テスト
第12回：Unit12 Invention & Discovery
第13回：Unit13 Movie Reviews
第14回：Unit14 World Records / 小テスト
第15回：Final Paper

【授業外学習に関するアドバイス】
第1回：事前に教科書を購入し、内容を確認してから授業に臨むこと。
第2回以降：前時の指示に従い、課題と予習をした上で授業に臨むこと。
小テストおよびMideterm/Final Paperについては事前に授業で周知する。

教科書・参考書等

English Ace コミュニケーションのための実践基礎英語　(Atsuko Yamamoto他)　2020 SEIBIDO
ISBN978-4-7919-5089-8

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041428) Communicative English Ⅳ T(5) Communicative English Ⅳ Communicative English Ⅳ	**科目区分** 外国語科目	**時間割 2022年度** 後期金4	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 ウィリー・イアン・デビッド, 田口　明美	**関連授業科目** 主題科目領域Ⅰ　経済・社会・文化		
	履修推奨科目 Academic English Ⅰ / Ⅱ		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（準備学習15時間＋事後学習15時間）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は英語コミュニケーション能力の中で特にライティング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのライティング能力を向上させることを目的とします。

到達目標

1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。
2. 辞書等のツールを用いて適切さと正確さに配慮しながら英文を書くことができる。
3. 英語で 200 語程度のエッセイを書くことができる。

1～3 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

授業への参加度:20%
小テスト2回:40%
エッセイ2回:40%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
この科目は全回対面授業を行います。
授業はテキストに沿って進めます。
第7回と第14回に小テストを行います。
第8回と第15回にエッセイを作成し提出していただきます。

【授業計画】
第1回:オリエンテーション
第2回~第6回:テキストの演習
第7回:小テスト&テキストの演習
第8回:中間エッセイの作成
第9回~第13回:テキストの演習
第14回:小テスト&テキストの演習
第15回:期末エッセイの作成

【授業外学習に関するアドバイス】
第1回：事前に教科書を購入し、内容を確認してから授業に臨んでください。
第2～第7回：小テストと中間エッセイに備えてください。
具体的な指示は授業またはネットワークを通して行います。
第8回~第14回:小テストと中間エッセイに備えてください。
具体的な指示は授業またはネットワークを通して行います。

教科書・参考書等

English Missions! Basic.(Robert Hickling, Misato Usukura).金星堂.2019.ISBN978-4-7647-4071-6 C1082 1900円+税

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。

教員の実務経験との関連

全国通訳案内士と司法通訳の実務経験を基に、受講生の英語ライティング能力の向上を目指します。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041429) Communicative English Ⅳ T(6) Communicative English Ⅳ Communicative English Ⅳ	**科目区分** 外国語科目	**時間割** 2022年度 後期金4	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 中井　富紀	**関連授業科目** 主題科目領域Ⅰ　経済・社会・文化 **履修推奨科目** Academic English Ⅰ / II		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（準備学習15時間＋事後学習15時間）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は英語コミュニケーション能力の中で特にライティング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのライティング能力を向上させることを目的とします。

到達目標

1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。
2. 辞書等のツールを用いて適切さと正確さに配慮しながら英文を書くことができる。
3. 英語で 450 語程度のエッセイを既習のエッセイライティングスキルを駆使して論理的に書くことができる。

1～3 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

（予習）語いリスト30%　中間パラグラフまたはエッセイ：30%　　最終エッセイ：40%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
＊マスク着用、教室の全もしくは一部の窓開放の上、対面で授業を実施する。
毎回、エッセイライティングのスキルを学習し、定着のための演習活動を行う。
演習活動とは、実際にセンテンスレベル、パラグラフレベル、エッセイレベルで書くことを体験する。
効果的なエッセイライティングの理論と実践で展開する。
【授業計画】
第1回：Course work introduction（コースワーク紹介）
第2回：Overviewーエッセイの構造、論理展開、テキスト全体像説明など。
第3回：unit 1　Starting from Scratch
第4回：unit 2　Home is Where Your Heart is
第5回：unit 3　You Only Live Once
第6回：unit 4　TheApple of Your eye
第7回：unit 5　Actions Speak Louder than Words
第8回 ： unit 6　Once in a Blue Moon
第9回 ： unit 7　Saved by the Bell
第10回 ： unit 8　“X” Marks the Spot
第11回 ： unit 9　Format & Structure Review
第12回 ： unit 10　Variety is the Spice of life
第13回：unit 11, 12　It’s All Greek to Me, Everything but the Kitchen Sink
第14回：unit 13, 14　Haste Makes Waste, Style Review
第15回：unit 15　Bigger is Better
【授業外学習に関するアドバイス】
第1回：事前にテキストを購入し、内容を確認してから授業に臨むこと。
第3～第15回：予習として、該当のunitの語いを調べて語いリストを作成しておくこと。語いは必ず電子辞書、ネットなどを利用して、音声とともに確認しておくこと。

教科書・参考書等

Writing Design. Mark D. Stafford. Kinseido. ISBN 978-4-7647-3987-1

オフィスアワー　月、水、木曜日の３時～４時３０分までの間自由に来てください。場所は北キャンパス教育学部棟３号館４階です。Welcome!

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041430) Communicative English Ⅳ T(7) Communicative English Ⅳ Communicative English Ⅳ	**科目区分** 外国語科目	**時間割 2022年度** 後期金5	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 ウィリー・イアン・デビッド, アーノルド・デビット	**関連授業科目** 主題科目領域Ⅰ 経済・社会・文化		
	履修推奨科目 Academic English Ⅰ/Ⅱ		

学習時間 Class meetings and preparation time per week: 15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, homework) (approximately 90 min. per week)

授業の概要

Course Outline
One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills. This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).

授業の目的

Course Objectives
This course focuses on the development of students' written communication skills. The primary objective is for students to improve their English writing skills by the end of the 15-week semester.

到達目標

By the end of the semester, students should become enabled to:
1. Actively engage in English communication.
2. Use dictionaries and other resources to produce accurate and comprehensible English sentences.
3. Fill in official forms in English.

The above criteria are in line with General Education standards at Kagawa University.
(To develop basic problem-solving skills) (To broaden one's knowledge of the humanities, society, and the environment)

成績評価の方法と基準

Course Evaluation
Students will be evaluated on the following:
Completion of bi-weekly homework assignments 60%
Participation 40%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

この科目は全回対面授業を行います。

【Course Methodology】
Class work will center on activities in the textbook and various writing tasks will be introduced as the semester unfolds. Writing will be done online. Students will gain experience typing in English. As a rule Japanese will not be allowed in class.

【Class schedule】
Week 1: Introduction to the course and textbook work
Week 2~15: Textbook work

【Suggestions for self-study】
Week 1: Students should purchase their textbooks before the first class and look over the content.

教科書・参考書等

教科書：Writing from Within 1 by Curtis Kelly & Arlen Gargagliono. CUP. 2011. ISBN: 978-0-521-188272

オフィスアワー Office Hours: Students should contact the instructor at the email address below.

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041431) Communicative English Ⅳ T(8) Communicative English Ⅳ Communicative English Ⅳ	**科目区分** 外国語科目	**時間割 2022年度** 後期金5	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 ウィリー・イアン・デビッド, ガルシア フェルナンデス マリア グデリア	**関連授業科目** 主題科目領域Ⅰ 経済・社会・文化		
	履修推奨科目 Academic English Ⅰ/Ⅱ		

学習時間 15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, homework) (approximately 90 min. per week)

授業の概要

One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills. This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).

授業の目的

This course focuses on the development of students' written communication skills. The primary objective is for students to improve their English writing skills by the end of the 15-week semester.

到達目標

By the end of the semester, students should become enabled to:
1. Actively engage in English communication.
2. Use dictionaries and other resources to produce accurate and comprehensible English sentences.
3. Write English essays of approximately 300 words; Write approximately 200-word journal entries each week.

The above criteria are in line with General Education standards at Kagawa University.
(To develop basic problem-solving skills) (To broaden one's knowledge of the humanities, society, and the environment)

成績評価の方法と基準

Students will be evaluated on the following:
Assignments/journal: 30%
In-class effort: 20%
Mid-term exam: 20%
Final exam: 30%
(If you get a mark of 0% in any of those categories, you will fail the subject)

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

[Course Method]
Classwork will center on activities in the textbook, and various writing tasks will be introduced as the semester unfolds. English will be the primary medium of communication in class.

[Course Schedule]
Students should buy the textbook and notebook (A4) before the first class and look over the content.
- -Week 1. Orientation - Unit 1. Narrative Paragraphs: Introductions
- -Week 2. Unit 2. Narrative Paragraphs: Memories
- -Week 3. Unit 3. Descriptive Paragraphs: Friends
- -Week 4. Unit 4. Descriptive Paragraphs: Places
- -Week 5. Unit 5. Compare and Contrast Paragraphs: Pets
- -Week 6. Unit 6. Compare and Contrast Paragraphs: Schools
- -Week 7. Unit 7. Cause and Effect Paragraphs: Habits
- -Week 8. Mid-term exam
- -Week 9. Unit 8. Cause and Effect Paragraphs: Relationships
- -Week 10. Unit 9. Summary Paragraphs: Routines
- -Week 11. Unit 10. Summary Paragraphs: Jobs
- -Week 12. Unit 11. Opinion Paragraphs: Issues
- -Week 13. Unit 12. Opinion Paragraphs: Smartphones
- -Week 14. Unit 13. Review Tasks for Units 7-12.
- -Week 15. Final exam

[Suggestions for self-study]
Week 1: Students should buy the textbook before the first class and look over the content.
Week 2-15: Students should complete assigned homework and writing assignments.

教科書・参考書等
BOOM, Andy. 2017. Writing for Fluency and Accuracy. Student Book. Cengage Learning. ISBN: 978-4-86312-306-9. * You will need a notebook A4 for the writing activities.
オフィスアワー　Students should consult the instructor to arrange meetings.
履修上の注意・担当教員からのメッセージ
事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041432) Communicative English Ⅳ T(9) Communicative English Ⅳ Communicative English Ⅳ	**科目区分** 外国語科目	**時間割** 2022年度 後期金5	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 ウィリー・イアン・デビッド, ブロックスホーム・ジェームズ・ダグラス	**関連授業科目** 主題科目領域Ⅰ 経済・社会・文化		
	履修推奨科目 Academic English Ⅰ/Ⅱ		

学習時間 Face to face classes (subject to change).
Class time per week: 15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, homework) (approximately 90 min. per week)

授業の概要

One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills. This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).

授業の目的

This course focuses on the development of students' written communication skills. The primary objective is for students to improve their English writing skills by the end of the 15-week semester.

到達目標

By the end of the semester, students should become enabled to:
1. Actively engage in English written communication.
2. Use dictionaries and other resources to produce accurate and comprehensible English sentences.
3. Write English compositions/essays about a wide range of topics

The above criteria are in line with General Education standards at Kagawa University.
(To develop basic problem-solving skills) (To broaden one's knowledge of the humanities, society, and the environment)

成績評価の方法と基準

Students will be evaluated on the following:
Homework assignments/class effort:50% / Mid-term exam/assignment: 20% / Final exam/assignment: 30%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

Course Method:
Classwork will center on activities in the textbook and other supplementary materials using a flipped classroom method. Students must complete textbook activities as homework before class and then bring material to class to practice and make improvements with peers and your teacher during class time. Students will be given many opportunities to practice important communication skills as the semester unfolds. English will be the primary medium of communication in class.

Students should buy the textbook before the first class and pre-read the content before week 1.

Course schedule:
Week 1: Introduction to the course. Begin the course content.
Week 2: Unit 1- Writing practice utilizing the textbook and supplementary materials.
Week 3: Unit 2- Writing practice utilizing the textbook and supplementary materials.
Week 4: Unit 3- Writing practice utilizing the textbook and supplementary materials.
Week 5: Unit 4- Writing practice utilizing the textbook and supplementary materials.
Week 6: Unit 5- Writing practice utilizing the textbook and supplementary materials.
Week: 7: Unit 6- Writing practice utilizing the textbook and supplementary materials.
Week 8: Mid-term exam (20%) completed in class time only
Week 9: Unit 7- Writing practice utilizing the textbook and supplementary materials.
Week 10: Unit 8- Writing practice utilizing the textbook and supplementary materials.
Week 11: Unit 9- Writing practice utilizing the textbook and supplementary materials.
Week 12: Unit 10- Writing practice utilizing the textbook and supplementary materials.
Week 13: Unit 11- Writing practice utilizing the textbook and supplementary materials.
Week 14: Unit 12- Writing practice utilizing the textbook and supplementary materials.
Week 15: Final exam preparation and review.
・(Final exam to be completed in exam week) (30%)

Suggestions for self-study:
Students should buy the textbook before the first class and look over the content.
Read English books and magazines

Practice English with friends/ family Listen to English songs and think about the meaning Keep a journal in English Try to learn and remember new English words -make original sentences or stories Find words with similar meanings / make connections between words Do extra homework practice e.g. try summarizing a news article, short book, or online video Prepare/ pre-read textbook lesson content before the lesson Review the previous lesson before the next class
教科書・参考書等 Writing from Within 1, Second Edition by Kelly, C. & Gargagliano, A. Cambridge University Press (2011) - ISBN: 978-0-521-18827-2
オフィスアワー　Students should consult the instructor to arrange meetings via email (james.broxholme@kagawa-u.ac.jp) or during class time.
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041433) Communicative English Ⅳ T(10) Communicative English Ⅳ Communicative English Ⅳ	**科目区分** 外国語科目	**時間割** 2022年度 後期金5	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 ウィリアムズ　厚子	**関連授業科目** 主題科目領域Ⅰ　経済・社会・文化 **履修推奨科目** Academic English Ⅰ / II		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（準備学習15時間＋事後学習15時間）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は英語コミュニケーション能力の中で特にライティング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのライティング能力を向上させることを目的とします。

到達目標

1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。
2. 辞書等のツールを用いて適切さと正確さに配慮しながら英文を書くことができる。
3. 英語で 300 語程度のエッセイを書くことができる。

1～3 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

小テスト：20%　課題・授業参加：30%　Mideterm paper：20%　Final paper：30%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
開始－15分　クイズ　会話練習
15分ー終了　テキストを使用しての演習

【授業計画】各週の授業内容についてはMoodle のトピックを確認してください。
第 1回：オリエンテーション　Unit 1 My Hometown
第 2回：Unit 2 Hobbies
第 3回：Unit 3 Shopping
第 4回：Unit 4 Nature Quiz / 小テスト
第 5回：Unit 5 Dream House
第 6回：Unit 6 Food
第 7回：Unit 7 First Date / 小テスト
第 8回：Mideterm Paper
第 9回：Unit 9 Career
第10回：Unit10 Parties
第11回：Unit11 Rules and Regulations / 小テスト
第12回：Unit12 Invention & Discovery
第13回：Unit13 Movie Reviews
第14回：Unit14 World Records / 小テスト
第15回：Final Paper

【授業外学習に関するアドバイス】
第1回：事前に教科書を購入し、内容を確認してから授業に臨むこと。
第2回以降：前時の指示に従い、課題と予習をした上で授業に臨むこと。
小テストおよびMideterm/Final Paperについては事前に授業で周知する。

教科書・参考書等

English Ace コミュニケーションのための実践基礎英語　(Atsuko Yamamoto他) 2020　SEIBIDO
ISBN978-4-7919-5089-8

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041434) Communicative English Ⅳ T(11) Communicative English Ⅳ Communicative English Ⅳ	**科目区分** 外国語科目	**時間割** 2022年度 後期金5	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 ウィリー・イアン・デビッド，田口　明美	**関連授業科目** 主題科目領域Ⅰ　経済・社会・文化		
	履修推奨科目 Academic English Ⅰ / Ⅱ		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（準備学習15時間＋事後学習15時間）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は英語コミュニケーション能力の中で特にライティング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのライティング能力を向上させることを目的とします。

到達目標

1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。
2. 辞書等のツールを用いて適切さと正確さに配慮しながら英文を書くことができる。
3. 英語で 200 語程度のエッセイを書くことができる。

1～3 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

授業への参加度:20%
小テスト2回:40%
エッセイ2回:40%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
この科目は全回対面授業を行います。
授業はテキストに沿って進めます。
第7回と第14回に小テストを行います。
第8回と第15回にエッセイを作成し提出していただきます。

【授業計画】
第1回:オリエンテーション
第2回~第6回:テキストの演習
第7回:小テスト&テキストの演習
第8回:中間エッセイの作成
第9回~第13回:テキストの演習
第14回:小テスト&テキストの演習
第15回:期末エッセイの作成

【授業外学習に関するアドバイス】
第1回：事前に教科書を購入し、内容を確認してから授業に臨んでください。
第2回～第7回：小テストと中間エッセイに備えてください。
具体的な指示は授業またはネットワークを通して行います。
第8回~第14回:小テストと中間エッセイに備えてください
具体的な指示は授業またはネットワークを通して行います。

教科書・参考書等

English Missions!Basic.(Robert Hickling, Misato Usukura).
金星堂.2019.ISBN978-4-7647-4071-6 C1082
1900円+税

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。

教員の実務経験との関連

全国通訳案内士と司法通訳の実務経験を基に、受講生の英語ライティング能力の向上を目指します。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041435) Communicative English Ⅳ T(12) Communicative English Ⅳ Communicative English Ⅳ	**科目区分** 外国語科目	**時間割** 2022年度 後期金5	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 中井　富紀	**関連授業科目** 主題科目領域Ⅰ　経済・社会・文化 **履修推奨科目** Academic English Ⅰ / II		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（準備学習15時間＋事後学習15時間）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は英語コミュニケーション能力の中で特にライティング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのライティング能力を向上させることを目的とします。

到達目標

1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。
2. 辞書等のツールを用いて適切さと正確さに配慮しながら英文を書くことができる。
3. 英語で 450 語程度のエッセイを既習のエッセイライティングスキルを駆使して論理的に書くことができる。

1～3 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

（予習）語いリスト30%　中間パラグラフまたはエッセイ：30%　　最終エッセイ：40%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
＊マスク着用、教室の全もしくは一部の窓開放の上、対面で授業を実施する。
毎回、エッセイライティングのスキルを学習し、定着のための演習活動を行う。
演習活動とは、実際にセンテンスレベル、パラグラフレベル、エッセイレベルで書くことを体験する。
効果的なエッセイライティングの理論と実践で展開する。
【授業計画】
第1回：Course work introduction（コースワーク紹介）
第2回：Overviewーエッセイの構造、論理展開、テキスト全体像説明など。
第3回：unit 1　Starting from Scratch
第4回：unit 2　Home is Where Your Heart is
第5回：unit 3　You Only Live Once
第6回：unit 4　TheApple of Your eye
第7回：unit 5　Actions Speak Louder than Words
第8回 ： unit 6　Once in a Blue Moon
第9回 ： unit 7　Saved by the Bell
第10回 ： unit 8　“X” Marks the Spot
第11回 ： unit 9　Format & Structure Review
第12回 ： unit 10　Variety is the Spice of life
第13回：unit 11, 12　It’s All Greek to Me, Everything but the Kitchen Sink
第14回：unit 13, 14　Haste Makes Waste, Style Review
第15回：unit 15　Bigger is Better
【授業外学習に関するアドバイス】
第1回：事前にテキストを購入し、内容を確認してから授業に臨むこと。
第3～第15回：予習として、該当のunitの語いを調べて語いリストを作成しておくこと。語いは必ず電子辞書、ネットなどを利用して、音声とともに確認しておくこと。

教科書・参考書等

Writing Design. Mark D. Stafford. Kinseido. ISBN 978-4-7647-3987-1

オフィスアワー　月、水、木曜日の３時～４時３０分までの間自由に来てください。場所は北キャンパス教育学部棟３号館４階です。Welcome!

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041436) Communicative English Ⅳ A(1) Communicative English Ⅳ Communicative English IV	**科目区分** 外国語科目	**時間割 2022年度** 後期木3	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 ウィリー・イアン・デビッド, カリコラファエル ケアロハ	**関連授業科目** 主題科目領域Ⅰ 経済・社会・文化		
	履修推奨科目 Academic English I/II		

学習時間 15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, homework) (approximately 90 min. per week)

授業の概要

One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills. This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).

授業の目的

This course focuses on the development of students' written communication skills. The primary objective is for students to improve their English writing skills by the end of the 15-week semester.

到達目標

By the end of the semester, students should become enabled to:
1. Actively engage in English communication.
2. Use dictionaries and other resources to produce accurate and comprehensible English sentences.
3. Write English essays of approximately 300 words; Summarize reading passages in simple English; Write approximately 150-word journal entries each week.

The above criteria are in line with General Education standards at Kagawa University.
(To develop basic problem-solving skills) (To broaden one's knowledge of the humanities, society, and the environment)

成績評価の方法と基準

Students will be evaluated on the following:
In-class effort: 20% Homework assignments: 30% Mid-term essay: 20% Final essay: 30%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

[Course Method]
Class work will center on activities in the textbook, and various writing tasks will be introduced as the semester unfolds. English will be the primary medium of communication in class.
[Course Schedule]
Week1: Introductions
Week 2-7: Textbook activities
Week 8: Midterm essay
Week 9-15: Textbook activities
Week 16: Final essay
This course will be taught face-to-face in principle, but there is a possibility that some or all classes will be taught remotely.
[Suggestions for self-study]
Students should purchase the textbook before the first day of class and look over its content.
Homework assignments include short essays based on the topic in the textbook, and journal entries.
Completed textbook writing assignments will be used during class for group activities and writing tasks, so it is important to complete them by their date due, typically in one-week's time.
Writing assignments may be handwritten or typed. The midterm and final essays will be handwritten, so handwriting practice is important.

教科書・参考書等

Kelly, C. & Gargagliano, A., (2011). Writing from Within 1, Second Edition. Cambridge University Press. ISBN: 978-0-521-18827-2

オフィスアワー Students should consult the instructor to arrange meetings.

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻を３回すると欠席１回となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード　B2ENG-abxG-1N-Ex1 授業科目名　（時間割コード：041437） Communicative English Ⅳ A(2) Communicative English Ⅳ Communicative English IV	科目区分 外国語科目	時間割 2022年度 後期木4	対象年次 2～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教ｾﾝﾀｰ ＤＰコード：abx	対象学生 全学生 特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応 ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態　演習	単位数　1	
担当教員名 ウィリー・イアン・デビッド，カリコラファエル　ケアロハ	関連授業科目　主題科目領域Ⅰ　経済・社会・文化		
	履修推奨科目　Academic English I/II		

学習時間　15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, homework) (approximately 90 min. per week)

授業の概要

One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills. This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).

授業の目的

This course focuses on the development of students' written communication skills. The primary objective is for students to improve their English writing skills by the end of the 15-week semester.

到達目標

By the end of the semester, students should become enabled to:
1. Actively engage in English communication.
2. Use dictionaries and other resources to produce accurate and comprehensible English sentences.
3. Write English essays of approximately 300 words; Summarize reading passages in simple English; Write approximately 150-word journal entries each week.

The above criteria are in line with General Education standards at Kagawa University.
(To develop basic problem-solving skills) (To broaden one's knowledge of the humanities, society, and the environment)

成績評価の方法と基準

Students will be evaluated on the following:
In-class effort: 20%　Homework assignments: 30%　Mid-term essay: 20%　Final essay: 30%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

[Course Method]
Class work will center on activities in the textbook, and various writing tasks will be introduced as the semester unfolds. English will be the primary medium of communication in class.
[Course Schedule]
Week1: Introductions
Week 2-7: Textbook activities
Week 8: Midterm essay
Week 9-15: Textbook activities
Week 16: Final essay
This course will be taught face-to-face in principle, but there is a possibility that some or all classes will be taught remotely.
[Suggestions for self-study]
Students should purchase the textbook before the first day of class and look over its content. Homework assignments include short essays based on the topic in the textbook, and journal entries.
Completed textbook writing assignments will be used during class for group activities and writing tasks, so it is important to complete them by their date due, typically in one-week's time. Writing assignments may be handwritten or typed. The midterm and final essays will be handwritten, so handwriting practice is important.

教科書・参考書等

Kelly, C. & Gargagliano, A., (2011). Writing from Within 1, Second Edition. Cambridge University Press. ISBN: 978-0-521-18827-2

オフィスアワー　Students should consult the instructor to arrange meetings.

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。遅刻を３回すると欠席１回となります。欠席回数が４回になった時点で単位不認定となります。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041438) Communicative English Ⅳ A(3) Communicative English Ⅳ Communicative English Ⅳ	**科目区分** 外国語科目	**時間割** 2022年度 後期木3	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 ウィリー・イアン・デビッド，吉川　友子	**関連授業科目** 主題科目領域Ⅰ　経済・社会・文化		
	履修推奨科目 Academic English Ⅰ / Ⅱ		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（準備学習15時間＋事後学習15時間）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は英語コミュニケーション能力の中で特にライティング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのライティング能力を向上させることを目的とします。

到達目標

1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。
2. 辞書等のツールを用いて適切さと正確さに配慮しながら英文を書くことができる。
3. 英語で 150～200 語程度のパラグラフを書くことができる。

1～3 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

Quiz：10%　In-class effort（ノート点検）：30%　Midterm paper：30%　Final paper：30%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】この科目は全回対面授業を行います。発想をまとめる練習や単文作成練習を通して、まとまった内容のパラグラフ構築へと発展させていきます。また、文や段落の構成について学習し、英文の誤りを直して推敲する練習もします。２ユニットごとに異なる種類のパラグラフを題材にしているので、基本的に１回の授業で２ユニットを扱い、変則的に進めます。

【授業計画】
第１回：オリエンテーション、ユニット１・２
第２回～第７回：演習活動（ユニット１～６）（第５回ノート提出、第８回Midterm paper提出）
第８回～第１５回：演習活動（ユニット７～１２）（第１５回 ノート提出）
第１６回：Final paper（試験期間中の筆記試験形式）

【授業外学習に関するアドバイス】
具体的な内容については、毎回の授業で指示する。この授業の専用ノートを作成し、それが評価されることに注意。小テストも評価に含まれる。定期試験はパラグラフライティングを予定している。タイトル等の指示は授業内で行う。計画的に準備しておくこと。
第１回：事前に教科書を購入し、内容を確認してから授業に臨むこと。
第1～5回：パラグラフライティングの枠組みを理解し、身近なトピックで英語のパラグラフを書き、自分で添削する（10時間）
第6～7回：論理的なパラグラフの構造について理解を深めながら、中間評価のパラグラフライティングに向けて資料を集め、計画、準備する。（4時間）
第8回～第13回：原因と結果、要約など、多様な記述方法を習得しつつ、必要な資料を集めて英語のパラグラフを書き、自分で添削する（12時間）
第14回～第15回：論理的で明晰な言葉で自分の意見を説明することを目標に、期末試験のパラグラフライティングに向けて資料を集め、計画、準備する。（4時間）

教科書・参考書等

Boon, A.(2017) Writing for Fluency and Accuracy. Cengage Learning K.K.
ISBN-13:978-4-86312-306-9

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** （時間割コード：041439） Communicative English Ⅳ A(4) Communicative English Ⅳ Communicative English Ⅳ	**科目区分** 外国語科目	**時間割 2022年度** 後期木4	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 ウィリー・イアン・デビッド，吉川　友子	**関連授業科目** 主題科目領域Ⅰ　経済・社会・文化		
	履修推奨科目 Academic English Ⅰ / II		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（準備学習15時間＋事後学習15時間）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は英語コミュニケーション能力の中で特にライティング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのライティング能力を向上させることを目的とします。

到達目標

1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。
2. 辞書等のツールを用いて適切さと正確さに配慮しながら英文を書くことができる。
3. 英語で150～200語程度のパラグラフを書くことができる。

1～3は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

Quiz：10%　In-class effort（ノート点検）：30%
Midterm paper：30%　Final paper：30%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】この科目は全回対面授業を行います。発想をまとめる練習や単文作成練習を通して、まとまった内容のパラグラフ構築へと発展させていきます。また、文や段落の構成について学習し、英文の誤りを直して推敲する練習もします。２ユニットごとに異なる種類のパラグラフを題材にしているので、基本的に１回の授業で２ユニットを扱い、変則的に進めます。

【授業計画】
第１回：オリエンテーション、ユニット１・２
第２回～第７回：演習活動（ユニット１～６）（第５回ノート提出、第８回Midterm paper提出）
第８回～第１５回：演習活動（ユニット７～１２）（第１５回 ノート提出）
第１６回：Final paper（試験期間中の筆記試験形式）

【授業外学習に関するアドバイス】
具体的な内容については、毎回の授業で指示する。この授業の専用ノートを作成し、それが評価されることに注意。小テストも評価に含まれる。定期試験はパラグラフライティングを予定している。タイトル等の指示は授業内で行う。計画的に準備しておくこと。
第１回：事前に教科書を購入し、内容を確認してから授業に臨むこと。
第1～5回：パラグラフライティングの枠組みを理解し、身近なトピックで英語のパラグラフを書き、自分で添削する（10時間）
第6～7回：論理的なパラグラフの構造について理解を深めながら、中間評価のパラグラフライティングに向けて資料を集め、計画、準備する。（4時間）
第8回～第13回：原因と結果、要約など、多様な記述方法を習得しつつ、必要な資料を集めて英語のパラグラフを書き、自分で添削する（12時間）
第14回～第15回：論理的で明晰な言葉で自分の意見を説明することを目標に、期末試験のパラグラフライティングに向けて資料を集め、計画、準備する。（4時間）

教科書・参考書等

Boon, A.(2017) Writing for Fluency and Accuracy. Cengage Learning K.K.
ISBN-13:978-4-86312-306-9

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041440) Communicative English Ⅳ A(5) Communicative English Ⅳ Communicative English Ⅳ	**科目区分** 外国語科目	**時間割** 2022年度 後期木3	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 ウィリー・イアン・デビッド, ニコラス ダニエル フライ	**関連授業科目** 主題科目領域Ⅰ 経済・社会・文化		
	履修推奨科目 Academic English Ⅰ/Ⅱ		

学習時間 Class meetings and preparation time per week: 15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, homework) (approximately 90 min. per week)

授業の概要

Course Outline
One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills. This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).

授業の目的

Course Objectives
This course focuses on the development of students' written communication skills. The primary objective is for students to improve their English writing skills by the end of the 15-week semester.

到達目標

By the end of the semester, students should become enabled to:
1. Actively engage in English communication.
2. Use dictionaries and other resources to produce accurate and comprehensible English sentences.
3.Write English essays of approximately 300 words; Summarize reading or listening passages in simple English; Write approximately 100 -word journal entries each week.

The above criteria are in line with General Education standards at Kagawa University.
(To develop basic problem-solving skills) (To broaden one's knowledge of the humanities, society, and the environment)

成績評価の方法と基準

Students will be evaluated on the following:
In-class effort: 10% Mid-term essay: 30% Final essay: 60%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

[Course Method]
Each class will center on a writing task in the textbook (e.g., business letters, responses to invitations, etc.) Writing will be done in class and assigned as homework. Completed writing assignments will be used for group activities and other communicative tasks. The class will be conducted exclusively in English in order to develop student's overall English skills.

[Course Schedule]
Week1: Students should purchase their textbook before the first class and look over the content; Introductions
Week 2-7: Writing from within 1 writing tasks.
Week 8: Mid-term test
Week 9-15: Writing from within 1 writing tasks
Week 16: Final test
[Suggestions for self-study]
Week 1-14: Complete homework from the textbook and other writing assignments.

教科書・参考書等

Writing from Within 1 2nd Edition. (Kelly, C & Gargadliano, A,) 2011. CUP ISBN 978-0-521-18827-2

オフィスアワー Students should consult the instructor to arrange meetings.

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041441) Communicative English Ⅳ A(6) Communicative English Ⅳ Communicative English Ⅳ	**科目区分** 外国語科目	**時間割** 2022年度 後期木4	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 ウィリー・イアン・デビッド, ニコラス ダニエル フライ	**関連授業科目** 主題科目領域Ⅰ 経済・社会・文化		
	履修推奨科目 Academic English Ⅰ/Ⅱ		

学習時間 Class meetings and preparation time per week: 15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, homework) (approximately 90 min. per week)

授業の概要

Course Outline
One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills. This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).

授業の目的

Course Objectives
This course focuses on the development of students' written communication skills. The primary objective is for students to improve their English writing skills by the end of the 15-week semester.

到達目標

By the end of the semester, students should become enabled to:
1. Actively engage in English communication.
2. Use dictionaries and other resources to produce accurate and comprehensible English sentences.
3.Write English essays of approximately 300 words; Summarize reading or listening passages in simple English; Write approximately 100 -word journal entries each week.

The above criteria are in line with General Education standards at Kagawa University.
(To develop basic problem-solving skills) (To broaden one's knowledge of the humanities, society, and the environment)

成績評価の方法と基準

Students will be evaluated on the following:
In-class effort: 10% Mid-term essay: 30% Final essay: 60%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

[Course Method]
Each class will center on a writing task in the textbook (e.g., business letters, responses to invitations, etc.) Writing will be done in class and assigned as homework. Completed writing assignments will be used for group activities and other communicative tasks. The class will be conducted exclusively in English in order to develop student's overall English skills.

[Course Schedule]
Week1: Students should purchase their textbook before the first class and look over the content; Introductions
Week 2-7: Writing from Within 1 writing tasks.
Week 8: Mid-term test
Week 9-15: Writing from Within 1 writing tasks
Week 16: Final test
[Suggestions for self-study]
Week 1-14: Complete homework from the textbook and other writing assignments.

教科書・参考書等

Writing from Within 1 2nd Edition. (Kelly, C & Gargadliano, A,) 2011. CUP ISBN 978-0-521-18827-2

オフィスアワー Students should consult the instructor to arrange meetings.

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 授業科目名 (時間割コード：041444) Communicative English Ⅳ NP(1) Communicative English Ⅳ Communicative English Ⅳ	科目区分 外国語科目	時間割 2022年度 後期金1	対象年次 2～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教ｾﾝﾀｰ ＤＰコード：abx	対象学生 全学生 特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応 ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	単位数 1	
担当教員名 ウィリー・イアン・デビッド	関連授業科目 主題科目領域Ⅰ 経済・社会・文化 履修推奨科目 Academic English Ⅰ/Ⅱ		

学習時間 15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, homework) (approximately 90 min. per week)

授業の概要

One aim of general education at Kagawa University is to help students develop a wide range of communication skills. This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their first year (in Communicative English I/II).

授業の目的

The primary objective of this course is for students to improve their English reading and writing skills by the end of the 15-week semester. Students' English listening and speaking skills should improve as well.

到達目標

By the end of the semester, students will have:

1. Read at least 150,000 words in English using the XReading system.
2. Written at least 10 reaction reports about their reading (150-200 words each).
3. Developed their ability to self-edit their own writing using online tools and by themselves.
4. Become accustomed to writing in English on digital devices.
5. Improved their ability to respond quickly and fluently in English through weekly speaking drills.

The above criteria are in line with General Education standards at Kagawa University.
(To develop basic problem-solving skills) (To broaden one's knowledge of the humanities, society, and the environment)

成績評価の方法と基準

Students will be evaluated on the following:
XReading assignments: 150 points (50%)
Reaction reports: 100 points (33%)
Class effort: 50 points (17%)
(Total = 300 points)

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

[Course Method]
Each week students will have to read about 10,000 words using the XReading system. They will then write a reaction report in English, using Moodle, about what they have read. In class, students will read other students' writing and write reactions, and reaction reports will be used for pair sharing and group presentations. During class, the teacher will provide guidance on how to write effective English sentences and paragraphs, and students will engage in free-writing, speed reading, and editing tasks. The last thirty minutes of class will typically be spent on speaking activities, using videos, songs, and other materials provided by the teacher. Class will typically begin and end with short drills to build students' response speed in English. English will be the main language of class communication.

Week1: Orientation; How to use XReading and Introductions
Week 2:Reaction Report 1 due
Week 3:Reaction Report 2 due
Week 4:Reading and writing English haiku
Week 5:Haiku assignment due
Week 6: Reaction Report 3 due
Week 7: Reaction Report 4 due
Week 8: English comics
Week 9: Reaction Report 5 due
Week 10: Reaction Report 6 due
Week 11: Reaction Report 7 due
Week 12: English news
Week 13: Reaction Report 8 due

Week 14: Reaction Report 9 due
Week 15: Reaction Report 10 due

[Suggestions for self-study]
Week 1: Students should purchase their XReading card before the first class.
Week 2-15: Students should complete assigned reading and writing assignments.

教科書・参考書等

XReading system: https://xreading.com/login/index.php

*Students will be informed how to access this system by Dream Campus before classes begin.

オフィスアワー Students should consult the instructor to arrange meetings.

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

Please buy your XReading card before the first class! If possible, bring your computer or tablet to each class (battery fully charged).

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041445) Communicative English Ⅳ NP(2) Communicative English Ⅳ Communicative English Ⅳ	**科目区分** 外国語科目	**時間割 2022年度** 後期金1	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 ウィリアムズ　厚子	**関連授業科目** 主題科目領域Ⅰ　経済・社会・文化 **履修推奨科目** Academic English Ⅰ / II		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（準備学習15時間＋事後学習15時間）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は英語コミュニケーション能力の中で特にライティング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのライティング能力を向上させることを目的とします。

到達目標

1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。
2. 辞書等のツールを用いて適切さと正確さに配慮しながら英文を書くことができる。
3. 英語で 300 語程度のエッセイを書くことができる。

1～3 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

小テスト：20%　課題・授業参加：30%　Mideterm paper：20%　Final paper：30%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
開始－15分　クイズ　会話練習
15分－終了　テキストを使用しての演習

【授業計画】各週の授業内容についてはMoodle のトピックを確認してください。
第 1回：オリエンテーション　Unit 1 Orange Clothing
第 2回：Unit 2 A Reasonable Dream...
第 3回：Unit 3 Japan's Popular Wave
第 4回：Unit 4 Color Matters / 小テスト
第 5回：Unit 5 Business, Not Bullets
第 6回：Unit 6 Spices for Life!
第 7回：Unit 7 Plastic Planet / 小テスト
第 8回：　Mideterm Paper
第 9回：Unit 9 Jacques's Lung
第10回：Unit10 Disease vs. Hunger
第11回：Unit11 May We Have a Catalog, Please? / 小テスト
第12回：Unit12 Bright Little Lights
第13回：Unit13 Popular but Penniless
第14回：Unit14 Taxing the Robots / 小テスト
第15回：　Final Paper

【授業外学習に関するアドバイス】
第1回：事前に教科書を購入し、内容を確認してから授業に臨むこと。
第2回以降：前時の指示に従い、課題と予習をした上で授業に臨むこと。
小テストおよびMideterm/Finalpaperについては事前に授業で周知する。

教科書・参考書等

WRITING KEY (Yasuyuki Kitao 他)　2019　KINSEIDO ISBN978-4-7647-4086-0

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041446) Communicative English Ⅳ NP(3) Communicative English Ⅳ Communicative English Ⅳ	**科目区分** 外国語科目	**時間割** 2022年度 後期金1	**対象年次**
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生** 全学生 **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 ウィリー・イアン・デビッド，吉川　友子	**関連授業科目** 主題科目領域Ⅰ　経済・社会・文化		
	履修推奨科目 Academic English Ⅰ / II		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（準備学習15時間＋事後学習15時間）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は英語コミュニケーション能力の中で特にライティング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのライティング能力を向上させることを目的とします。

到達目標

1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。
2. 辞書等のツールを用いて適切さと正確さに配慮しながら英文を書くことができる。
3. 英語で 100～150 語程度のパラグラフを書くことができる。

1～3 は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

Quiz：10%　In-class effort（ノート点検）：30%　Midterm paper：30%　Final paper：30%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】この科目は全回対面授業を行います。テキストに沿ってモデルとなる英文を理解しながら、文や段落の構成、表記や表現などについて学習し、単文作成から第８回：Midterm paper内容の作文へと発展させていきます。基本的に授業１回で１ユニット進めます。

【授業計画】
第１回：オリエンテーション、ユニット１
第２回～第７回：演習活動（ユニット２～７）（第５回：ノート提出）
第８回：Midterm paper提出
第８回～第１５回：演習活動（ユニット8～15）（第１５回: ノート提出）
第１６回：Final paper　（試験期間中の筆記試験形式）

【自学自習のためのアドバイス】
具体的な内容については、毎回の授業で指示する。学習内容のノートまたは教科書書き込みが画像または実物提出により評価されることに注意。小テストも評価に含まれる。定期試験はパラグラフライティングを予定している。タイトル等の指示は授業内で行う。計画的に準備しておくこと。
第1～4回：原因と結果、比較など多様な表現を身につけ、身近なトピックで英語のパラグラフを書く（8時間）
第5～7回：時制や品詞についての理解を深めながら、中間評価のパラグラフライティングに向けて資料を集め、計画、準備する。（6時間）
第8回～第12回：さらに多様な文章構成や表現方法を習得しつつ、英語のパラグラフを書く（10時間）
第13回～第15回：明晰な言葉で自分の意見を説明することを目標に、期末試験のパラグラフライティングに向けて資料を集め、計画、準備する。（6時間）

教科書・参考書等

Hickling, R. & Yashima, J.(2020)Jigsaw: Insightful Reading to Successful Writing. Cengage Learning K.K.
ISBN-13:978-4-86312-369-4

オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

事前に教科書を購入し内容（教科書の前書きの部分と最初の章）を確認した上で、第１回目の授業に出席してください。

ナンバリングコード B2ENG-abxG-1N-Ex1 **授業科目名** (時間割コード：041447) Communicative English Ⅳ NP(4) Communicative English Ⅳ Communicative English Ⅳ	**科目区分** 外国語科目	**時間割 2022年度** 後期金1	**対象年次** 2～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：abx	**対象学生 全学生** **特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 1	
担当教員名 長井　克己	**関連授業科目** 主題科目領域Ⅰ　経済・社会・文化		
	履修推奨科目 Academic English Ⅰ / II		

学習時間　授業90分×15回＋自学自習（準備学習15時間＋事後学習15時間）

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、１年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は英語コミュニケーション能力の中で特にライティング能力の育成に重点を置きます。15回の授業を通して受講生の英語でのライティング能力を向上させることを目的とします。

到達目標

1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。
2. 翻訳サイトをコピペするのではなく，ワードプロセッサのスペルチェック・文法チェック・類義語辞典等のツールと，ネットのコロケーション・フレーズ検索を利用して，自分だけの英語を書くことができる。

１～２は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」と「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。

成績評価の方法と基準

毎週の課題提出: 40%
mid-term exam 1 (units 1,2,3,5,6,7): 30%
mid-term exam 2 (units 8,9,10,11,13,14): 30%
examsは教科書Readingの空所補充３０問。

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】
(1) 毎週のトピックについてリスニングとリーディング練習
(2) 内容についてのQ&A
(3) 様々な表現と構文についての練習
(4) 自分の意見をワードプロセッサを用いて書き，テキストファイルを提出

【授業計画】
この科目は基本的に対面授業を行います。
ただし新型コロナウイルスの感染状況により，遠隔授業に変更する可能性があります。緊急連絡は教務システム(Dream Campus)で行いますので，指示に従ってください。

wk 1 (Oct 7): introduction / ch 1 (cause and effect)
wk 2 (Oct 14): ch 2 (compare and contrast)
wk 3 (Oct 21): ch 3 (giving an opinion)
wk 4 (Nov 4): ch 5 (describing a process)
wk 5 (Nov 11): ch 6 (description)
wk 6 (Nov 18): ch 7 (persuasion)
wk 7 (Nov 25): mid-term exam 1 / ch 4 (classification)
wk 8 (Dec 2): ch 8 (evaluation)
wk 9 (Dec 9): ch 9 (pros and cons)
wk 10 (Dec 16): ch 10 (advice)
wk 11 (Dec 23): ch 11 (clarification)
wk 12 (Jan 10!): ch 13 (problem solving)
wk 13 (Jan 20): ch 14 (entertaining)
wk 14 (Jan 27): mid-term exam 2 / ch 12 (reflection)
wk 15 (Feb 3): ch 15 (inspiration) / follow-up

【授業外学習に関するアドバイス】
授業時間内に英文パラグラフを完成するため，パソコン（ワープロ・ファイル）の操作やネット検索（辞書やコロケーション）に慣れておこう。

教科書・参考書等

Hickling & Yashima. (2020).

Jigsaw - Insightful Reading to Successful Writing. Cengage. ISBN 9784863123694.
オフィスアワー　授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 手洗いや消毒，常時換気（窓開放）と安全な距離の確保等の感染防止対策を行った上で、対面授業を実施します。マスクを着用し，1回目の授業で指定した場所に着席してください。大声や飲食は厳禁です。体調管理に気を遣い，咳や発熱等の症状が少しでもあれば，躊躇なく連絡して欠席（特別な理由による公欠）してください。

ナンバリングコード　B2ENG-axxG-5N-Ex2 授業科目名　（時間割コード：041501） Intensive English I Intensive English I TOEFLiBT受験対策 TOEFLiBT Preparation	科目区分 特別教育プログラム	時間割 2022年度 前期月3,木2	対象年次 1～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教ｾﾝﾀｰ ＤＰコード：axx	対象学生 特プロ履修学生のみ 特定プログラムとの対応 ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態　演習	単位数　2	
担当教員名 辻　梨花，水野　康一	関連授業科目　Communicative English I 履修推奨科目　Intensive English II		

学習時間　講義９０分　×　３０回　＋　自学自習　９０分　×　15回

授業の概要

この授業は、「香川大学ネクストプログラム：グローバル人材育成プログラム（英語コース）」の必修科目である。上記プログラム参加者以外は受講登録できません。

この授業では、TOEFL iBT の問題演習を徹底的かつ集中的に行う。週２回の授業のうち、一方(月曜３時限)では Reading Section を、他方（木曜２時限）では Listening Section　を扱う。

授業の目的

英語圏の大学で講義を受ける際に必要な読解能力および聴解能力を身につけることを目的とする。

到達目標

１．英語圏の大学で使用される教科書レベルの学術的文章を読んで理解することができる。
２．英語による講義の内容を聞いて理解することができる。
３．英語による討論の内容を聞いて理解することができる。
４．英語圏の大学生活における日常的な会話を理解することができる。
５．後期終了時点で TOEFL iBT で 61 点以上のスコアを獲得することができる。

共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」に対応。

成績評価の方法と基準

課題，宿題等の取り組み　２５％
授業への積極的参加　２５％
期末テスト（TOEFL ITP）　５０％

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業の方法】毎回の授業（第１，２回を除く）は、以下のように進める。
月曜：リスニング・ライティング演習
木曜：リーティング演習

【授業計画】
第１回：イントロダクション①（授業の進め方、TOEFL iBT Reading Section の傾向と対策）
第２回：イントロダクション②（授業の進め方、TOEFL iBT Listening Section の傾向と対策）
第３回～第30回：問題演習
期末試験：TOEFL ITP(ペーパー版TOEFL)

【自学自習のアドバイス】
・毎回、予習内容を指定する。必ず宿題をして授業に臨むこと。
・未知の単語や英語表現については、常に自ら調べ、定着をはかること。
・多くの課題提出を求めるので、もれなく取り組むこと。

この科目は基本的に対面授業を行います。なお状況によっては授業形態を遠隔へ変更する可能性があります。

教科書・参考書等

Official TOEFL iBT Tests: Third Edition. ETS. ISBN: 978-1-260-44100-0

オフィスアワー　月曜４時限（幸町南２号館３階　水野研究室）

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

「香川大学ネクストプログラム：グローバル人材育成プログラム（英語コース）」の必修科目である。本プログラムに関係するガイダンス等に出席すること。

本プログラムに参加していない学生も、海外留学希望および自身の英語力（TOEIC600点程以上）を示すことにより受講が認められる。

ナンバリングコード B2ENG-axxG-5N-Ex2 **授業科目名** (時間割コード：041502) Intensive EnglishⅡ Intensive EnglishⅡ TOEFL iBT: Speaking & Writing	**科目区分** 特別教育プログラム	**時間割 2022年度** 後期月3,木2	**対象年次** 1～
	水準 学士：基礎科目 **分野** 英語	**提供部局**：大教ｾﾝﾀｰ **ＤＰコード**：axx	**対象学生 特プロ履修学生のみ** **特定プログラムとの対応** ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	**単位数** 2	
担当教員名 マクラハン・ジェラディーン, ウィリー・イアン・デビッド	**関連授業科目** Communicative English II		
	履修推奨科目 Intensive English I		

学習時間 90 分 × ３０回 + 自学自習 ９０分 × 15週

授業の概要

This course aims to help students develop speaking and writing skills needed for the TOEFL iBT. Monday's class (taught by McCrohan) will focus on speaking; Thursday's class (taught by Willey) will focus on writing. Students' reading and listening skills will be developed as well.

授業の目的

この授業は、「香川大学ネクストプログラム：グローバル人材育成プログラム（英語コース）」の必修科目のひとつである。

英語圏の大学で講義を受ける際に必要なコミュニケーション能力および文章作成能力を身につける（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」に対応）ことを目的とする。

到達目標

Through this course, students will become enabled to:
1. Speak in English for varying amounts of time about different academic topics;
2. Take effective notes in order to prepare for speaking and writing tasks;
3. Complete both the Integrated writing task and Independent writing task in the alotted time;
4. Use academic vocabulary effectively in both speaking and writing tasks.
5. Attain a score of 61 or above on the TOELF iBT.
6. Actively participate in courses taught exclusively in English.

成績評価の方法と基準

In-class participation and effort: 20%　Homework and out-of-class assignments: 80%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

Class activities will center on materials provided by the instructors as well as in the Criterion system. Students will be assigned homework before each class meeting and this homework will be part of class activities. For the writing class, students must complete at least one essay per week using the Criterion essay writing program. This program enables students to revise their essays using feedback from Criterion as well as the instructor.

Class 1: Introduction 1: TOEFL iBT Speaking Section
Class 2: Introduction 2: TOEFL iBT Writing Section + Criterion
Class 3-30: Speaking and writing practice

This is an intensive course, which means at least 3 hours of homework will be assigned every week. Students must complete all homework assignments to participate in class. It is important to stay up-to-date with all assignments.

NOTE: A detailed syllabus and calendar for each section (Speaking and Writing) will be given to students on the first meeting of the Speaking class and Writing class. It is best to think of these two sections as two separate classes.

* In principle, classes will be conducted in the regular classroom. Depending on the situation, the class may be shifted online.

教科書・参考書等

There are no textbooks for either section of this course (Speaking and Writing). However, students will use Criterion (an e-learning system) for the Writing section. Students should bring their own computer (or tablet) to each class.

オフィスアワー This information will be provided by each instructor on the first class.

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

「香川大学ネクストプログラム：グローバル人材育成プログラム（英語コース）」の必修科目である。本プログラムに関係するガイダンス等に出席すること。
本プログラムに参加していない学生は、定員に余裕がある場合、受講が認められることがある。ただし、この場合、単位は卒業要件には含まれないので注意すること。

ナンバリングコード　B2ENG-abcG-10-Eg1 授業科目名　（時間割コード：041601） Academic English Ⅰ (1) Academic English Ⅰ Academic English 1 (1)	科目区分 外国語科目	時間割 2022年度 前期火4	対象年次 1～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教センター DPコード：abc	対象学生 全学生 特定プログラムとの対応 対応なし
	授業形態　演習 グループワーク	単位数　1	
担当教員名 ポール・バテン	関連授業科目　Communicative English classes		
	履修推奨科目　Communicative English classes		

学習時間　There are fifteen classes in this course. Each class is for ninety minutes. A high level of dedication is expected - students should prepare carefully for at least ninety minutes for each classes in order to be able to contribute to the class.

授業の概要

This is a class for students who are interested in discussing issues in English with an academic focus. We will use the text to look at various issues and develop students' skills in commenting on and presenting their ideas on these. Depending on class size, students' individual areas of weakness and/or interest (e.g., pronunciation, vocabulary, language/cultural points) will also be included in the class and then ultimately assessed.

授業の目的

The goal of this course is to develop the learners' abilities in discussing and explaining their ideas convincingly and appropriately in an English language academic setting. Through a range of topics and issues, some familiar to the students and some not, students will develop better self-expression skills in academic English. There is also a focus on vocabulary and fact checking. Through a focus on various topics interesting and thought-provoking debate and exchange of ideas will be stimulated. I hope that as 'advanced' speakers of English, students will be prepared to introduce and discuss interesting and useful topics.

到達目標

After completing this class, students will be able to:
1) understand to express their opinions in 'paragraph length' comments
2) understand etymologies of English words
3) better knowledge of the topics discussed in class
4) use compensatory strategies in English
5) better knowledge of academic English - appropriate vocabulary and discussion and presentation skills

成績評価の方法と基準

Evaluation will be based on: in-class performance (25%), improvement of areas of weakness (25%), ability in compensatory strategies (25%), contribution to class and topics in general (25%). Students who develop the ability and confidence to explain their ideas (and indeed have something of interest to contribute) and can compare and contrast ideas will be evaluated highly.

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

The focus will be on researching a topic, preparatory readings of the text, and then being able to discuss these in class and discuss them fully.

(1) Introduction to class methodology and goals, self-introductions.

Lessons 2 - 14 : chapters will be selected from the text upon consultation with students.
Students will also work together to prepare a text for the class.

(15) Student presentations (final)

自学自習に関するアドバイス
Please prepare for classes. Be prepared to explain your ideas, and the words you use, to other students. Preparation should take about one hour per class. Please also use the handout you will be sent by email for brushing up the vocab covered in class.

教科書・参考書等

Life Topics: Reflections. 総合英語ライフトピックス４。 Johnathon Berman and Takashi Shimaoka. Nan'undo.

オフィスアワー　Friday, 3:00 - 4:00 p.m. Please email me beforehand and tell me what you would like to discuss. 研究室は８号館の４Fです。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

Students must be prepared to fully participate and make contributions to the class.

４回以上の欠席回数の場合は単位を与えられません。
教員の実務経験との関連 私にとっての外国語の日本語を３５年以上前から毎日直面しています。２８年前から大学生を教えています。出来るだけ学生にとって実践的なスキルを身につける授業を目さします。中学校、幼稚園、一般会社などの英語教師経験があります。長年大学生の英語の授業に携わってきた実務経験と共に、ニュージーランドとタイとの国際交流に力を入れています。

ナンバリングコード B2ENG-axxG-1N-Ex1 授業科目名 (時間割コード：041604) Academic EnglishⅡ (1) Academic EnglishⅡ Academic English skills	科目区分 外国語科目	時間割 2022年度 後期木3	対象年次 1～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教ｾﾝﾀｰ ＤＰコード：axx	対象学生 全学生 特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応 ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態 演習	単位数 1	
担当教員名 ウィリー・イアン・デビッド	関連授業科目 Communicative English I, II, III 履修推奨科目		

学習時間 90 min classes X 15 class meetings; + 90~180 min out-of-class work per week.

授業の概要

This course is for students who hope to improve their academic English skills. Students will improve their fluency in reading, writing, and speaking.

授業の目的

Through this course, students will develop their reading speed and comprehension by engaging in extensive reading, that is, by reading a lot using the XReading system! Students will also improve their writing fluency and vocabulary knowledge by writing about reading assignments and will improve their speaking skills through preparation for the IELTS speaking test and extensive speaking practice.

到達目標

Through this course, students will become able to:
1. Read with greater fluency and comprehension;
2. Read at least 200,000 words by the end of the semester;
3. Write weekly Reading Journal entries of at least 150 words;
4. Speak fluently about personal and social topics in interview situations;
5. Use communicative techniques to speak English quickly in impromptu (unscripted) situations.

成績評価の方法と基準

Students' grades will be based on the following:
50%: XReading assignments (Target 200,000 words) (200 points)
25%: Reading Journal (100 points)
25%: Mid-term and Final interviews (100 points)

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

The main part of this class will be the reading assignments on XReading, an e-learning system. Students will read at least 15,000 words per week using this system outside of the class. Students will also complete quizzes and other tasks on XReading to develop their vocabulary knowledge and to check reading comprehension. In addition, students will keep a Reading Journal (on Moodle) in which they must write at least 150 words per week on the reading they have done for that week. This journal will be used for speech activities in class. Activities to develop students' speaking skills for the IELTS speaking test will also be done in class, and all students will do a graded interview in English at the mid-term and the end of the semester. Students will also practice speaking drills in every class to improve their ability to respond quickly in English.

(1)Introduction to class and students; Xreading Orientation
(2-6): XReading assignments and Reading Journal/speaking tasks
(7): Mid-term interview
(8-14): XReading assignments and Reading Journal/speaking tasks
(15) Final interview

Suggestions for Self-study: Assignments will be explained in each class, and will include advice on how assignments can be completed efficiently.

In principle, this class will be conducted in the regular classroom. Depending on the situation, the class may be shifted online.

教科書・参考書等

Online graded readers: https://xreading.com/login/index.php

*Students will be informed how to access this system by Dream Campus before classes begin.

オフィスアワー Information about office hours and arranging meetings will be provided by the instructor on the first day of class.

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

４回以上の欠席回数の場合は単位を与えられません。

ナンバリングコード　B2ENG-axxG-1N-Lg1 授業科目名　（時間割コード：041605） Academic EnglishⅡ (2) Academic EnglishⅡ Extensive Reading	科目区分 外国語科目	時間割 2022年度 後期木3	対象年次 1～
	水準 学士：基礎科目 分野 英語	提供部局：大教ｾﾝﾀｰ ＤＰコード：axx	対象学生 全学生 特定ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの対応 ﾈｸｽﾄ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ
	授業形態　講義 グループワーク	単位数　1	
担当教員名 マクラハン・ジェラディーン	関連授業科目 履修推奨科目		

学習時間　Class meetings and preparation time per week　15 classes (90 min. each) + weekly out-of-class work (preparation, review, etc.) Students should spend at least 2 hours per week on out-of-class preparation.　Writing skills practice will mainly be assigned as homework.

授業の概要

This course aims to improve students' reading skills. There will be a focus on developing various reading strategies and encouraging students to enjoy reading in English. This course builds upon the basic English communication skills developed by students in their general education English classes　(Communicative English I-IV).

授業の目的

授業の目的 General Objectives
The aim of this course is to develop the students' reading fluency and positive attitudes to reading. Students will read a range of graded readers at a level suitable with the purpose of increasing their fluency in the areas of vocabulary recognition and reading comprehension skills. This course will equip students with effective reading strategies which will make reading a positive and encouraging experience.

到達目標

On completion of this course, students should be able to:
1. read with greater fluency and confidence
2. read for meaning without translating by using effective reading strategies
3. summarize and paraphrase short written passages on a variety of topics
4. share personal reactions to and opinions about books in informal situations
5. complete quizzes to demonstrate comprehension

成績評価の方法と基準

Students will be evaluated on:
Class Participation: 20%
Written assignments: 40%
Word Count: 40%

授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

[Course Method]
Classwork will center on activities designed to develop students' reading skills. In this course, students will select graded readers that appeal to them and spend time doing sustained silent reading (SSR). Students will complete short quizzes online to get word count credit. Students will practice reading exercises e.g. Timed Repeated Reading (TRR) to increase reading skills and fluency. Students will also engage in pair and group work where they will share their reflections on what they have read, and what they have learned for each book. By the end of the course students will have read a minimum of 150,000 words, and　completed a number of written assignments on Moodle consisting of　book reports, summaries, and other written activities. As a rule, Japanese will not be allowed in class. This class will be mainly taught face-to-face (in a regular classroom) however, depending on the situation with the current pandemic, this may be changed to online.

[Course Schedule]
Week 1: Students will need to bring a computer/tablet or smartphone to class to take a reading placement test. They will log into their XReading account and choose their first book.
Week 2: SSR; Introduction to TRR;
Week 3: SSR; TRR; Describing and evaluating characters 1; Written assignment #1
Week 4: SSR; TRR; Describing and evaluating characters 2
Week 5: SSR; TRR; Written assignment #2
Week 6: SSR; TRR; Summarizing and paraphrasing
Week7: Mid-tern review:
Week 8: Mid-term book report due. Students will make a speech describing their favourite book to date
Week 9: SSR; TRR; Written assignment #3

Week 10: SSR; TRR; Personal reflections and making recommendations 1
Week 11: SSR; TRR; Personal reflections and making recommendations 2; Written assignment # 4
Week 12: SSR; TRR; Writing an alternative ending
Week 13: SSR; TRR:
Week 14: Written assignment #5
Week 15: Final book report and presentations

Weeks 1-13:
1. Students are expected to engage in extensive reading using Xreading. Students should read about 10,000 words per week.
2. Students must be prepared to discuss what they have read with their partner/group tutor.
3. Students should complete assigned homework.
4. Depending on the number of students, during weeks 14 and/or 15 students should prepare to deliver final presentations, and make sure they have read at least 150,000 words.

教科書・参考書等

You will be able to buy access cards/codes from the bookshop. More information will be posted on Moodle about this. Online graded readers: https://xreading.com/login/index.php

オフィスアワー　Wednesday: 09:00-10:00 (Saiwai-cho campus only) or contact the instructor to make an appointment.

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

Students should have a TOEIC score of at least 550 to enter this class.